

第1回
國學院大學卒業生調査報告書
最終版

目 次

第1章 調査概要.....	3
調査の目的.....	3
調査の概要.....	3
能力フレーム.....	4
留 意 点.....	4
第2章 調査結果サマリー.....	7
1. 保有能力（PROG）のまとめ.....	7
2. 分析の構造と視点.....	12
3. リテラシー分析.....	13
4. コンピテンシー分析.....	16
5. 学修方法.....	19
6. 学修内容.....	20
7. 就職時に求められる能力.....	22
8. 満足度とその理由.....	25
第3章 調査結果（詳細）.....	29
問1 属性.....	29
問2 学修方法.....	34
問3 学修の成果.....	48
問4 大学の満足度.....	65
問5 就業状況.....	71
問6 学生時代に身についたと思う能力.....	78
問7 本校および在校生へのメッセージ.....	115
問8 インタビューへのご協力依頼.....	132
第4章 調査票.....	135

第 1 章 調査概要

第1章 調査概要

調査の目的

國學院大學での学びが、卒業後どのように活かしているかを検証するため、複数年度に渡る卒業生を対象として、アンケートを実施する。在学中の学修経験を振り返り、現在の仕事や生活との関係の上に、何が有効に働いているのかなどを把握し、本校における学びの在り方について検討する材料とする。

調査の概要

調査対象、方法及び配布回収の状況等は以下のとおりである。

図表 1-1 調査概要

調査名	第1回 國學院大學卒業生調査
調査対象	本学の卒業生のうち、平成17、22、24年度に卒業した全学部（二部の卒業生も含む）。
調査方法	インターネット上のアンケートに各自アクセスして回答。調査ページのアドレスはハガキに記載し、全員に郵送配布。
抽出方法	該当年度の卒業生について全数抽出
調査期間	平成28年10月17日～11月4日（19日間）
配布回収	配布：5,678票 有効配布：5,677票（宛先不明：1票。平成17年度卒文学部留学生。） 回収：673票 有効回収率：11.9%
質問項目	問1 属性／問2 学修方法／問3 学修の成果／問4 大学の満足度／問5 就業状況／ 問6 学生時代に身についたと思う能力／問7 本校および在校生へのメッセージ／ 問8 インタビューへのご協力依頼

（配布回収の内訳）

図表 1-2 卒業年度別配布回収内訳

	卒業期	配付数		有効配付数	回収数	有効回収率
1	平成17年度卒業生	1,678	-15	1,663	172	10.3%
2	平成22年度卒業生	1,838	-16	1,822	236	13.0%
3	平成24年度卒業生	2,162	-40	2,122	265	12.5%
	合計	5,678	-71	5,607	673	12.0%

図表 1-3 学部別配布回収内訳

	学部	配付数	未着	有効配付数	回収数	有効回収率
1	文学部	2,059	-26	2,033	292	14.4%
2	法学部	1,369	-22	1,347	151	11.2%
3	経済学部	1,536	-17	1,519	130	8.6%
4	神道文化学部	515	-5	510	65	12.7%
5	人間開発学部	199	-1	198	35	17.7%
	合計	5,678	-71	5,607	673	12.0%

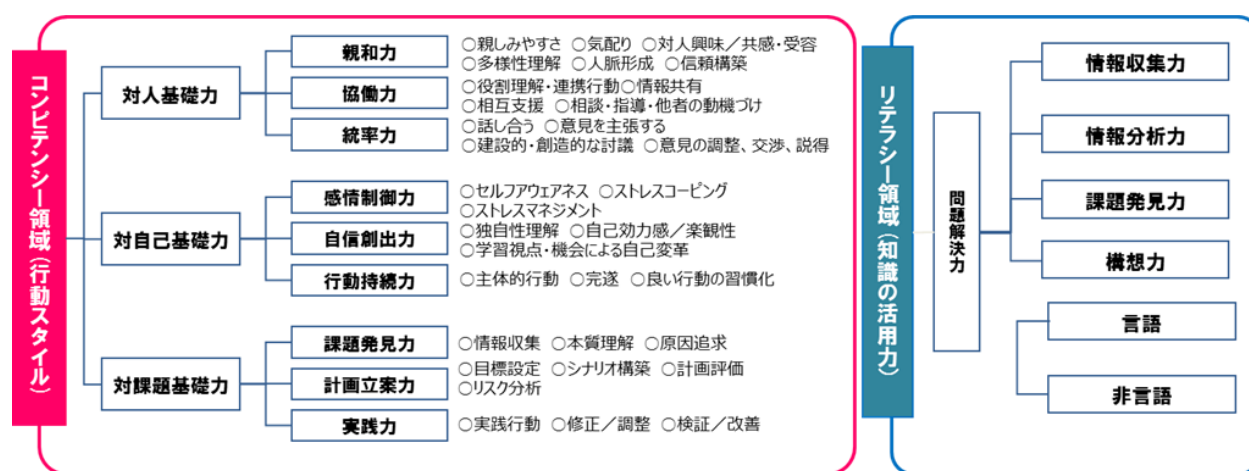
能力フレーム

本調査・分析企画のベースとなる能力要素は、下記の「社会で求められる能力要素」を活用する調査・分析企画となっている。

この能力要素の特徴は、

- ① すでに産業界からのニーズを検証済み。
 - ② ダブリ・重なりがなく、体系として既に纏めている。
 - ③ 独自のライブラリーとして、詳細な要素の内容／記述化されたレベル内容を構築済み。
- となっており、下記の能力要素の構築時の知見やノウハウを活用した企画となっている。

図表 1-4 リテラシーとコンピテンシーの領域



留意点

- グラフ中のnは回答者の総数、クロス集計にある（ ）内の数字は各項目の回答者数である。
- 小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。
- クロス集計においては、表側の項目は無回答を除いているため、合計した値は全体に一致しないものがある。
- 図表タイトルのSAはシングルアンサーの略で、選択肢から1つだけ選ぶ設問である。MAはマルチアンサーの略で、複数選択する設問である。FAはフリーアンサーの略で、自由記入形式で回答する設問である。
- 帯グラフのうち、点線の青枠 で囲った部分は、平成17年度と24年度を比較し、平成17年度が3ポイント以上高いものである。
- 帯グラフのうち、実線の赤枠 で囲った部分は、選択肢を足した合計が50%を超えるものである。

第2章 調査結果サマリー

第2章 調査結果サマリー

1. 保有能力（PROG）のまとめ

卒業生に対し調査した39の能力（リテラシー：12個／コンピテンシー：27個）について、「よく当てはまる」4ポイント、「当てはまる」3ポイント、「やや当てはまる」2ポイント、「全く当てはまらない」1ポイントとし、加重平均により点数を算出した。

図表2-1 リテラシーとコンピテンシーの内訳

能力		対応するPROG	
リテラシー	1 様々な情報の特性が理解できる	情報収集力	
	2 課題に応じて、どのような情報を収集すべきか判断できる		
	3 収集した情報の信頼性を適切に判断できる		
	4 図表から、的確にその内容を読み取れる	情報分析力	
	5 文章から、的確にその内容を捉えられる		
	6 図表や文章から読み取った内容を、論理的に整理できる		
	7 様々な観点から現状を捉え、問題点を見出せる	課題発見力	
	8 問題点を客観的に整理できる		
	9 どの問題から解決すべきか、適切に優先順位をつけられる		
	10 様々な観点から問題の解決策を考えられる	構想力	
	11 諸々の条件を踏まえ、問題の解決に有効な方策を選択できる		
	12 問題解決の方策に沿って、具体的な行動計画を立てられる		
コンピテンシー	1 誰に対しても、和やかに接することができる	親和力	親しみやすさ／気配り
	2 人から相談された際に、相手の話を真剣に聞ける		対人興味・共感・受容／多様性理解
	3 相手の信頼を得て、豊かな人間関係を築くことができる		人脈形成／信頼構築
	4 チームの中で担うべき自分の役割を自覚できる	協働力	役割理解・連携行動
	5 周囲と連携を取り、協力しながら仕事を進められる		情報共有／相互支援
	6 相手の状況に応じて、適切なアドバイスができる		相談・指導・他者の動機づけ
	7 周りの人と意見が異なる場合でも、自分の意見を述べられる	統率力	話し合う／意見を主張する
	8 建設的な議論となるように、チームに働きかけができる		建設的・創造的な討議
	9 相手の立場を考慮しながら、意見調整を進められる		意見の調整、交渉、説得
	10 プレッシャーがかかる場面でも、落ち着いて対応できる	感情制御力	セルフアウェアネス
	11 ストレスにうまく対処し、感情をコントロールできる		ストレスコーピング
	12 難しい課題に対しても前向きに取り組める		ストレスマネジメント
	13 自分の長所と短所を的確に把握している	自信創出力	独自性理解
	14 自分の強みや持ち味を活かすべく行動できる		学習視点・機会による自己変革
	15 未経験のことにも、臆せず取り組める		自己効力感／楽観性
	16 自発的に行動できる	行動持続力	主体的行動
	17 責任感を持ってやり遂げる		完遂
	18 常に主体的に学び続ける姿勢を持っている		良い行動の習慣化
	19 課題に応じ、適切に情報を収集できる	課題発見力	情報収集
	20 客観的な視点でデータを整理・分析し、問題点を把握できる		本質理解
	21 問題が生じた原因について、様々な観点から考えられる		原因追究
	22 問題解決に向けて、明確な目標を立てられる	計画立案力	目標設定
	23 問題解決に向けて、目標に沿った具体的な計画を立てられる		シナリオ構築
	24 問題解決に向けて、立案した計画の実現性を吟味できる		計画評価／リスク分析
	25 問題を解決すべく計画を推進しながら、想定外の事態に応じて行動を修正できる	実践力	修正／調整
	26 問題を解決するためにとった行動を振り返り、課題を把握できる		検証／改善
	27 把握した課題を念頭におき、同様の事態に対して適切に対応できる		実践行動

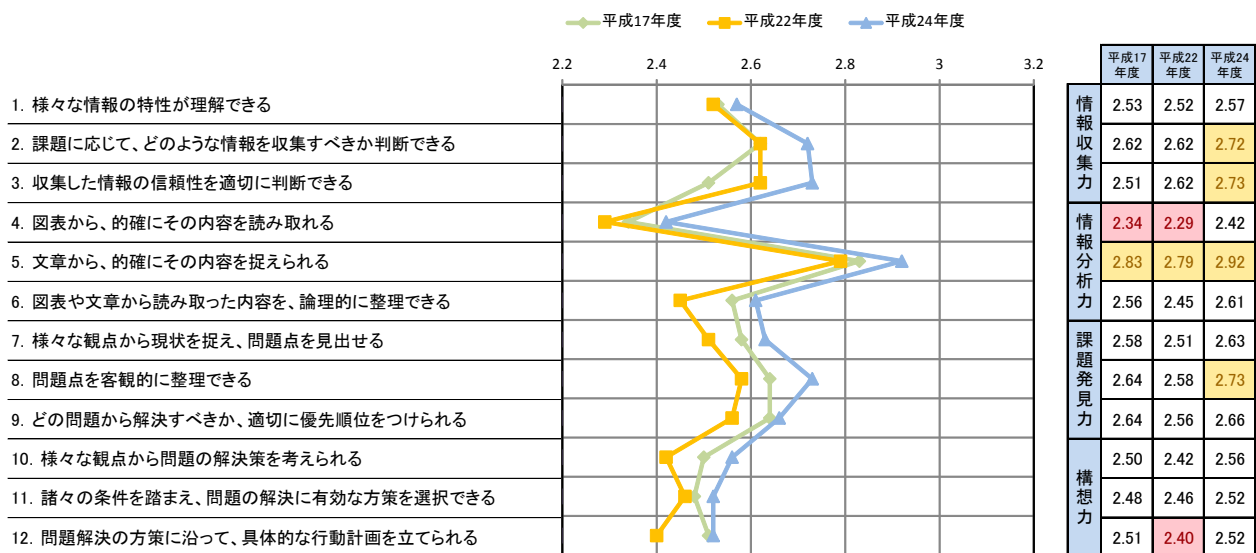
(1) 卒業年度別リテラシー比較

リテラシーを卒業年度別にみると、卒業生が「身についた」という認識が高い項目は「文章から、的確にその内容を捉えられる」で、いずれの年度の卒業生においても最も高くなっている。

一方、逆に低い項目は、「図表から、的確にその内容を読み取れる」で、いずれの年度の卒業生で最も低くなっている。

全体的な傾向として、情報分析力については、強みと弱みが混在したかたちになっている。また、平成24年度卒業生は、いずれの項目についても、過去の卒業生に比べて「身についた」という認識が高くなっている。

図表2-2 卒業年度別リテラシー比較



(注) 2.4ポイント以下に赤、2.7ポイント以上に黄色で網掛けしている。

<加重平均の求め方>

「よく当てはまる」4ポイント、「当てはまる」3ポイント、「やや当てはまる」2ポイント、「全く当てはまらない」1ポイントで、平均を抽出。また、5択の場合は5ポイントから1ポイントで計算。以下、同様。

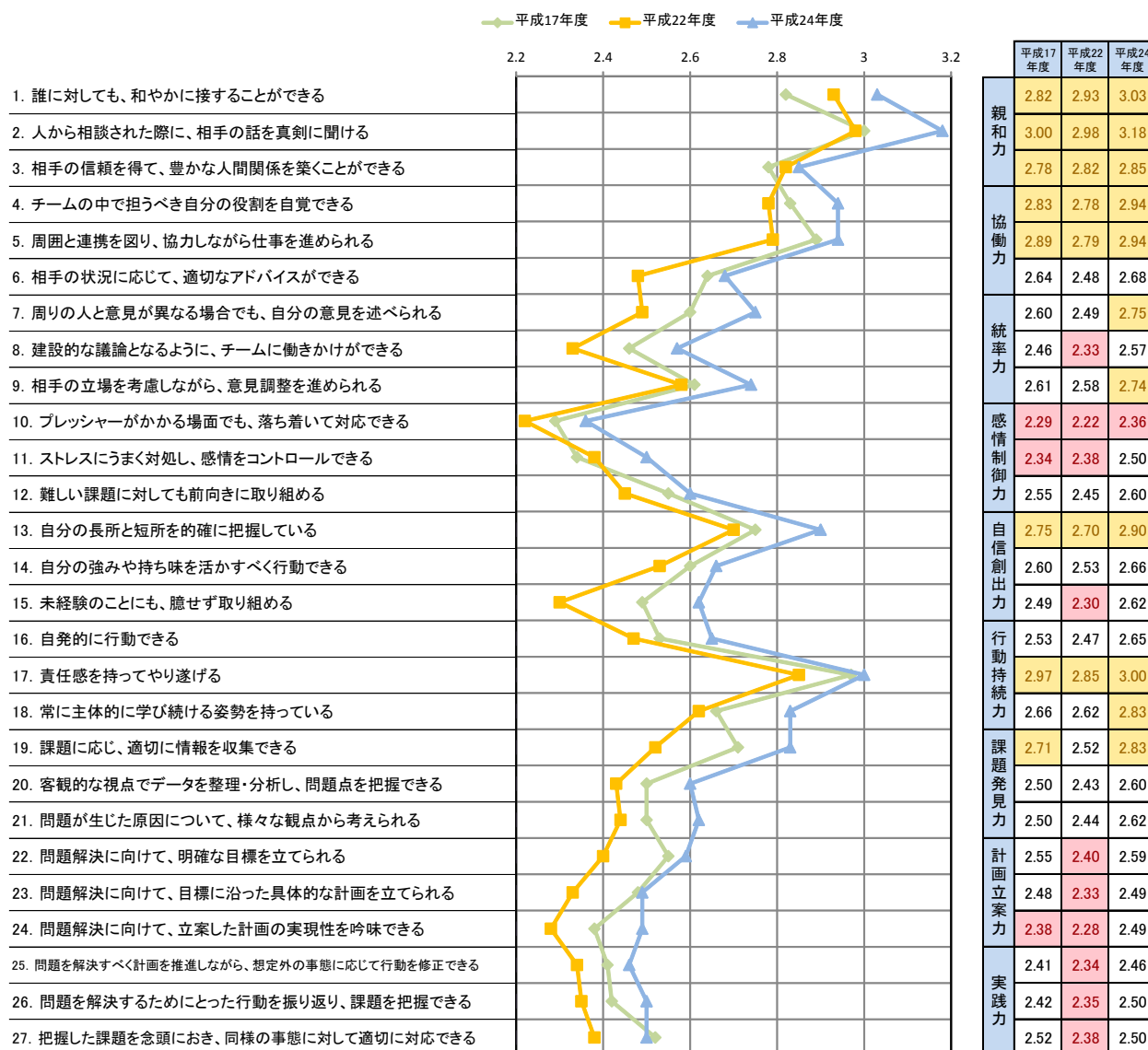
(2) 卒業年度別コンピテンシー比較

コンピテンシーを卒業年度別にみると、「人から相談された際に、相手の話を真剣に聞ける」がいずれの卒業年度においても最も高くなっている。親和力・協働力に関連する項目は、「身についた」とする意見が高い傾向がみられる。そのほか「自分の長所と短所を的確に把握している」、「責任感をもってやり遂げる」も、いずれの卒業年度も2.7ポイントを超え、高くなっている。

逆に、低い項目は、「プレッシャーがかかる場面でも、落ち着いて対応できる」や「ストレスにうまく対処し、感情をコントロールできる」といった、感情制御力に関する項目は、身についたとする意見が少ない傾向がみられる。同様に計画立案力のなかの「問題解決に向けて、立案した計画の実現性を吟味できる」も低い。

全体的な傾向として、リテラシー同様にコンピテンシーに関しても、平成24年度卒業生は、過去の卒業生に比べて「身についた」という認識が高くなっている。

図表2-3 卒業年度別コンピテンシー比較



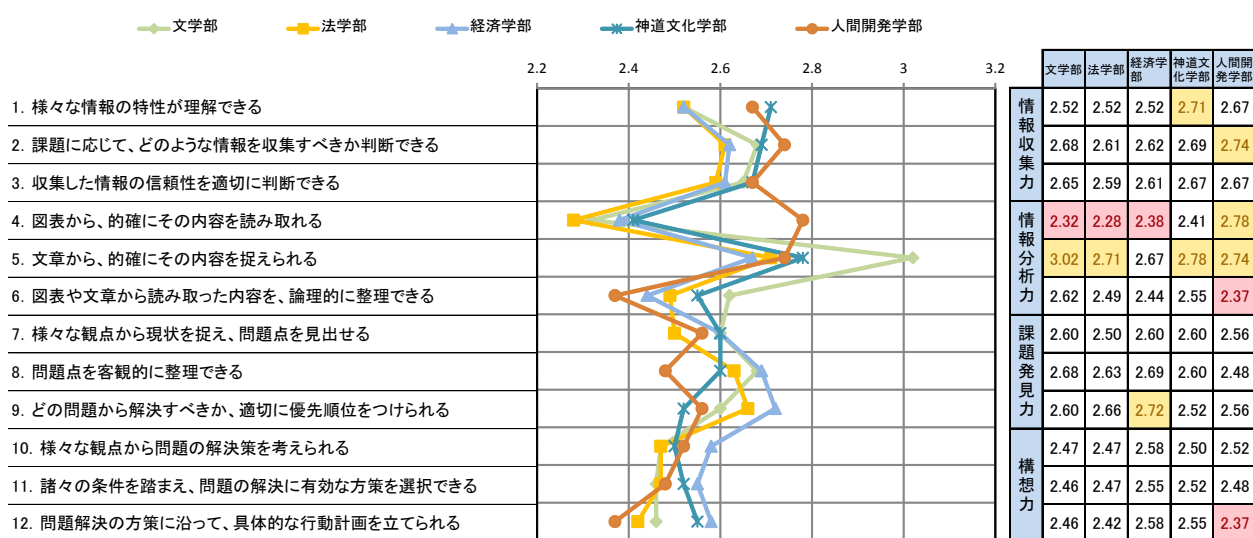
(注)2.4ポイント以下に赤、2.7ポイント以上に黄色で網掛けしている。

(3) 学部別リテラシー比較

リテラシーを学部別にみると、「文章から、的確にその内容を捉えられる」が高く、中でも文学部が突出して高い。逆に「図表から、的確にその内容を読み取れる」が低い傾向がみられる。

人間発達学部は、むしろ「図表から、的確にその内容を読み取れる」が最も高く、その点に関しては他学部と異なる傾向を示しているが、そのほかの項目については概ね同様の推移をしている。また、神道文化学部は2.4ポイントを下回る項目はない。

図表 2-4 学部別リテラシー比較



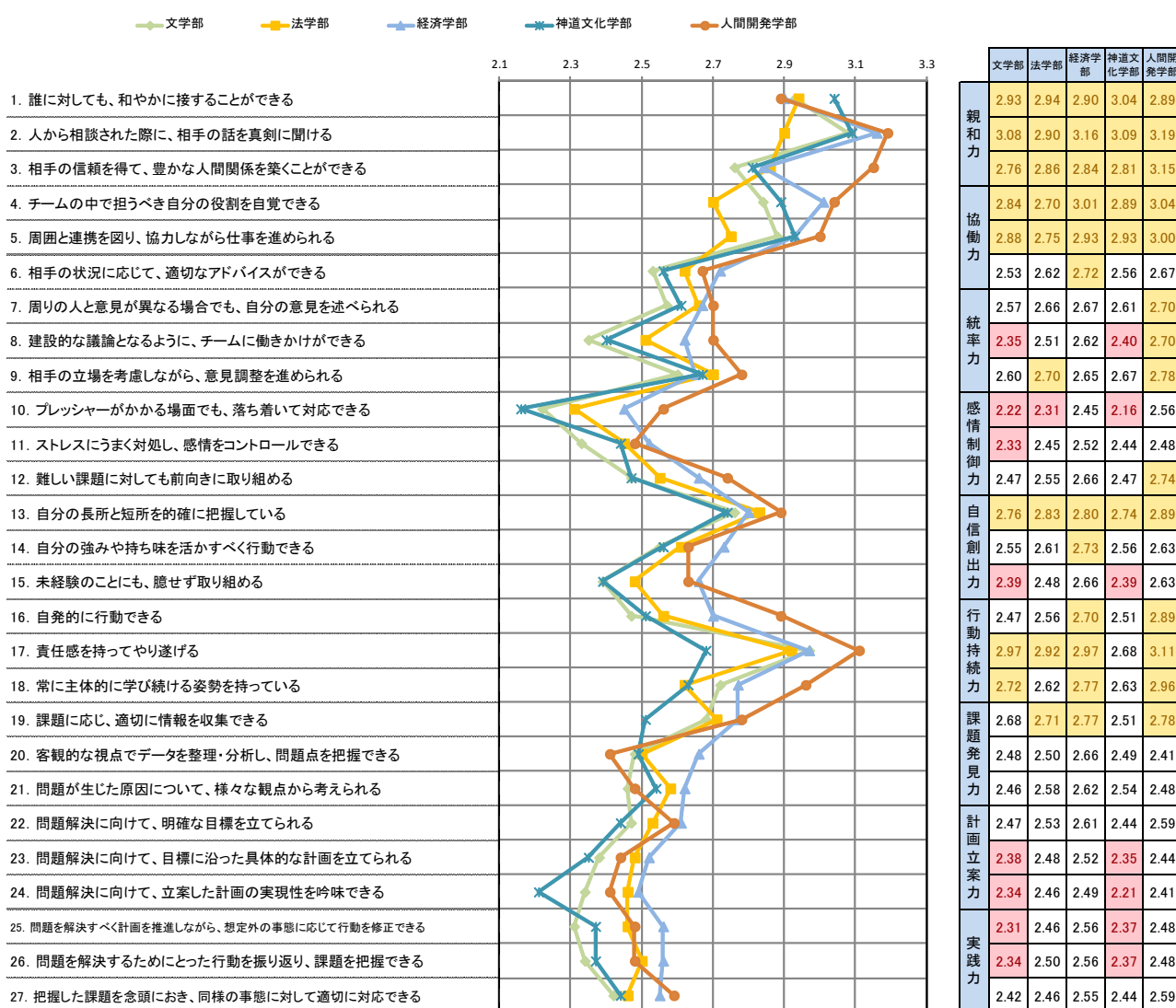
(注)2.4ポイント以下に赤、2.7ポイント以上に黄色で網掛けしている。

(4) 学部別コンピテンシー比較

コンピテンシーを学部別にみると、共通している点は、親和力・協働力が高く、行動持続力はやや高い。また「自分の長所と短所を的確に把握している」はいずれの学部も2.7ポイント以上となっており、認識度合いが高い。文学部と神道文化学部は、ポイントが低いいくつかの項目において、共通した傾向がみられる。

一方、経済学部と人間開発学部は2.4ポイントを下回る項目はなく、中でも人間開発学部は3ポイント以上の項目が5つ含まれており、全体的に高い評価となっている。

図表 2-5 学部別コンピテンシー比較



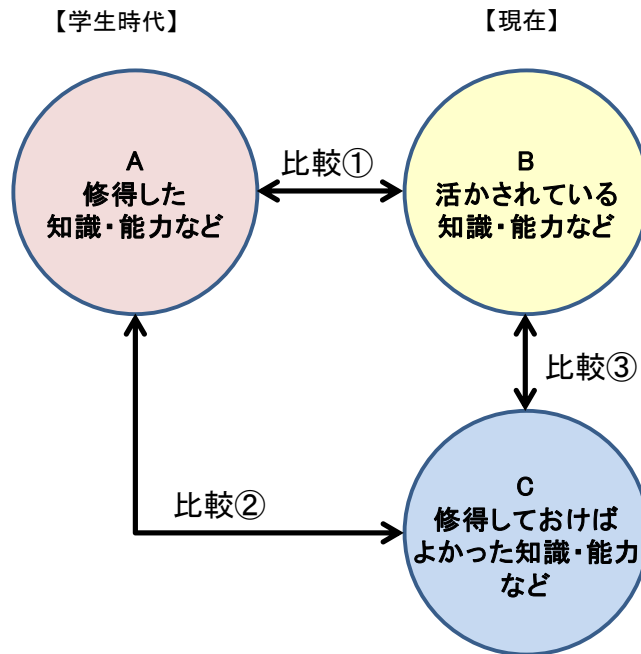
(注) 2.4ポイント以下に赤、2.7ポイント以上に黄色で網掛けしている。

2. 分析の構造と視点

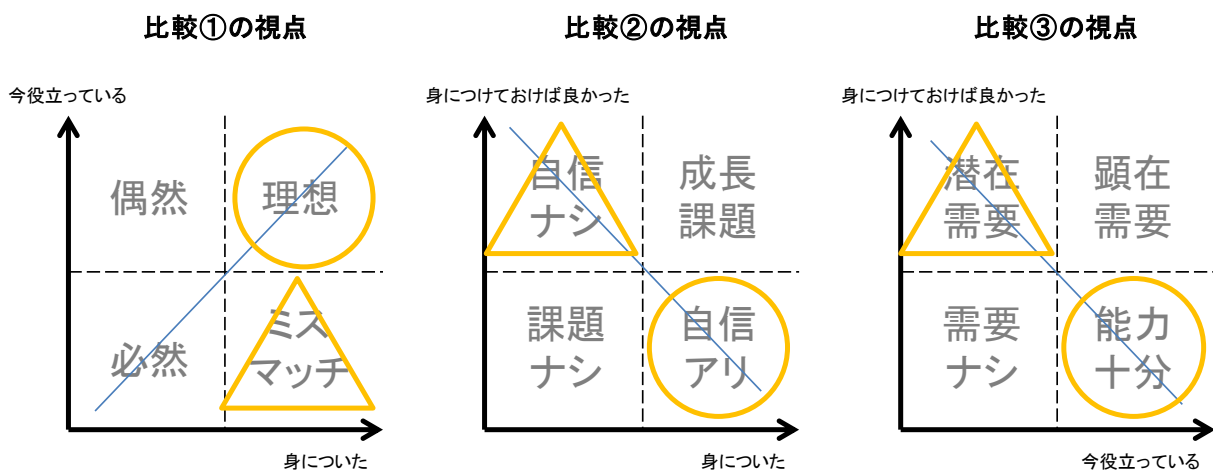
リテラシー分析以降の項目においては、「A. 学生時代に修得した知識や能力など」、「B. 現在活かされている知識・能力など」、「C. 学生時代に修得しておけばよかった知識や能力など」の3つの設問について比較分析する。

分析にあたっては相関関係に着目する。仮説としては、AB間（比較①）は正の相関関係、AC間（比較②）は負の相関関係、BC間（比較③）も負の相関関係が予想される。なお、次ページ以降の「3. リテラシー分析」と「4. コンピテンシー分析」、「7. 就職時に求められる力」については比較①②③、「5. 学修方法」、「6. 学修内容」については比較①②を行っている。

図表 2-6 分析の構造



図表 2-7 分析の視点



3. リテラシー分析

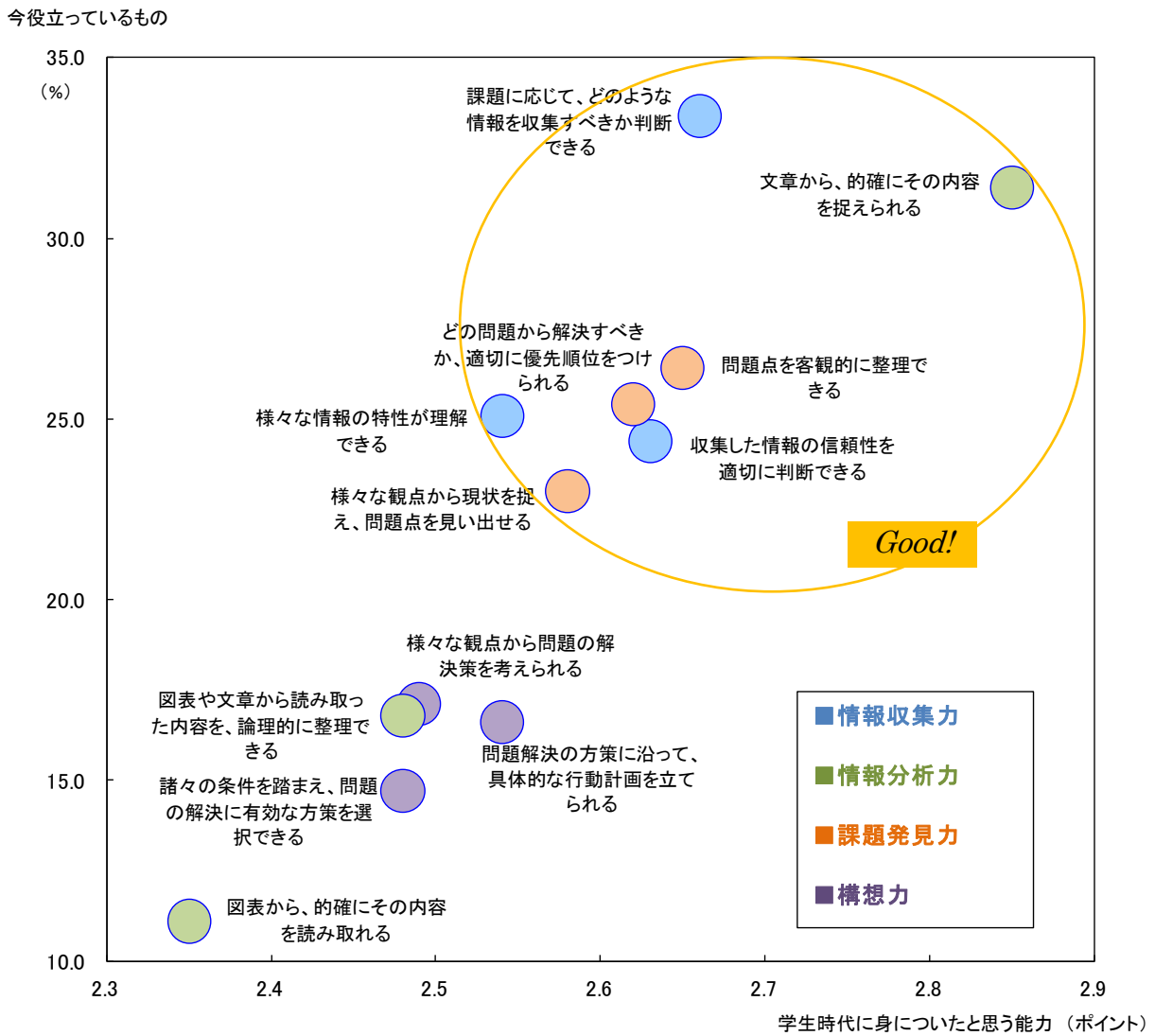
(1) 学生時代に身についたと思う能力×今役だっているもの

「学生時代に身についたと思う能力」は加重平均、「今役だっているもの」は、複数回答の回答割合である。

「身についたと思う能力」ほど「今役だっている」という割合も高く、正の相関関係がみられる。また、身についたが役立っていないというミスマッチはみられない。

大きな分野で見ると、情報収集力、課題発見力がポジティブな評価であるのに対し、構想力や情報分析力は、「文章から、的確にその内容を捉えられる」を除けば、ネガティブな評価となっている。

図表 2-8 学生時代に身についたと思う能力×今役だっているもの



(2) 学生時代に身についたと思う能力×身につけておけばよかったもの

「学生時代に身についたと思う能力」は加重平均、「学生時代に身につけておけばよかったもの」は、複数回答の回答割合である。

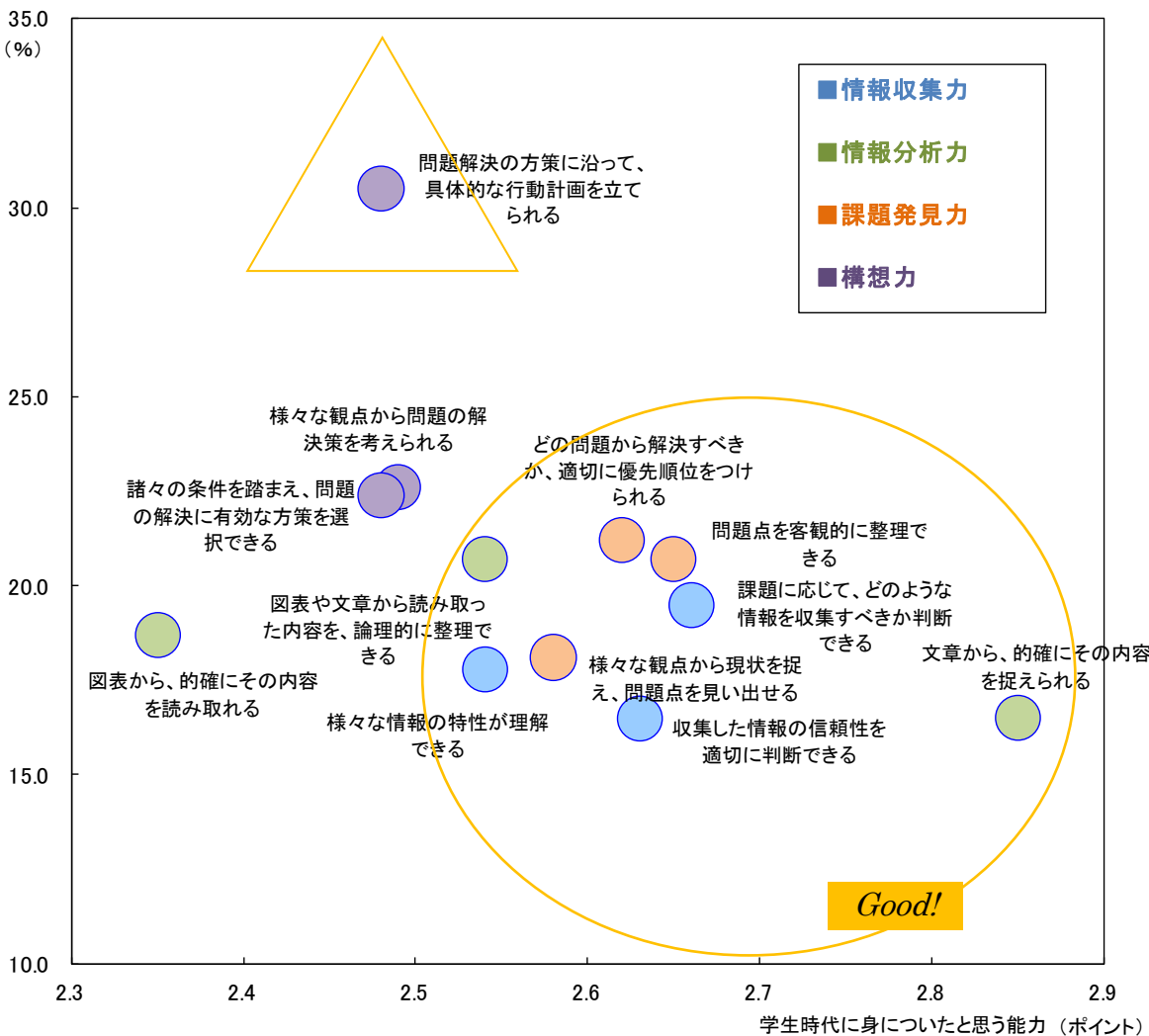
「学生時代に身についたと思う能力」が高いと、「学生時代に身につけておけばよかったもの」の割合は低くなっているが、「学生時代に身についたと思う能力」が低いからといって、必ずしも「学生時代に身につけておけばよかった」とは考えていない傾向がみられる。

具体的には「図表から、的確にその内容を読み取れる」能力については、学生時代に身についたとする意見が最も低いものの、身につけておけばよかったという意見は2割に満たないことから、あまり必要性を感じていないと思われる。

これに対し、「問題解決の方策に沿って、具体的な行動計画を立てられる」は、身につけておけば良かったという意見が3割を超え、能力に自信がない項目と考えられる。

図表2-9 学生時代に身についたと思う能力×身につけておけばよかったもの

学生時代に身につけておけばよかったと思うもの



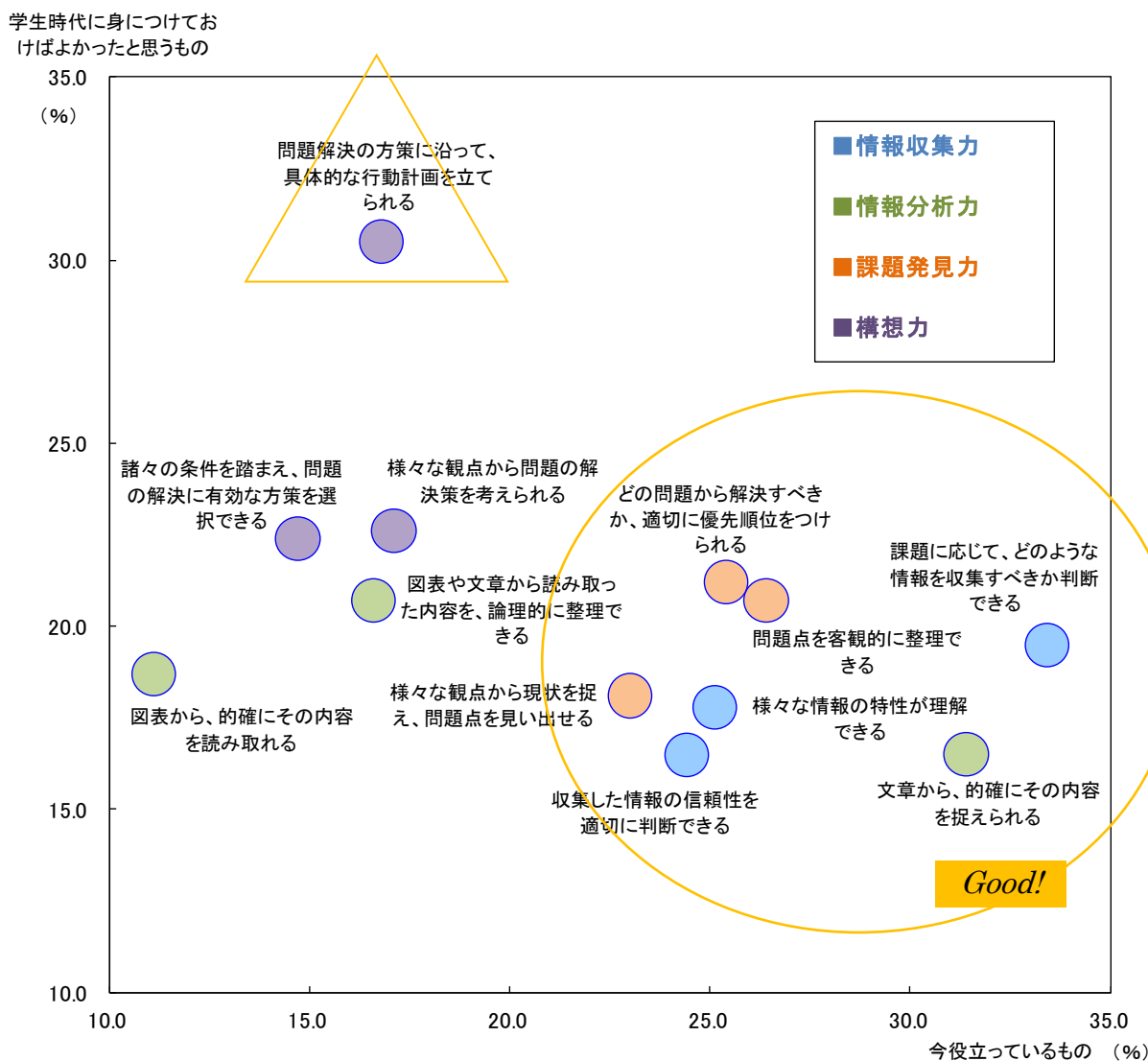
(3) 学生時代に身につけて今役だっている能力×身につけておけばよかったと思うもの

「学生時代に身につけて今役だっている能力」と「学生時代に身につけておけばよかったもの」は、ともに複数回答の回答割合である。

「学生時代に身につけて今役だっている能力」が高いと、「学生時代に身につけておけばよかったもの」の割合は低くなっているが、「学生時代に身につけて今役だっている能力」が低いからといって、必ずしも「学生時代に身につけておけばよかった」とは考えていない傾向がみられる。

「問題解決の方策に沿って、具体的な行動計画を立てられる」（以下、「具体的な行動計画」）は、学生時代に能力を獲得できていないので、当然ながら今能力を発揮もできていないが、必要性は感じている、という構造になっている。

図表 2-10 学生時代に身につけて今役だっている能力×身につけておけばよかったもの



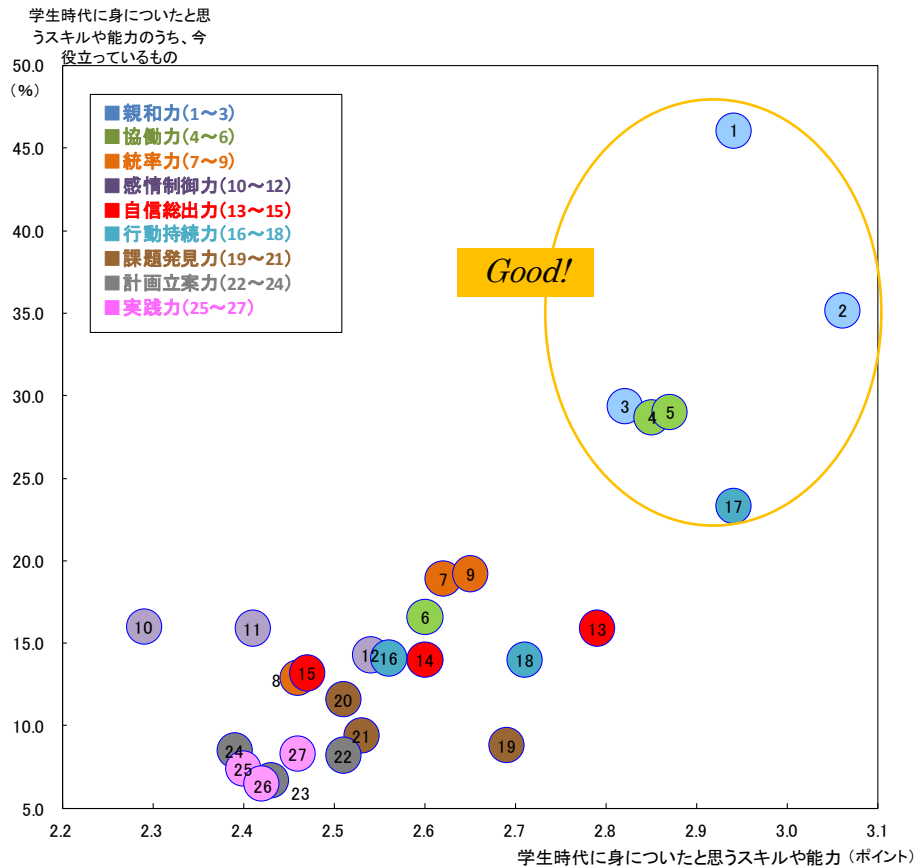
4. コンピテンシー分析

(1) 身についたと思うスキルや能力×今役だっているもの

「学生時代に身についたと思う能力」は加重平均、「今役だっているもの」は、複数回答の回答割合である。

「学生時代に身についたと思う能力」が高いほど、「今役だっている」という割合も高く、正の相関関係がみられる。なかでも 1～5 番および 17 番は、学生時代に身についたことが今役立っているもので、理想的である。

図表 2-11 身についたと思うスキルや能力×今役だっているもの



- | | |
|--------------------------------|--|
| 1. 誰に対しても和やかに接することができる | 15. 未経験のことにも、臆せず取り組める |
| 2. 人から相談された際に、相手の話を真剣に聞ける | 16. 自発的に行動できる |
| 3. 相手の信頼を得て、豊かな人間関係を築くことができる | 17. 責任感を持ってやり遂げる |
| 4. チームの中で担うべき自分の役割を自覚できる | 18. 常に主体的に学び続ける姿勢を持っている |
| 5. 周囲と連携を図り、協力しながら仕事を進められる | 19. 課題に応じ、適切に情報を収集できる |
| 6. 相手の状況に応じて、適切なアドバイスができる | 20. 客観的な視点でデータを整理・分析し、問題点を把握できる |
| 7. 周りの人と意見が異なる場合でも、自分の意見を述べられる | 21. 問題が生じた原因について、様々な観点から考えられる |
| 8. 建設的な議論となるように、チームに働きかけができる | 22. 問題解決に向けて、明確な目標を立てられる |
| 9. 相手の立場を考慮しながら、意見調整を進められる | 23. 問題解決に向けて、目標に沿った具体的な計画を立てられる |
| 10. プレッシャーがかかる場面でも落ち着いて対応できる | 24. 問題解決に向けて、立案した計画の実現性を吟味できる |
| 11. ストレスにうまく対処し、感情をコントロールできる | 25. 問題を解決すべく計画を推進しながら、想定外の事態に応じて行動を修正できる |
| 12. 難しい課題に対しても前向きに取り組める | 26. 問題を解決するためにとった行動を振り返り、課題を把握できる |
| 13. 自分の長所と短所を的確に把握している | 27. 把握した課題を念頭におき、同様の事態に対して適切に対応できる |
| 14. 自分の強みや持ち味を活かすべく行動できる | |

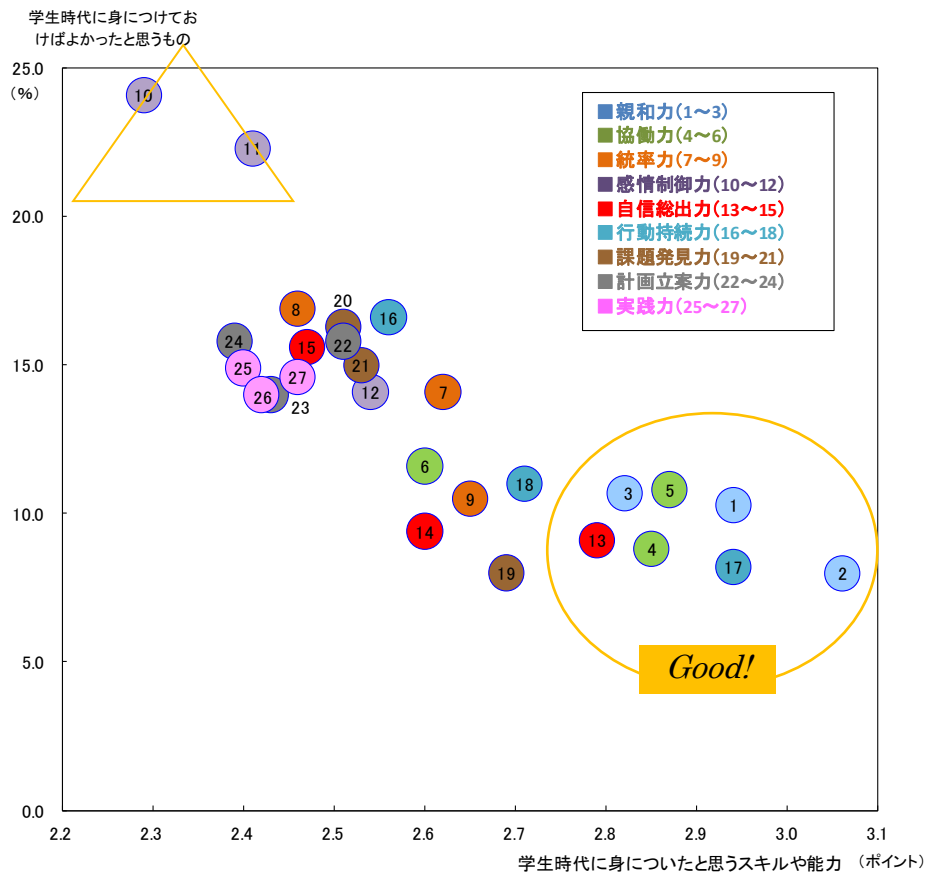
(2) 身についたスキルや能力×学生時代に身につけておけばよかったと思うもの

「学生時代に身についたと思うスキルや能力」は加重平均、「学生時代に身につけておけばよかったと思うもの」は、複数回答の回答割合である。

「学生時代に身についたと思うスキルや能力」が低いと、「学生時代に身につけておけばよかったと思うもの」の割合は高く、負の相関関係がみられる。

中でも1～5番と13番、17番は、多くの卒業生にとって自信がもてる能力として定着しているといえる。一方、10番「プレッシャーがかかる場面でも落ちつちて対応できる」や11番「ストレスにうまく対処し、感情をコントロールできる」は、今必要性を強く認識しているものの、学生時代には能力を十分獲得できないまま社会人になっているため、自身の努力で能力を身につけざるを得ない状況になっている。

図表2-12 学生時代に身についたスキルや能力×身につけておけばよかったもの



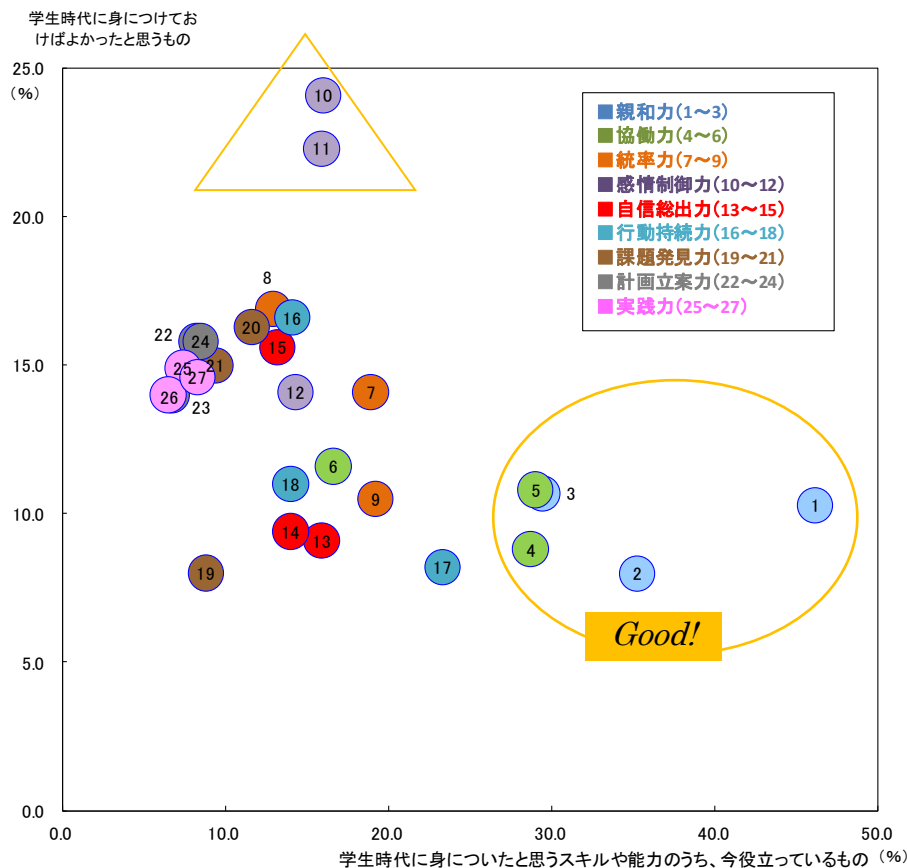
- | | |
|--------------------------------|--|
| 1. 誰に対しても和やかに接することができる | 15. 未経験のことにも、臆せず取り組める |
| 2. 人から相談された際に、相手の話を真剣に聞ける | 16. 自発的に行動できる |
| 3. 相手の信頼を得て、豊かな人間関係を築くことができる | 17. 責任感を持ってやり遂げる |
| 4. チームの中で担うべき自分の役割を自覚できる | 18. 常に主体的に学び続ける姿勢を持っている |
| 5. 周囲と連携を図り、協力しながら仕事を進められる | 19. 課題に応じ、適切に情報を収集できる |
| 6. 相手の状況に応じて、適切なアドバイスができる | 20. 客観的な視点でデータを整理・分析し、問題点を把握できる |
| 7. 周りの人と意見が異なる場合でも、自分の意見を述べられる | 21. 問題が生じた原因について、様々な観点から考えられる |
| 8. 建設的な議論となるように、チームに働きかけができる | 22. 問題解決に向けて、明確な目標を立てられる |
| 9. 相手の立場を考慮しながら、意見調整を進められる | 23. 問題解決に向けて、目標に沿った具体的な計画を立てられる |
| 10. プレッシャーがかかる場面でも落ち着いて対応できる | 24. 問題解決に向けて、立案した計画の実現性を吟味できる |
| 11. ストレスにうまく対処し、感情をコントロールできる | 25. 問題を解決すべく計画を推進しながら、想定外の事態に応じて行動を修正できる |
| 12. 難しい課題に対しても前向きに取り組める | 26. 問題を解決するためにとった行動を振り返り、課題を把握できる |
| 13. 自分の長所と短所を的確に把握している | 27. 把握した課題を念頭におき、同様の事態に対して適切に対応できる |
| 14. 自分の強みや持ち味を活かすべく行動できる | |

(3) 役だっているスキルや能力×学生時代に身につけておけばよかったと思うもの

「今役だっているスキルや能力」と「学生時代に身につけておけばよかったもの」は、どちらも複数回答の回答割合である。

ここでも1～5番は「今役立って」おり、かつ「学生時代に身につけておけばよかった」とは思っていないので、能力は社会人生活を送るうえで十分な水準にあると考えられている。一方、10番「プレッシャーがかかる場面でも落ちついて対応できる」や11番「ストレスにうまく対処し、感情をコントロールできる」は、今役立っていないものの、修得ニーズが高い。言い換えれば、これらの能力を身につけることができなかつた故に、今発揮できずにいるが、修得できていれば有益であるという潜在的なニーズをあらわしている。

図表2-13 今役だっているスキルや能力×学生時代に身につけておけばよかったもの



- | | |
|--------------------------------|--|
| 1. 誰に対しても和やかに接することができる | 15. 未経験のことにも、臆せず取り組める |
| 2. 人から相談された際に、相手の話を真剣に聞ける | 16. 自発的に行動できる |
| 3. 相手の信頼を得て、豊かな人間関係を築くことができる | 17. 責任感を持ってやり遂げる |
| 4. チームの中で担うべき自分の役割を自覚できる | 18. 常に主体的に学び続ける姿勢を持っている |
| 5. 周囲と連携を図り、協力しながら仕事を進められる | 19. 課題に応じ、適切に情報を収集できる |
| 6. 相手の状況に応じて、適切なアドバイスができる | 20. 客観的な視点でデータを整理・分析し、問題点を把握できる |
| 7. 周りの人と意見が異なる場合でも、自分の意見を述べられる | 21. 問題が生じた原因について、様々な観点から考えられる |
| 8. 建設的な議論となるように、チームに働きかけができる | 22. 問題解決に向けて、明確な目標を立てられる |
| 9. 相手の立場を考慮しながら、意見調整を進められる | 23. 問題解決に向けて、目標に沿った具体的な計画を立てられる |
| 10. プレッシャーがかかる場面でも落ち着いて対応できる | 24. 問題解決に向けて、立案した計画の実現性を吟味できる |
| 11. ストレスにうまく対処し、感情をコントロールできる | 25. 問題を解決すべく計画を推進しながら、想定外の事態に応じて行動を修正できる |
| 12. 難しい課題に対しても前向きに取り組める | 26. 問題を解決するためにとった行動を振り返り、課題を把握できる |
| 13. 自分の長所と短所を的確に把握している | 27. 把握した課題を念頭におき、同様の事態に対して適切に対応できる |
| 14. 自分の強みや持ち味を活かすべく行動できる | |

5. 学修方法

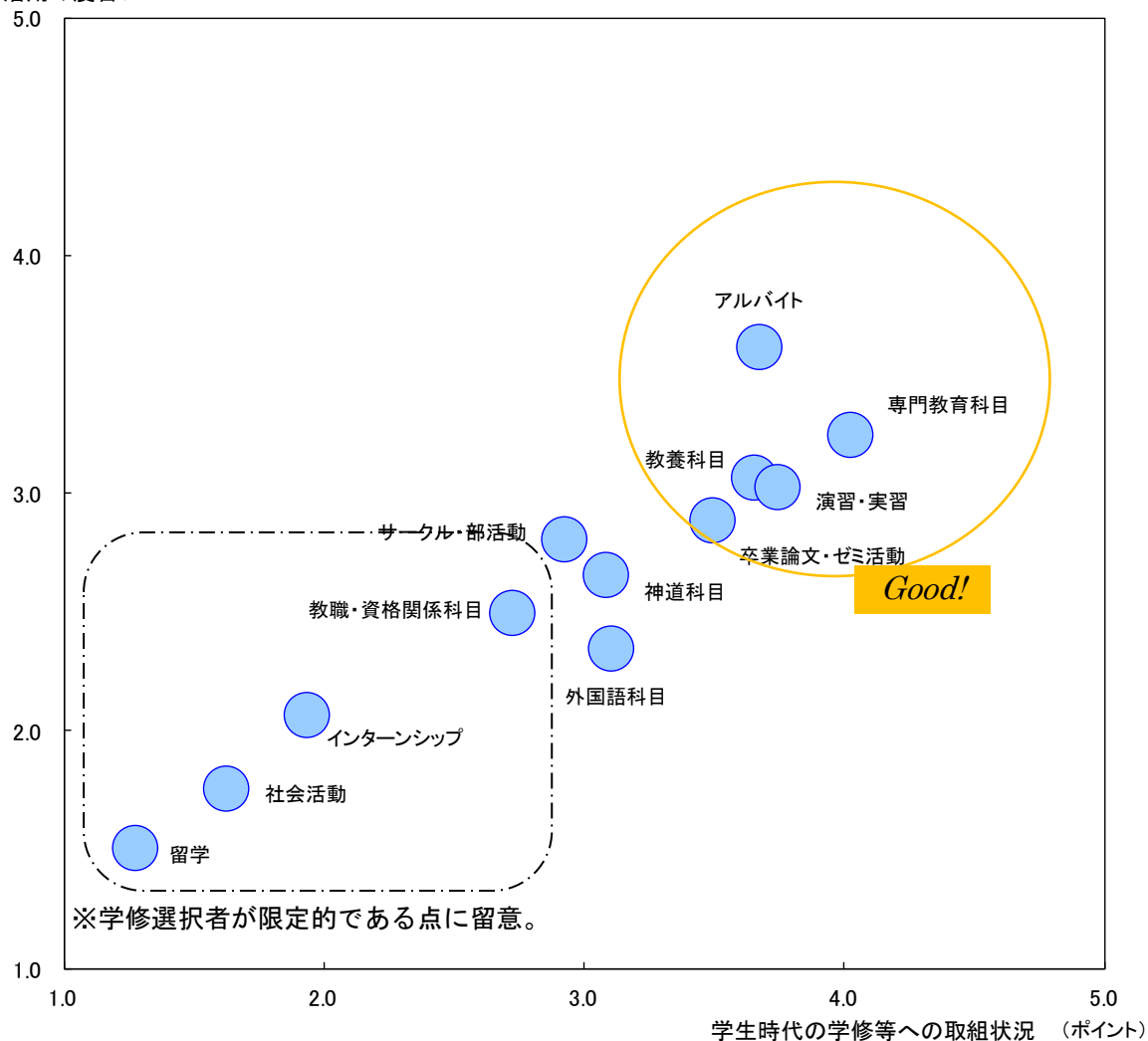
「学生時代取り組んだ学修等への取組状況」と「現在の社会人生活での活用の度合い」を、それぞれ加重平均で点数化した。

グラフは正の相関関係がみられ、概ね熱心に取り組んだものほど、その後活用される度合いも高くなっている。なかでも「専門教育科目」、「アルバイト」、「演習・実習」、「教養科目」、「卒業論文・ゼミ活動」は熱心に取り組み、社会人生活においても活用していると回答しており、理想的といえる。

また、「留学」や「社会活動」などは、選択しているのが一部の学生であるため、全体に占める活動度合いは高くないが、選択した当事者における役立ち度という点では、異なる結果となると思われる。

図表 2 - 1 4 学修等の取組×活用の度合い

現在の社会人生活での
活用の度合い



6. 学修内容

(1) 修得した知識や能力×活用の度合い

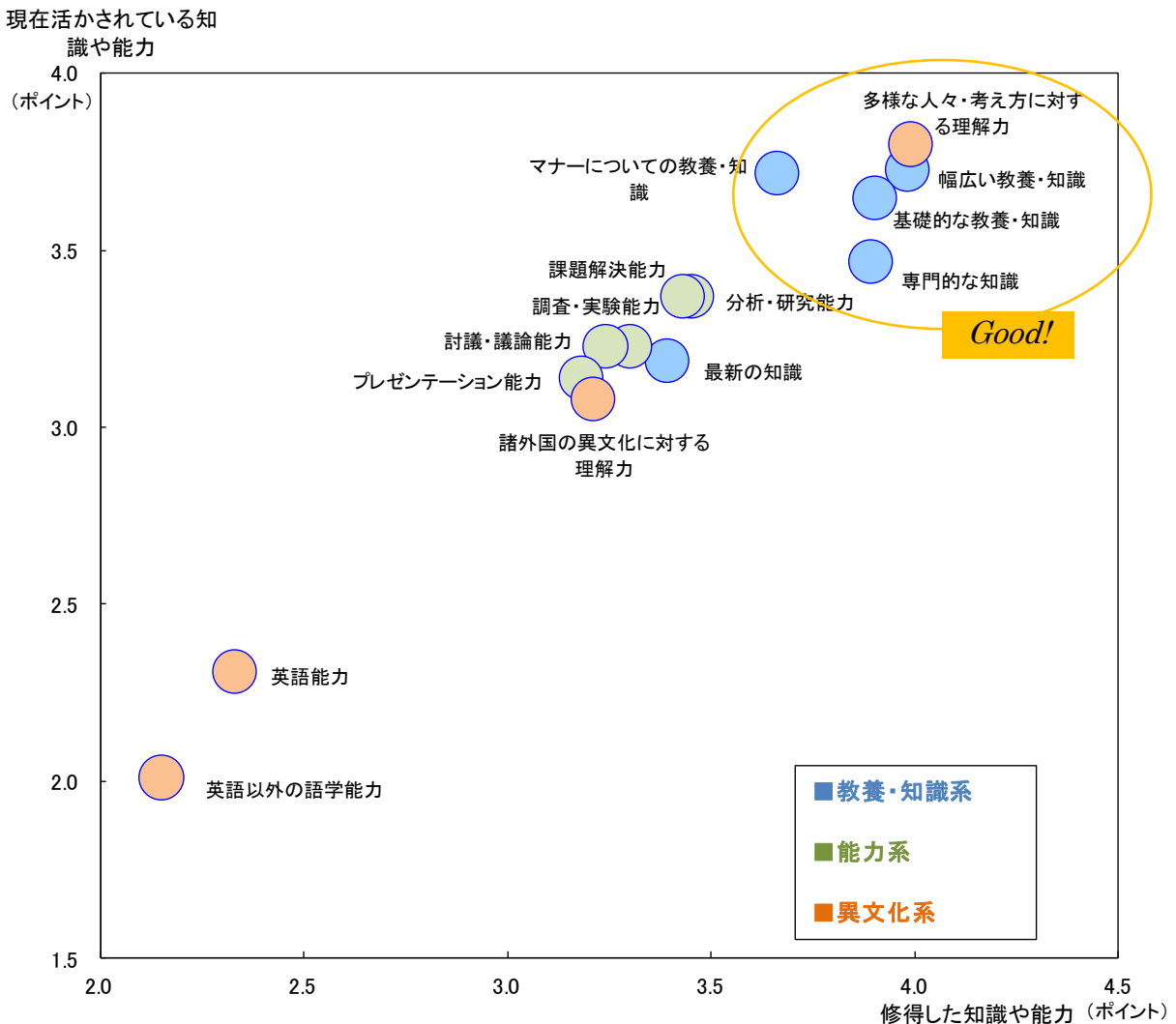
「学生時代に修得した知識や能力」と「現在活かされている知識や能力」を、それぞれ加重平均で点数化した。

グラフは正の相関関係がみられ、概ね熱心に取り組んだものほど、その後活用される度合いも高くなっている。

大きな分野で見ると、教養・知識系は「学生時代に身についた」という割合も高く、かつ「現在も活かされている」という割合も高いことから、理想的な修得といえる。修得したが、活かされていないというミスマッチはみられない。

また、異文化系のうち、「英語能力」と「英語以外の語学能力」については、修得・活用ともに低く、語学習得に関しては弱いことが読み取れる。

図表 2-15 修得した知識や能力×活用の度合い



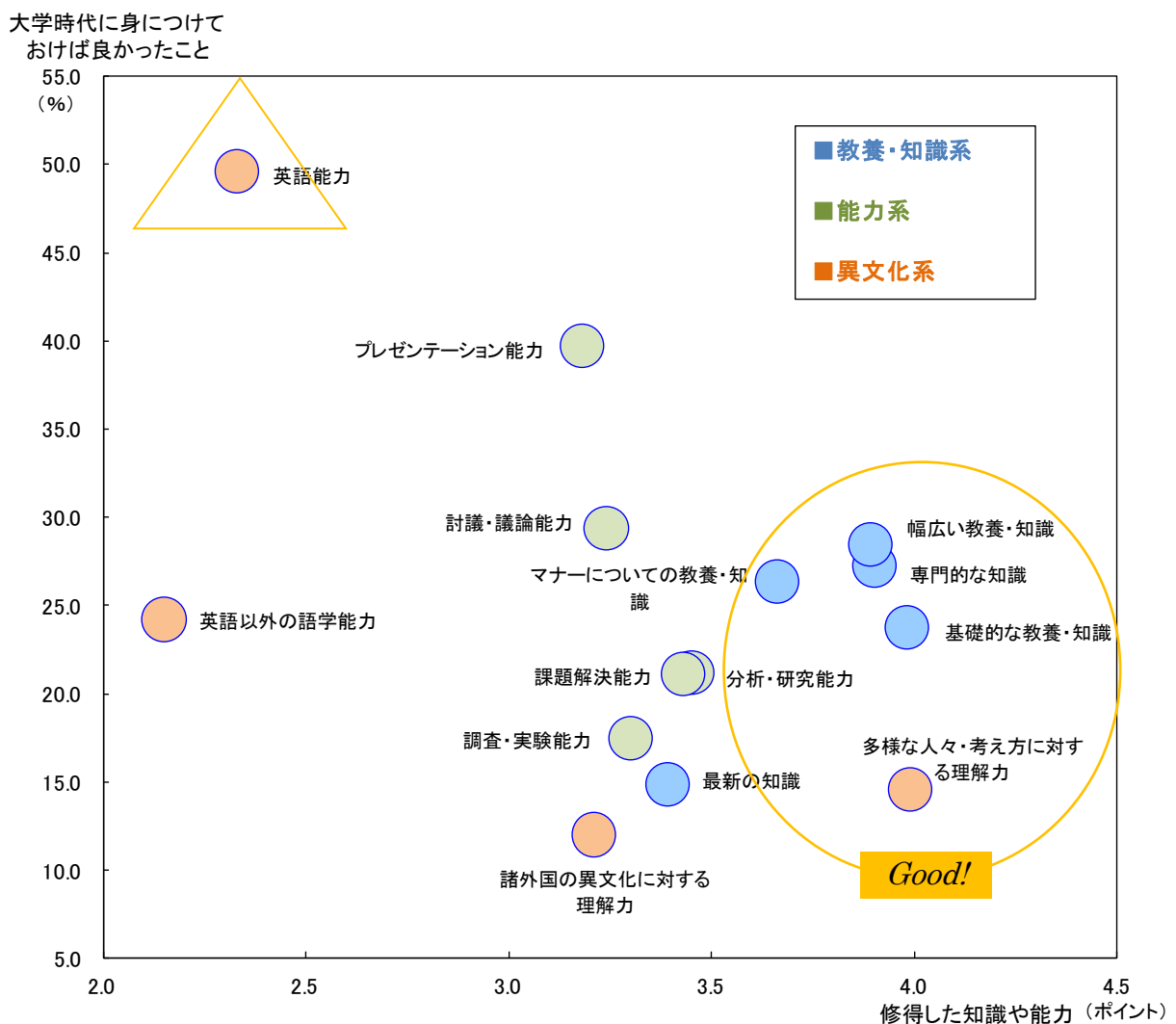
(2) 修得した知識や能力×活用の度合い

「学生時代に修得した知識や能力」は加重平均、「大学時代に身につけておけばよかったこと」は複数回答の回答割合である。概ね「修得した知識や能力」ほど「大学時代に身につけておけば良かった」という割合は低く、負の相関がみられる。

大きな分野でみると、教養・知識系は「学生時代に身につけた」という割合も高い一方、異文化系の中でも特に「英語能力」については自信がない卒業生が多くみられる。

能力系については、修得の割合はいずれも同程度ながら、社会人になってからの必要性に差があり、「プレゼンテーション能力」や「討議・議論能力」について、「調査・実験能力」や「課題解決能力」、「分析・研究能力」よりも必要性を感じている卒業生が多い。

図表 2-16 修得した知識や能力×身につけておけばよかったもの



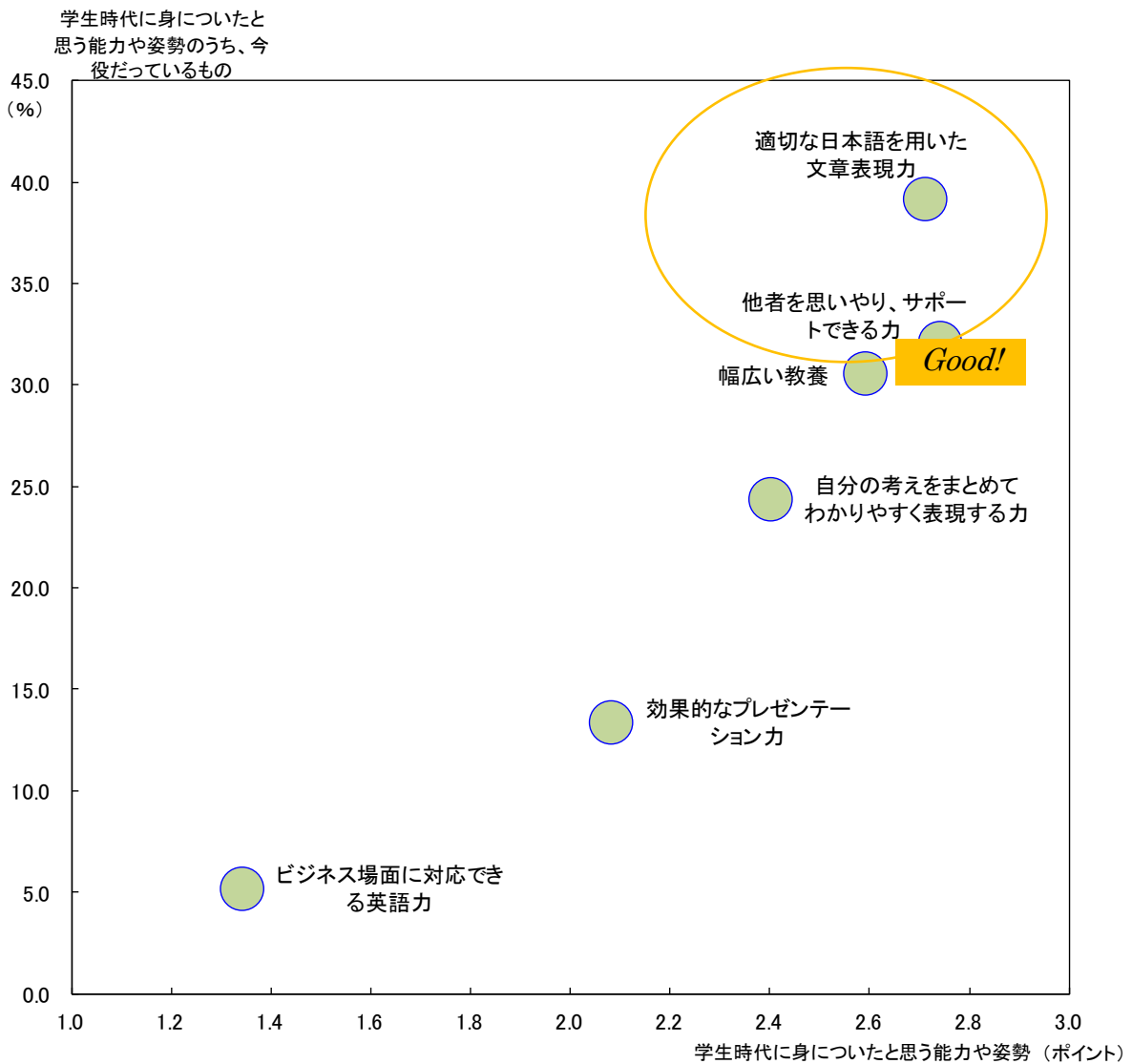
7. 就職時に求められる能力

(1) 学生時代に身についたと思う能力や姿勢×今役だっているもの

「学生時代に身についたと思う能力や姿勢」に関しては加重平均で点数化、「今役だっているもの」は複数回答の回答割合である。

グラフは正の相関関係がみられ、概ね熱心に取り組んだものほど、その後役立つ度合いも高くなっている。

図表 2-17 学生時代に身についたと思う能力×姿勢と今役だっているもの



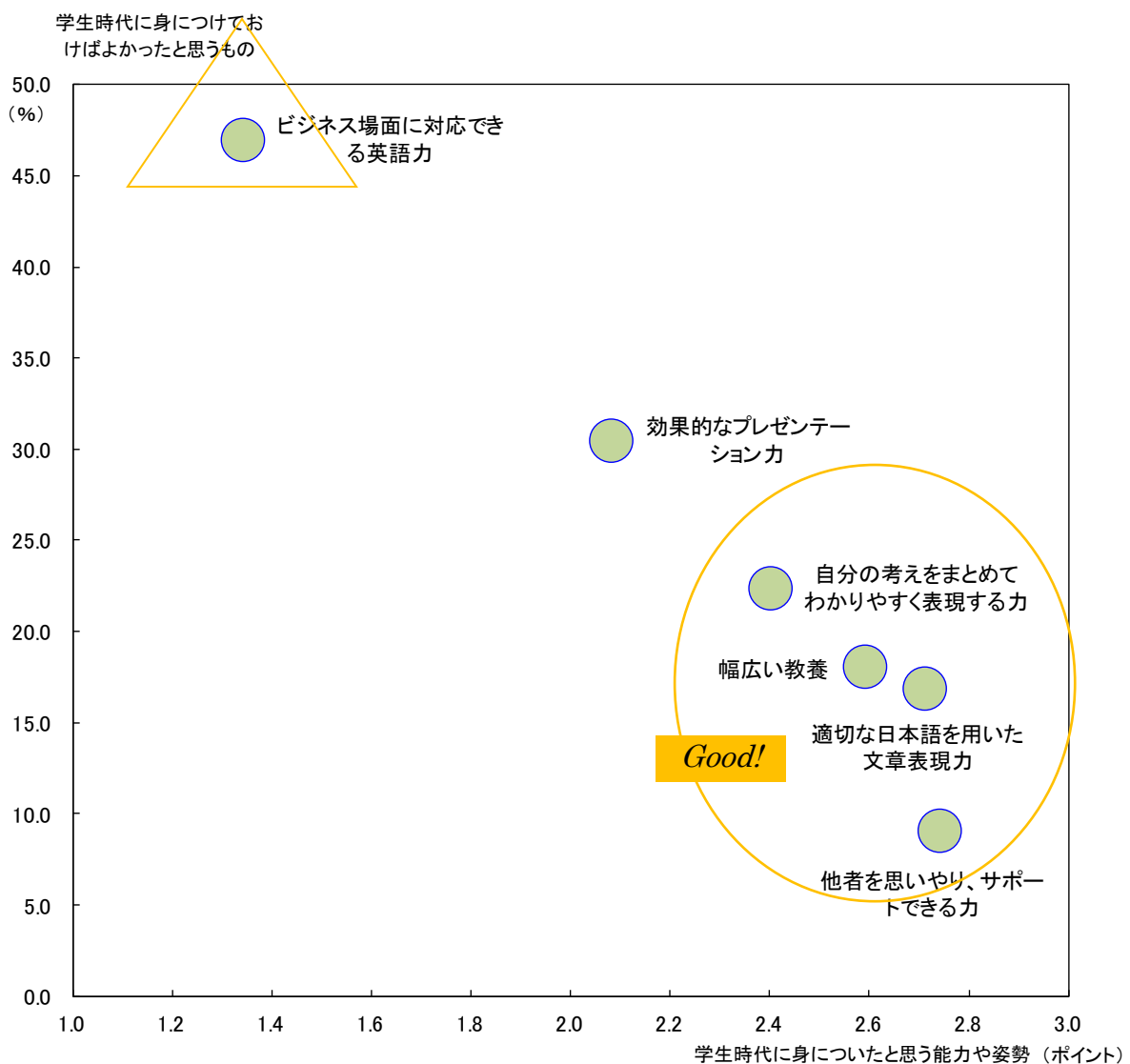
(2) 学生時代に身についたと思う能力や姿勢×学生時代に身につけておけばよかったもの

「学生時代に身についたと思う能力や姿勢」に関しては加重平均、「学生時代に身につけておけばよかったもの」は複数回答の回答割合である。

グラフは負の相関関係がみられ、「他者を思いやり、サポートできる力」、「適切な日本語を用いた文章表現力」、「幅広い教養」、「自分の考えをまとめてわかりやすく表現する力」は、身についたという割合も高い一方、「身につけておけばよかった」という割合も低いことから、自信のある能力と考えられる。

一方、「ビジネス場面に对应できる英語力」は、学生時代には身についたという割合が低く、「身につけておけばよかった」という割合が4割を超え、自信を持ってない卒業生が多いといえる。

図表 2-18 学生時代に身についたと思う能力や姿勢×身につけておけばよかったもの



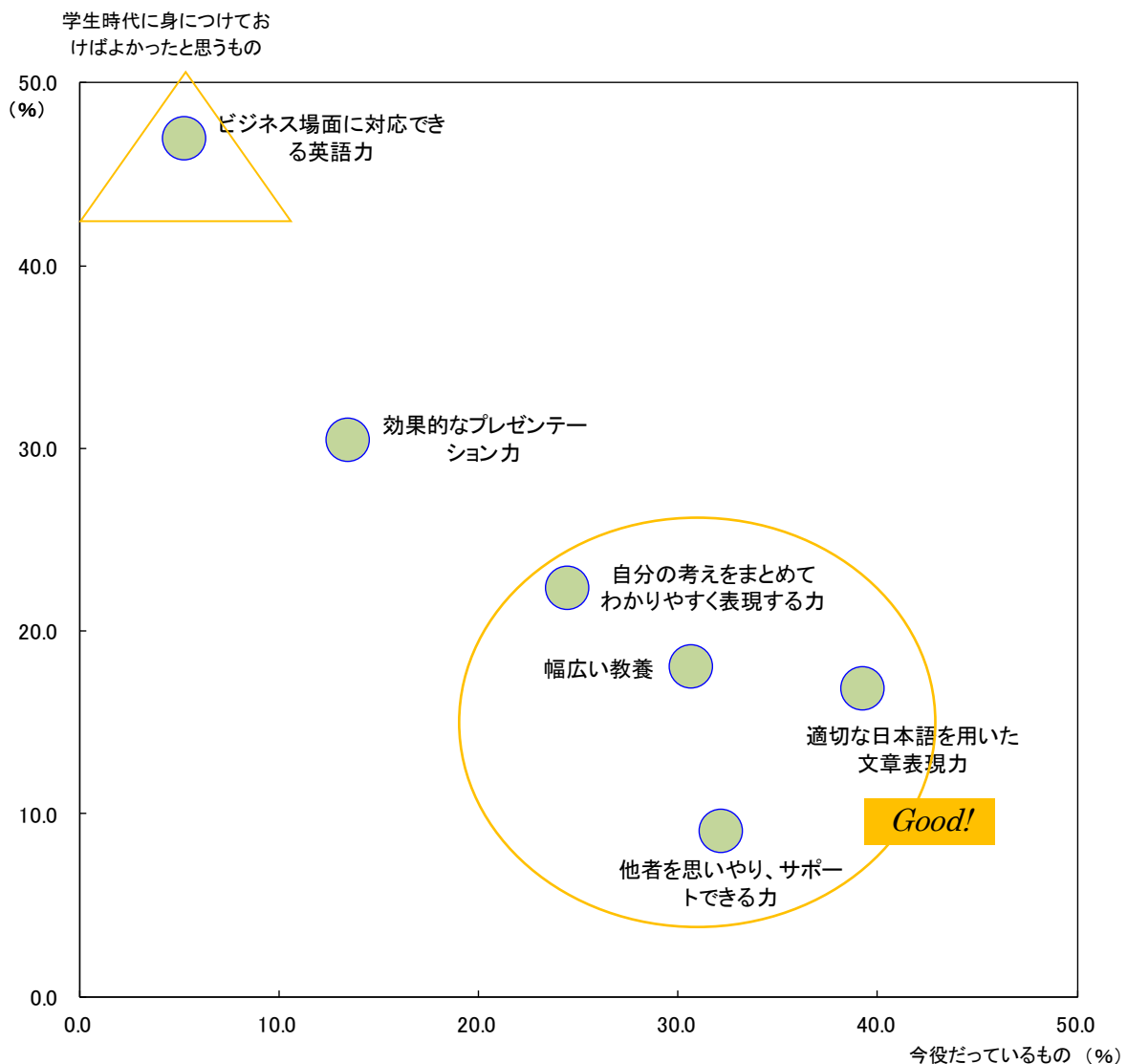
(3) 今役だっているもの×学生時代に身につけておけばよかったもの

「今役だっているもの」と「学生時代に身につけておけばよかったもの」は、それぞれ複数回答の回答割合である。

グラフは負の相関関係がみられる。能力の修得と役立ち度の間には正の相関があることから、前ページのグラフと似た傾向のグラフとなっており、「他者を思いやり、サポートできる力」、「適切な日本語を用いた文章表現力」、「幅広い教養」、「自分の考えをまとめてわかりやすく表現する力」は、役立っているという割合も高い一方、「身につけておけばよかった」という割合は低いことから、能力は社会人生活において要求される水準を満たしているものと思われる。

「ビジネス場面に対応できる英語力」に関しては、今現在は英語を必要とする業務ではないものの、必要性は感じており、長期的な視点でキャリアを考えると潜在的に需要があると考えられている。

図表 2-19 今役だっているものと学生時代に身につけておけばよかったもの



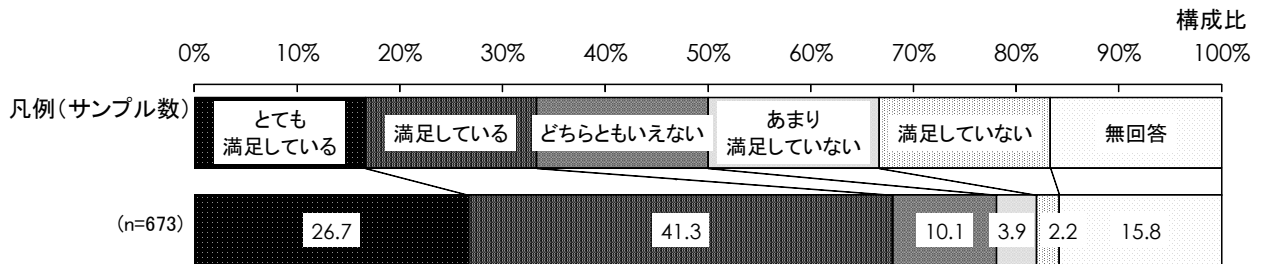
8. 満足度とその理由

本学に「とても満足している」と「満足している」を合わせた割合は 68.0%、一方、「あまり満足していない」と「満足していない」を合わせた割合は 6.1%で、『満足』が『不満足』を大きく上回っている。

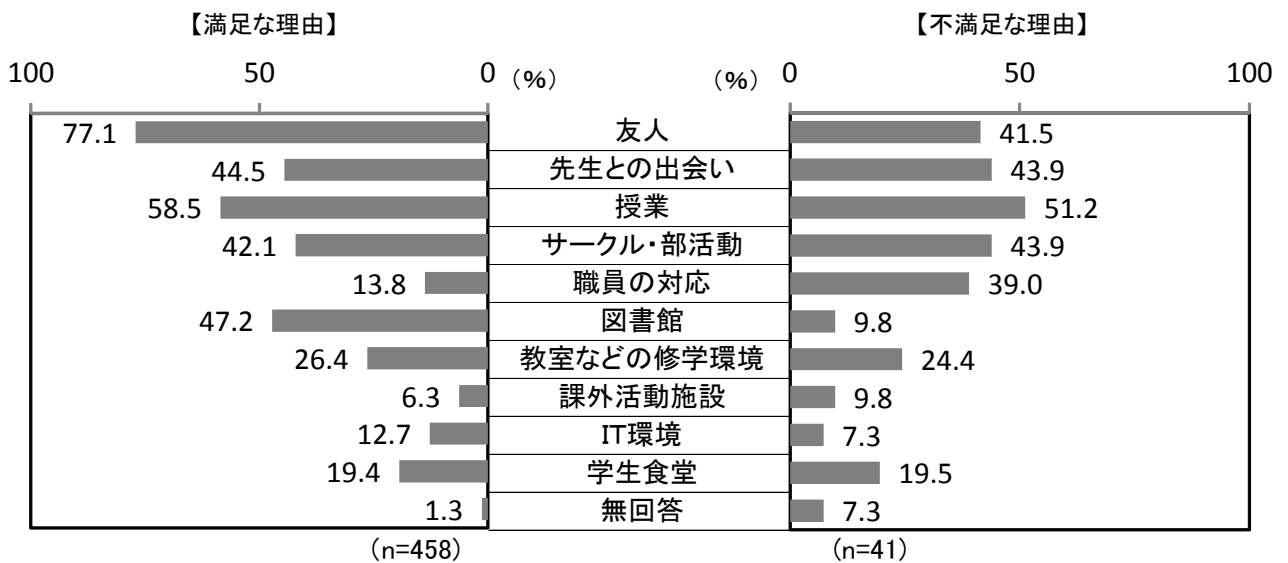
満足の理由と不満足の理由を比較すると、満足の方では「友人（との出会いがあった）」が 77.1%で最も高くなっているのに対し、不満足の場合は友人よりもむしろ「授業（が面白くなかった）」が 51.2%と半数以上となっている。

「図書館」は満足度を高めるのに寄与し、不満理由にあげる割合は約 1 割と少ない。一方、「職員の対応」は、満足度を高める理由にはなりにくい、不満の原因になりやすく「職員の対応が不適切であった」は約 4 割と高くなっている。

図表 2-20 本学に対する総合的な満足度



図表 2-21 満足・不満足の理由



第3章 調査結果（詳細）

第3章 調査結果（詳細）

問1 属性

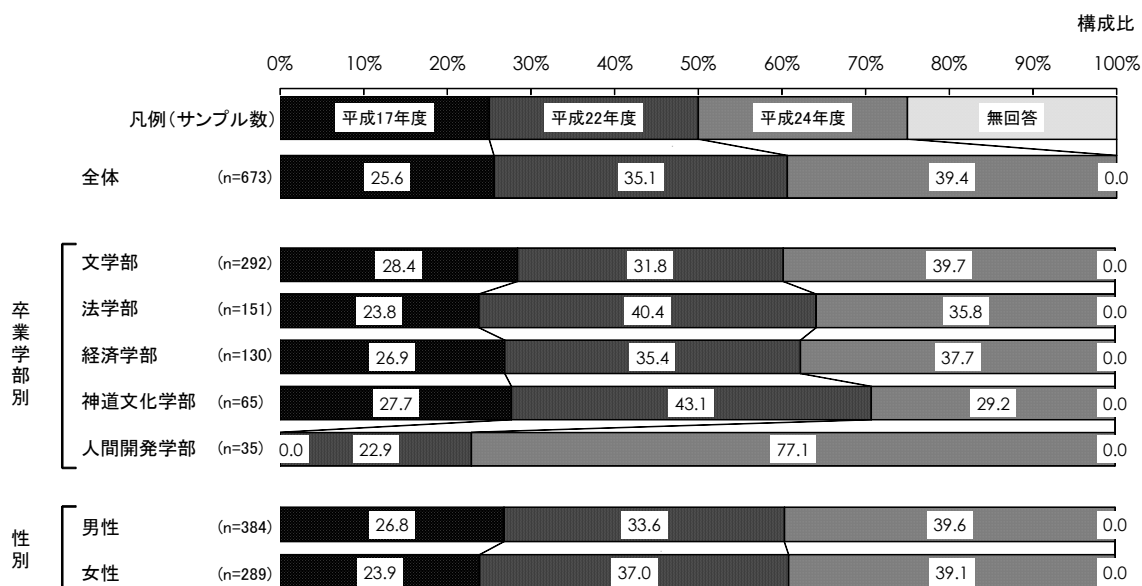
1. 卒業された年度をお答えください。

卒業年度は、「平成24年度」が最も多く39.4%、次いで「平成22年度」が35.1%、「平成17年度」が25.6%となっている。

卒業学部別にみると、文学部、法学部、経済学部はいずれも「平成24年度」が最も多く、次いで「平成22年度」、「平成17年度」の順となっているが、神道文化学部は「平成22年度」が43.1%で最も多く、他学部と異なる傾向がみられる。また人間開発学部については、「平成17年度」の卒業生は含まれていない。

性別では、男女ともに「平成24年度」が最も多く、次いで「平成22年度」、「平成17年度」の順となっている。

図表3-1 卒業年度（SA）



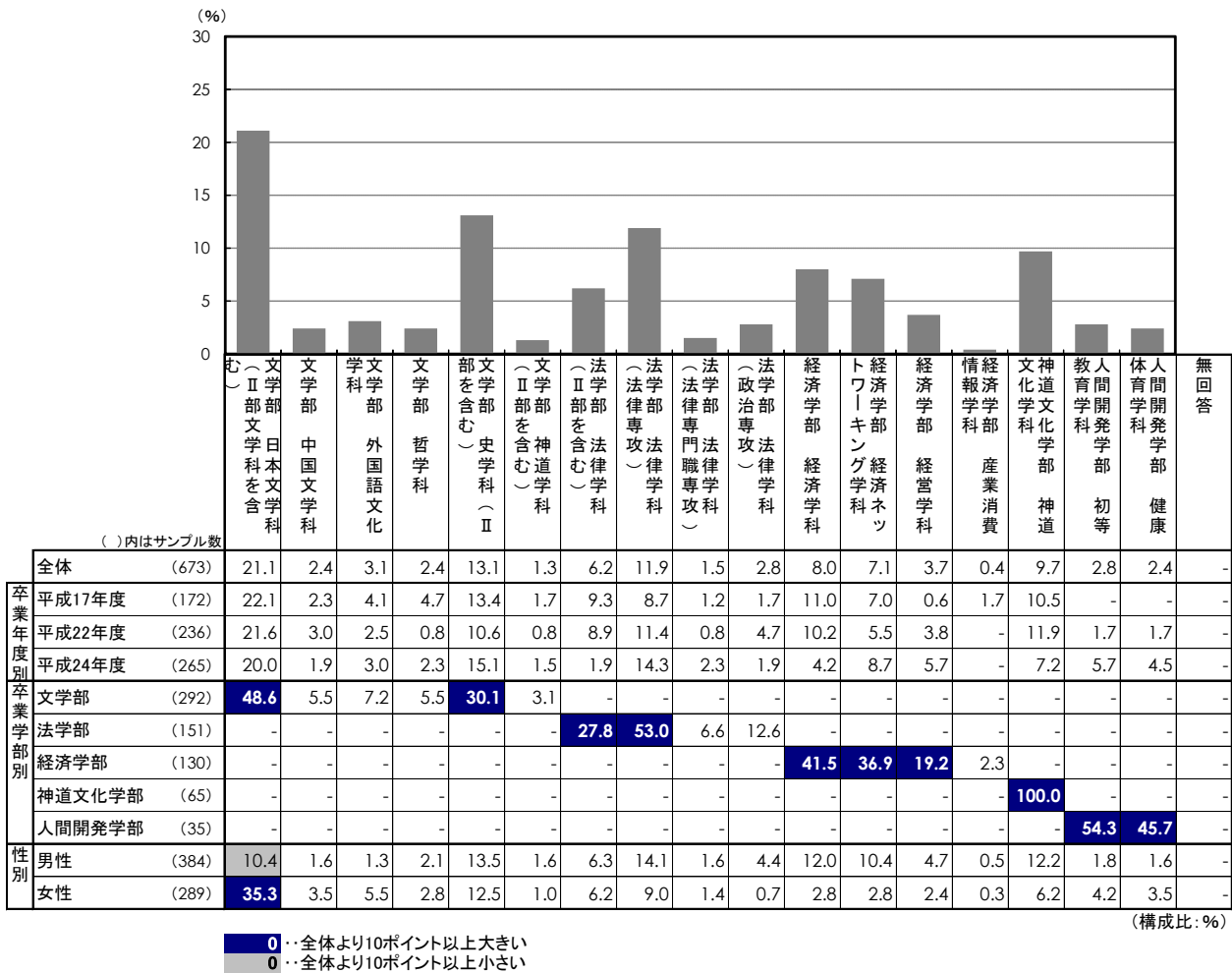
2. 卒業された学部・学科をお答えください。

卒業学部・学科は「文学部 日本文化学科（Ⅱ部文学科を含む）」が最も多く 21.1%、次いで「文学部 史学科（Ⅱ部を含む）」が 13.1%、「法学部 法律学科（法律専攻）」が 11.9%などの順となっている。

卒業年度別にみると、平成 17 年度卒業生には「人間開発学部 初等教育学科」と「人間開発学部 健康体育学科」が含まれず、平成 22 年度及び 24 年度卒業生は「経済学部 産業消費情報学科」が含まれておらず、年度によって構成が異なる点に注意する必要がある。

性別にみると、男性は「法学部 法律学科（Ⅱ部を含む）」が 14.1%で最も多く、次いで「文学部 史学科（Ⅱ部を含む）」が 13.5%、「神道文化学部 神道文化学科」が 12.2%などの割合が高いのに対し。女性は「文学部 日本文学部（Ⅱ部文学科を含む）」が 35.3%で、全体の 3 分の 1 を超えている。

図表 3-2 卒業学部・学科（SA）



3. 年齢をお答えください。(2016年4月1日現在でお答えください。)

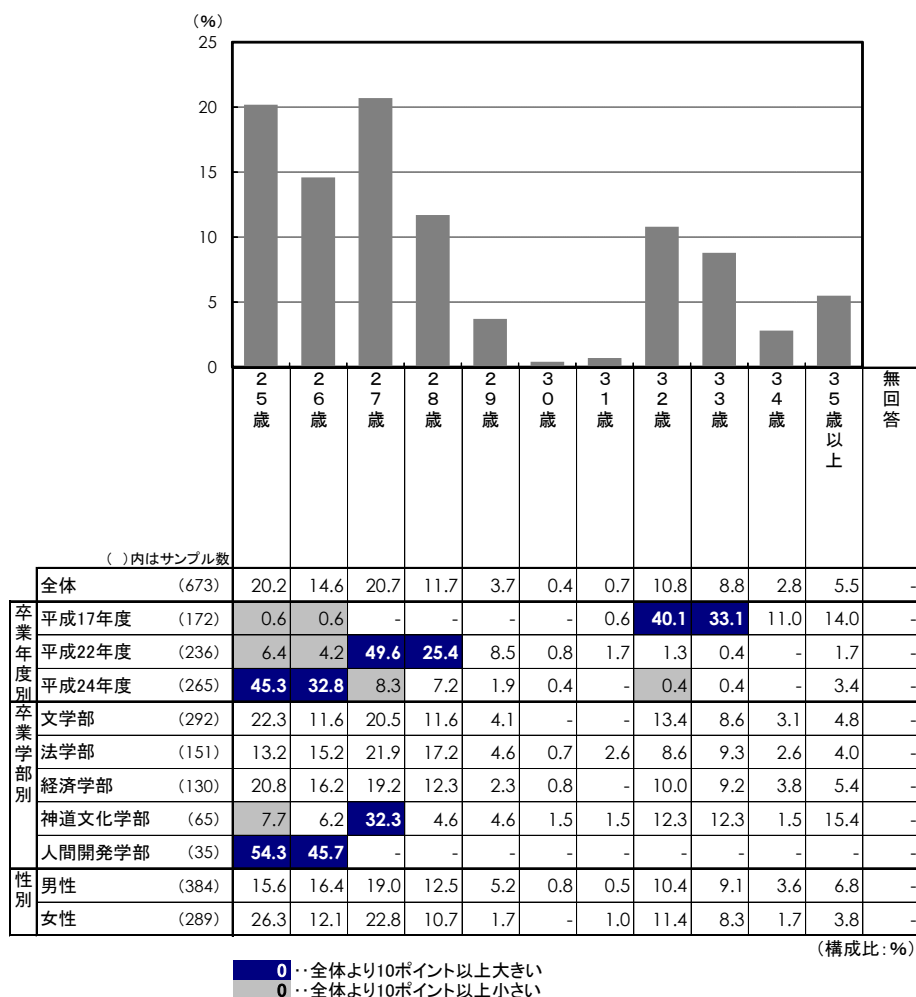
年齢は「27歳」が最も多く20.7%、次いで「25歳」が20.2%、「26歳」が14.6%などの順となっている。回答が正規分布しないのは、調査対象者の抽出年度が非連続であることが一因である。

卒業年度別にみると、平成17年度卒業生では「32歳」と「33歳」が多い。同様に、平成22年度卒業生では「27歳」と「28歳」、平成24年度卒業生では「25歳」と「26歳」がそれぞれ多くなっている。

卒業学部別にみると、新設の人間開発学部は「25歳」と「26歳」のみで、他学部と異なる。また神道文化学部は、「35歳以上」が15.4%となっており、他学部に比べ年齢が高い傾向がみられる。

性別では、男性は「27歳」が最も多く19.0%、女性は「25歳」が最も多く26.3%となっている。

図表3-3 年齢(SA)



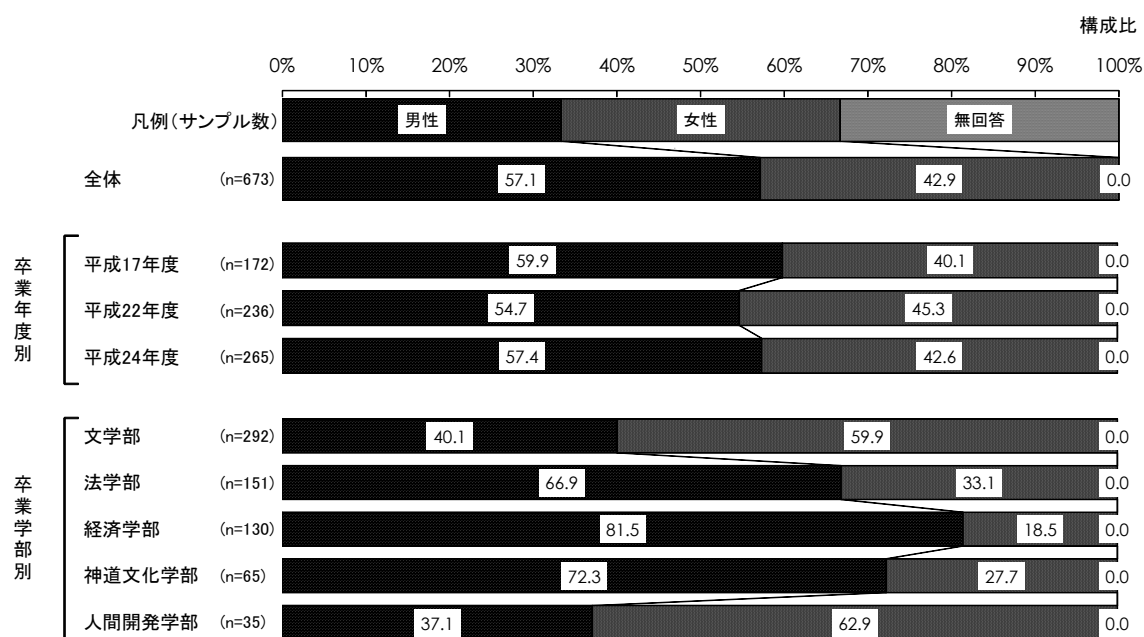
4. 性別をお答えください。(1つ選択)

性別は、「男性」が57.1%、「女性」が42.9%で、男性の回答が女性を上回っている。

卒業年度別にみても、いずれの年度も「男性」の割合が「女性」を上回っている。

卒業学部別にみると、文学部と人間開発学部は「女性」の割合が男性を上回っており、それぞれ59.9%、62.9%となっている。

図表3-4 性別 (SA)



5. 現在の居住地をお答えください。

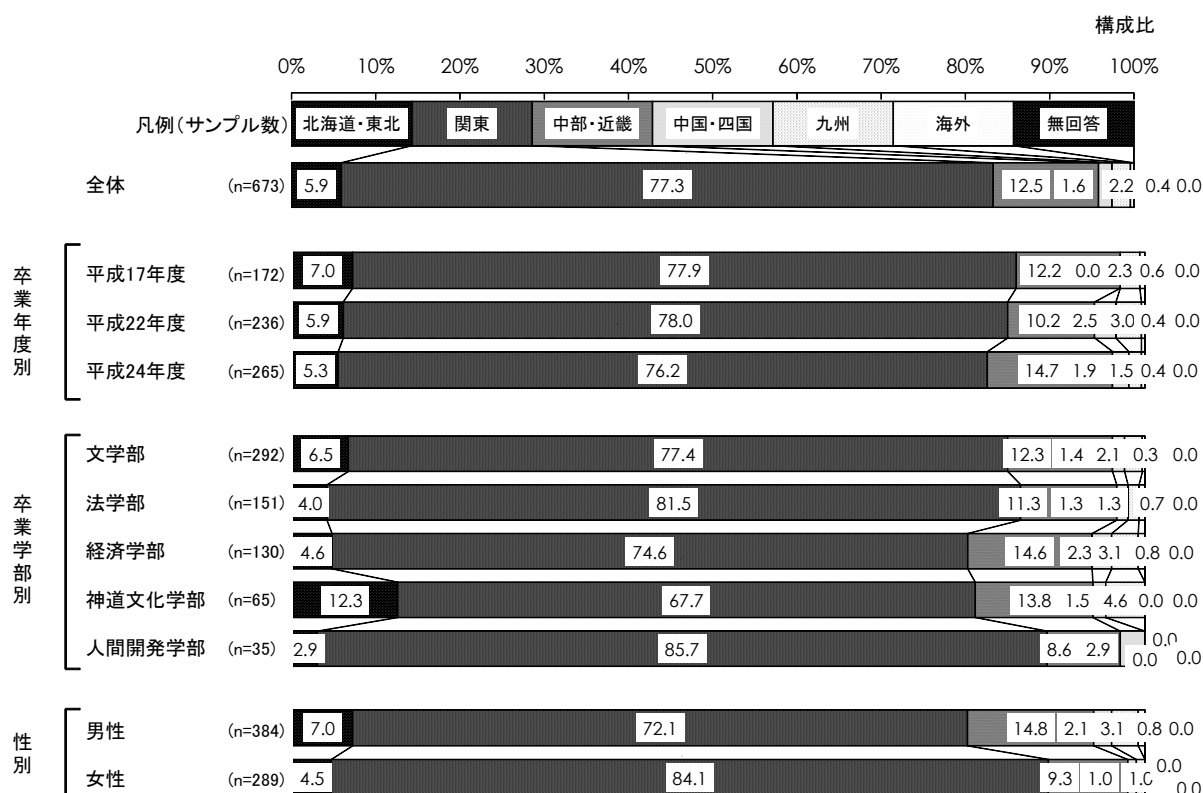
居住地は「関東」が最も多く 77.3%、次いで「中部・近畿」が 12.5%、「北海道・東北」が 5.9% などの順となっている。

卒業年度別にみると、いずれの年度も「関東」、「中部・近畿」、「北海道・東北」の順となっている。

卒業学部別にみると、神道文化学部において、他学部に比べて「北海道・東北」の割合が 12.3% と高いのが特徴である。

性別でみると、男女ともに「関東」、「中部・近畿」、「北海道・東北」の順となっているが、女性の方が男性より「関東」の割合が 10 ポイント以上高くなっている。

図表 3-5 居住地 (SA)



問2 学修方法

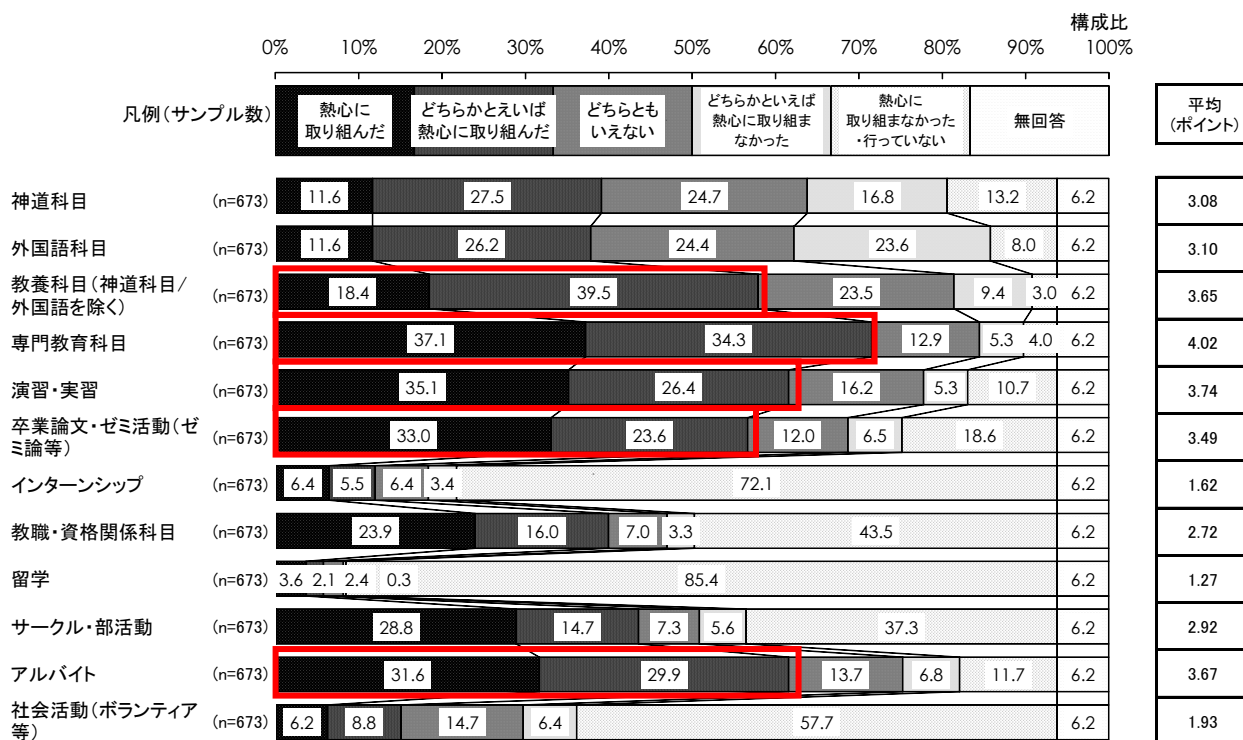
6. 学生時代の学修等への取組状況をお答えください。(それぞれ1つ選択)

科目別を取組状況を見ると、「熱心に取り組んだ」と「どちらかといえば熱心に取り組んだ」を合わせた割合が高いのは、[専門教育科目]が最も高く71.4%、次いで[演習・実習]が61.5%、同じく[アルバイト]が61.5%などの順となっている。

加重平均をみると、最も点数が高いのは[専門教育科目]で4.02ポイント、次いで[演習・実習]が3.74ポイント、[アルバイト]が3.67ポイントなどの順となっている。

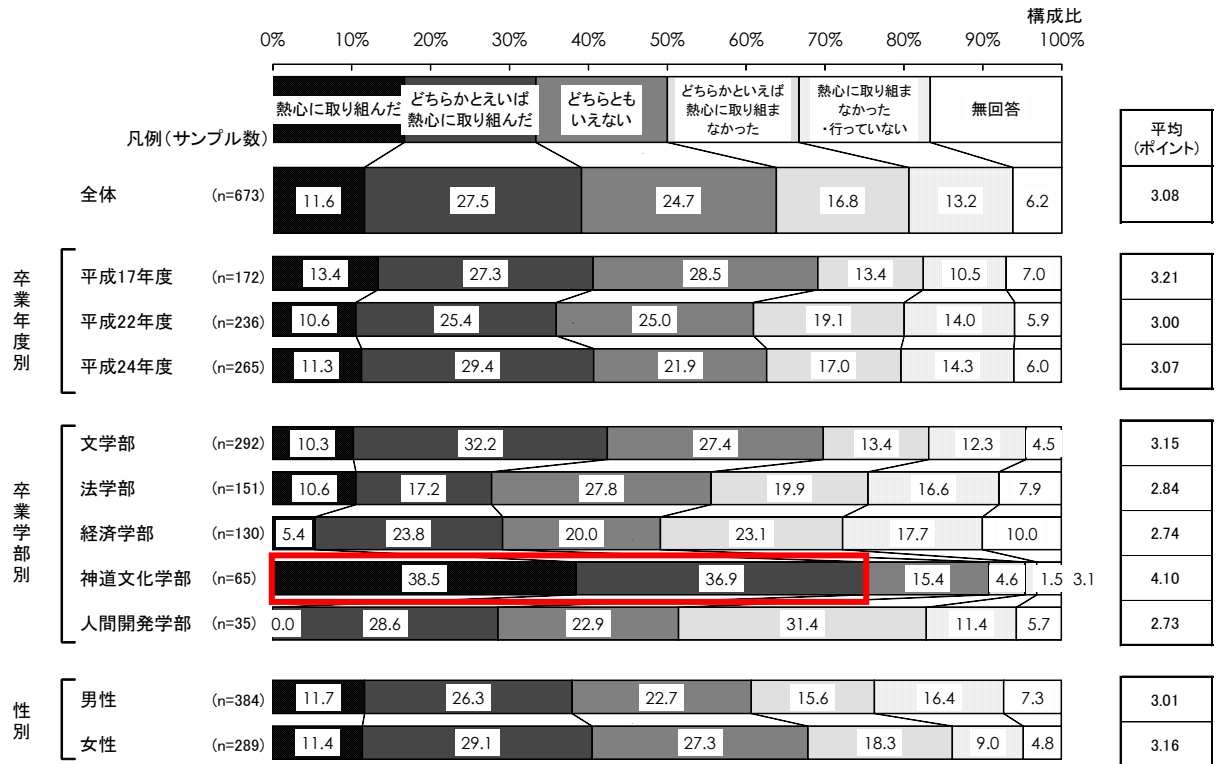
逆に点数が最も低いのは[留学]で1.27ポイント、次いで[インターンシップ]が1.62ポイント、[社会活動(ボランティア等)]が1.93ポイントなどの順となっている。

図表3-6 取組状況 (SA)

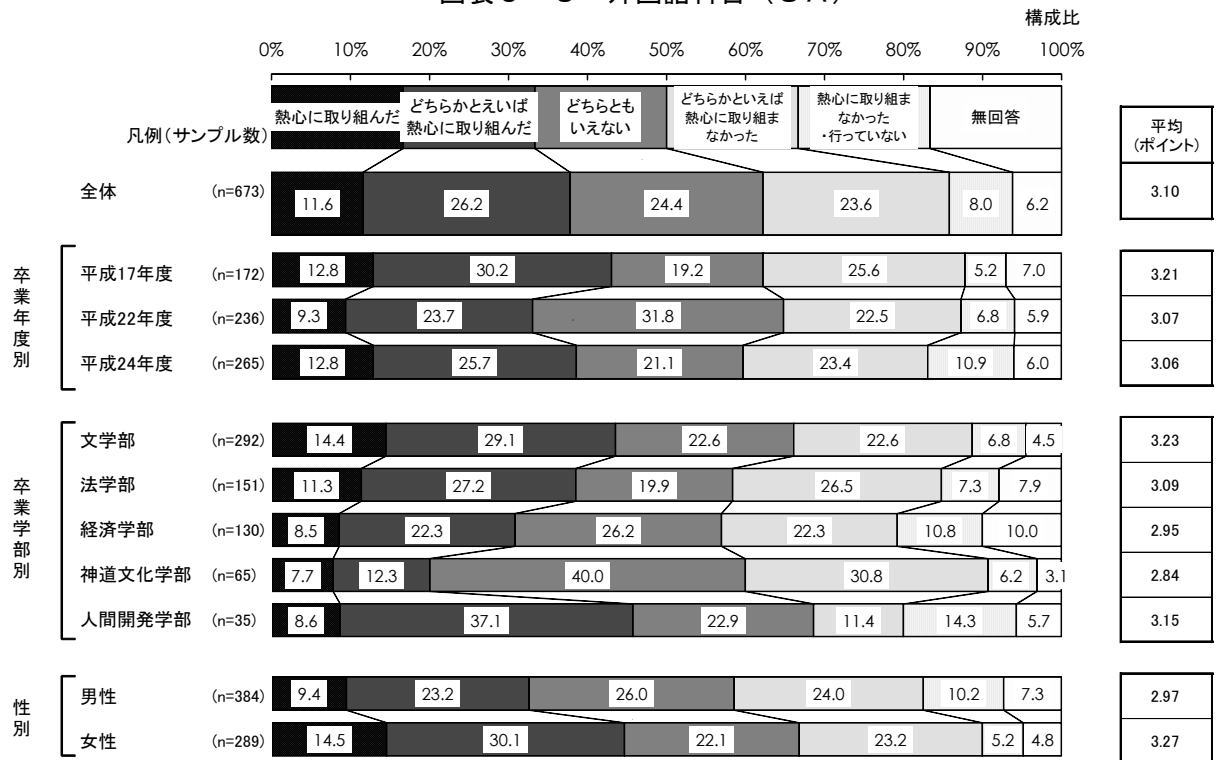


※「熱心に取り組んだ」5ポイント、「どちらかといえば熱心に取り組んだ」4ポイント、「どちらともいえない」3ポイント、「どちらかといえば熱心に取り組まなかった」2ポイント、「熱心に取り組まなかった・行っていない」1ポイントで平均を抽出。

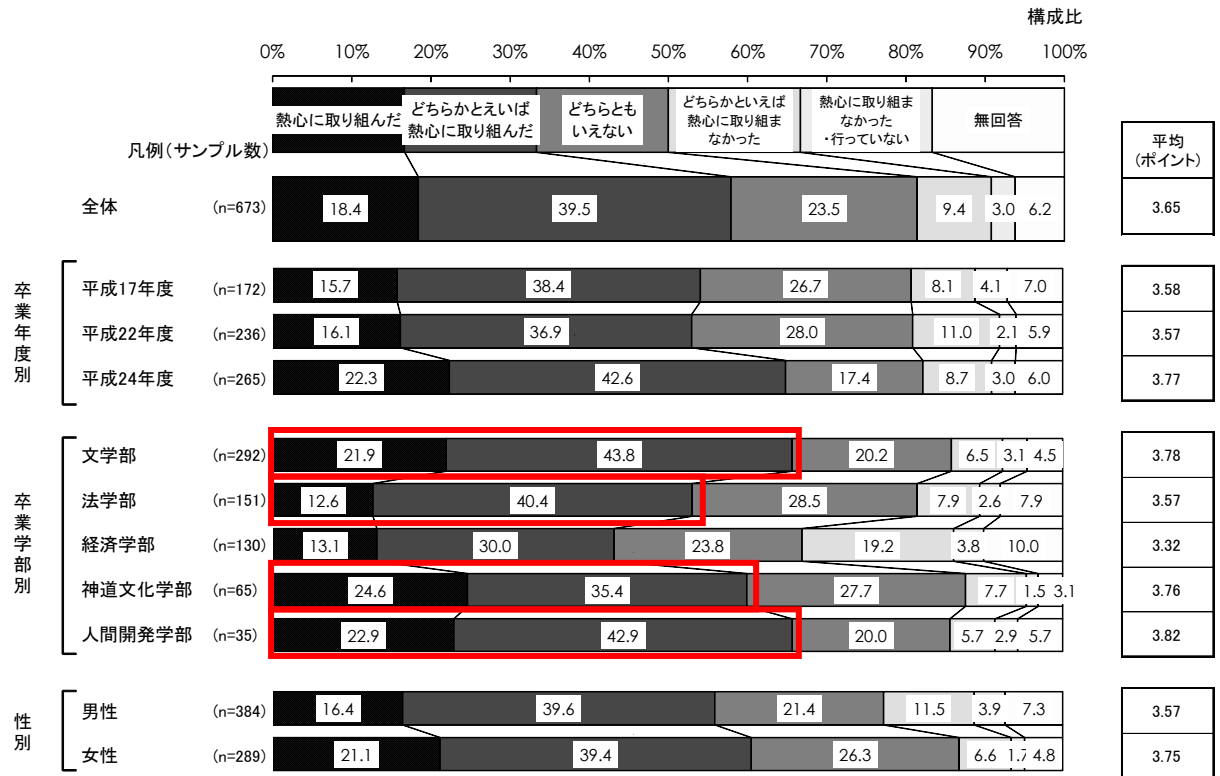
図表 3-7 神道科目 (SA)



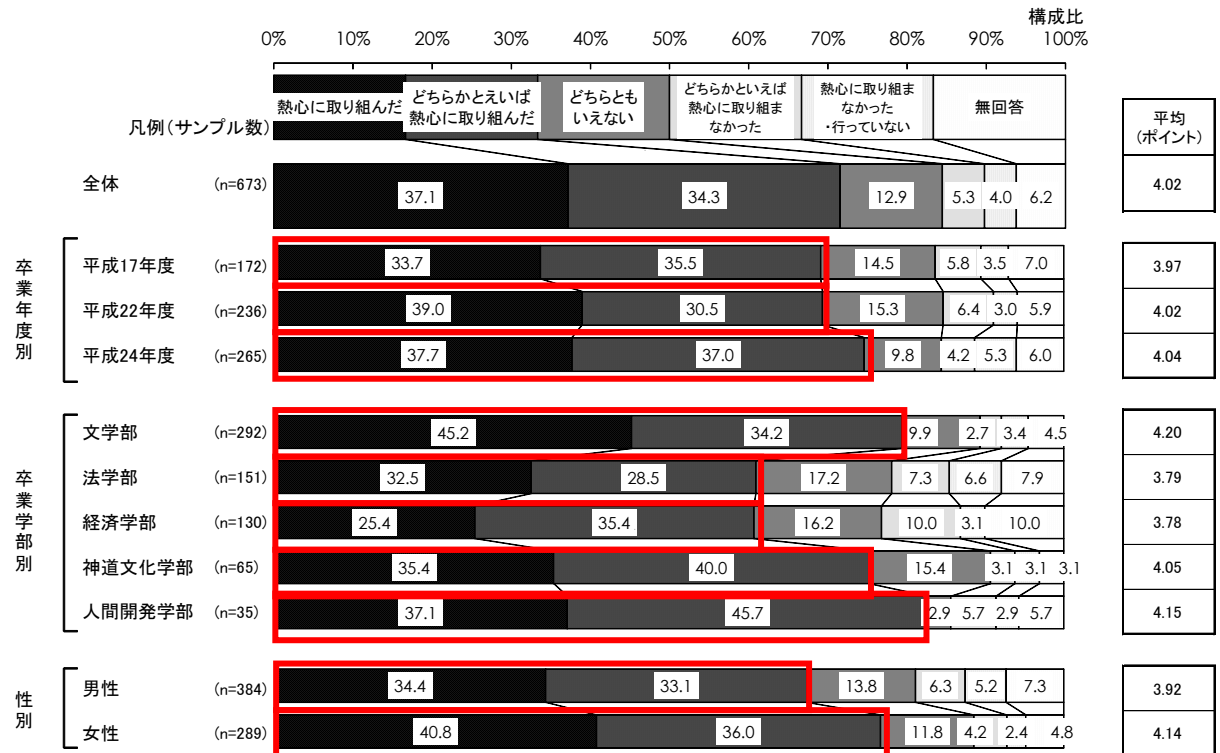
図表 3-8 外国語科目 (SA)



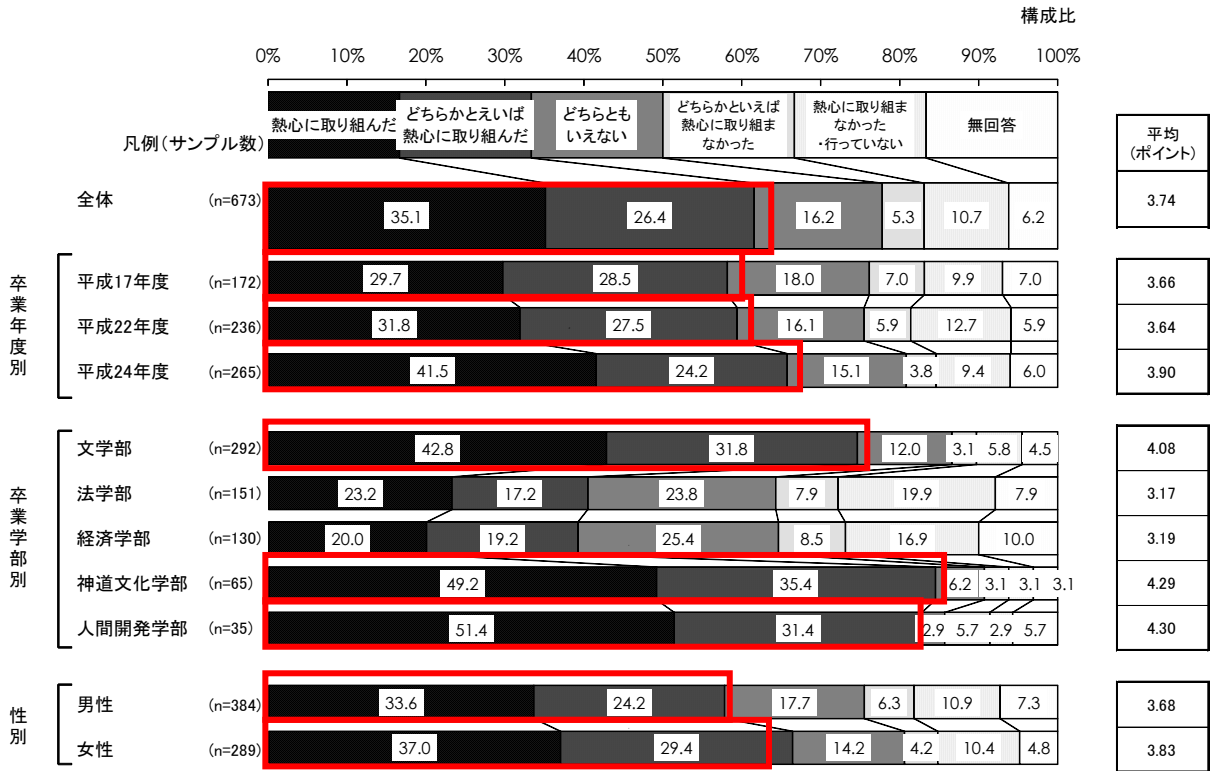
図表3-9 教養科目（神道科目/外国語を除く）（SA）



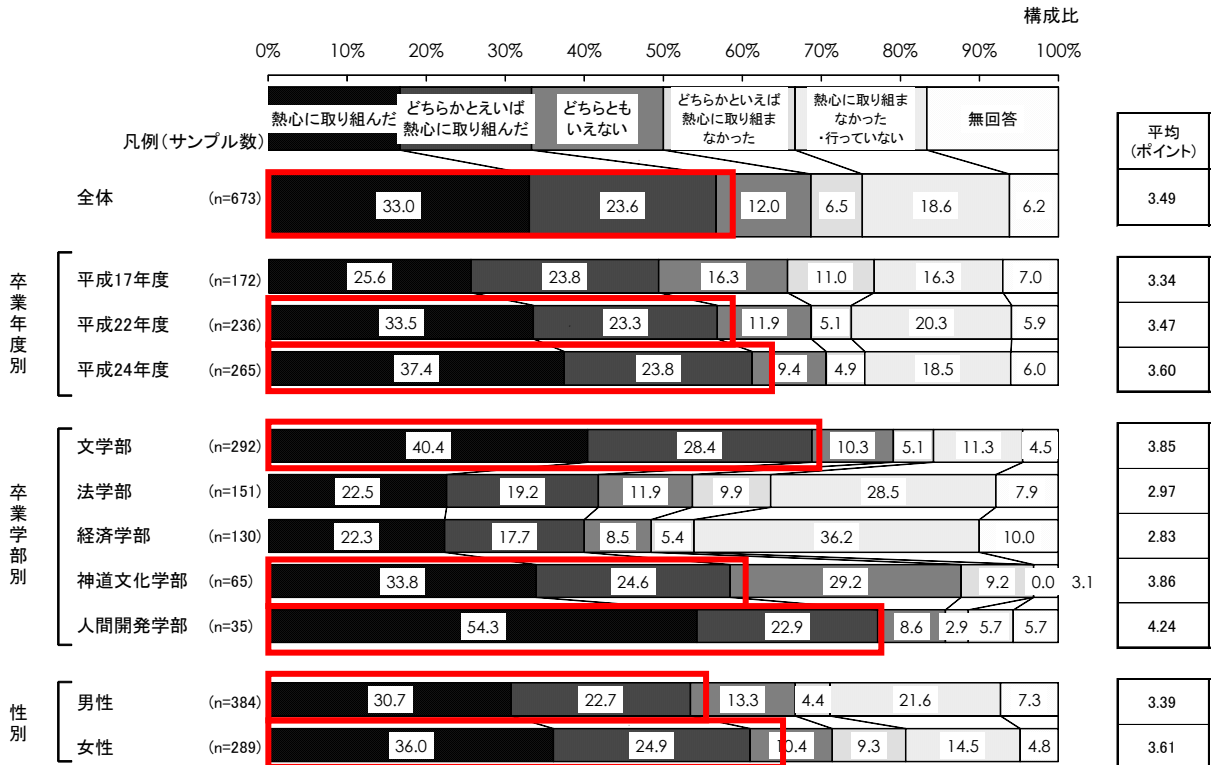
図表3-10 専門教育科目（SA）



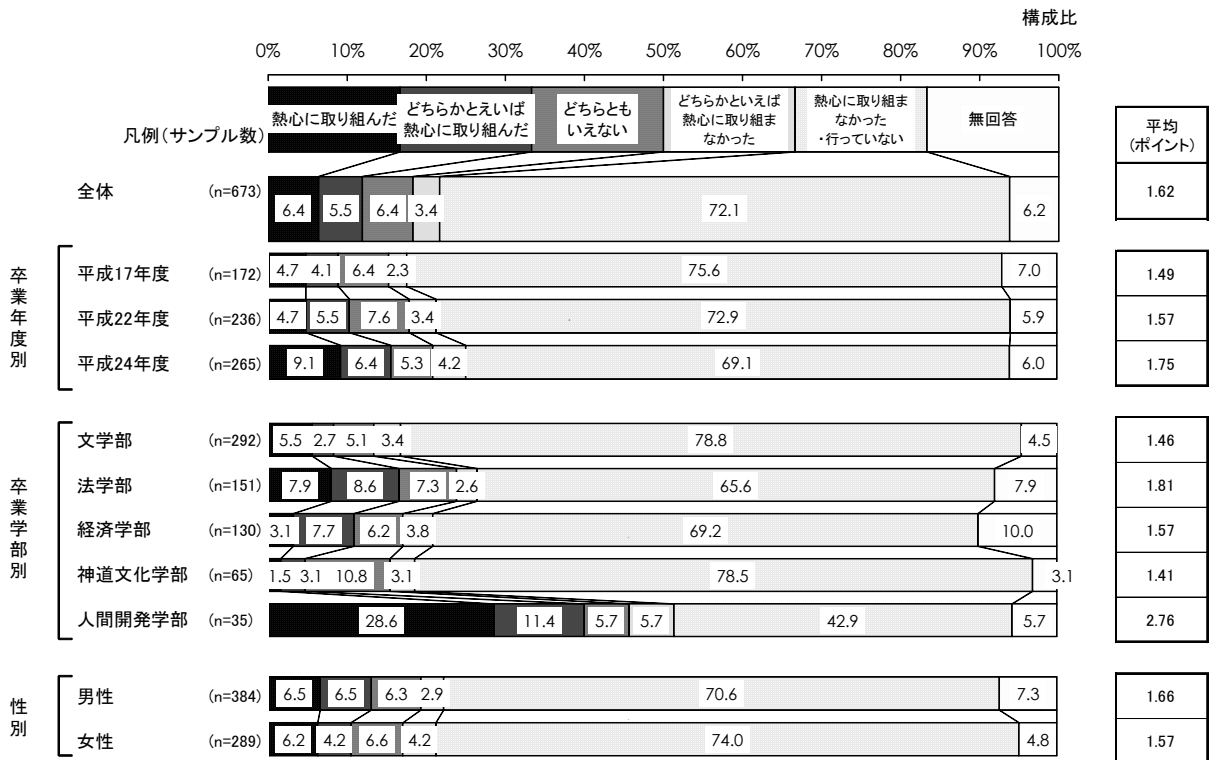
図表3-11 演習・実習（SA）



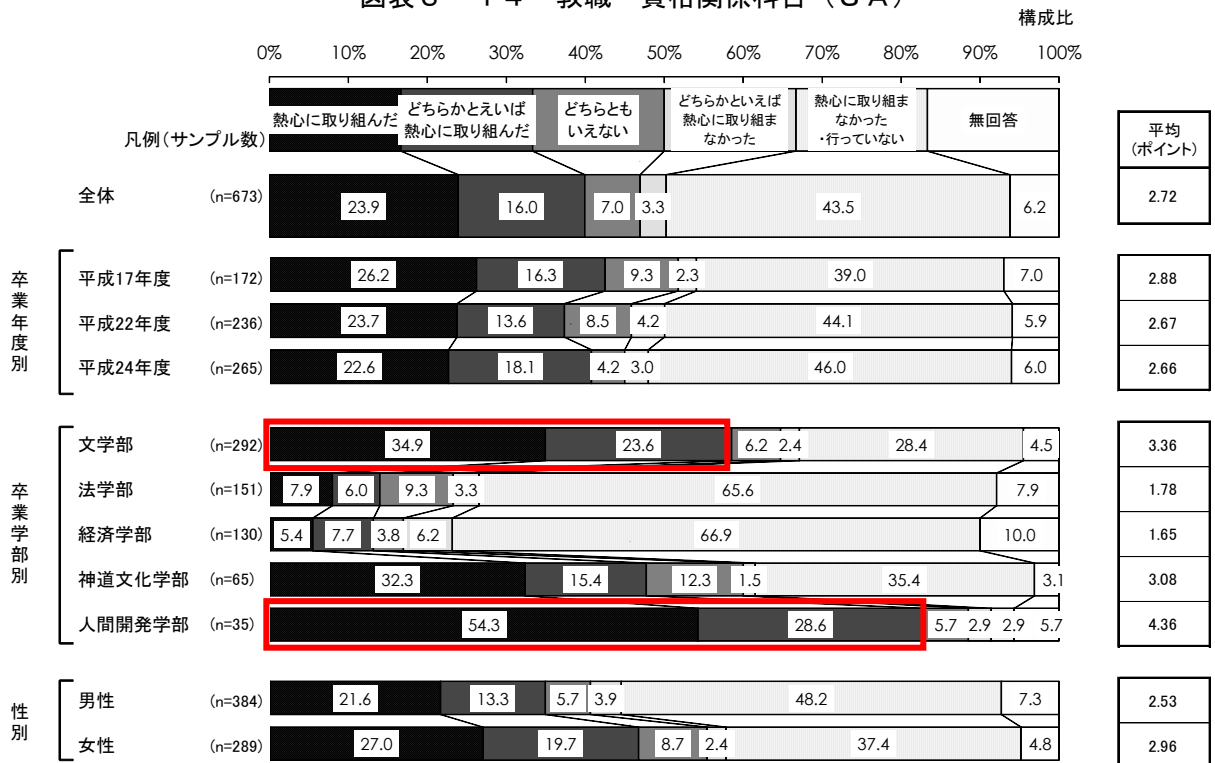
図表3-12 卒業論文・ゼミ活動（ゼミ論等）（SA）



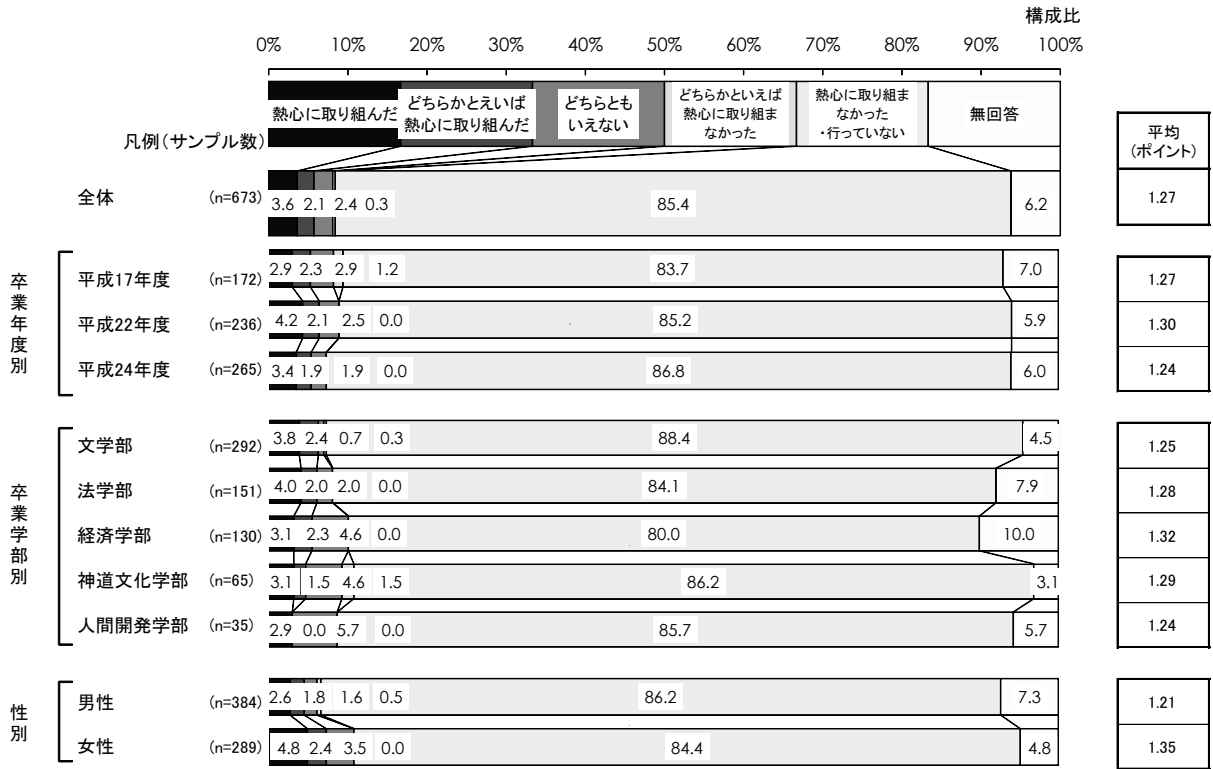
図表3-13 インターンシップ (SA)



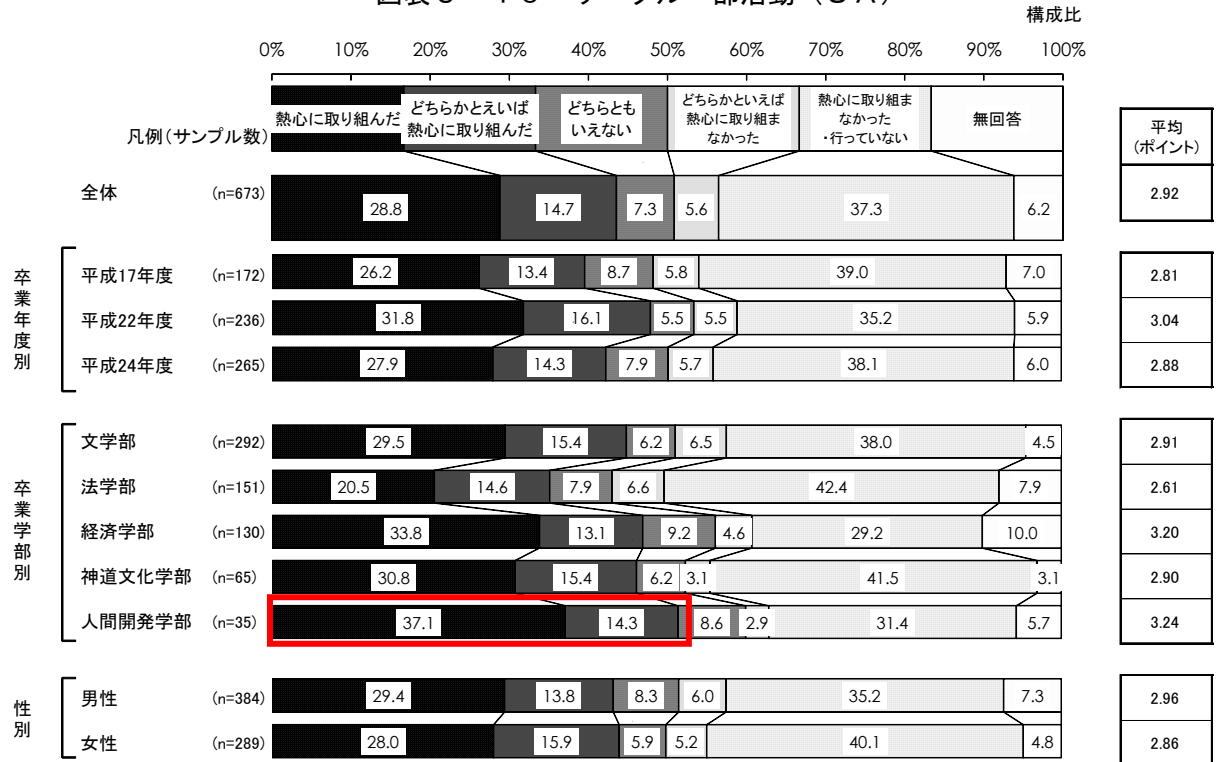
図表3-14 教職・資格関係科目 (SA)



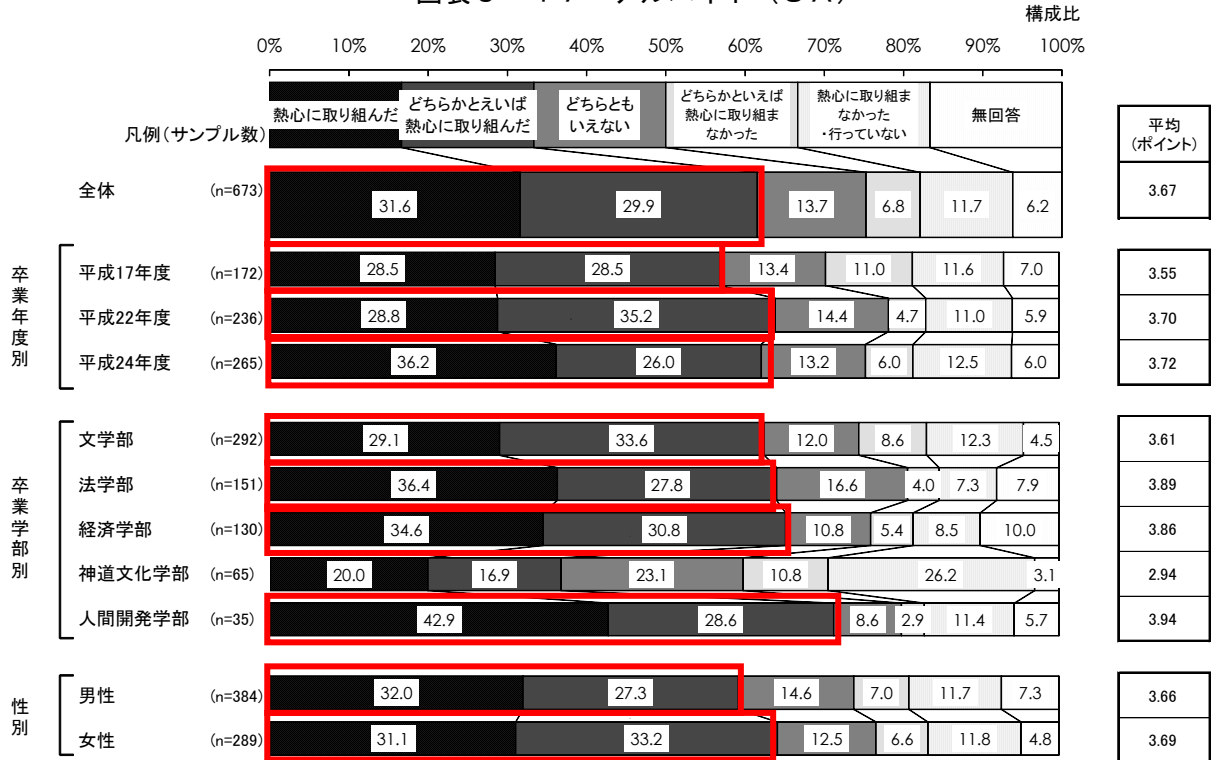
図表 3-15 留学 (SA)



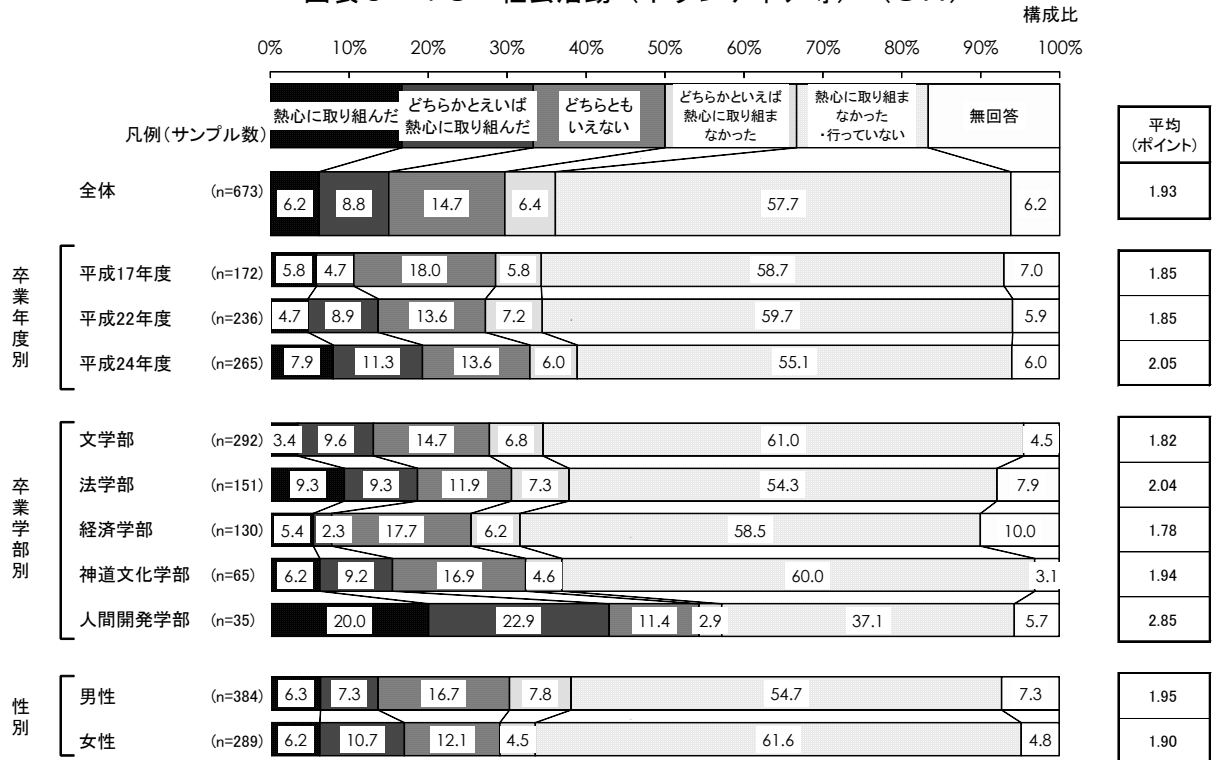
図表 3-16 サークル・部活動 (SA)



図表3-17 アルバイト (SA)



図表3-18 社会活動 (ボランティア等) (SA)



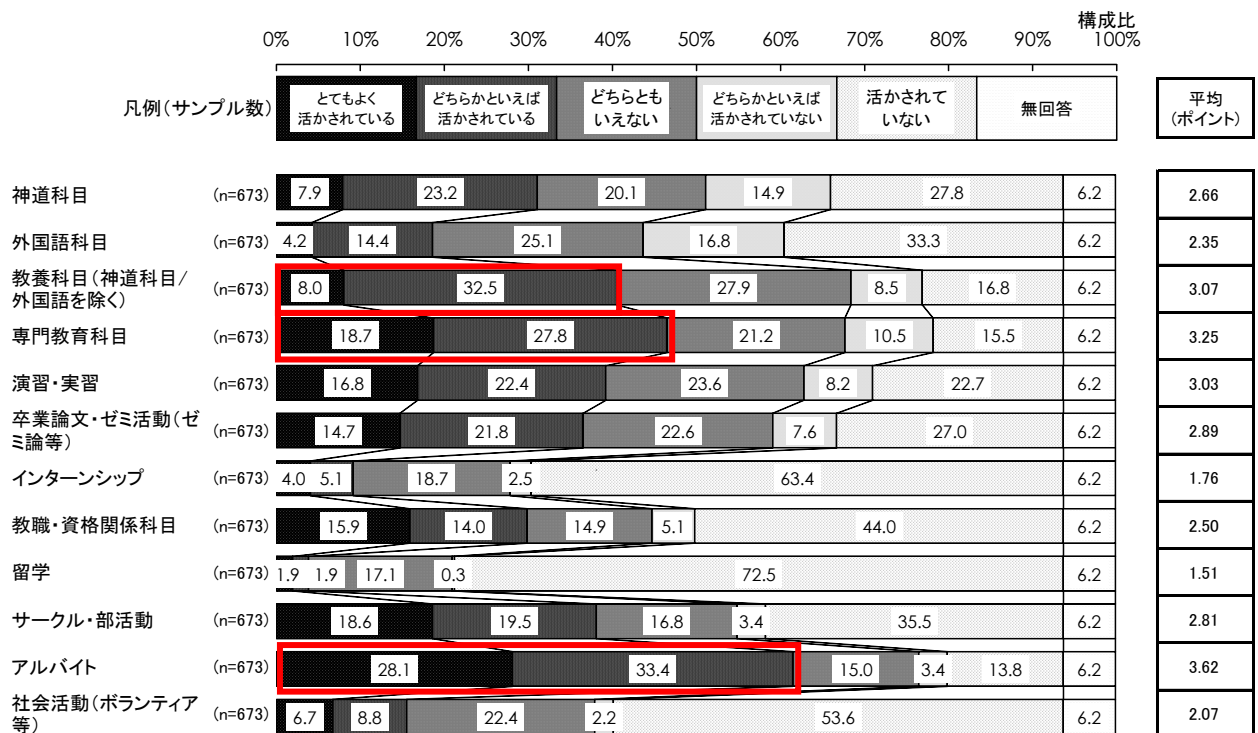
7. 学生時代に学修したことや取り組んだことは、現在の社会人生活でどの程度活かされていますか。(それぞれ1つ選択)

社会人生活での活用の度合いは、「とてもよく活かされている」と「どちらかといえば活かされている」を合わせた割合が高いのは、[アルバイト]が最も高く 61.5%、次いで[専門教科科目]が 46.5%、[教養科目]が 40.5%などの順となっている。

加重平均すると、最も点数が高いのは[アルバイト]で 3.62 ポイント、次いで[専門教育科目]が 3.25 ポイント、[教養科目（神道科目／外国語を除く）]が 3.07 ポイントなどの順となっている。

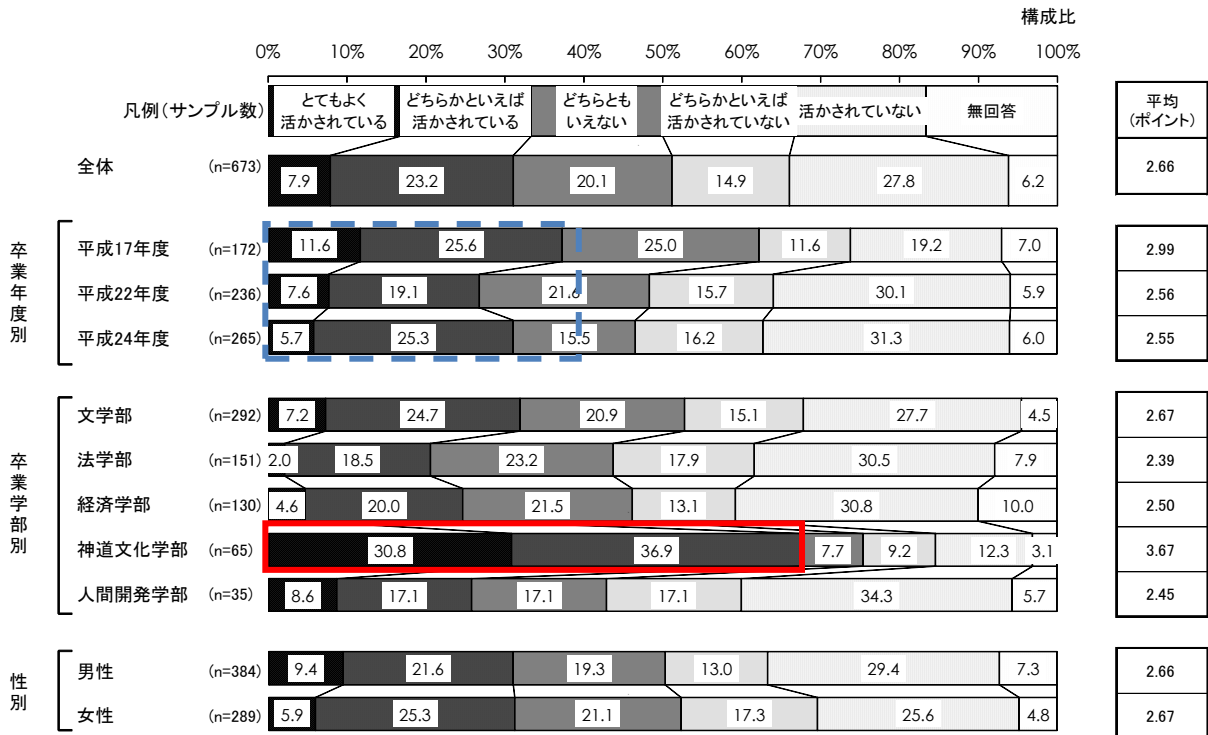
逆に点数が最も低いのは[留学]で 1.51 ポイント、次いで[インターンシップ]が 1.76 ポイント、[社会活動（ボランティア等）]が 2.07 ポイントなどの順となっている。

図表 3-19 現在の社会人生活での活用の度合い（SA）

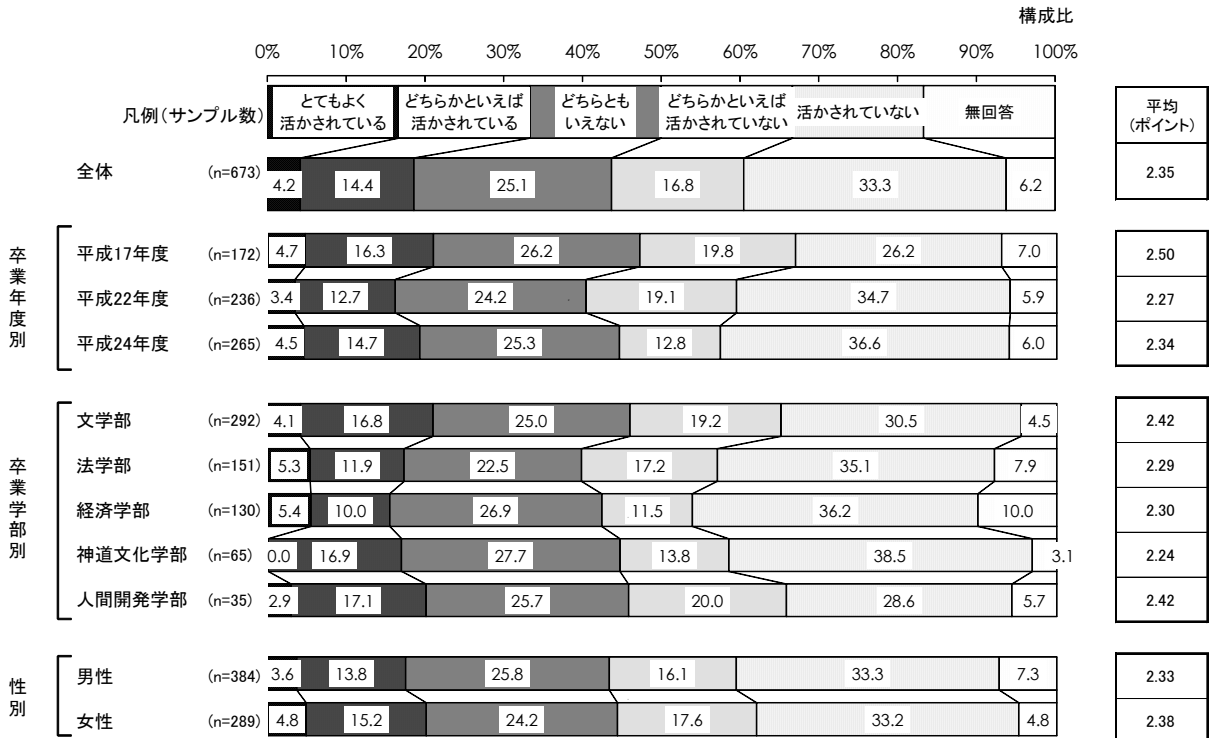


※「とてもよく活かされている」5ポイント、「どちらかといえば活かされている」4ポイント、「どちらともいえない」3ポイント、「どちらかといえば活かされていない」2ポイント、「活かされていない」1ポイントで平均を抽出。

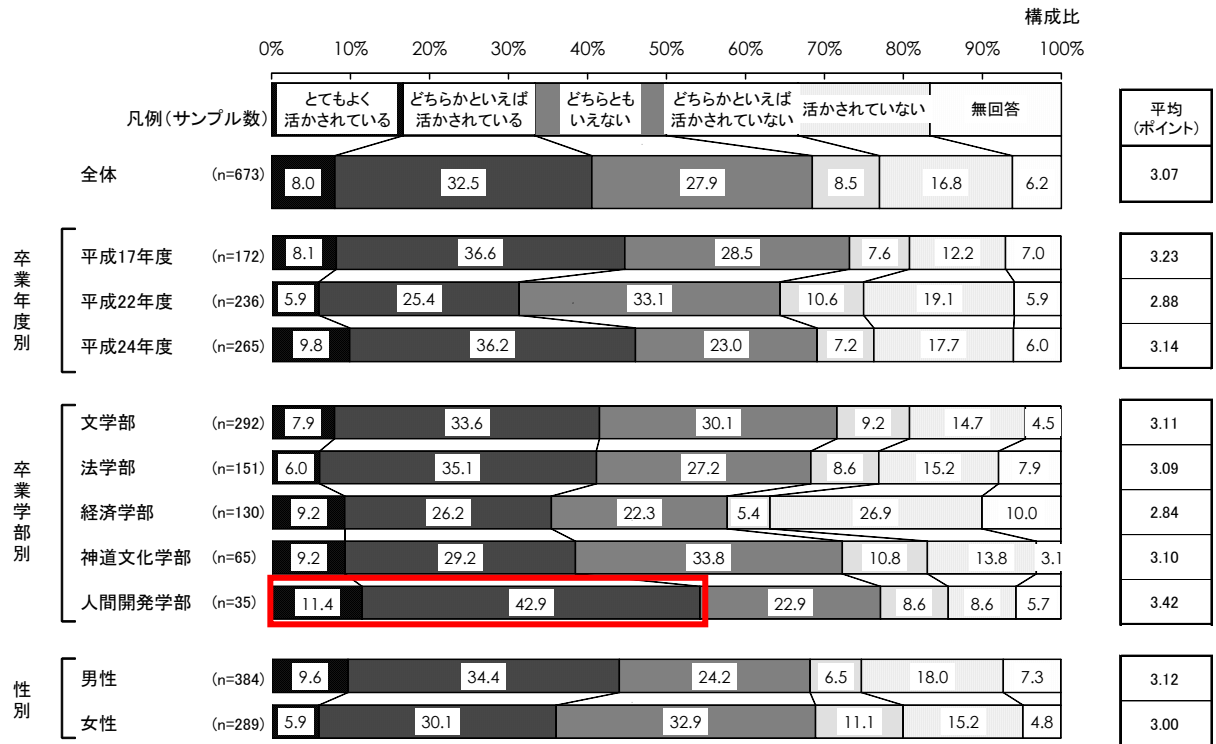
図表3-20 神道科目 (SA)



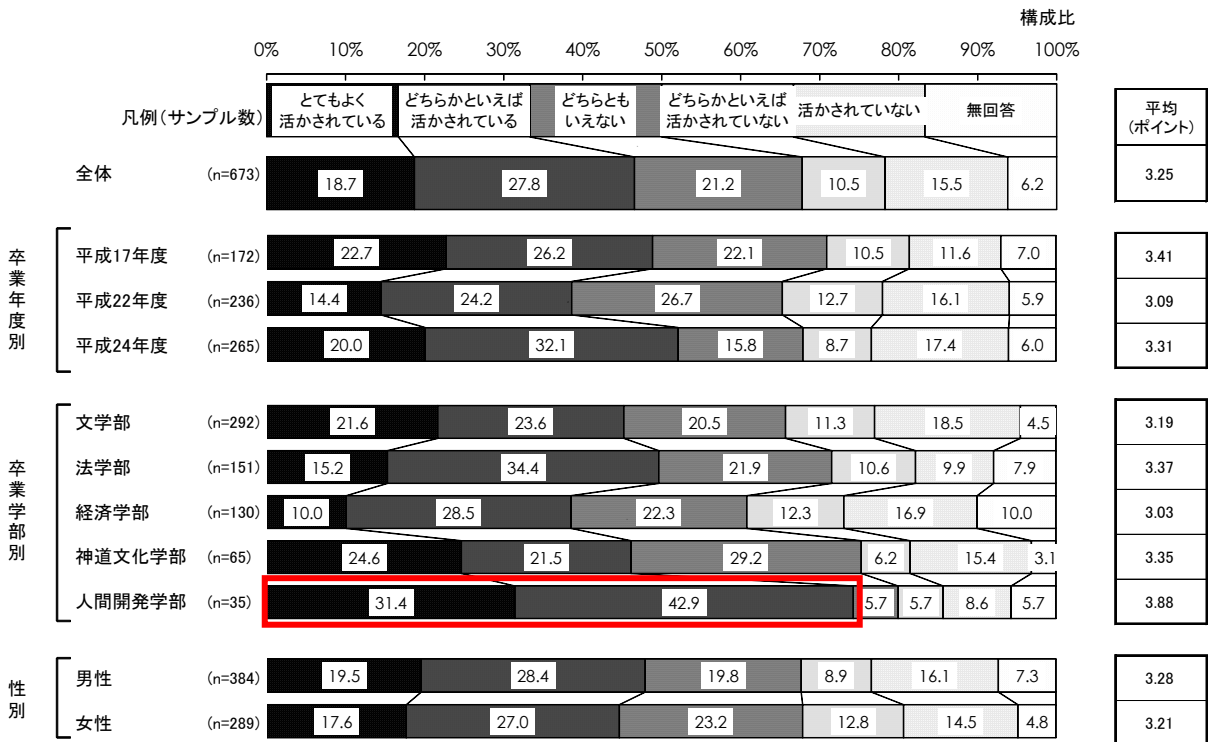
図表3-21 外国語科目 (SA)



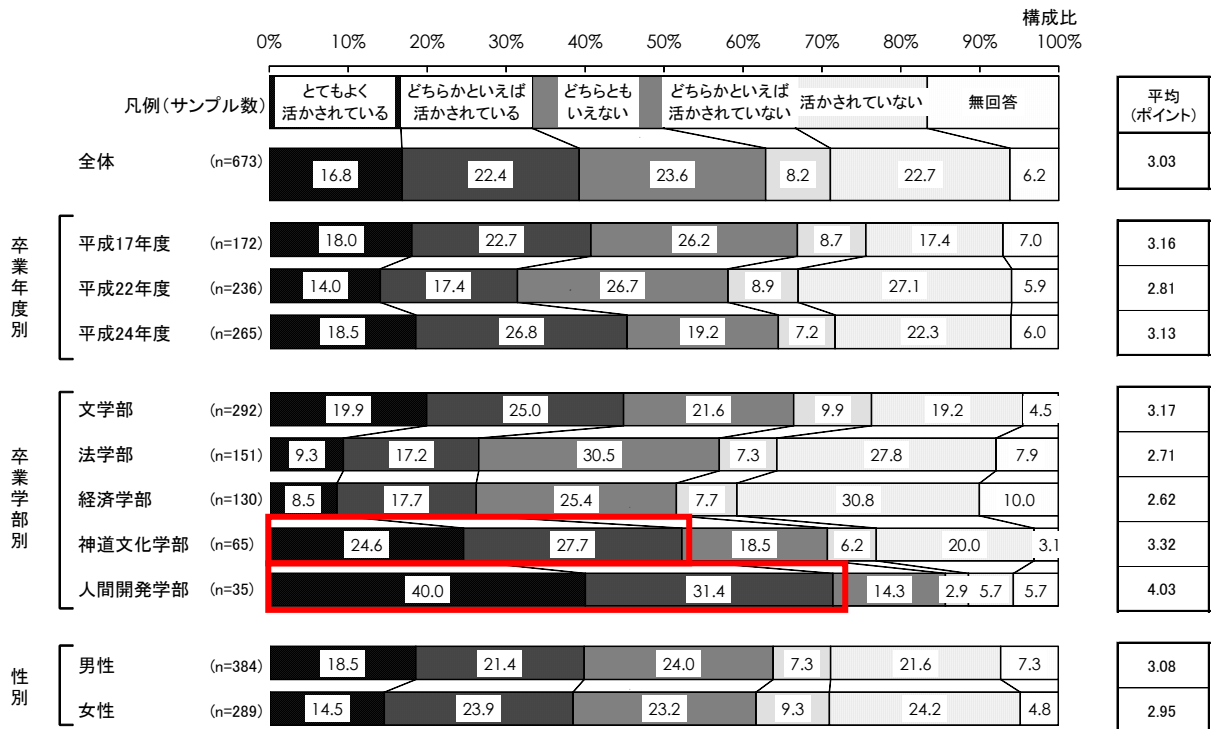
図表 3-22 教養科目（神道科目/外国語科目を除く）（SA）



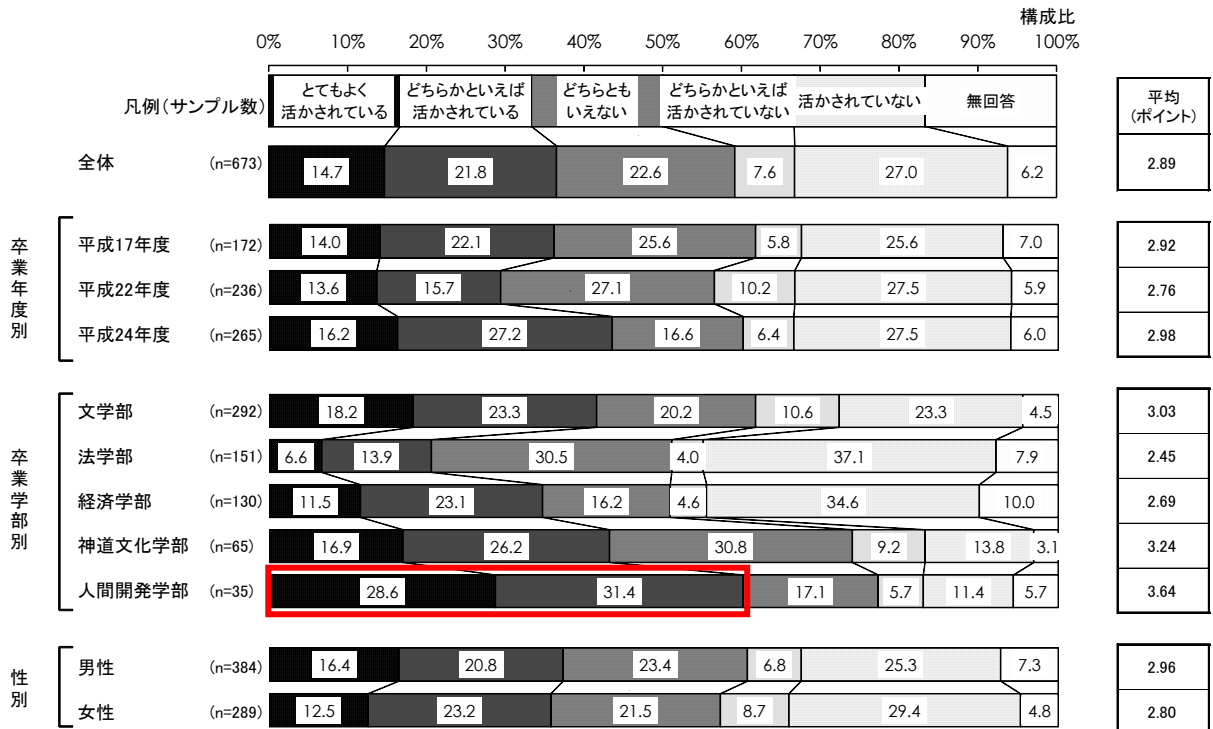
図表 3-23 専門教育科目（SA）



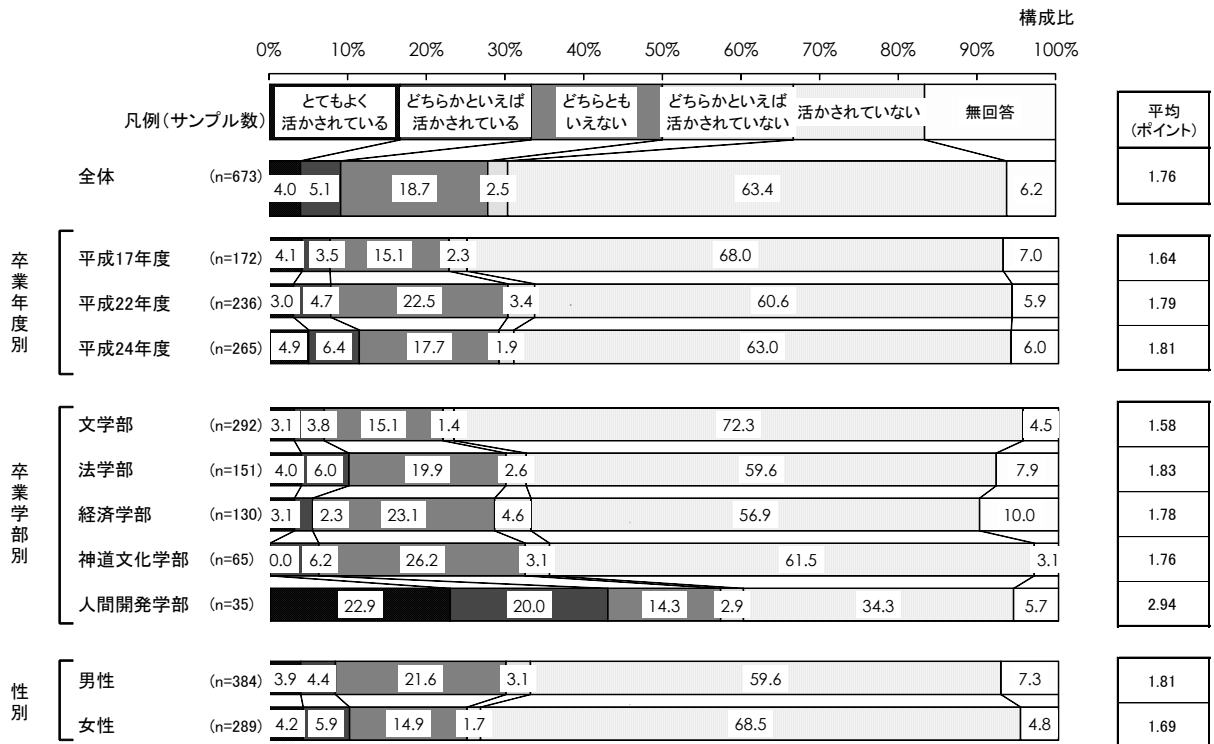
図表3-24 演習・実習 (SA)



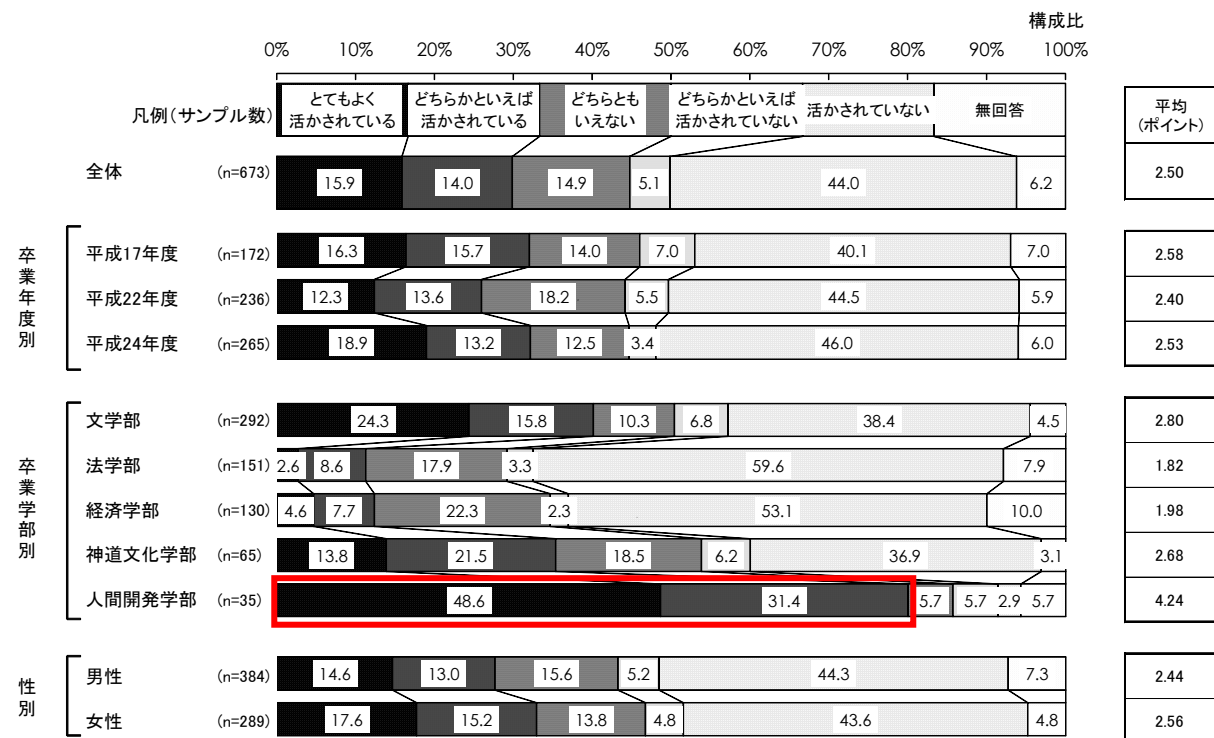
図表3-25 卒業論文・ゼミ活動(ゼミ論等) (SA)



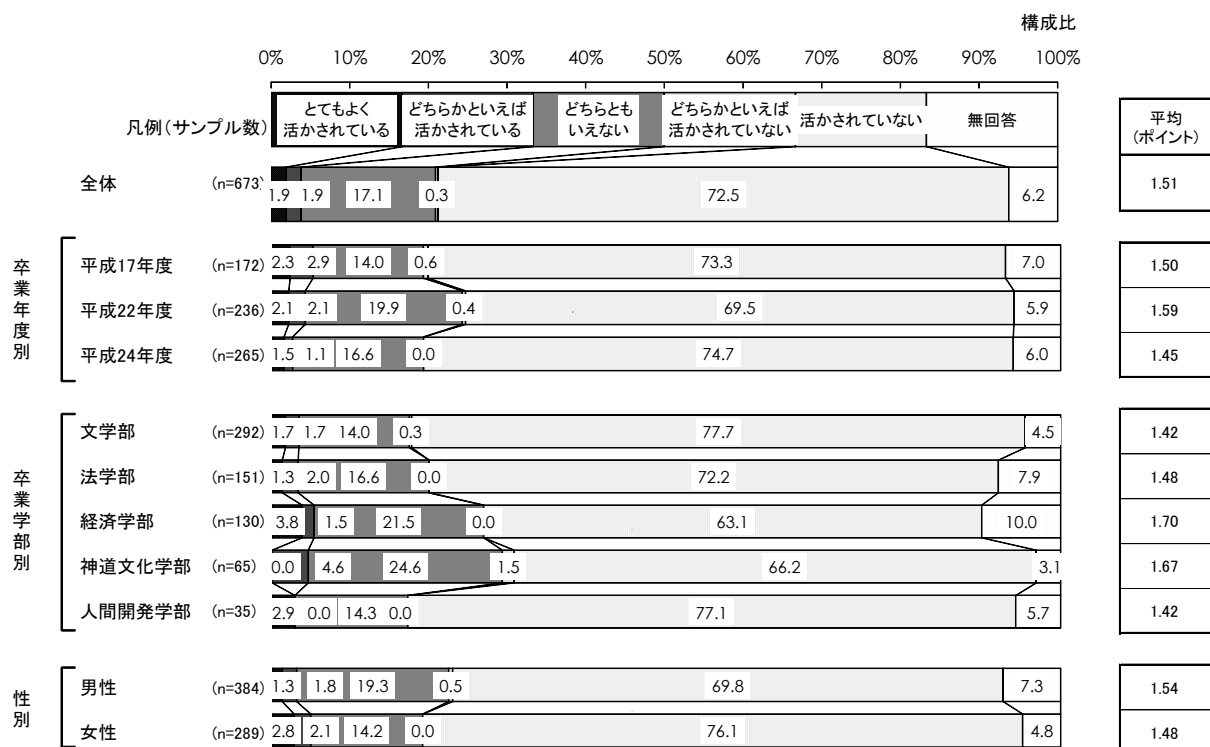
図表 3-26 インターンシップ (SA)



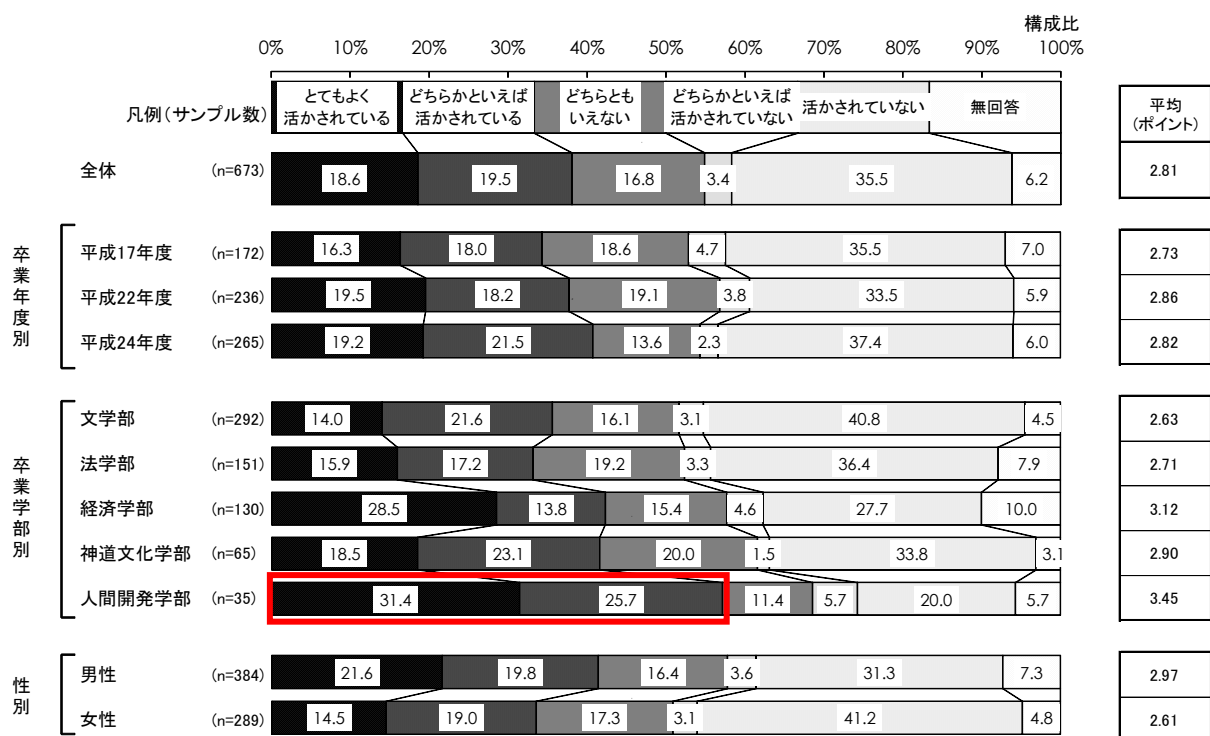
図表 3-27 教職・資格関係科目 (SA)



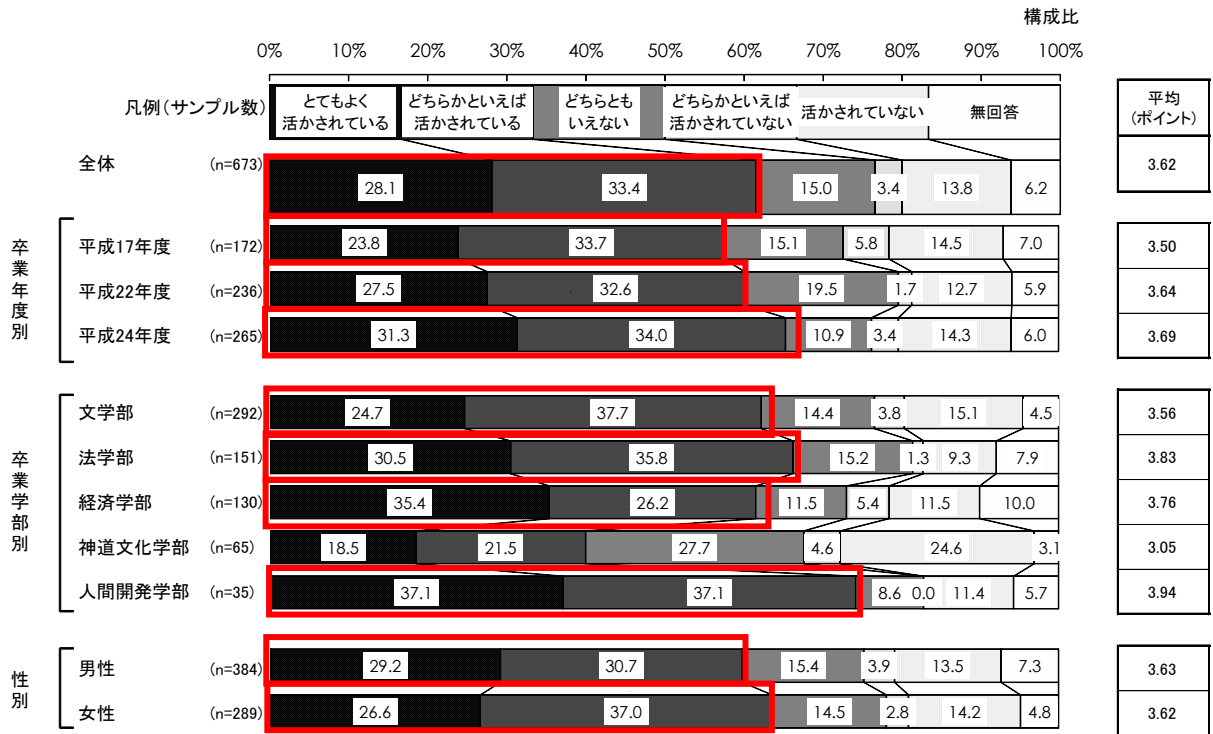
図表3-28 留学(SA)



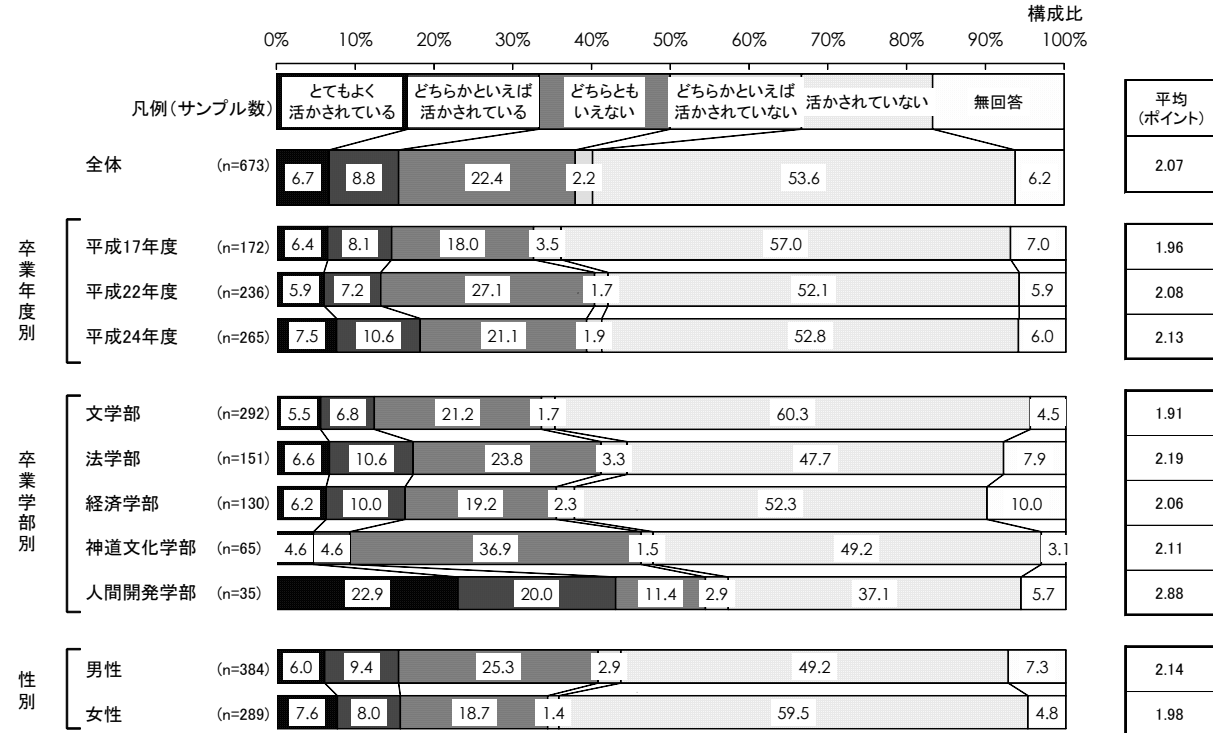
図表3-29 サークル・部活動(SA)



図表3-30 アルバイト (SA)



図表3-31 社会活動(ボランティア等) (SA)



問3 学修の成果

8. 学生時代に身についたことをお答えください。(それぞれ1つ選択)

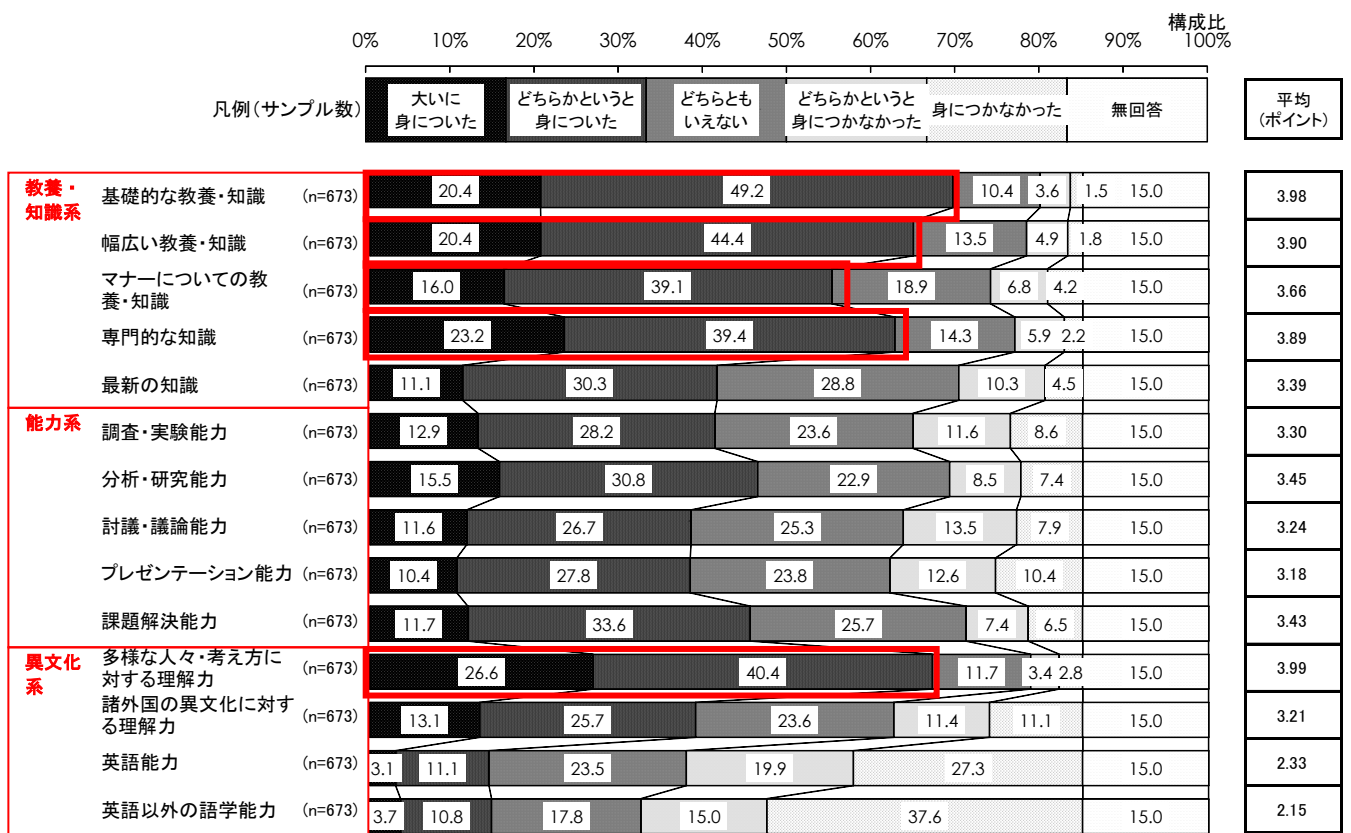
学生時代に身についたことは、「大いに身についた」と「どちらかというと身についた」を合わせた割合が高いのは、[基礎的な教養・知識]が最も高く69.6%、次いで[多様な人々・考え方に対する理解力]が67.0%、[幅広い教養・知識]が64.8%などの順となっている。

加重平均すると、最も点数が高いのは[多様な人々・考え方に対する理解力]で3.99ポイント、次いで[基礎的な教養・知識]が3.98ポイント、[幅広い教養・知識]が3.90ポイントなどの順となっている。

逆に点数が最も低いのは[英語以外の語学能力]で2.15ポイント、次いで[英語能力]が2.33ポイント、[プレゼンテーション能力]が3.18ポイントなどの順となっている。

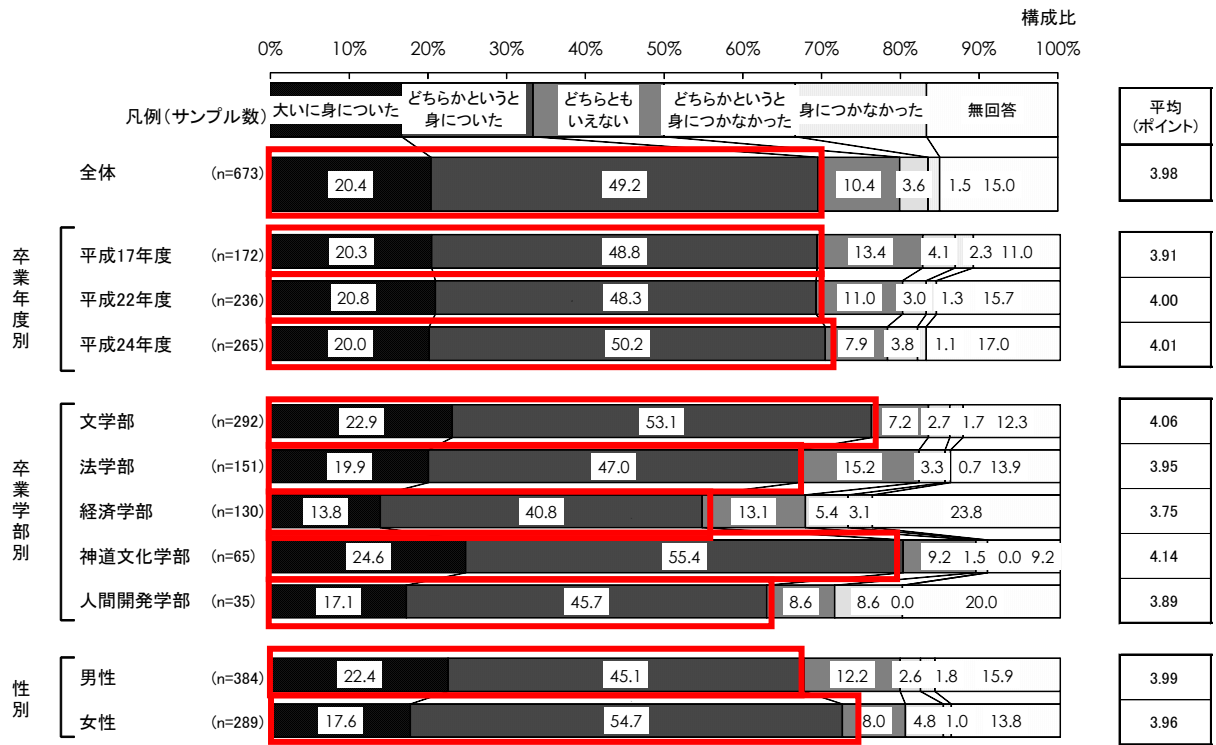
大きな分野でみると、[教養・知識系]は身についたという割合が高い一方で、[能力系]については相対的に低く、また[異文化系]においては語学能力に対する評価が、特に低い傾向がみられる。

図表3-32 学生時代に身についたこと (SA)

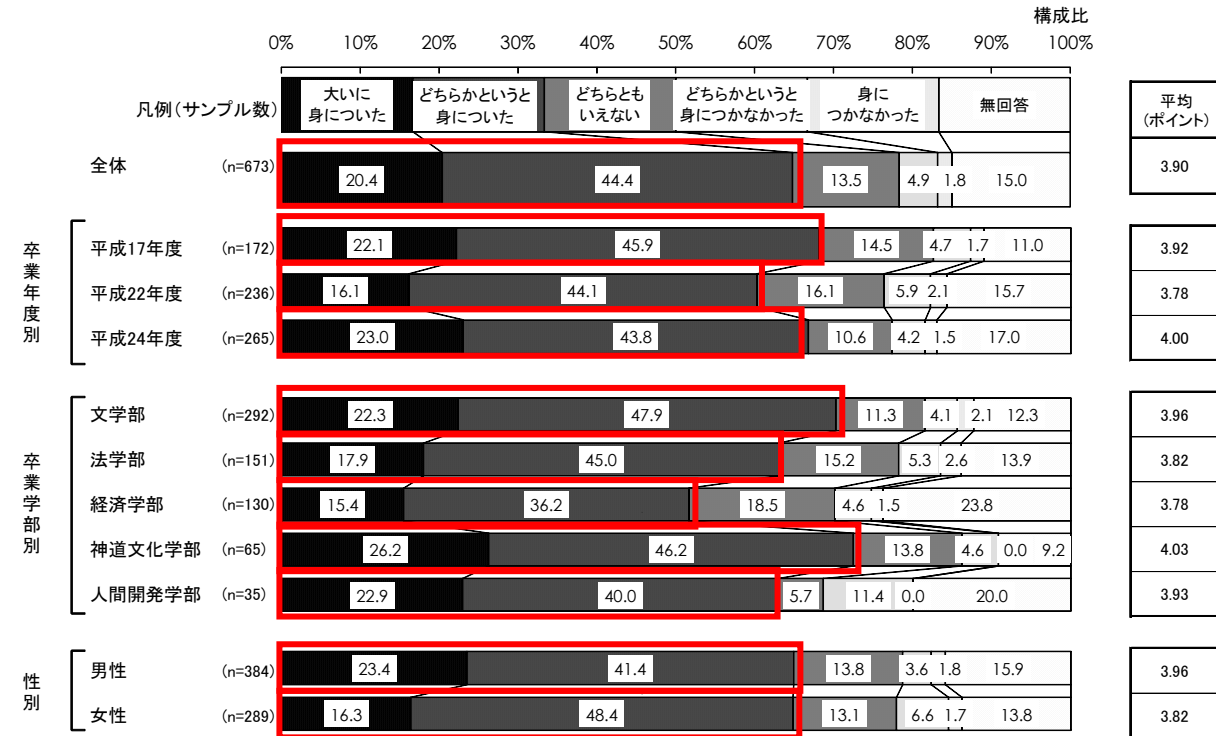


※「大いに身についた」5ポイント、「どちらかというと身についた」4ポイント、「どちらともいえない」3ポイント、「どちらかというと身につかなかった」2ポイント、「身につかなかった」1ポイントで平均を抽出。

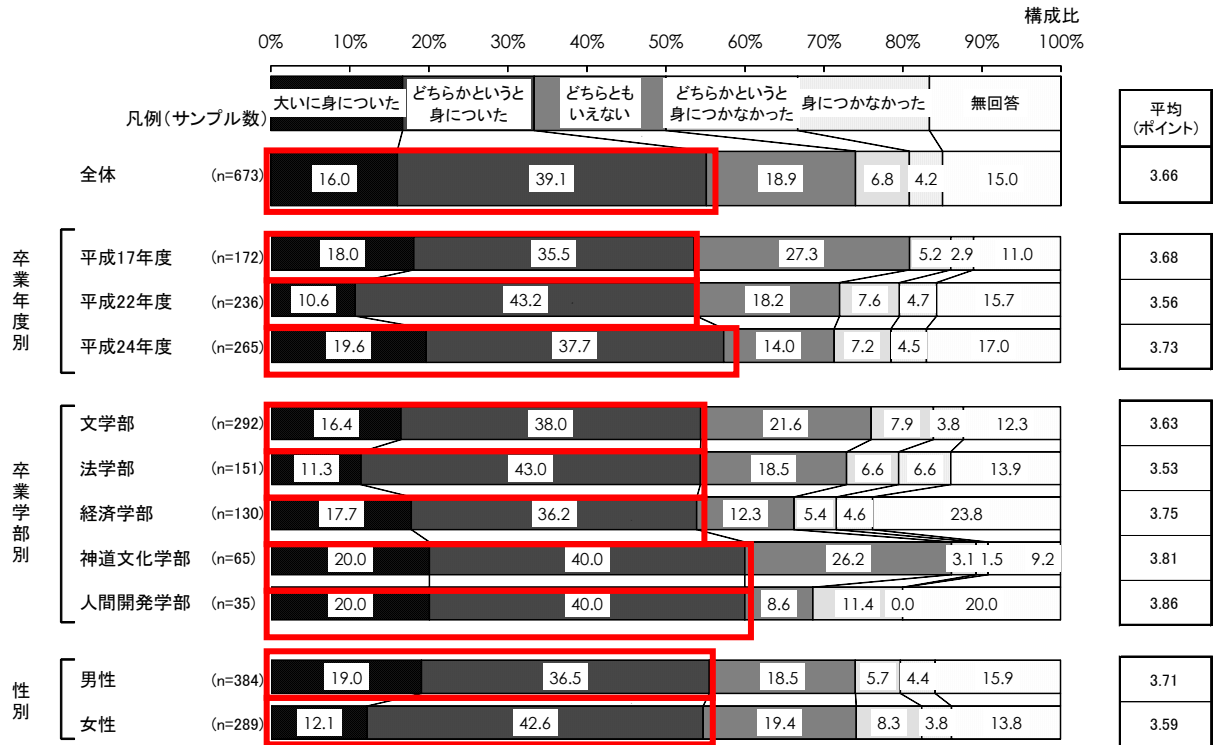
図表 3-33 基礎的な教養・知識 (SA)



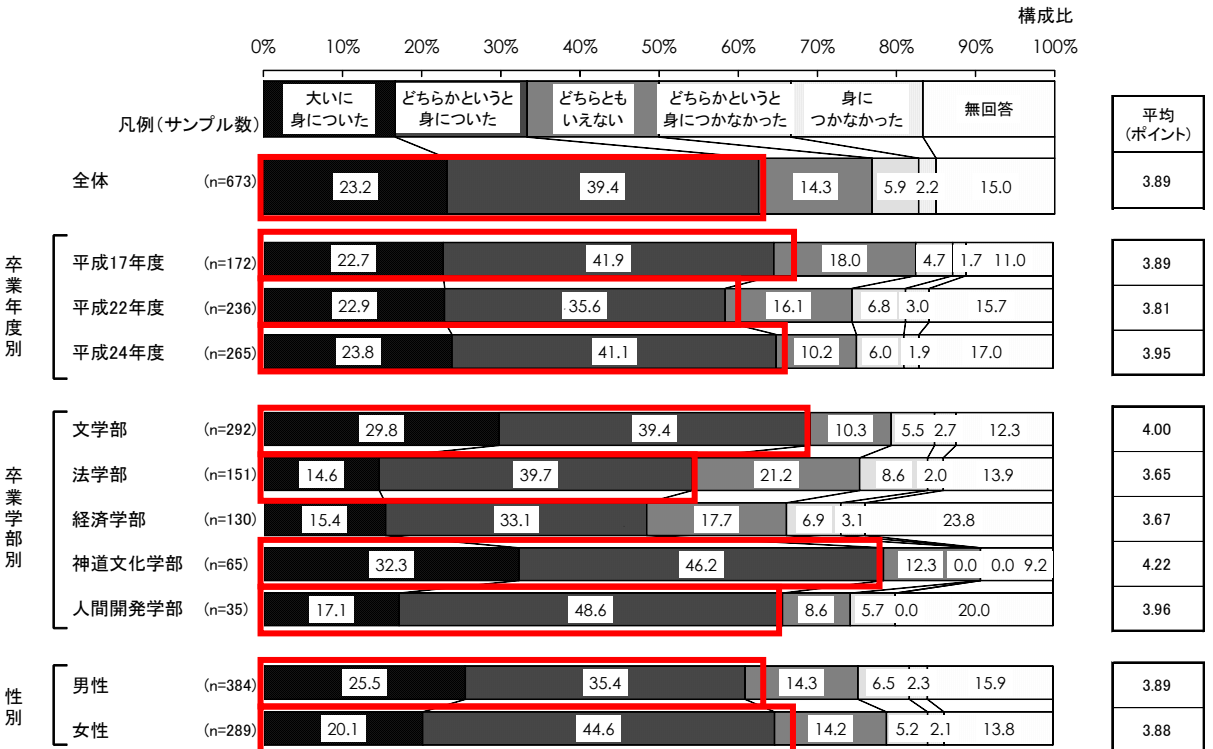
図表 3-34 幅広い教養・知識 (SA)



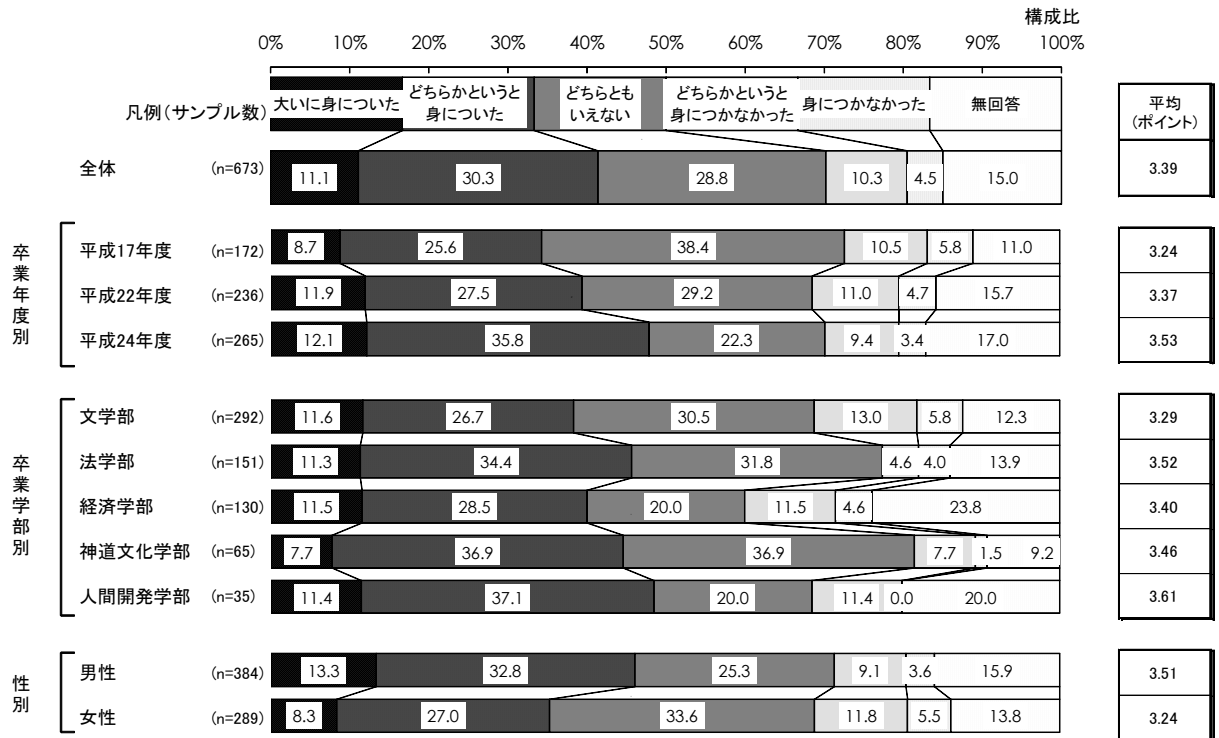
図表 3-35 マナーについての教養・知識 (SA)



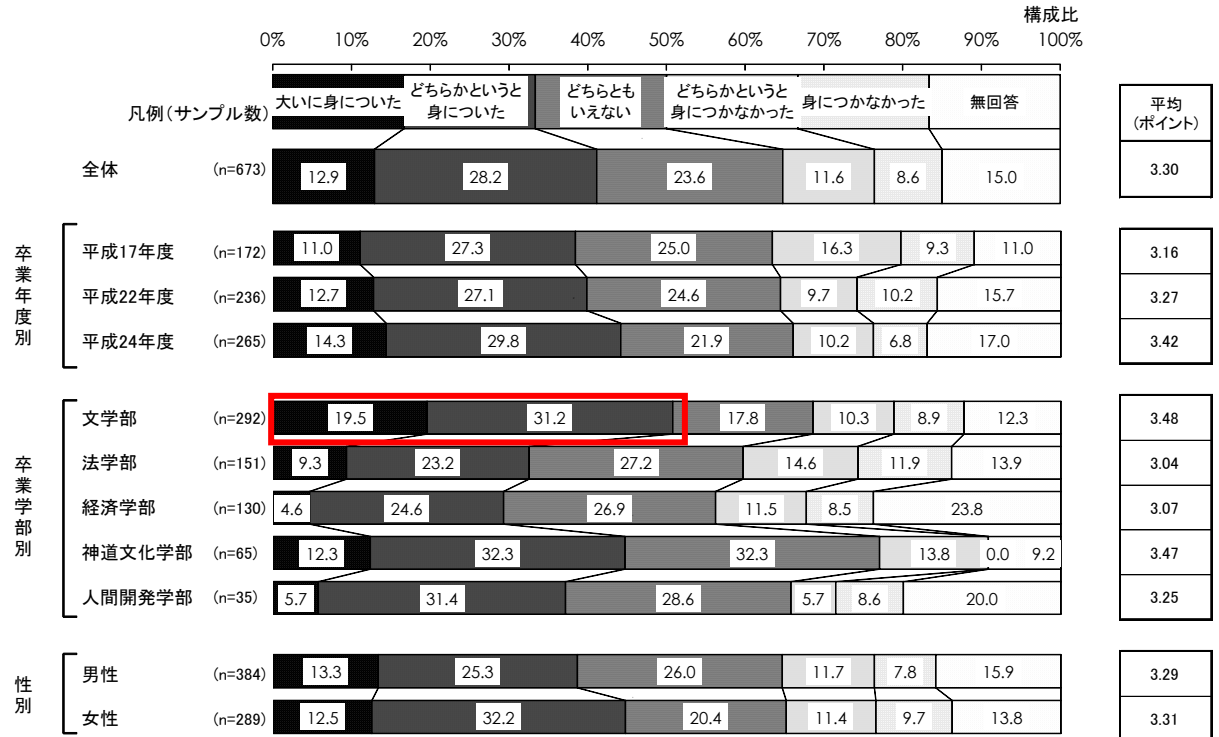
図表 3-36 専門的な知識 (SA)



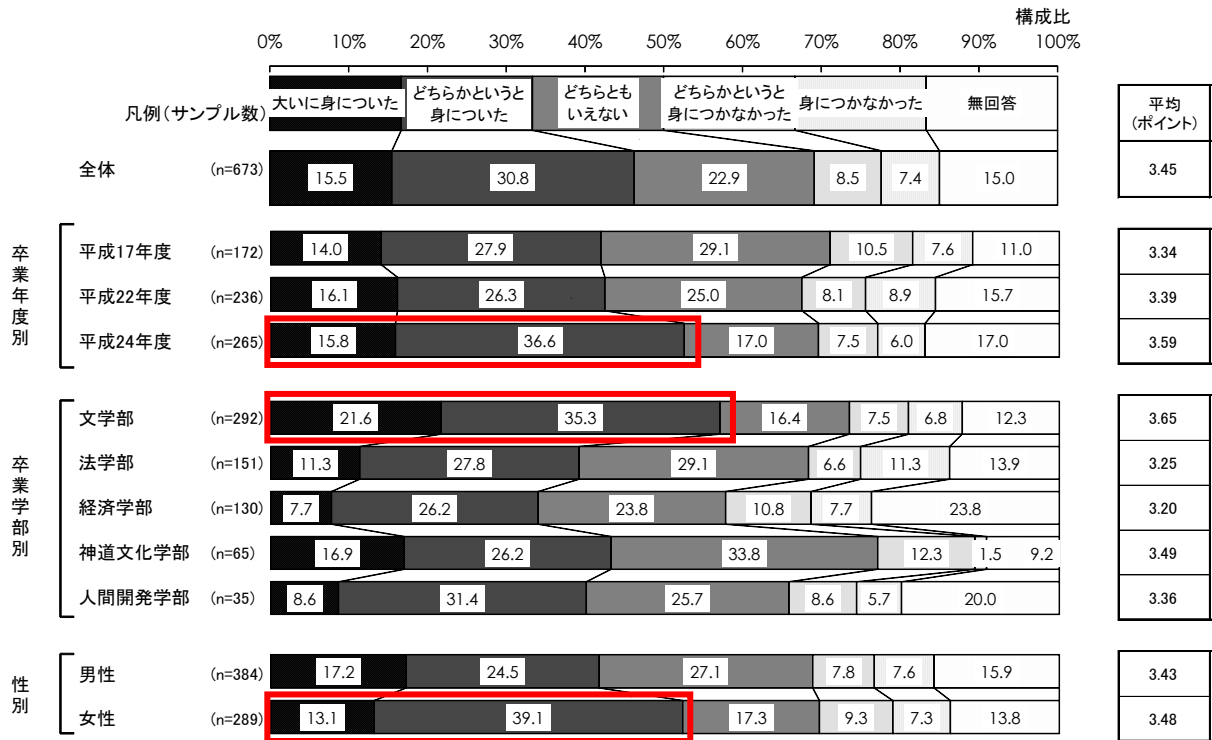
図表 3-37 最新の知識 (SA)



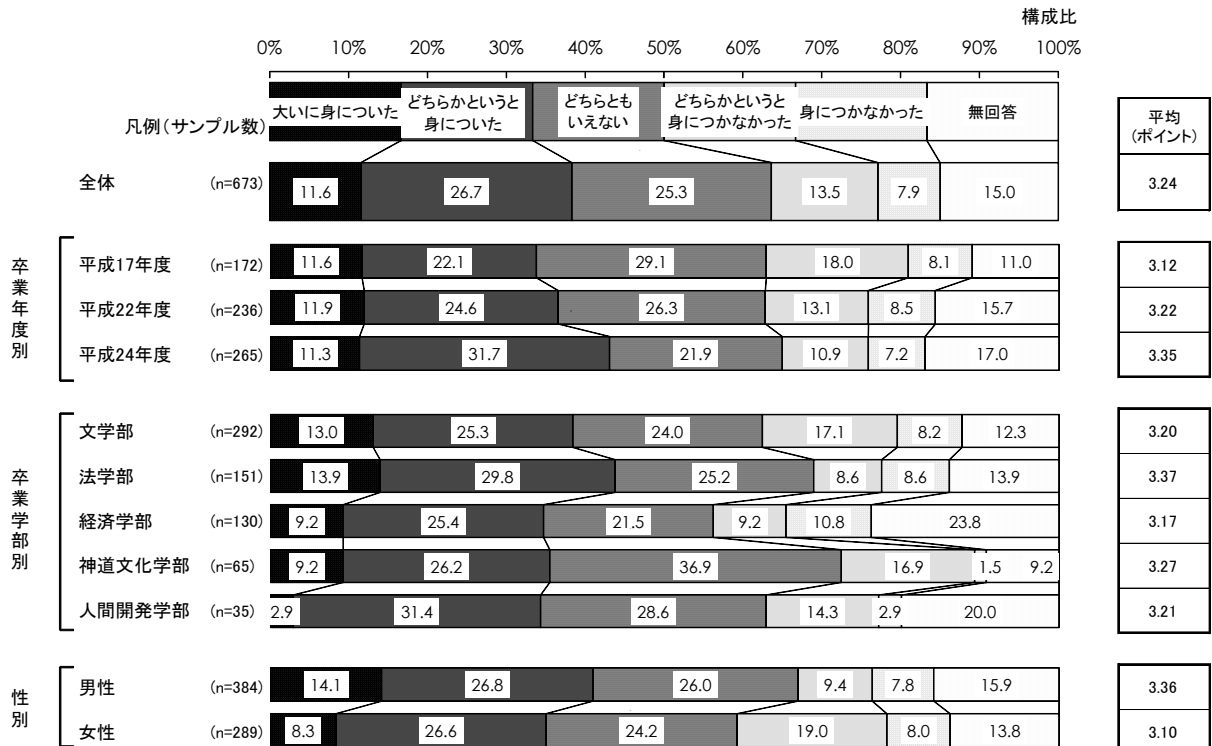
図表 3-38 調査・実験能力 (SA)



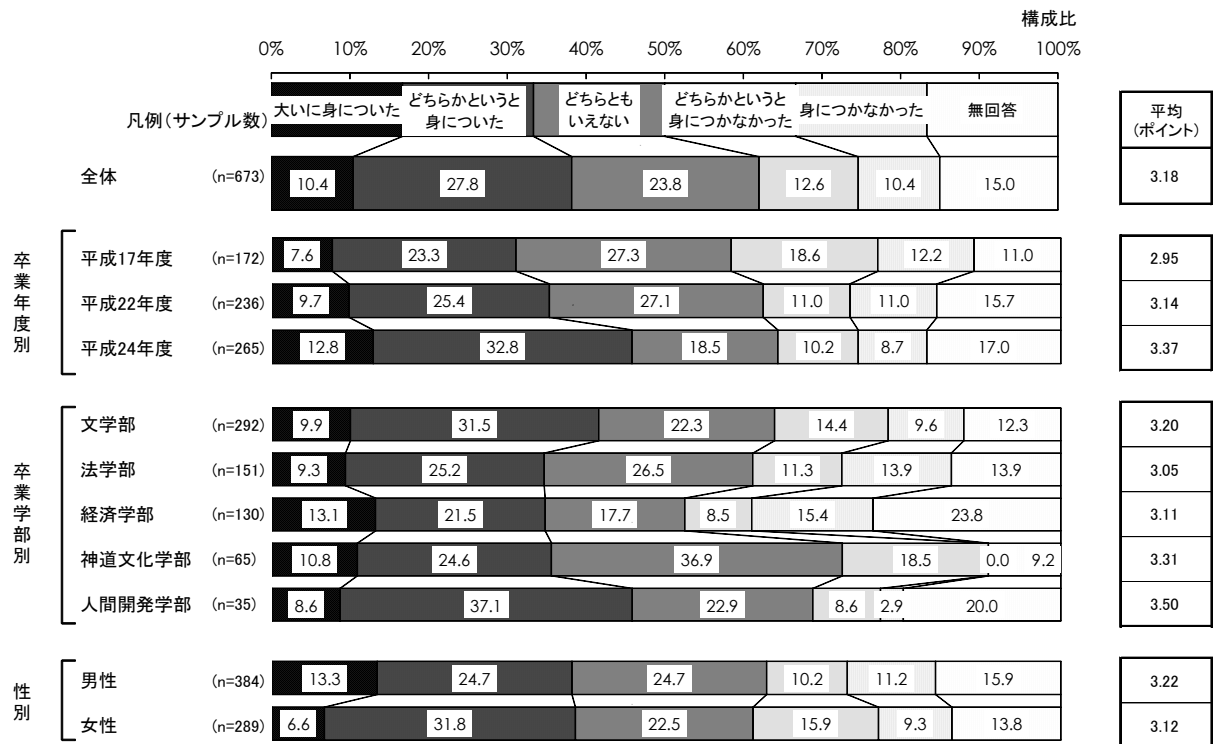
図表3-39 分析・研究能力 (SA)



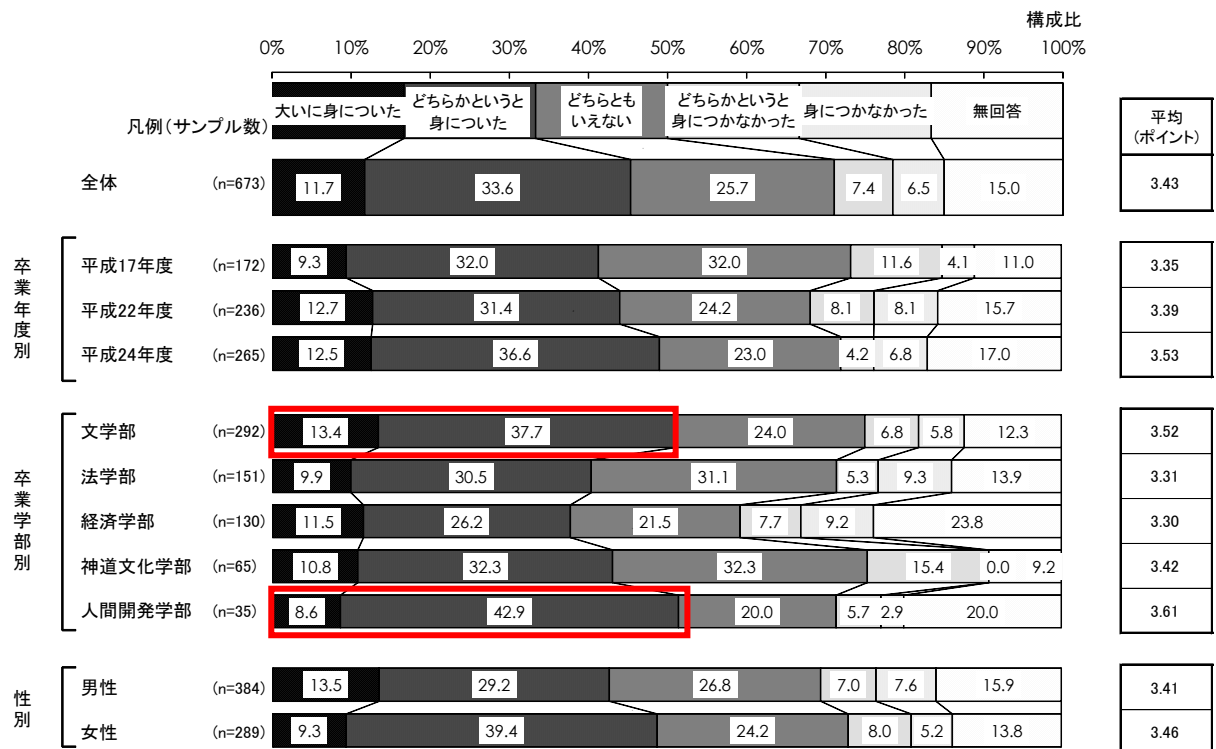
図表3-40 討議・議論能力 (SA)



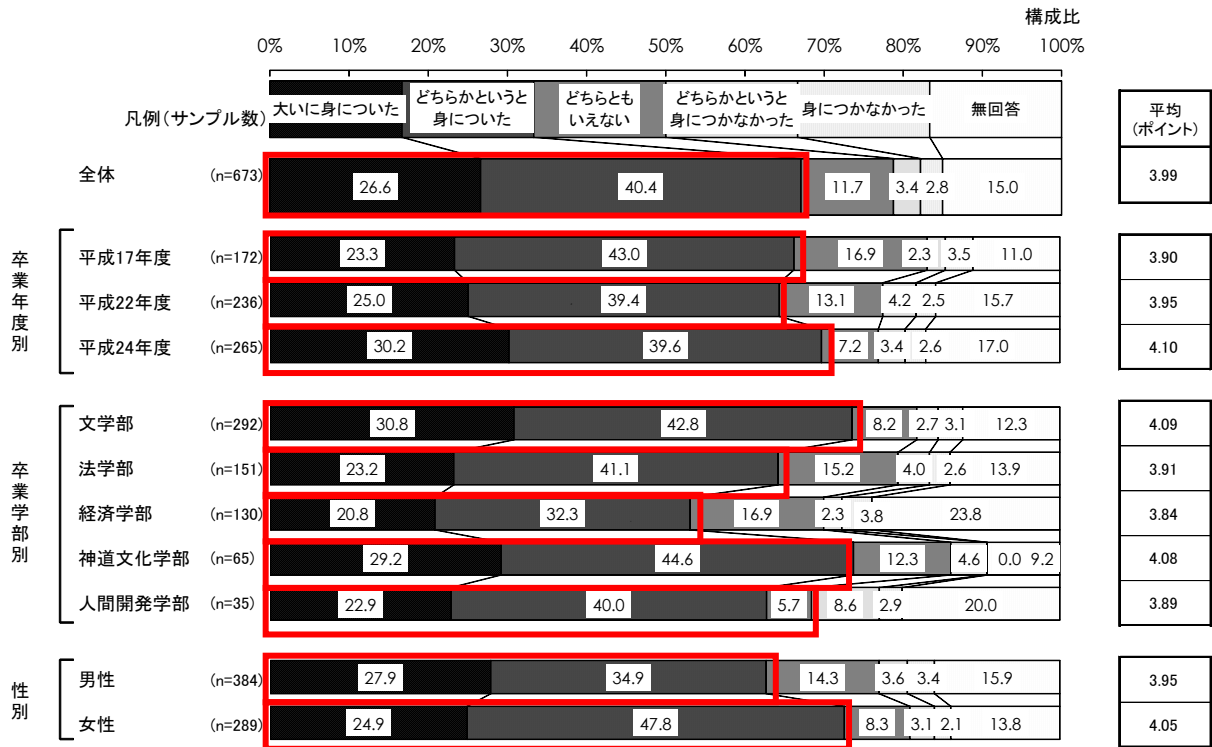
図表3-4-1 プレゼンテーション能力 (SA)



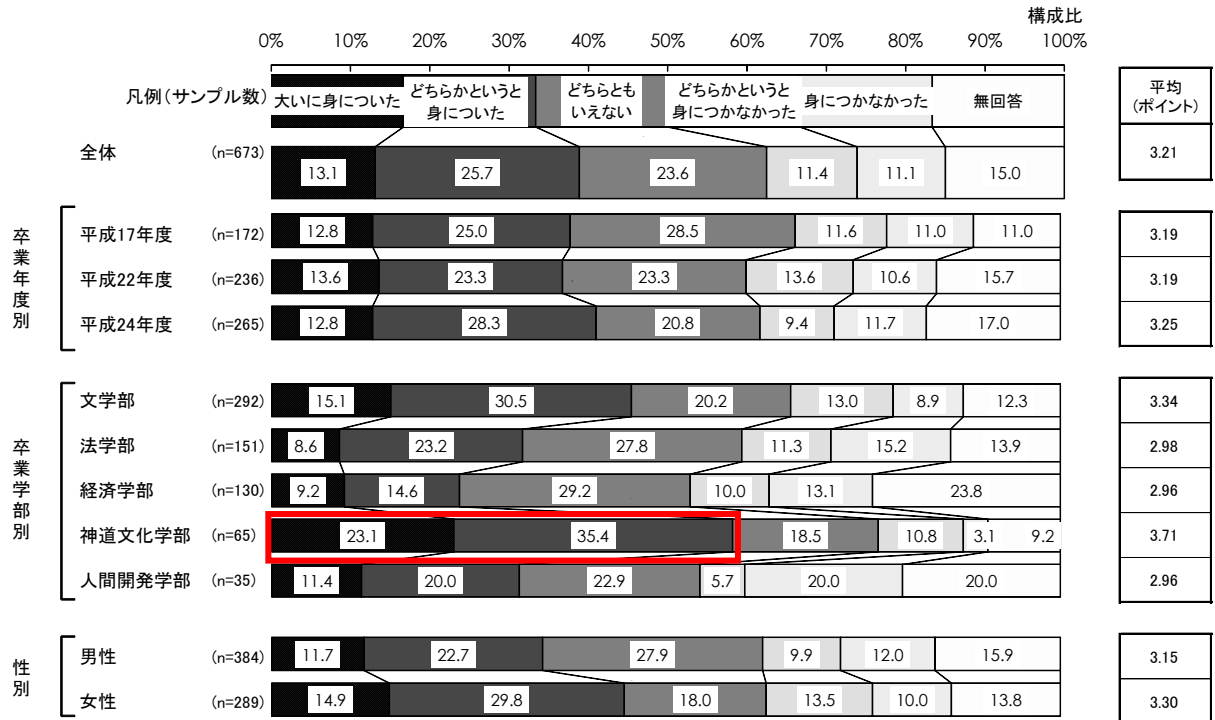
図表3-4-2 課題解決能力 (SA)



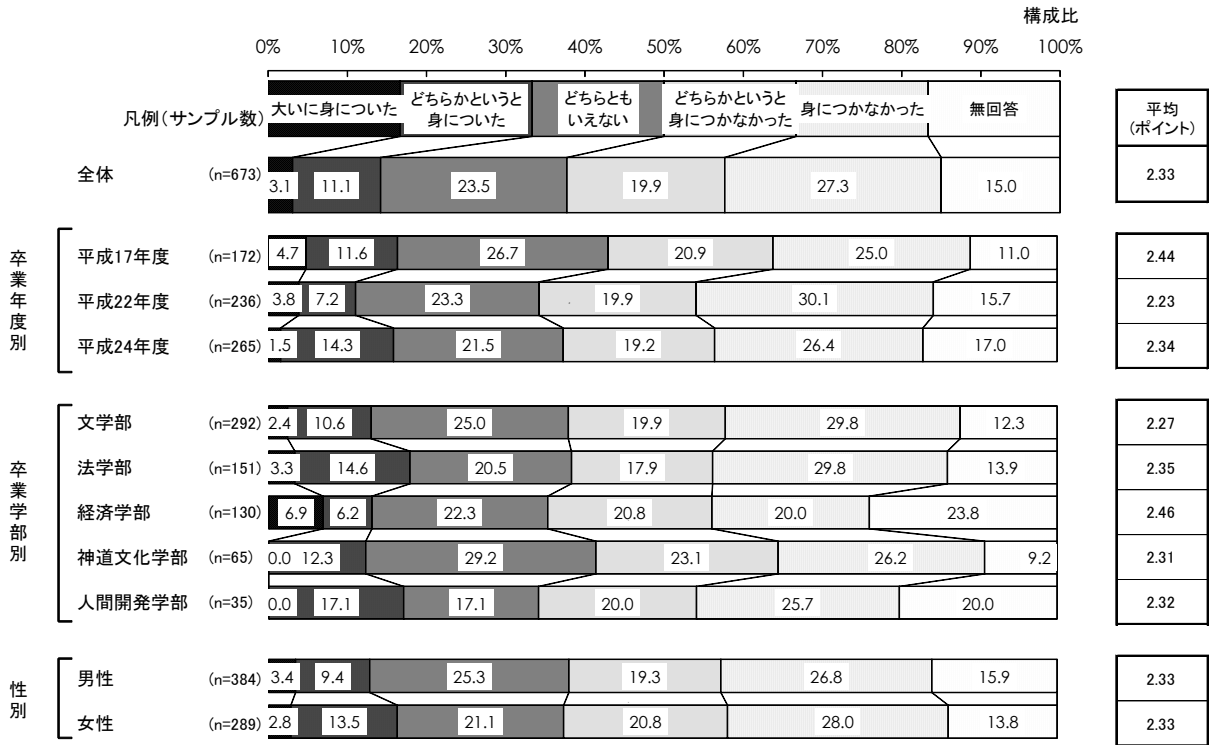
図表3-43 多様な人々・考え方に対する理解力（SA）



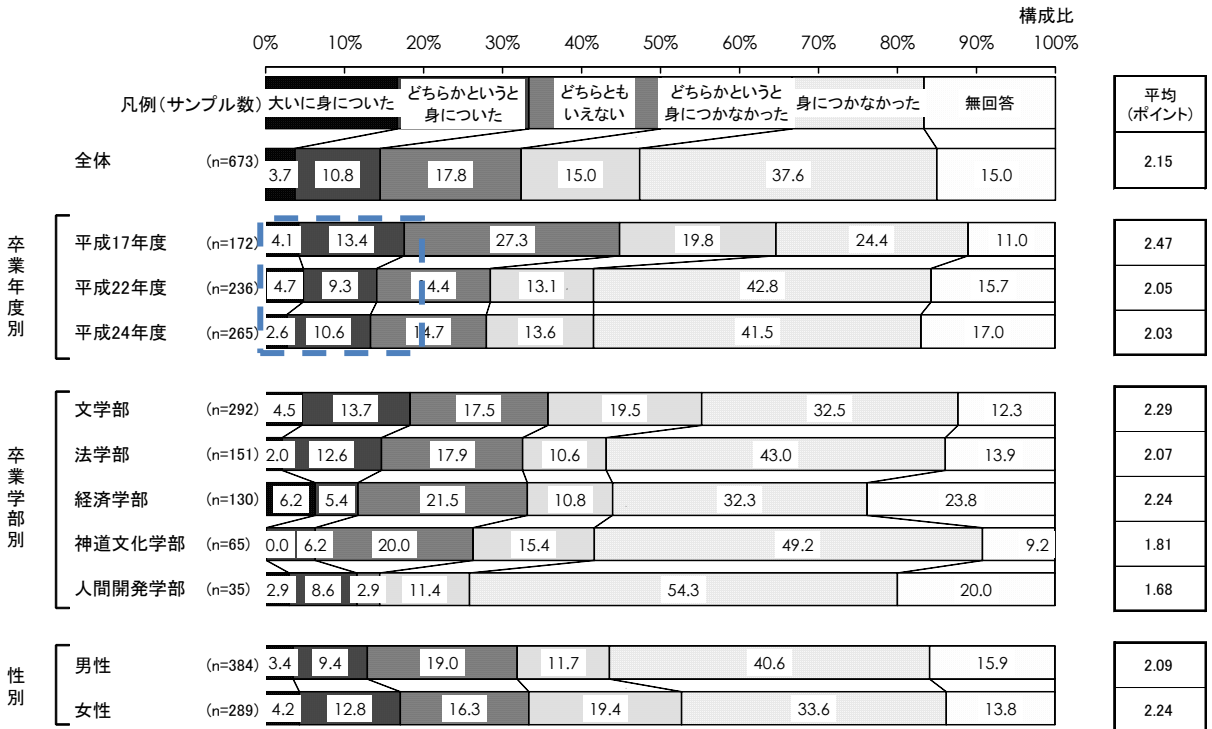
図表3-44 諸外国の異文化に対する理解力（SA）



図表3-45 英語能力 (SA)



図表3-46 英語以外の語学能力 (SA)



9. 学生時代に修得したと思われる知識や能力のうち、現在に活かされているものをお答えください。(それぞれ1つ選択)

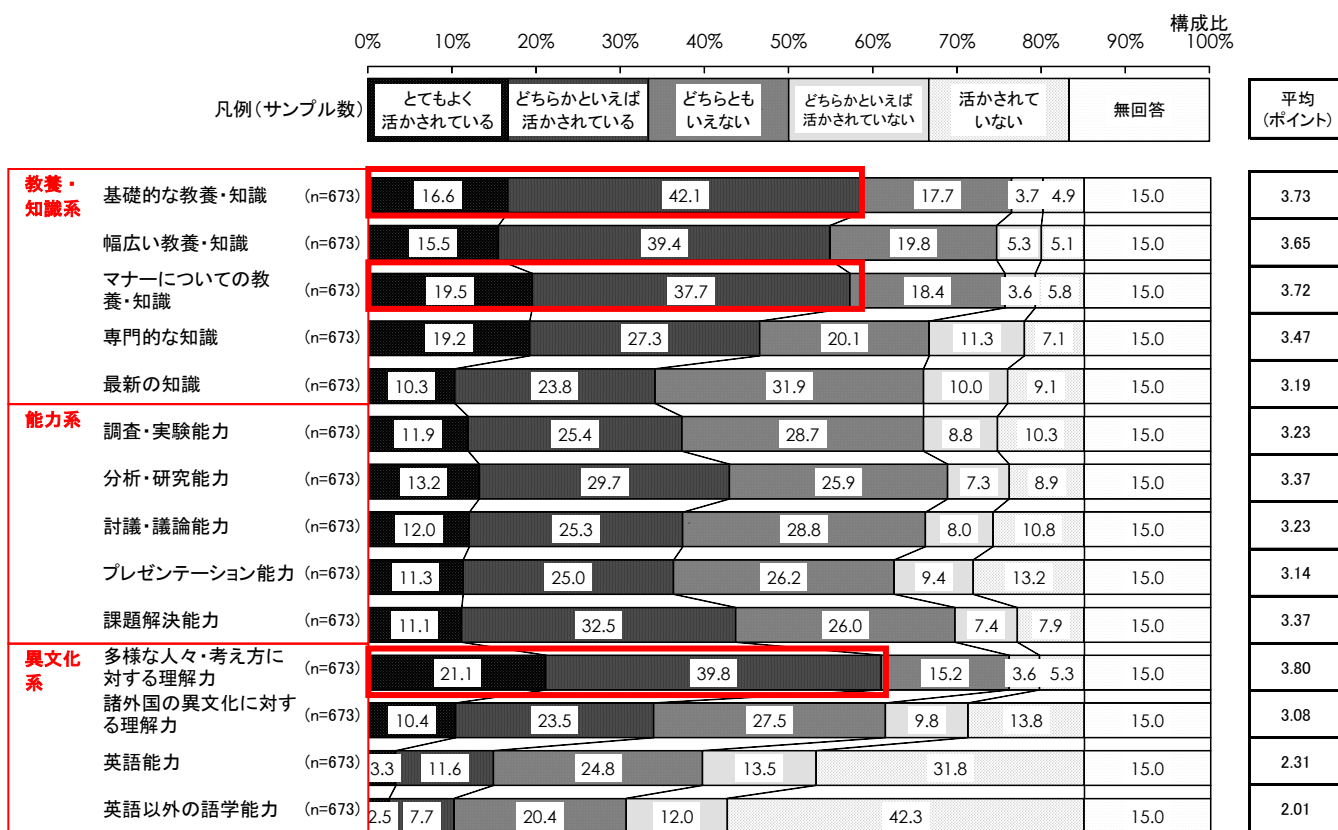
学生時代に修得したことのうち、現在に活かされているものは、「とても活かされている」と「どちらかというとかかされている」を合わせた割合が高いのは、[多様な人々・考え方に対する理解力]で60.9%、次いで[基礎的な教養・知識]が58.7%、[幅広い教養・知識]が57.2%などの順となっている。

加重平均すると、最も点数が高いのは[多様な人々・考え方に対する理解力]で3.80ポイント、次いで[基礎的な教養・知識]が3.73ポイント、[マナーについての教養・知識]が3.72ポイントなどの順となっている。

逆に点数が最も低いのは[英語以外の語学能力]で2.01ポイント、次いで[英語能力]が2.31ポイント、[プレゼンテーション能力]が3.14ポイントなどの順となっている。

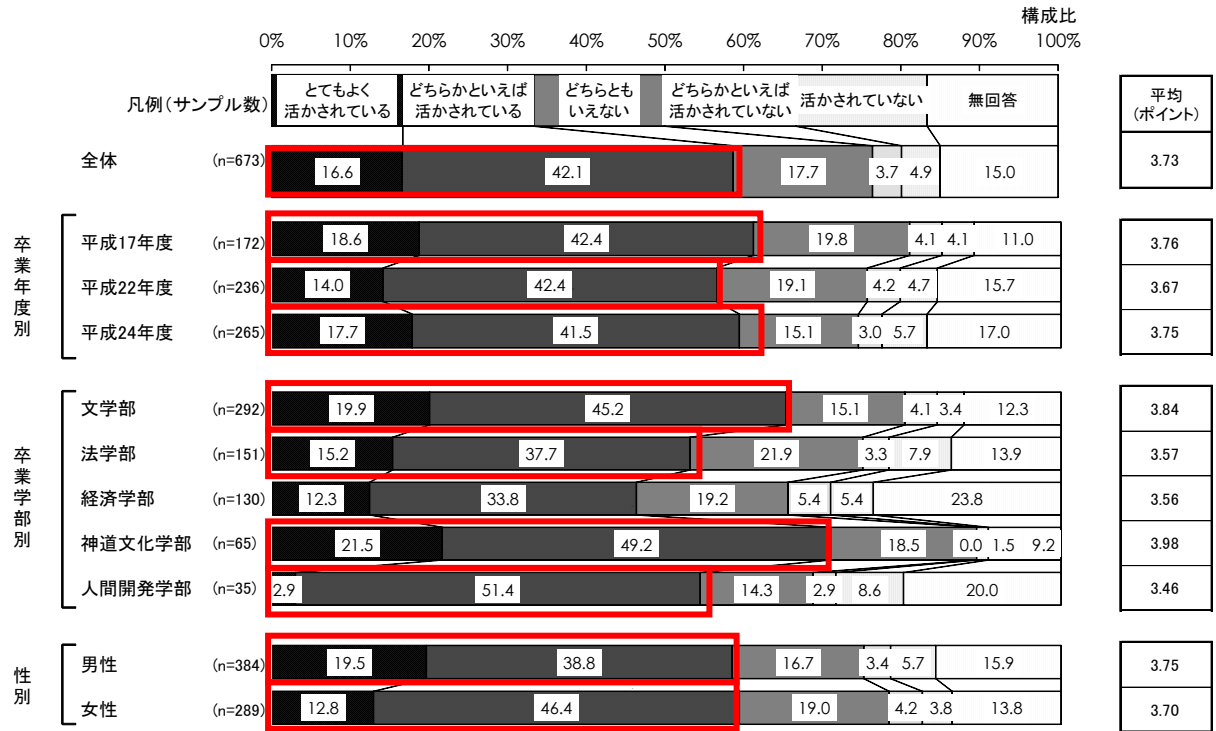
大きな分野で見ると、[教養・知識系]は活かされているという割合が高い一方で、[能力系]については相対的に低く、また[異文化系]は語学能力が低くなっている。いずれも身についた知識・能力と同様の傾向であり、学生時代に修得したことが、その後の生活の可能性を広げることを示している。

図表3-47 学生時代に修得したもののうち、現在活かされている知識や能力(SA)

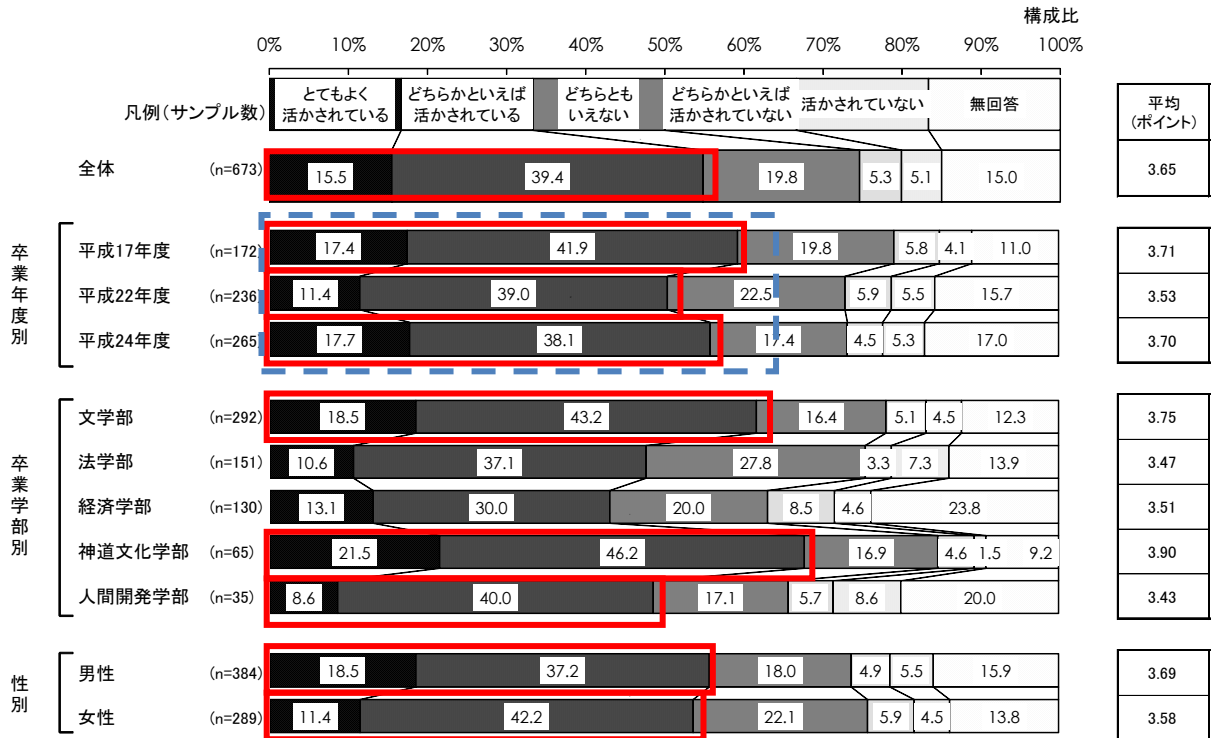


※「とても活かされている」5ポイント、「どちらかというとかかされている」4ポイント、「どちらともいえない」3ポイント、「どちらかといえば活かされていない」2ポイント、「活かされていない」1ポイントで平均を抽出。

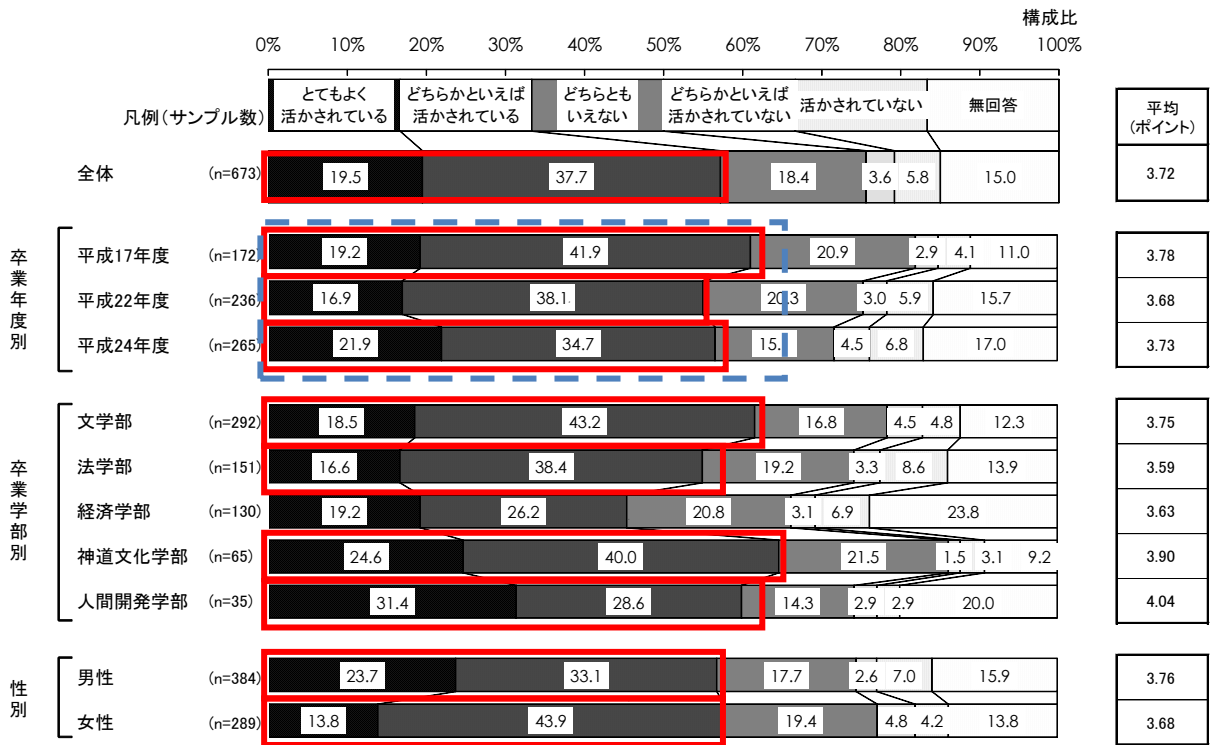
図表 3-48 基礎的な教養・知識 (SA)



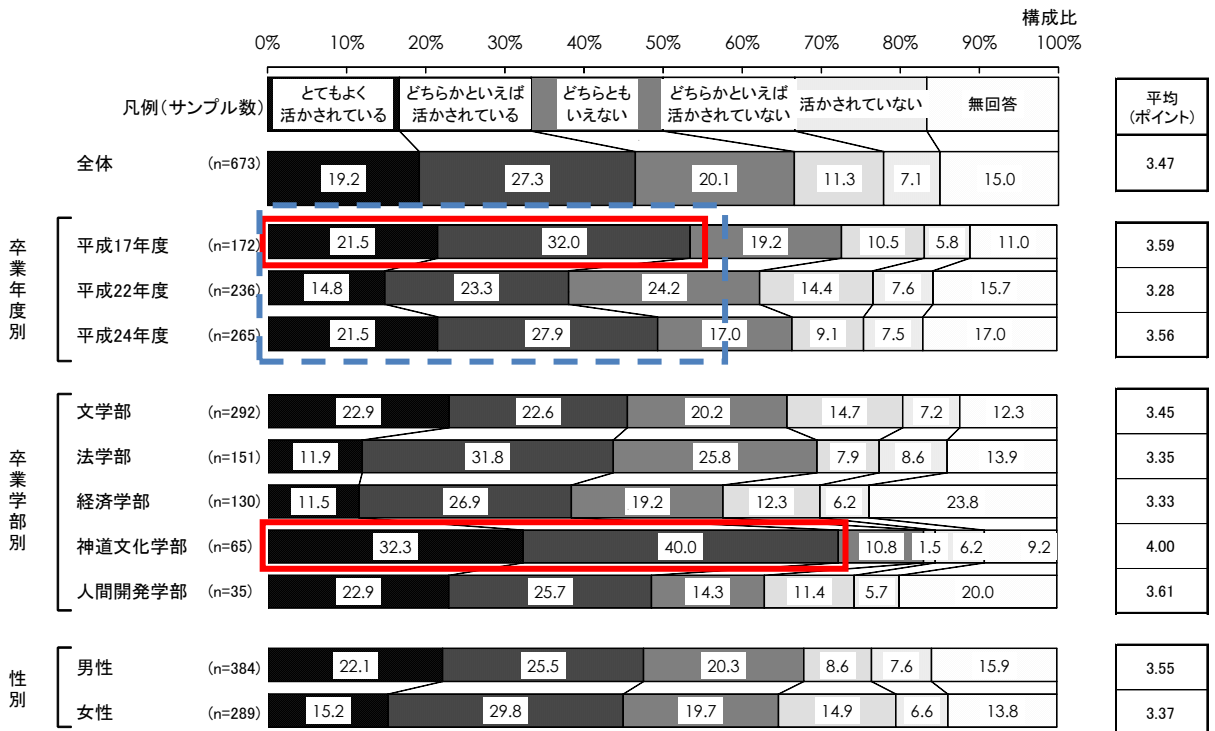
図表 3-49 幅広い教養・知識 (SA)



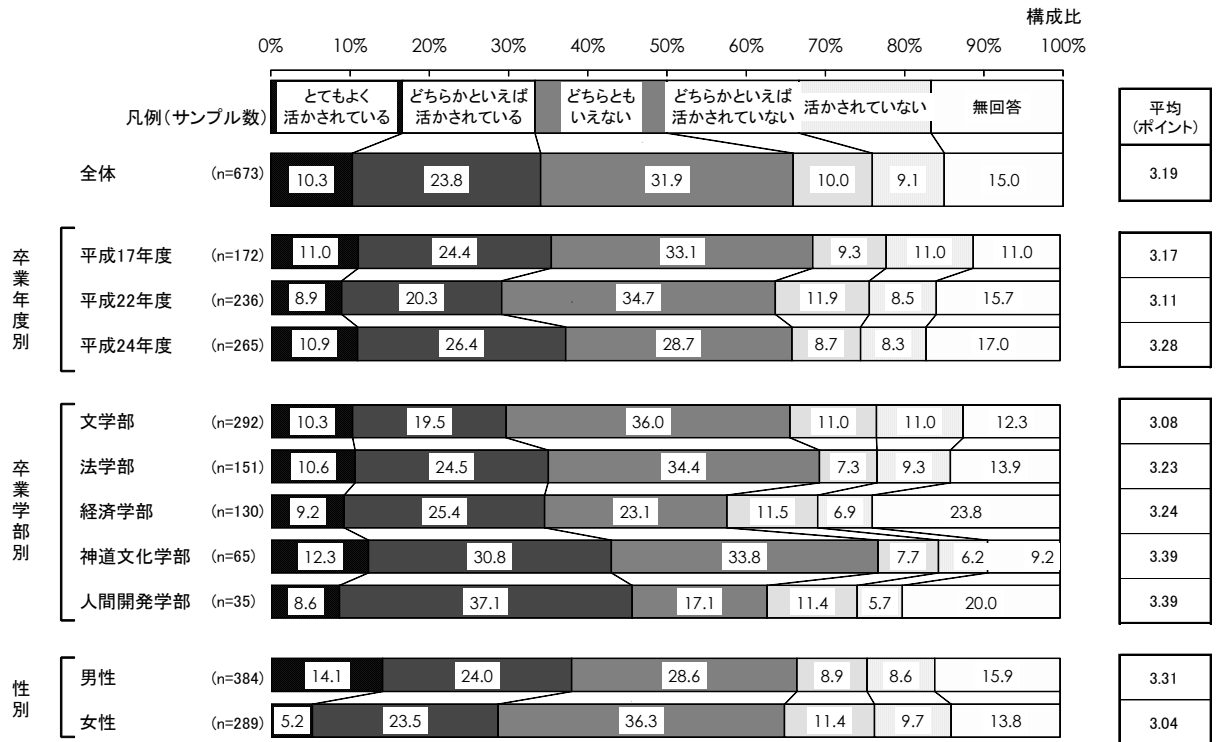
図表 3-50 マナーについての教養・知識 (SA)



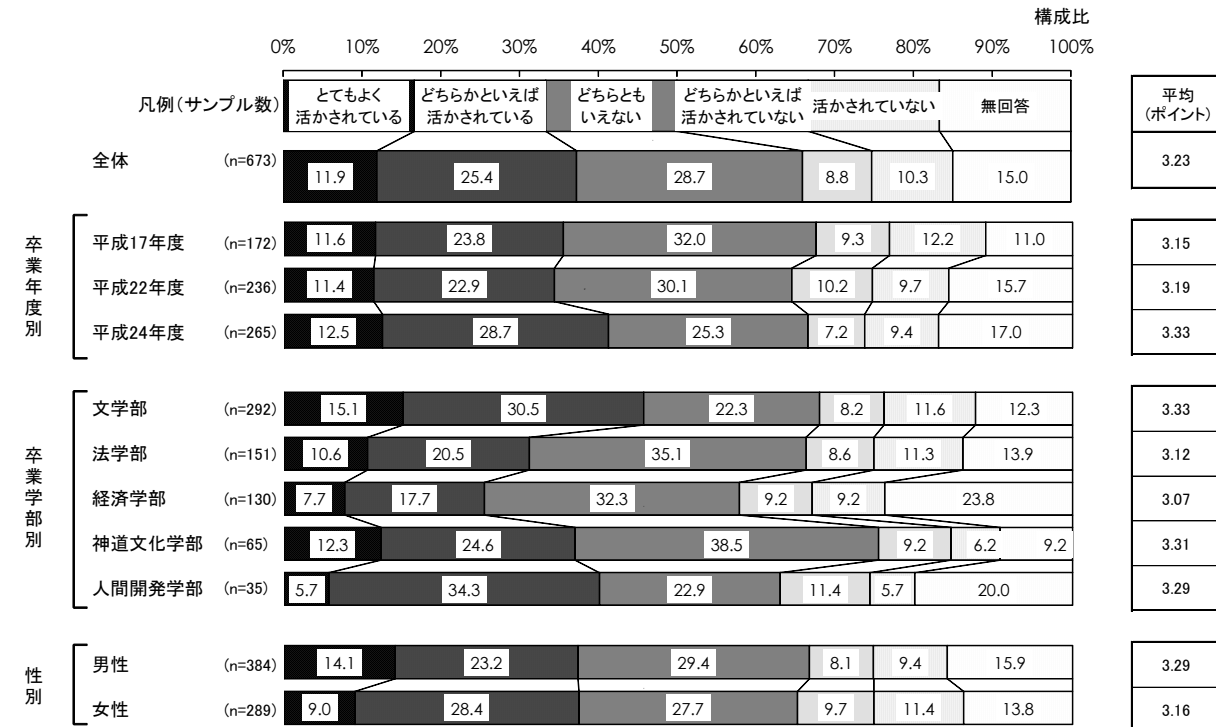
図表 3-51 専門的な知識 (SA)



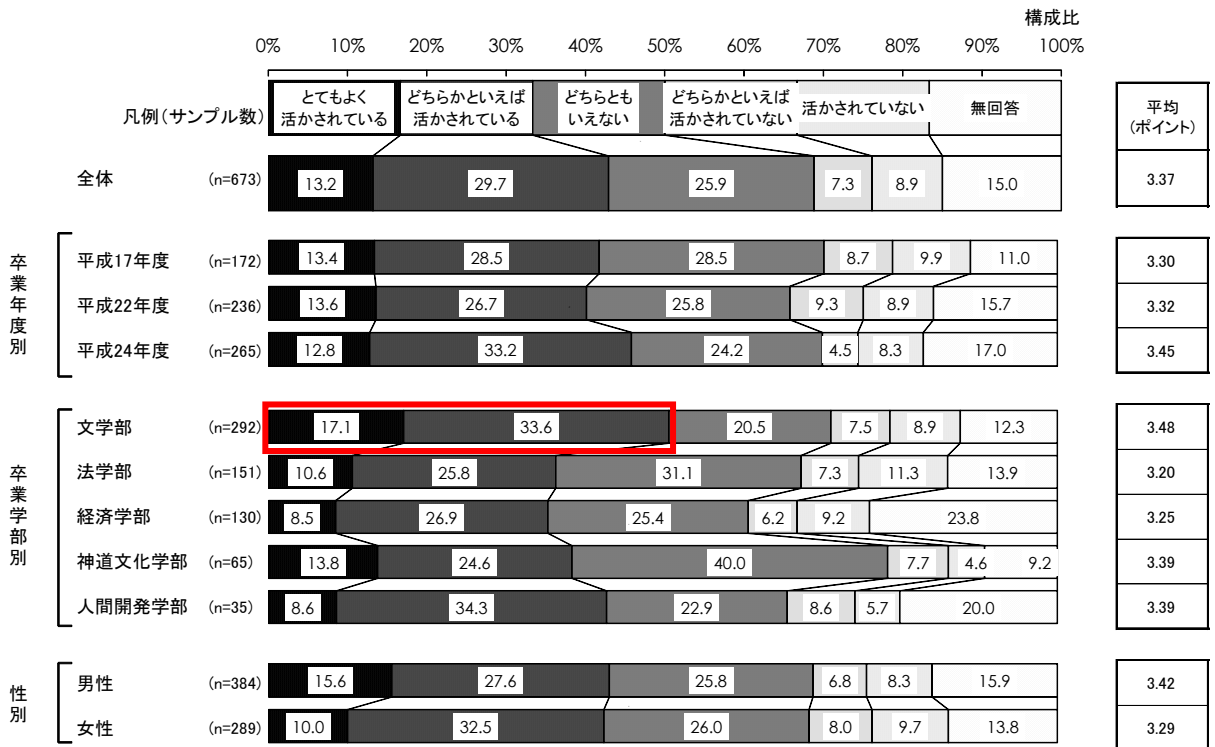
図表 3-52 最新の知識 (SA)



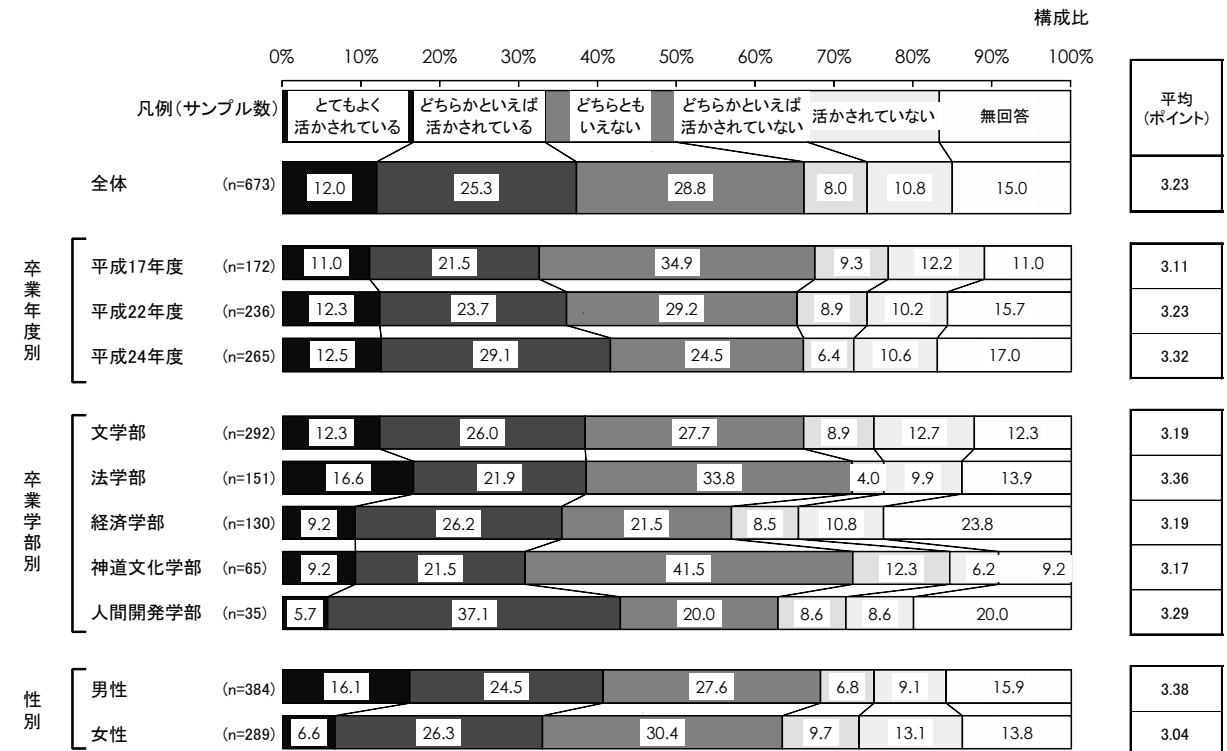
図表 3-53 調査・実験能力 (SA)



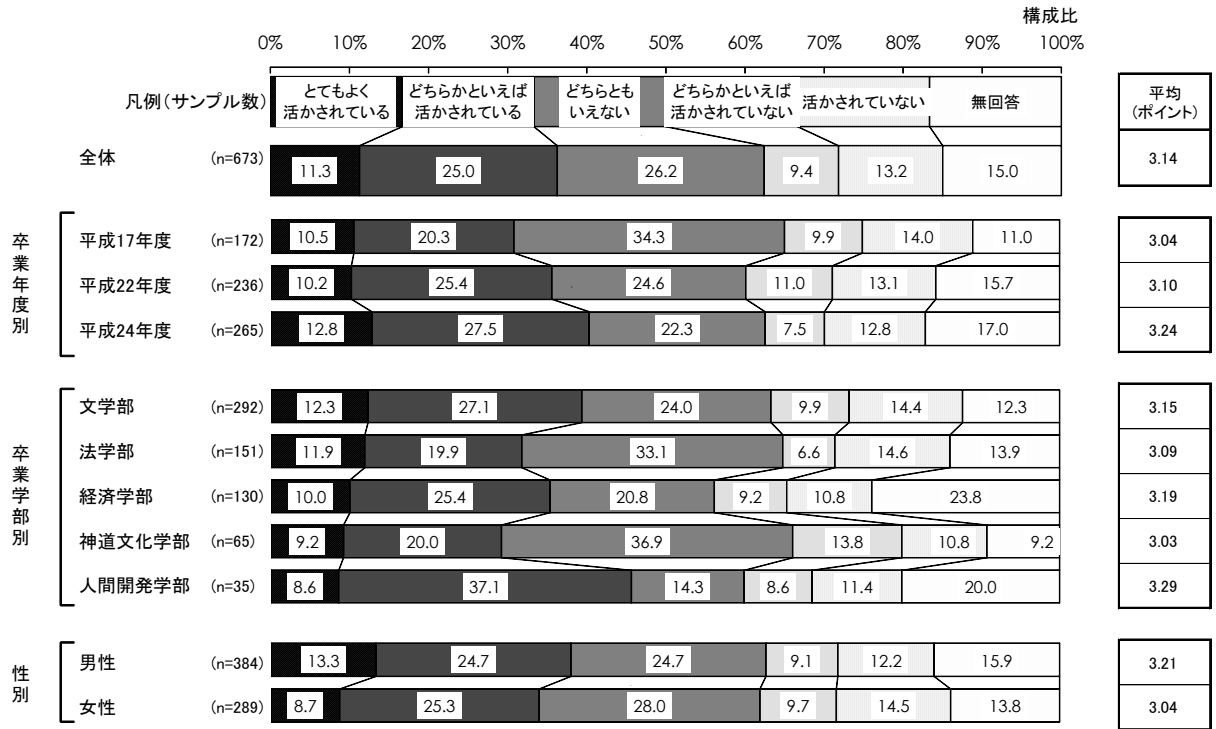
図表3-54 分析・研究能力 (SA)



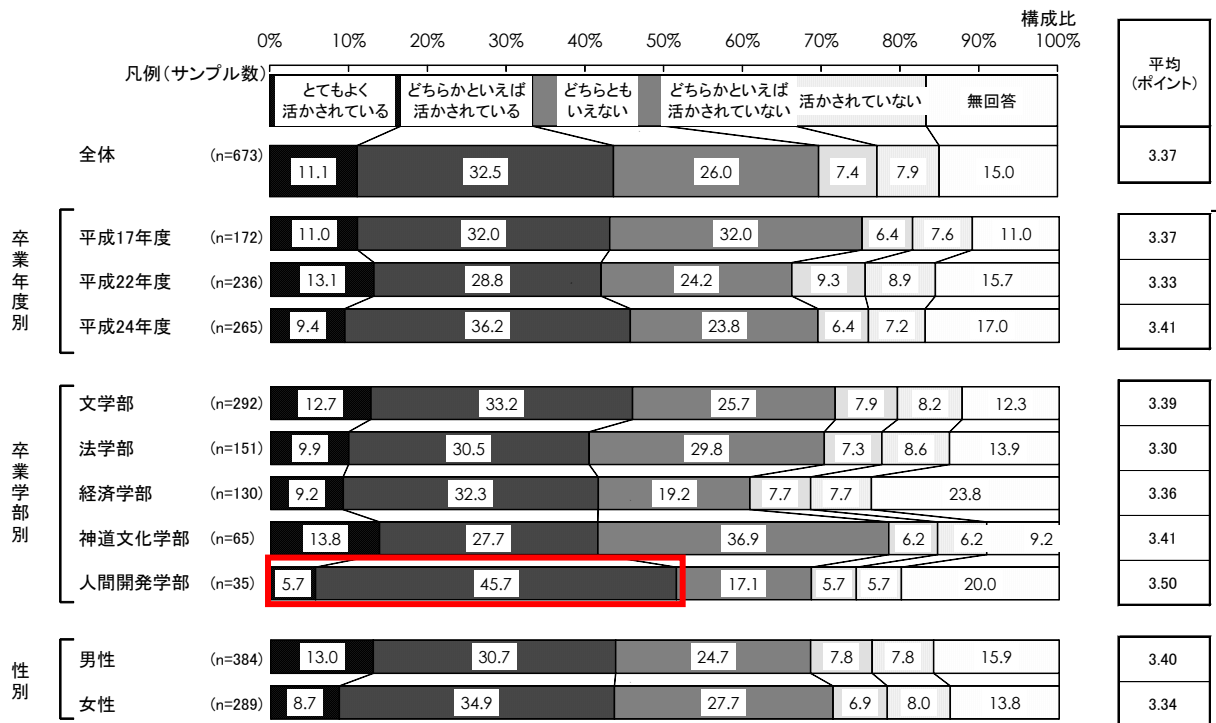
図表3-55 討議・議論能力 (SA)



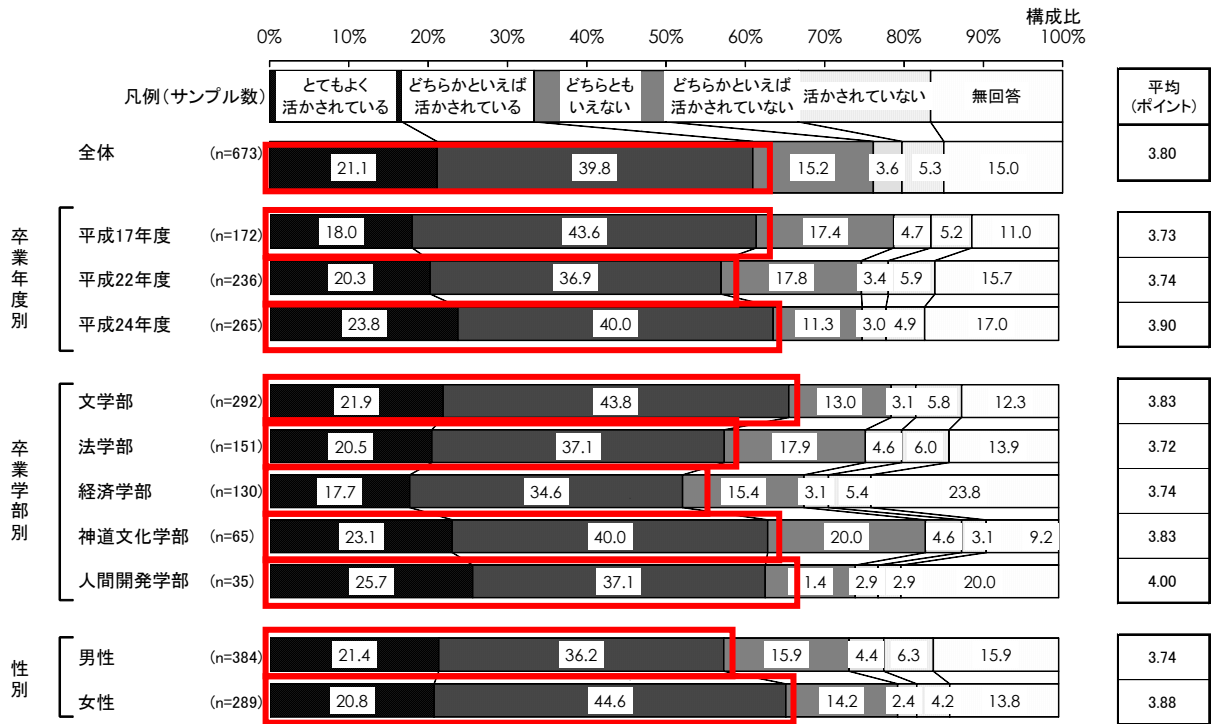
図表 3-56 プレゼンテーション能力 (SA)



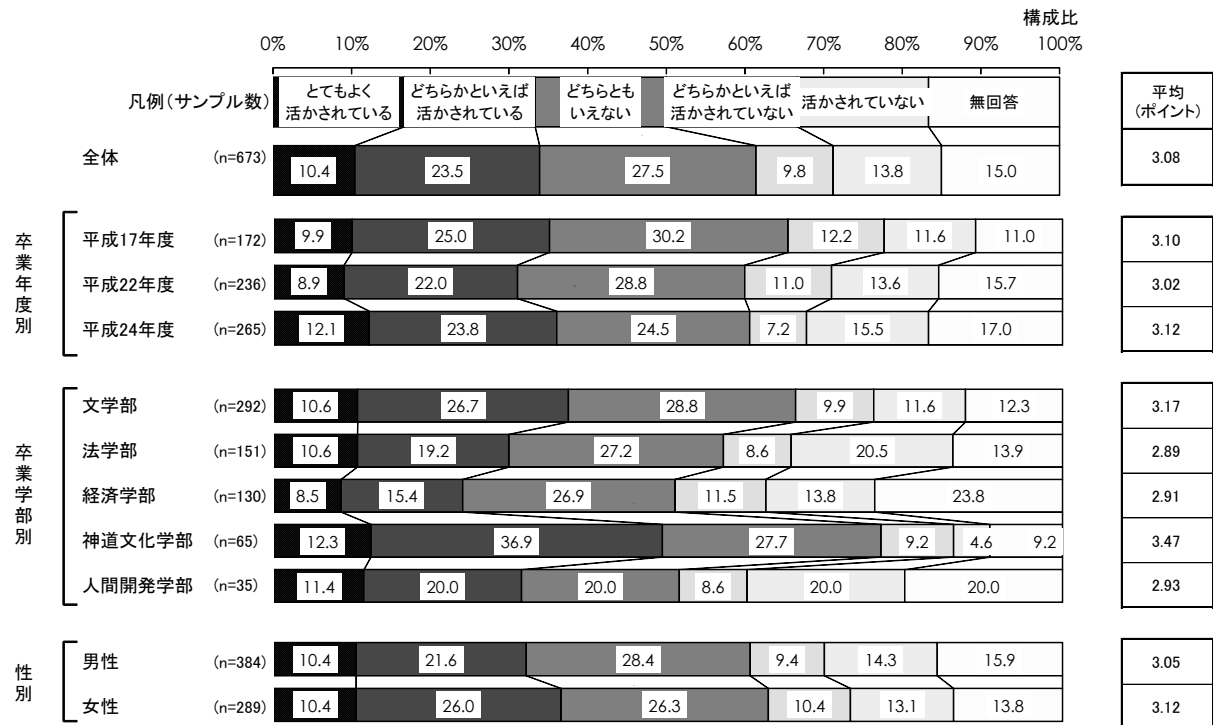
図表 3-57 課題解決能力 (SA)



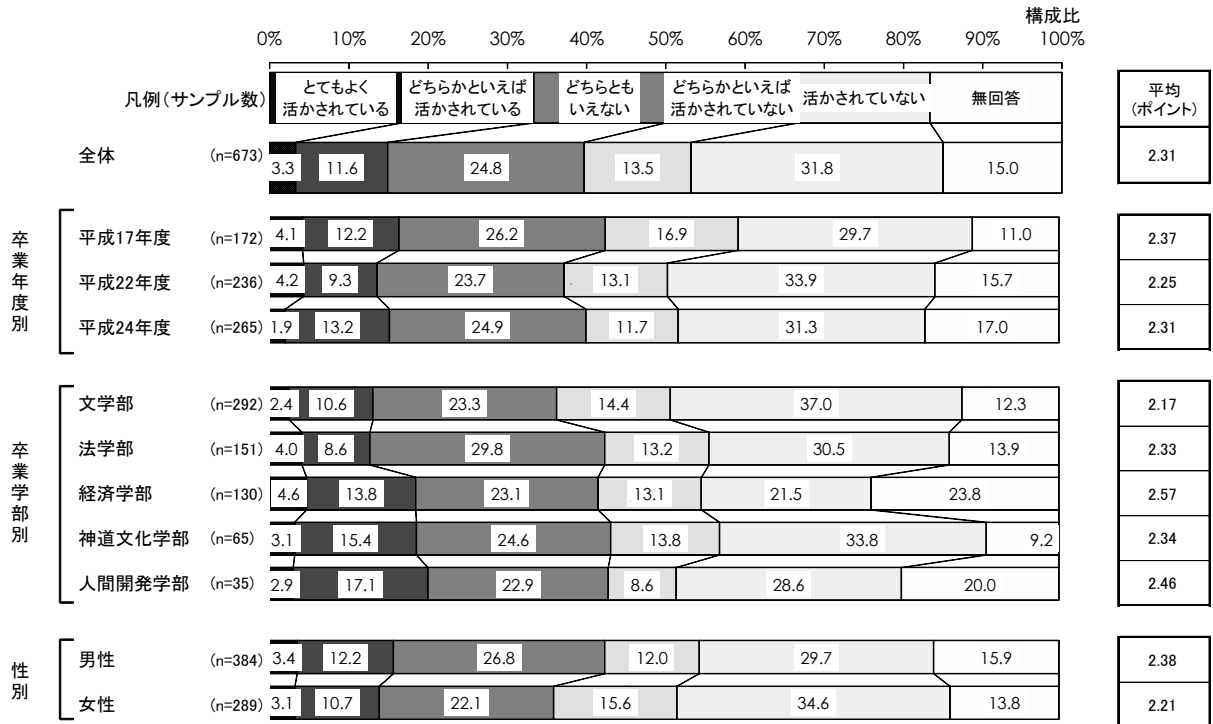
図表 3-58 多様な人々・考え方に対する理解力 (SA)



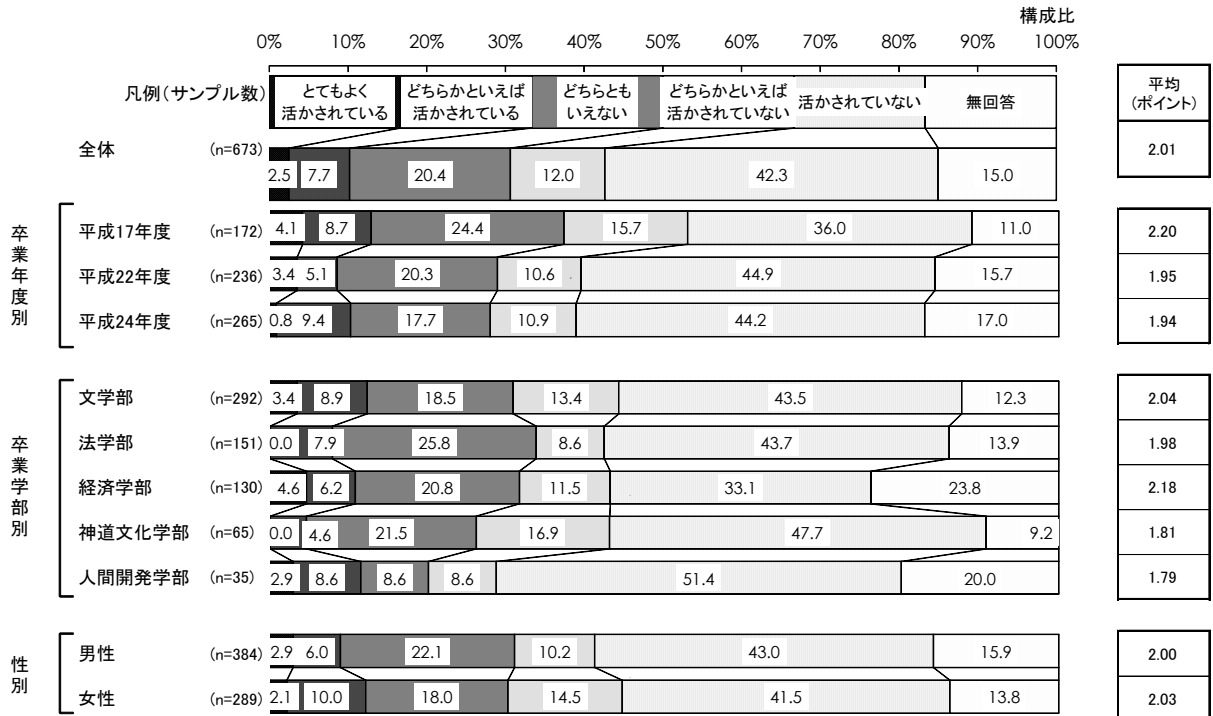
図表 3-59 諸外国の異文化に対する理解力 (SA)



図表 3-60 英語能力 (SA)



図表 3-61 英語以外の語学能力 (SA)



10. 「在学当時に身につけておけばよかった」と思う知識や能力はありますか。
(答えはいくつでも)

在学当時に身につけておけばよかったと思う知識や能力は、「英語能力」が最も高く 49.6%、次いで「プレゼンテーション能力」が 39.7%、「討議・議論能力」が 29.4%などの順となっている。

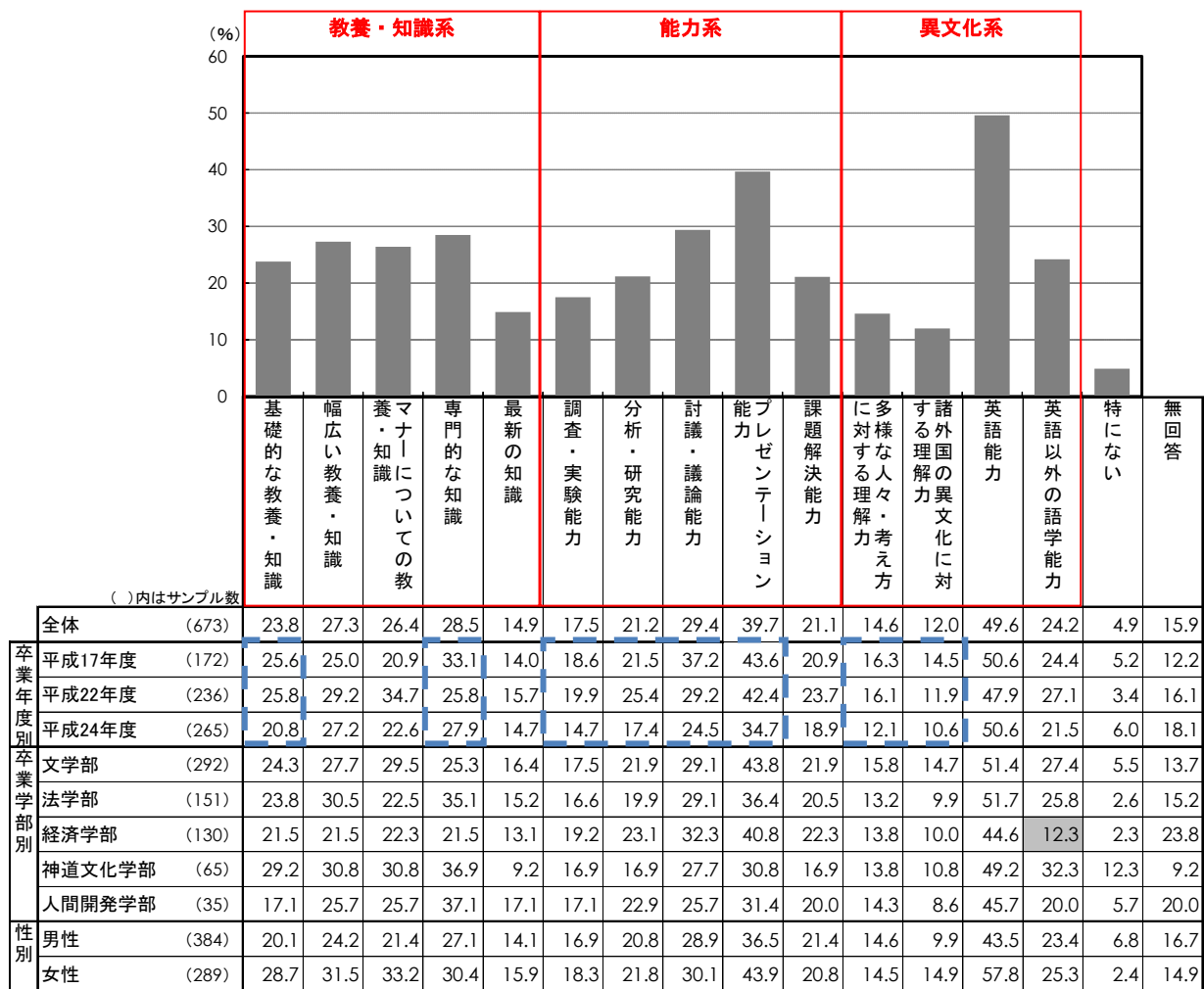
卒業年度別にみると、いずれの卒業年度も「英語能力」が最も高くなっている。また、卒業してから年数がたつほど、「身につけておけばよかった」という割合が高くなる項目は、「討議・議論能力」、「プレゼンテーション能力」、「多様な人々・考え方に対する理解力」、「諸外国の異文化に対する理解力」となっており、他者を理解したり、自身の考えを伝える能力を挙げる傾向がみられる。

卒業学部別にみると、いずれも「英語能力」が最も高いが、特に文学部と法学部は 50%を超える。

性別にみると、女性で「英語能力」という回答が 57.8%にのぼるのに対し、男性は 43.5%と 14.5ポイントも差があり、その他の多くの項目で女性の方が男性の割合を上回る傾向がみられる。

身につけなかった知識や能力に対し、「身につけておけばよかった」という回答が高くなるのが基本であるが、能力系は前述のとおり全般的に修得したという回答は高くない中で、「調査・実験能力」、「分析・研究能力」、「課題解決能力」は相対的に比べて低いことから、ニーズが限定的といえる。

図表 3-62 「在学当時に身につけておけばよかった」と思う知識や能力 (MA)



(構成比:%)

0 .. 全体より10ポイント以上大きい
0 .. 全体より10ポイント以上小さい

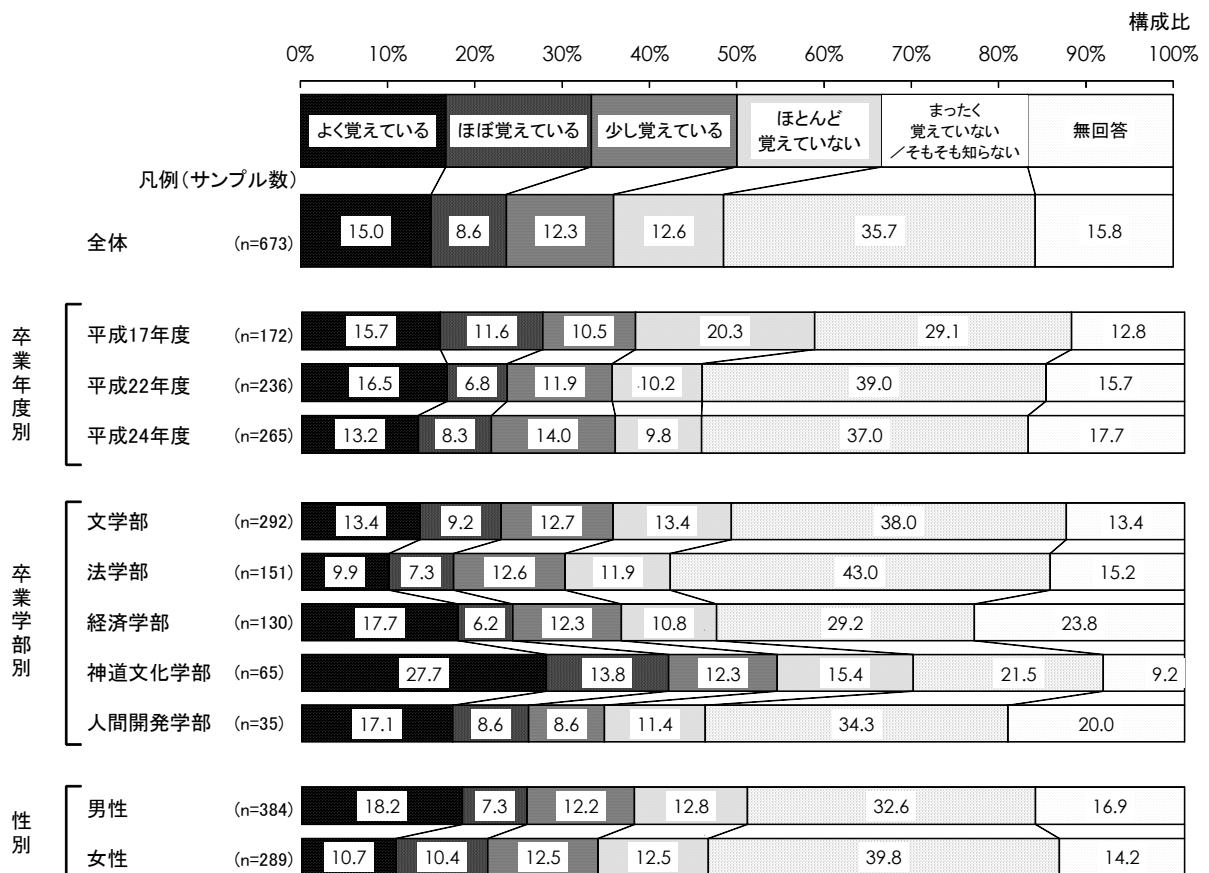
問4 大学の満足度

11. あなたは、國學院大学の校歌を覚えていますか。(1つ選択)

國學院大学の校歌を覚えているか、ということについては、「まったく覚えていない／そもそも知らない」が最も高く35.7%、次いで「よく覚えている」が15.0%、「ほとんど覚えていない」が12.6%となっている。

卒業年度別、性別でも、「まったく覚えていない／そもそも知らない」が最も高くなっている。

卒業学部別で見ると、神道文化学部は「よく覚えている」が27.7%と最も高くなっている。他の学部は「まったく覚えていない／そもそも知らない」が最も高い。



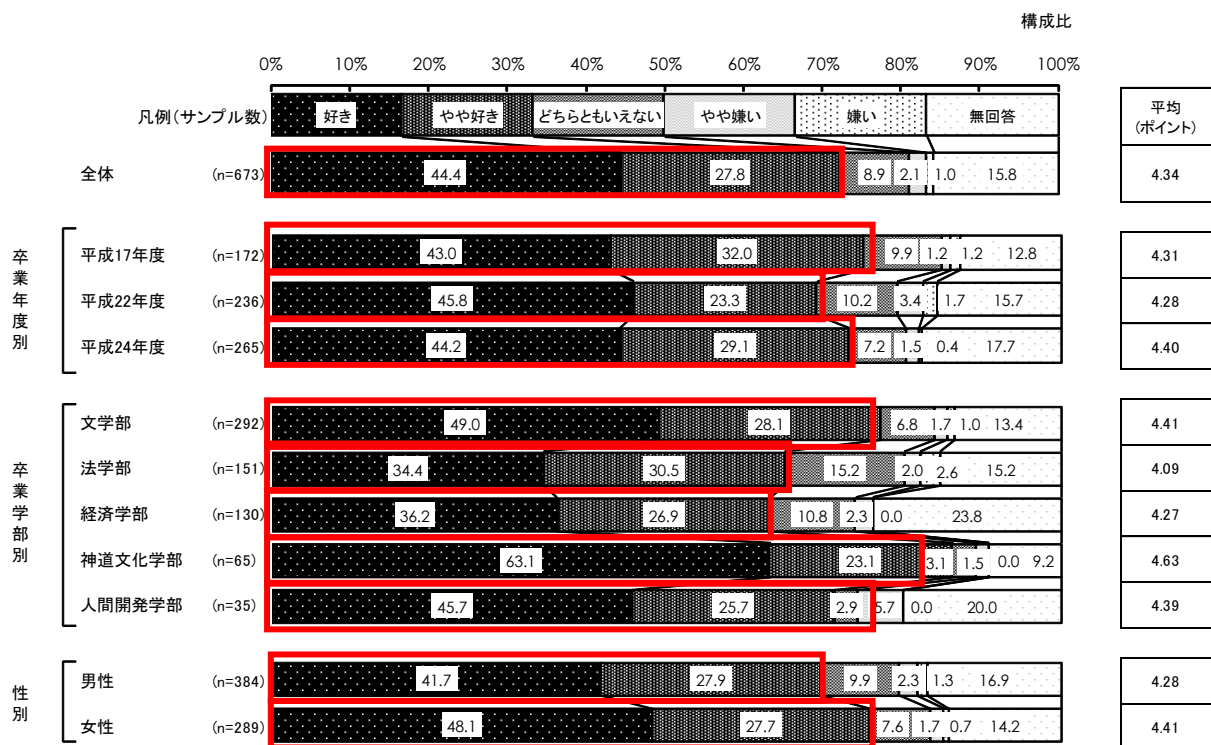
12. あなたは國學院大學が好きですか。(1つ選択)

國學院大學が好きか、ということについては「好き」が最も高く 44.4%、次いで「やや好き」が 27.8%、「どちらともいえない」が 8.9%となっている。

卒業学部別、卒業学年度別、性別で見ても同様である。

神道文化学部は「好き」が 63.1%と高いことが特徴である。

図表3-64 國學院大學について (SA)



※「好き」5ポイント、「やや好き」4ポイント、「どちらともいえない」3ポイント、「やや嫌い」2ポイント、「嫌い」1ポイントで平均を抽出。

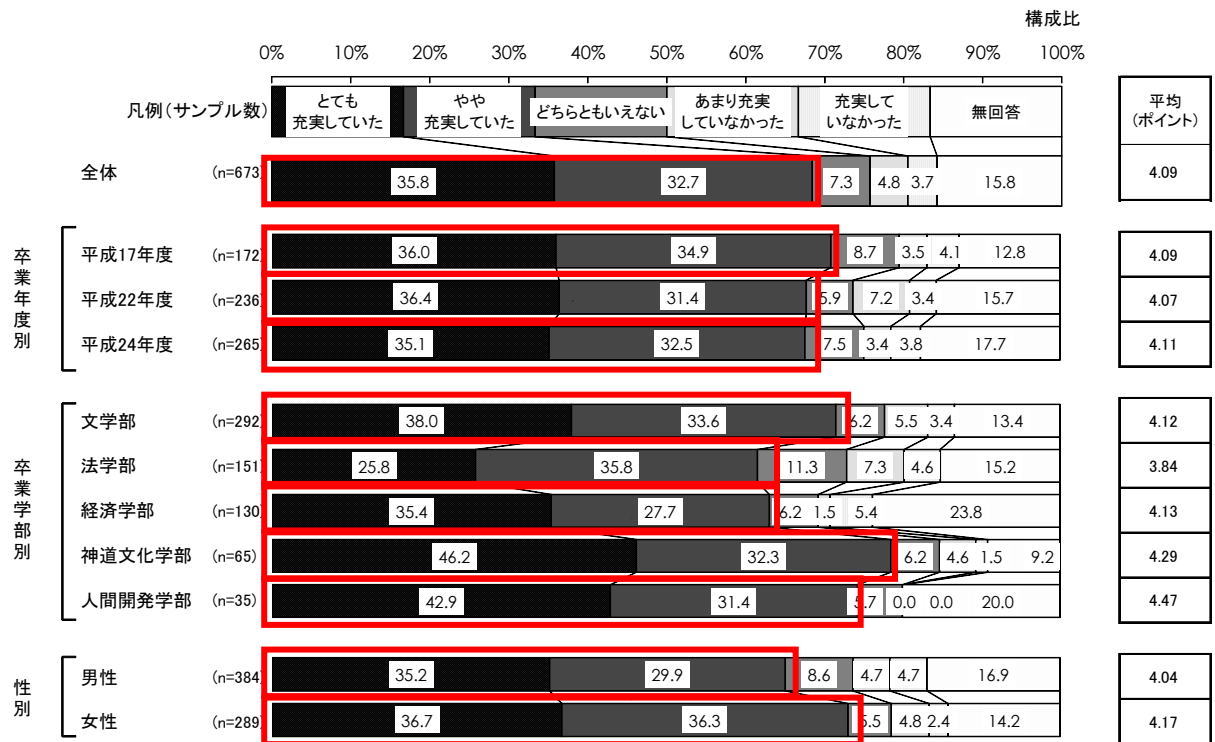
13. あなたの学生時代は、充実していましたか。(1つ選択)

学生時代が充実していたか、ということについては、「充実していた」が最も高く 35.8%、次いで「やや充実していた」が 32.7%、「どちらともいえない」が 7.3%となっている。

卒業年度別、性別でも、同様である。

卒業学部別で見ると、法学部は「やや充実していた」が 35.8%と最も高く、次いで「とても充実していた」が 25.8%となっている。他の学部は「充実していた」、「やや充実していた」の順となっている。

図表 3-65 学生時代について (SA)



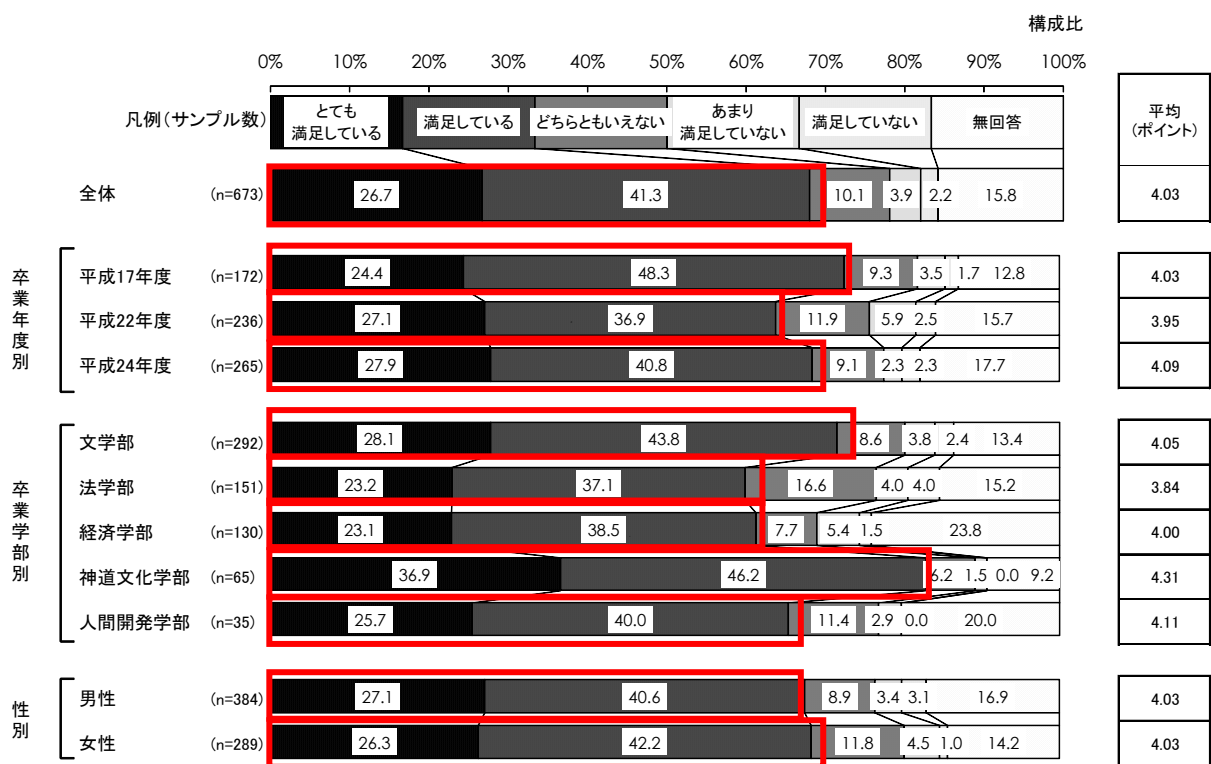
14. 本学に対する総合的な満足度をお答えください。(1つ選択)

本学に対する総合的な満足度については、「満足している」が最も高く 41.3%、次いで「とても満足している」が 26.7%、「どちらともいえない」が 10.1%となっている。

卒業学部別、卒業学年度別、性別で見ても同様である。

神道文化学部は「とても満足している」が 36.9%と他の学部より高いことが特徴である。

図表3-66 本学に対する総合的な満足度 (SA)



15. (「とても満足している」、「満足している」と回答された方にうかがいます。) あなたが國學院大學に満足している理由をお選びください。(答えはいくつでも)

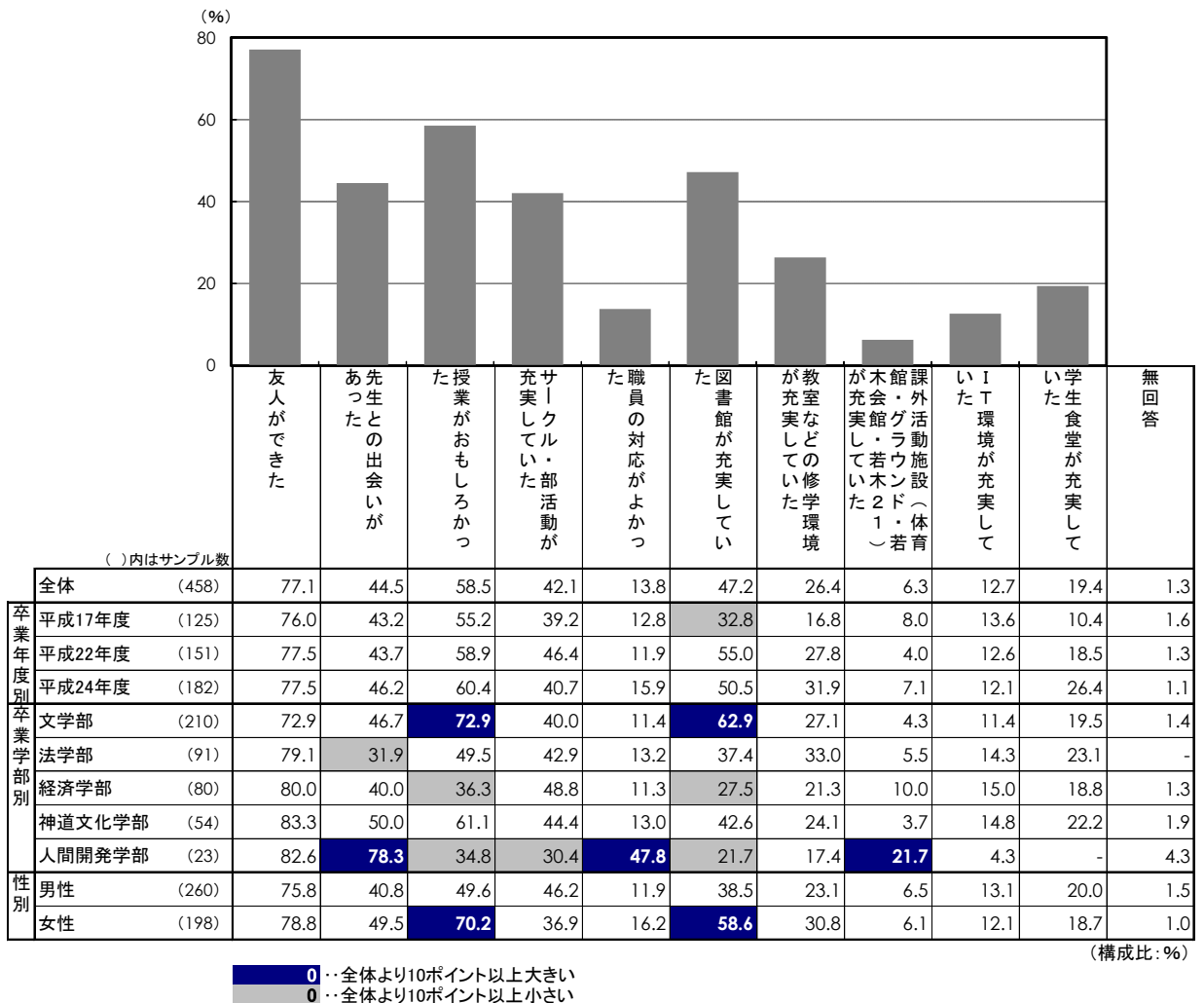
國學院大學に満足している理由は、「友人ができた」が最も高く 77.1%、次いで「授業がおもしろかった」が 58.5%、「図書館が充実していた」が 47.2%等の順となっている。

卒業年度別にみると、平成 17 年度においては、「図書館が充実していた」が 32.8%と、全体に対して低くなっている。

卒業学部別にみると、人間開発学部において「先生との出会いがあった」の割合が 78.3%と高いのが特徴である。

性別でみると、女性において「授業がおもしろかった」、「図書館が充実していた」の割合が男性よりも 10 ポイント以上高くなっている。

図表 3-67 國學院大學に満足している理由 (MA)

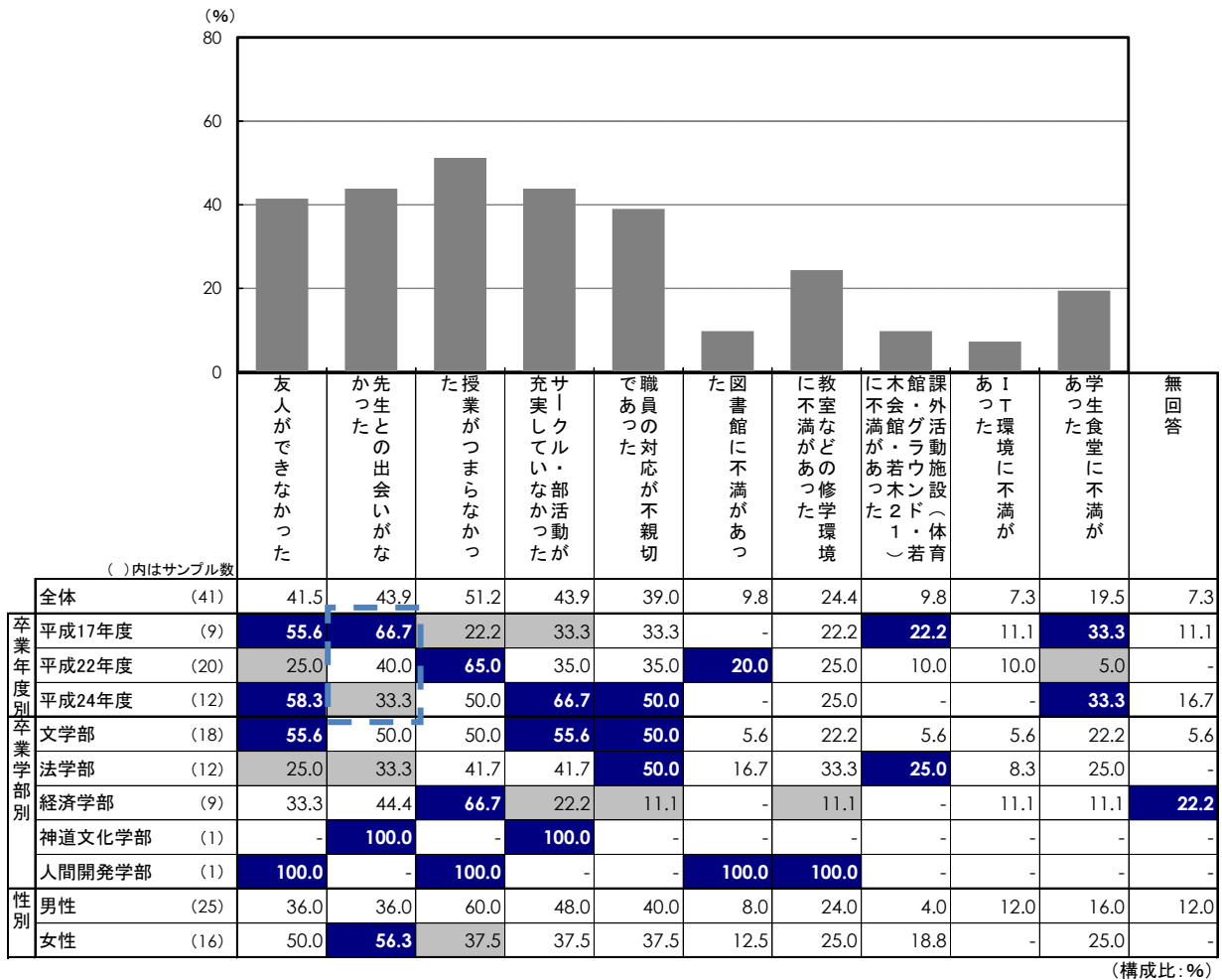


16. (「あまり満足していない」、「満足していない」と回答された方にうかがいます。) あなたが國學院大學に不満足な理由をお選びください。(答えはいくつでも)

國學院大學に不満足な理由は、「授業がつまらなかった」が最も高く 51.2%、次いで「先生との出会いがなかった」と「サークル・部活動が充実していなかった」が 43.9%等の順となっている。

卒業年度別にみると、平成 17 年度においては、「先生との出会いがなかった」が 66.7%と最も高くなっている。

図表 3-68 國學院大學に不満足な理由 (MA)

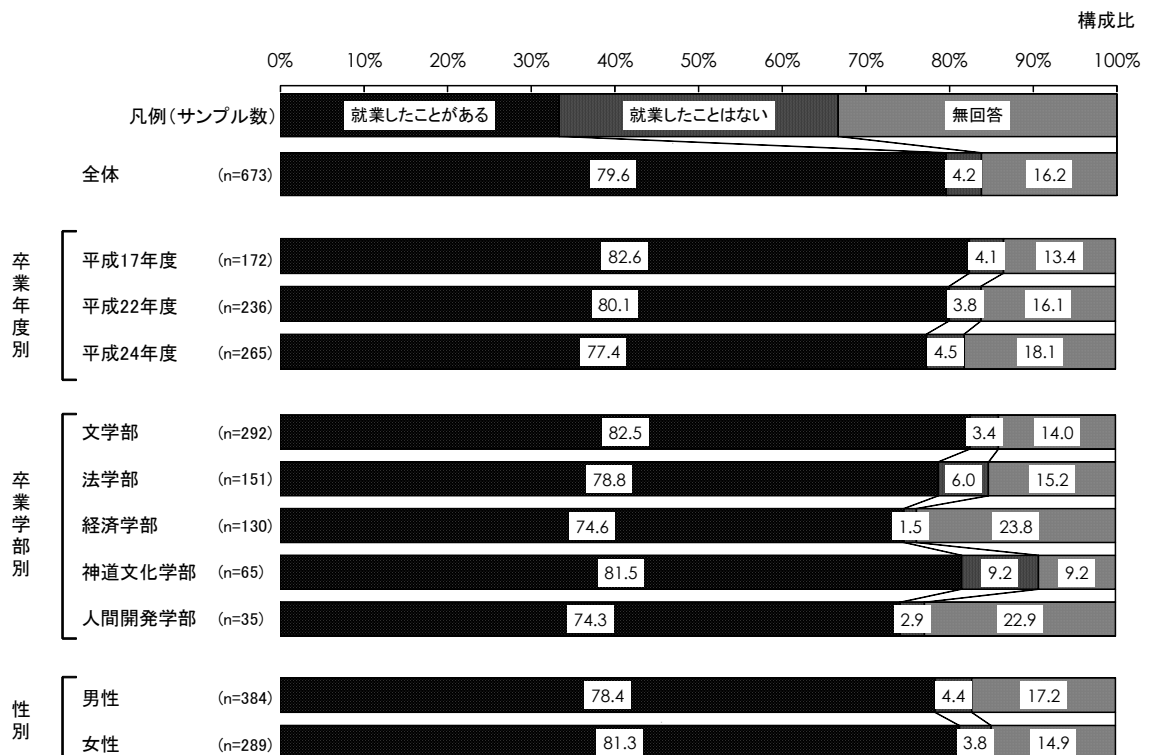


問5 就業状況

17. 大学卒業後の就業経験をお答えください。(1つ選択)

大学卒業後の就業経験は、「就業したことがある」が79.6%となっている。
卒業年度別、卒業学部別、性別でも、同様の傾向である。

図表3-69 大学卒業後の就業経験 (SA)

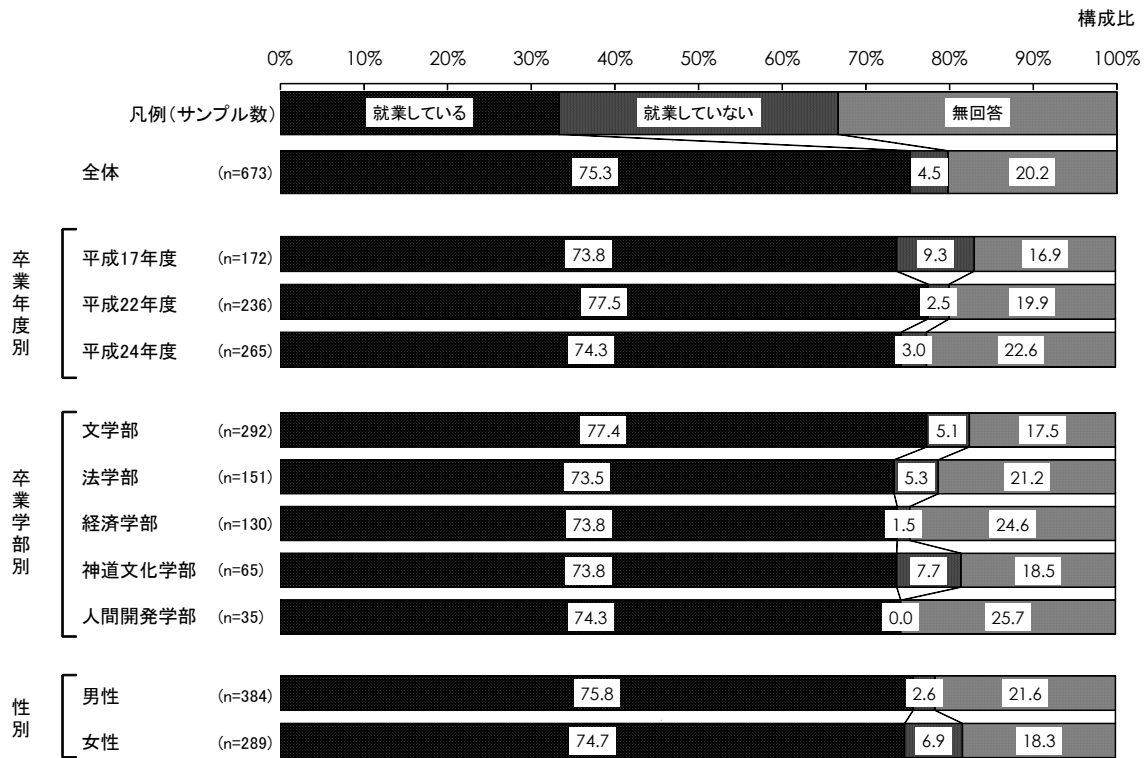


18. 現在の就業状況をお答えください。(1つ選択)

現在の就業状況は、「就業している」が75.3%、「就業していない」が4.5%となっている。

卒業年度別、卒業学部別でも、「就業している」が7割を超え同様の傾向である。性別でも同様であるが、女性は「就業していない」が6.9%と男性より高くなっている。

図表 3-70 現在の就業状況 (SA)



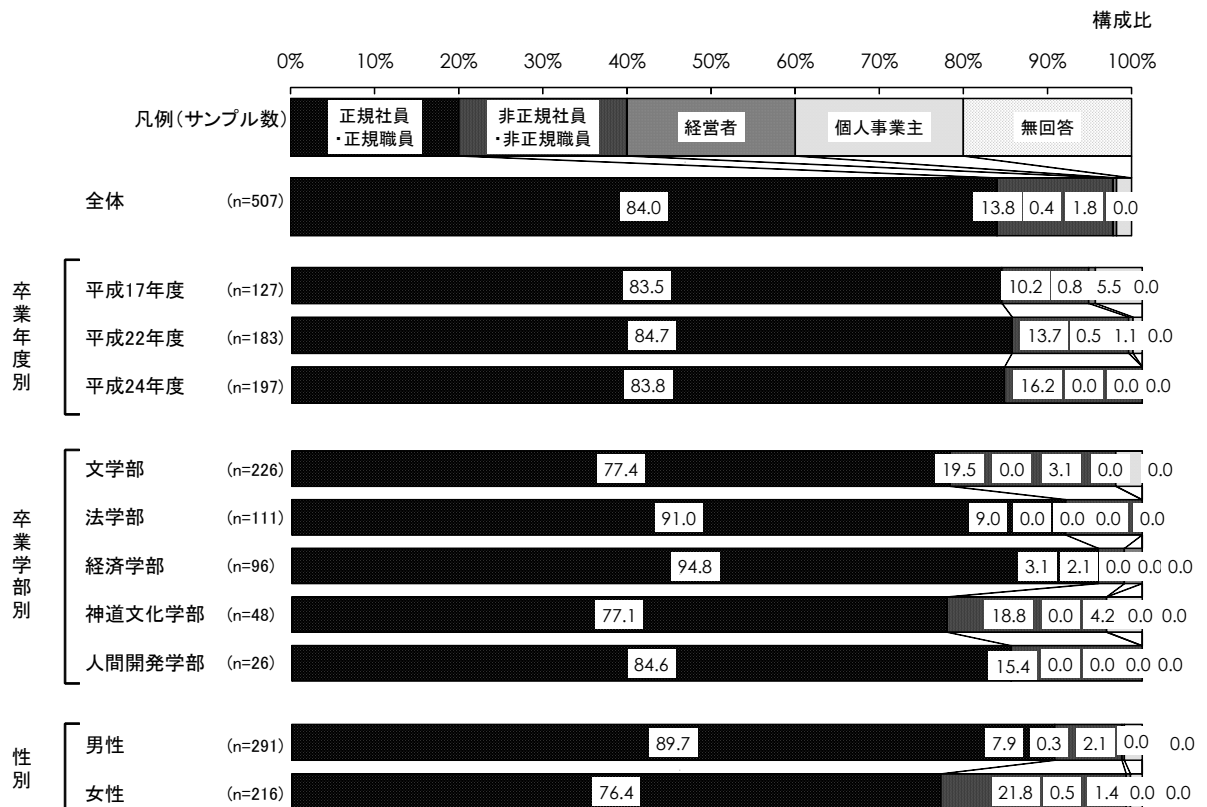
19. (就業中の方にお聞きします。) 現在の就業形態をお答えください。(1つ選択)

就業者における就業形態は、「正規社員・正規職員」が84.0%で最も多く、次いで「非正規社員・非正規職員」が13.8%、「個人事業主」が1.8%、「経営者」が0.4%の順となっている。

卒業年度別でも同様の傾向である。卒業学部別にみると、法学部と経済学部は「正規社員・正規職員」の割合がともに9割を超えるのに対し、文学部と神道文化学部はともに8割を下回る。

性別で見ると、男性の「正規社員・正規職員」が89.7%であるのに対し、女性は76.4%で10ポイント以上男性が上回り、その分女性は「非正規社員・非正規職員」が21.8%と高くなっている。

図表3-71 (就業中の方のみ) 現在の就業形態 (SA)



20. (就業中の方にお聞きします。) 現在の就業先規模は次のうちどれですか。(1つ選択)

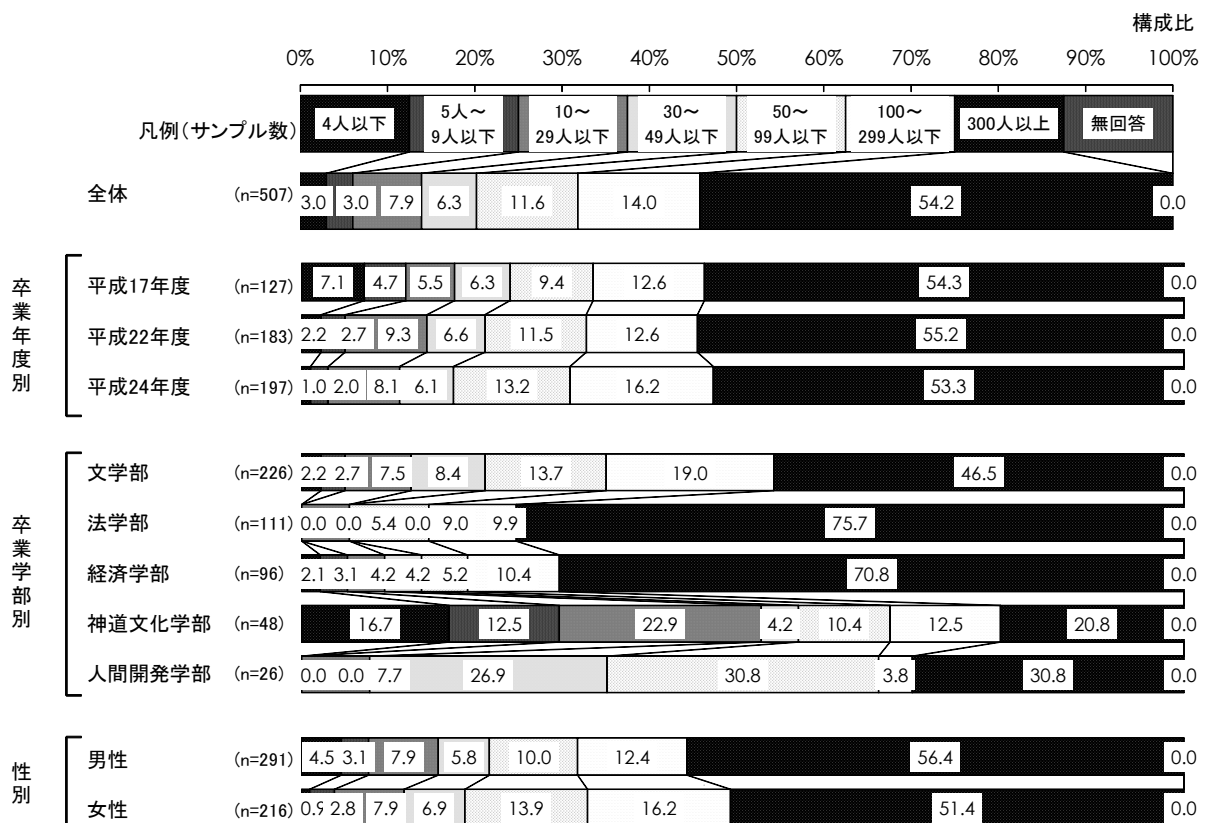
就職先の規模は、「300人以上」が54.2%と半数を超えている。

卒業年度別にみても同様の傾向である。

卒業学部別にみると、法学部と経済学部は「300人以上」がともに7割を超え、大企業で就業中の割合が他学部卒業生よりも高くなっている。

性別でみると、男女ともに「300人以上」が半数を超えているが、男性の方が5ポイント高く、女性は「50人～299人」の層で男性よりも割合が高くなっている。

図表3-72 (就業中の方のみ) 現在の就職先規模 (SA)



21. (就業者の方にお聞きします。) あなたは現在の進路や就業状況に満足されていますか。(1つ選択)

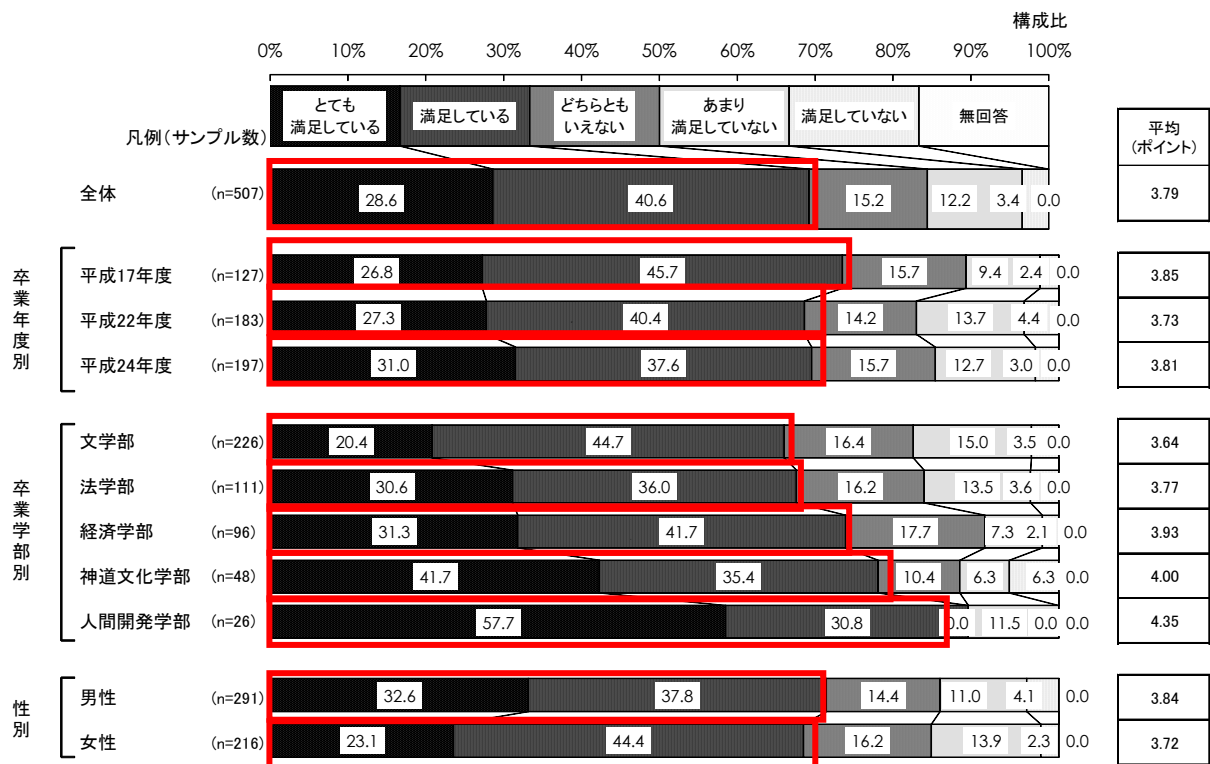
現在の進路や就業状況に「とても満足している」と「満足している」を合わせた『満足』の割合は69.2%、「あまり満足していない」と「満足していない」を合わせた割合は15.6%となっている。

卒業年度別にみると、いずれの年度も『満足』の割合は約7割となっている。

卒業学部別にみると、人間開発学部において『満足』という割合が最も高く88.5%、逆に最も低いのは文学部で65.1%にとどまっている。

性別にみると、男性の方が女性よりも『満足』と回答する割合が高くなっている。

図表3-73 (就業者の方のみ) 現在の進路や就業状況に対する満足度(SA)



22. 転職の経験をお答えください。(1つ選択)

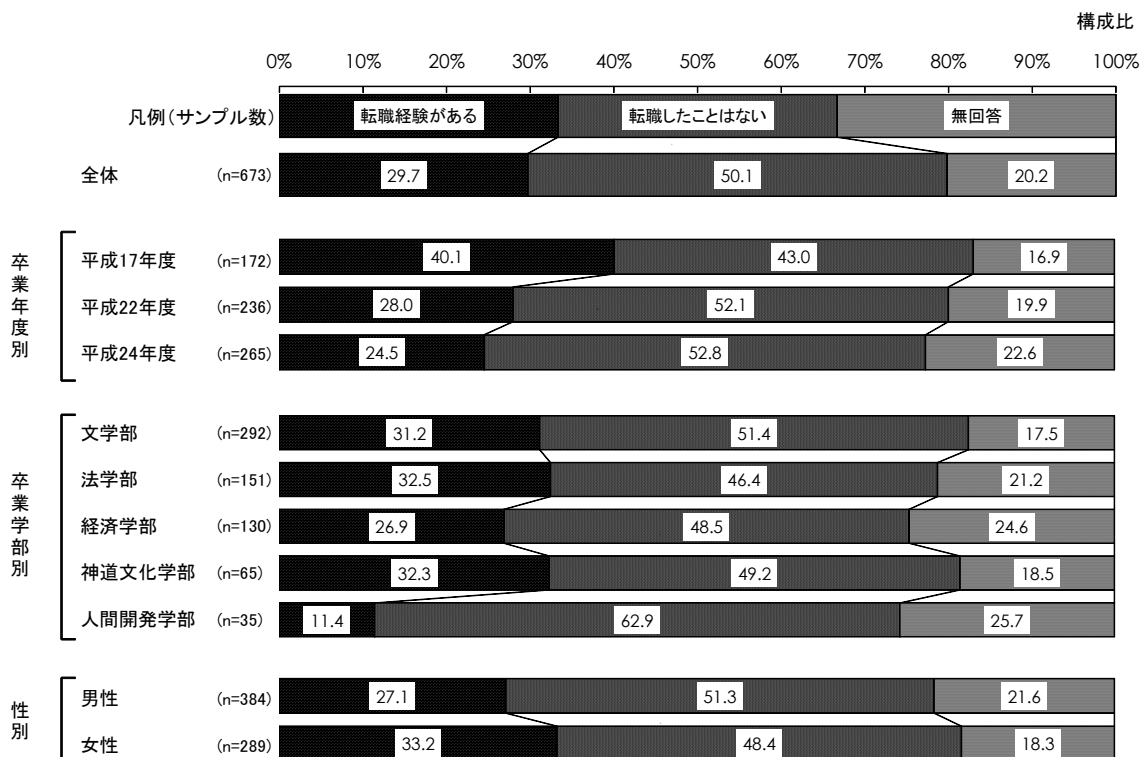
「転職経験がある」という割合は29.7%、「転職したことはない」は50.1%で、転職経験がある方が少ない。

卒業年度別にみると、いずれも「転職したことはない」という回答が上回るものの、卒業から年数が経過するほど転職経験者が増え、平成17年度では4割にのぼり、転職経験者と未経験者がほぼ同数となっている。

卒業学部別にみると、人間開発学部において転職経験者が11.4%と他学部比べて少なくなっているが、これは新設学部であるため、卒業後間もない卒業生が多いためと考えられる。

性別にみると、女性の方が男性よりも転職経験が多くなっている。

図表3-74 転職経験 (SA)

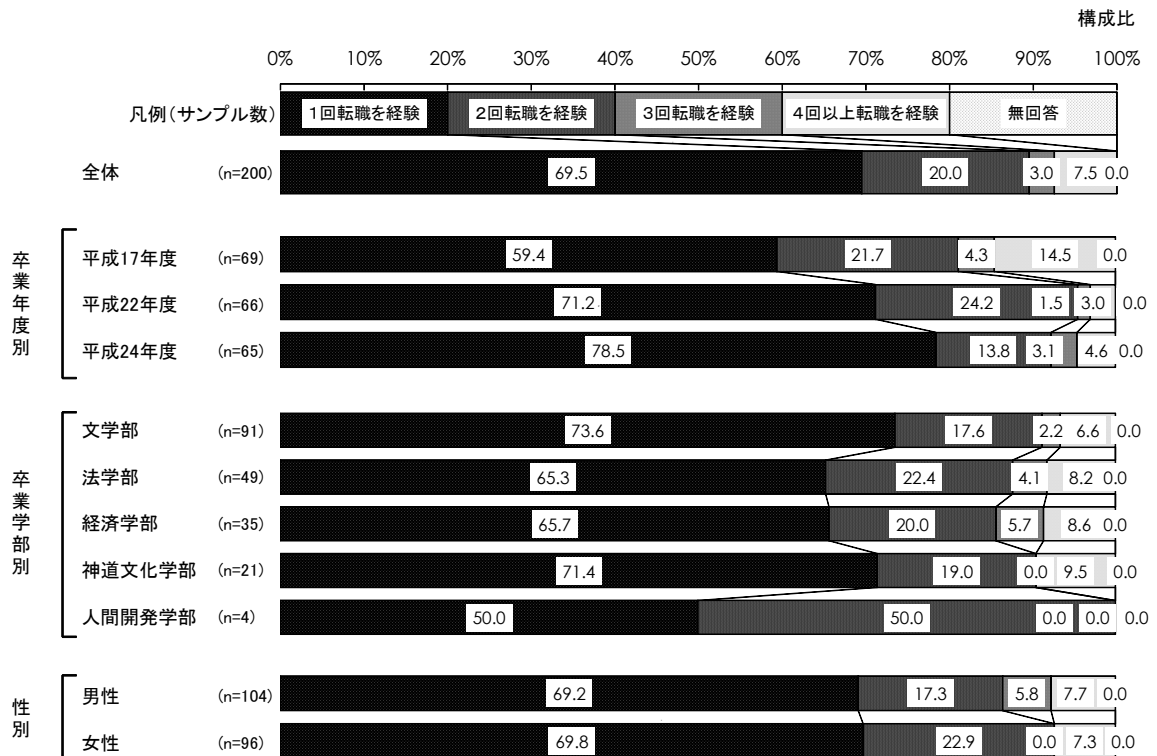


23. 転職経験がある方は転職回数をお答えください。(1つ選択)

転職経験者のうち、転職回数は「1回転職を経験」という回答が69.5%で半数以上を占めている。「4回以上の転職を経験」した者は3.0%みられる。

卒業年度別にみると、卒業から年数が経過するほど、転職経験回数も増え、平成17年度卒業生においては、「2回転職を経験」した者は21.7%、「4回以上転職を経験」した者も14.5%にのぼる。卒業学部別にみると、いずれも「1回転職を経験」が半数以上を占めている。性別にみても同様の傾向である。

図表3-75 (転職経験者のみ) 転職回数(SA)



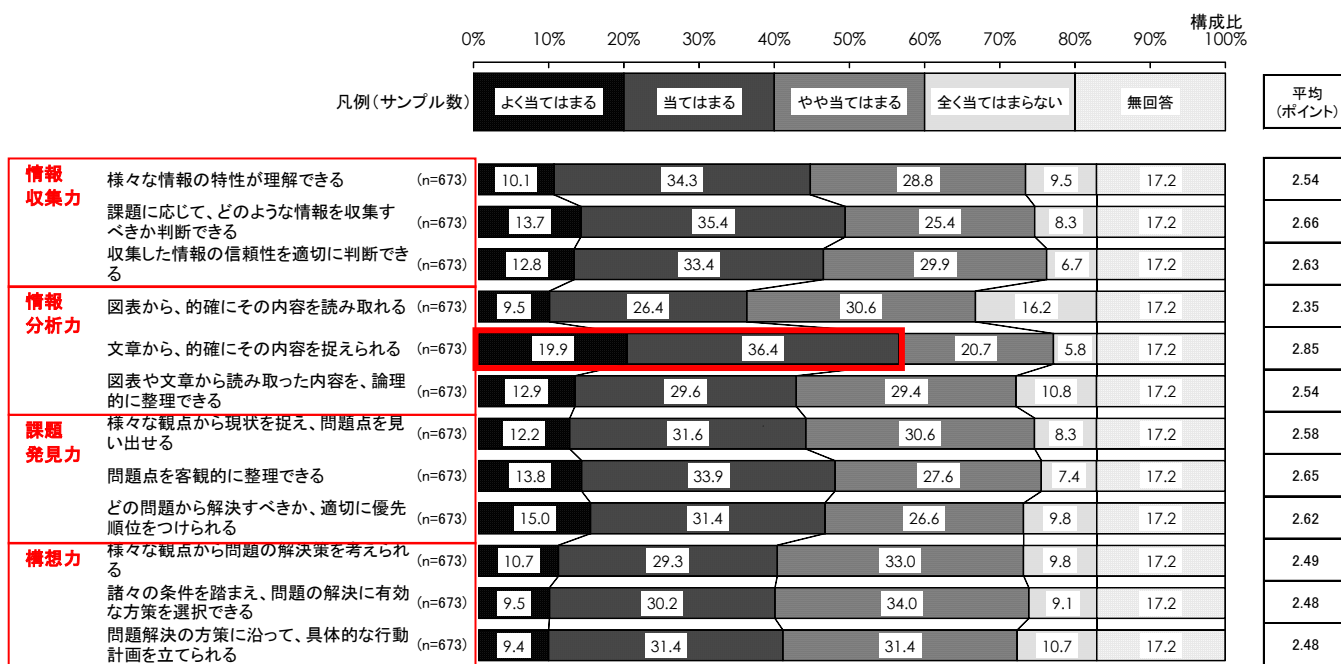
問6 学生時代に身についたと思う能力

24. 学生時代に身についたと思う能力として、以下の項目はどの程度当てはまりますか。(それぞれ1つ選択)

学生時代に身についたと思う能力は、[文章から、的確にその内容を捉えられる]が最も多く、「よく当てはまる」(19.9%)と、「当てはまる」(36.4%)を合わせた『当てはまる』が56.3%で半数以上を占め、加重平均は2.85ポイントである。次いで、[課題に応じて、どのような情報を収集すべきか判断できる]が2.66ポイント、[問題点を客観的に整理できる]が2.65ポイントの順となっており、文章や情報を収集、理解する能力は比較的高くなっている。

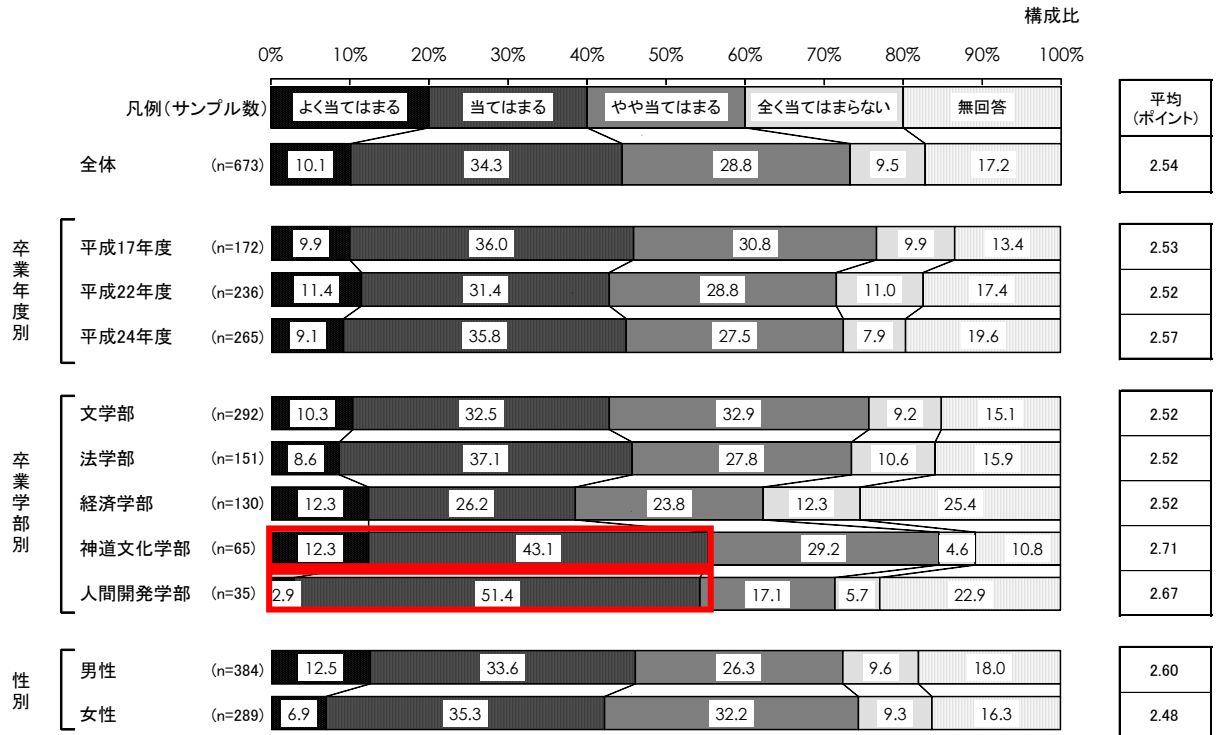
一方、[図表から、的確にその内容を読み取れる]は2.35ポイントで最も低くなっている。次いで、[問題解決の方策に沿って、具体的な行動計画を立てられる]、[諸々の条件を踏まえ、問題の解決に有効な方策を選択できる]はともに2.48ポイント、[様々な観点から問題の解決策を考えられる]は2.48ポイントなど、問題を解決する能力は比較的低い結果となっている。

図表3-76 学生時代に身についたと思う能力(SA)

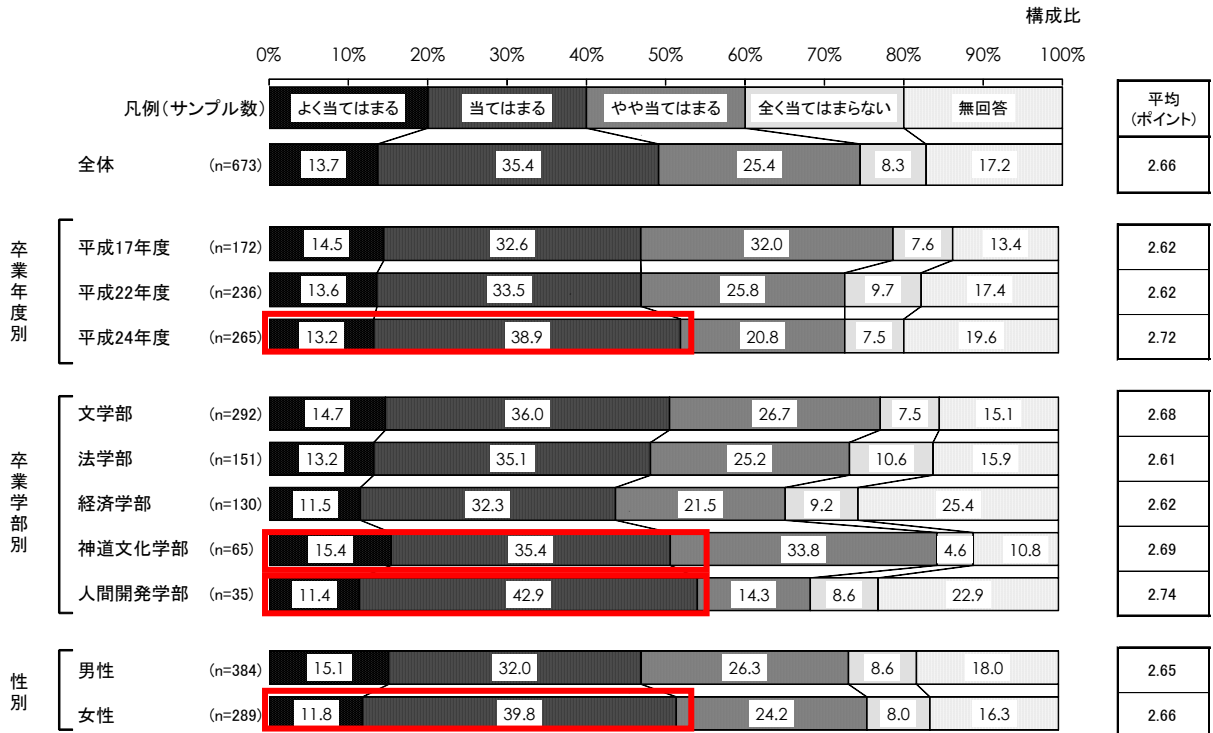


※「よく当てはまる」4ポイント、「当てはまる」3ポイント、「やや当てはまる」2ポイント、「全く当てはまらない」1ポイントで、平均を抽出。

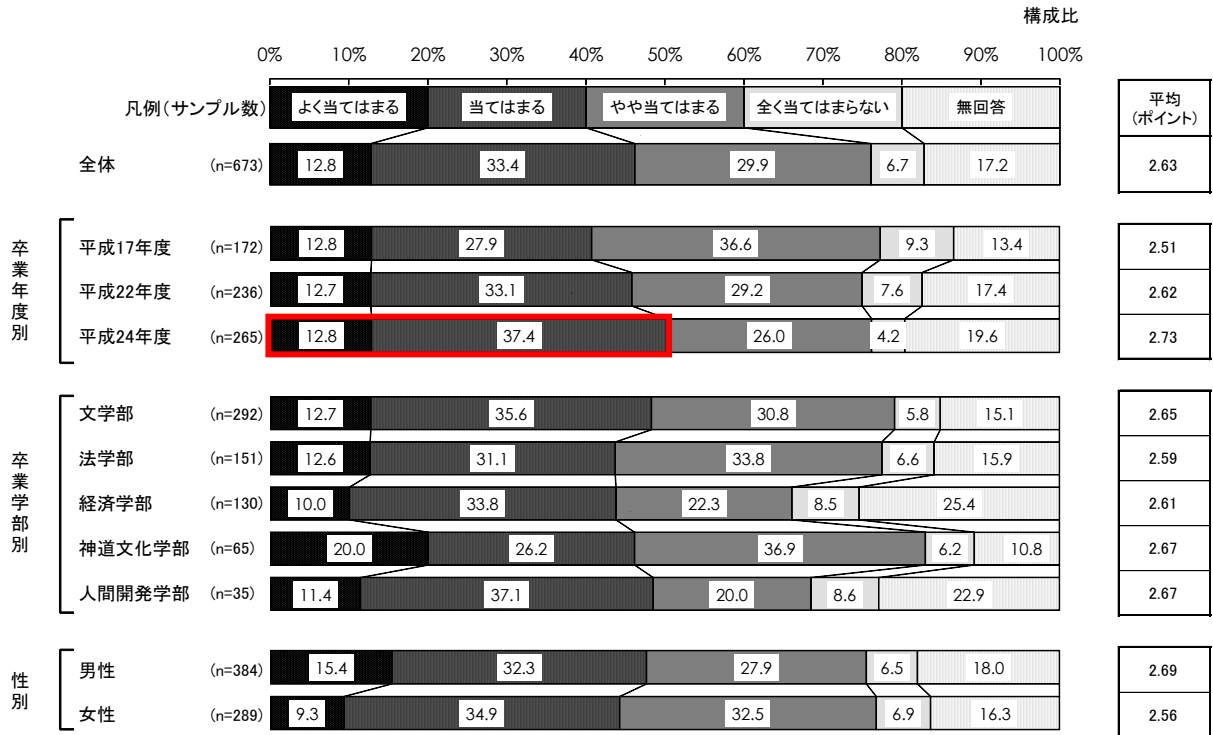
図表 3-77 様々な情報の特性が理解できる (SA)



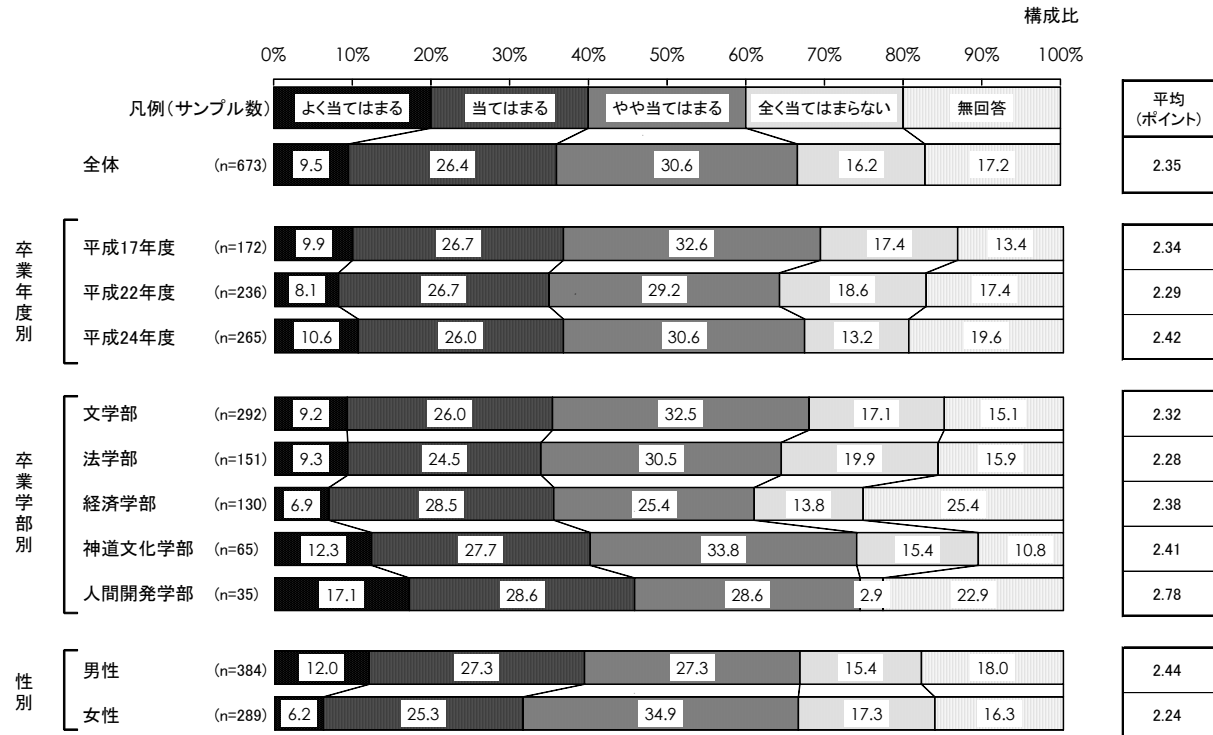
図表 3-78 課題に応じて、どのような情報を収集すべきか判断できる (SA)



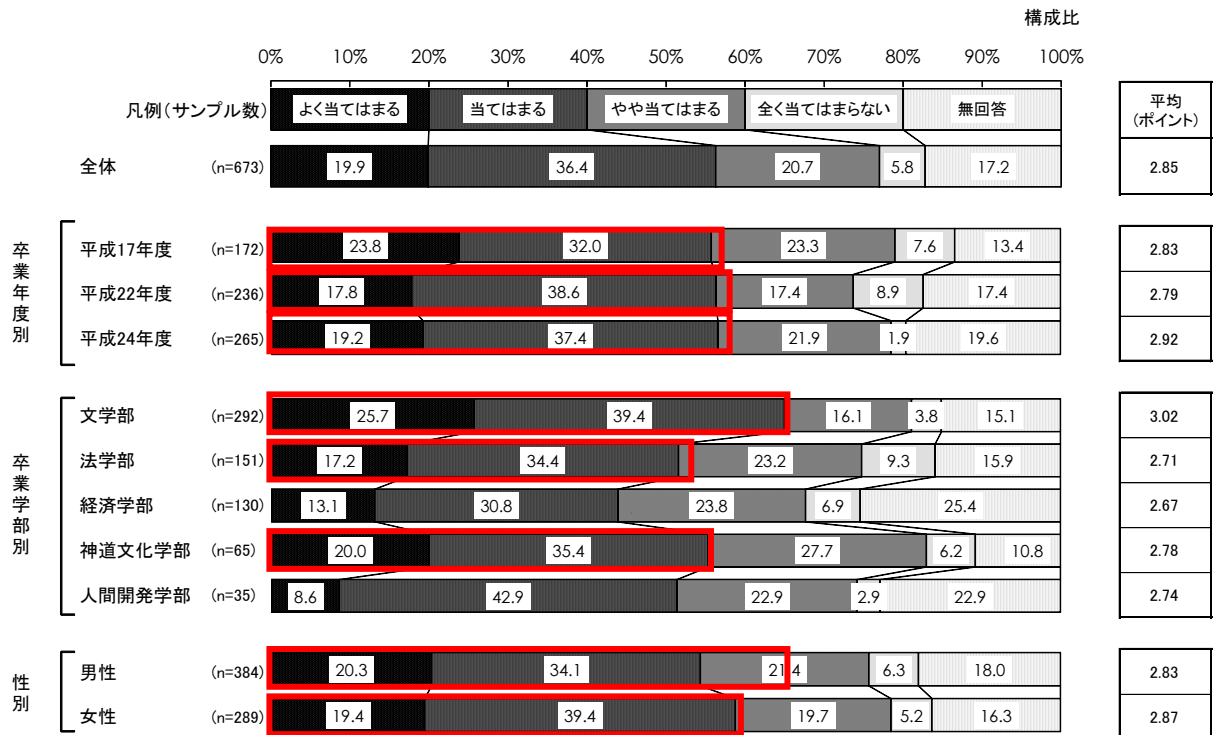
図表 3-79 収集した情報の信頼性を適切に判断できる (SA)



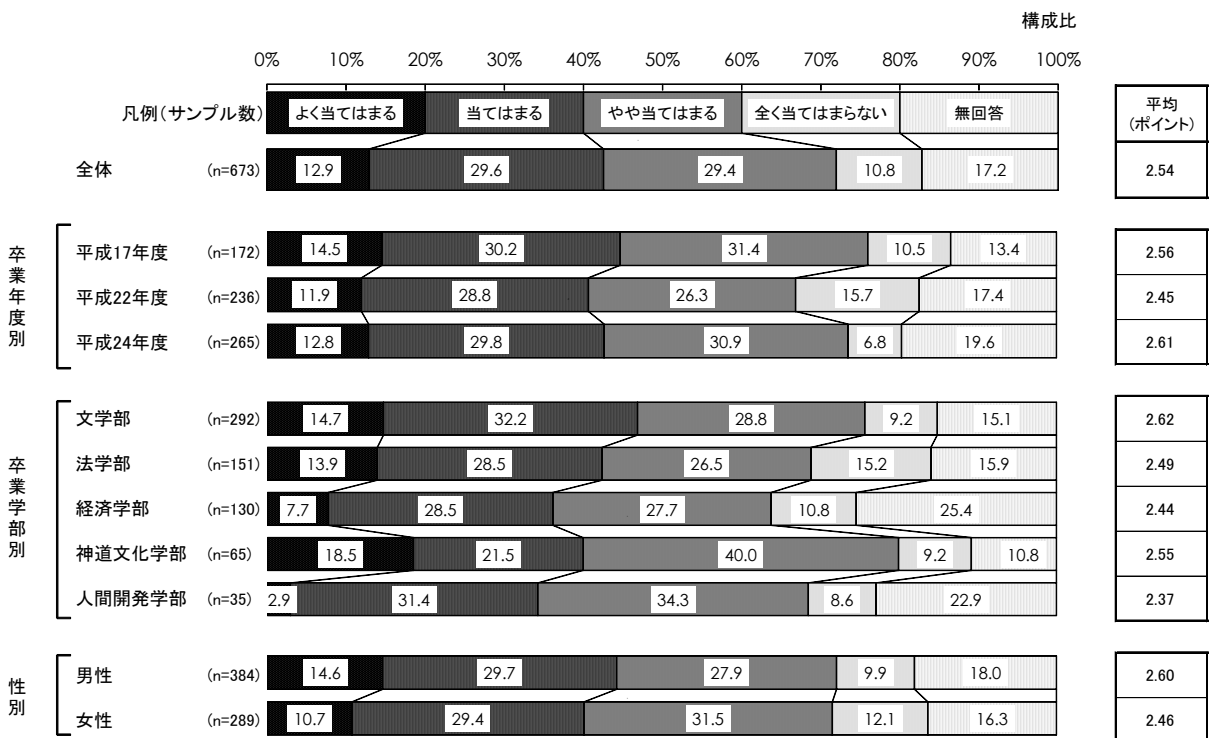
図表 3-80 図表から、的確にその内容を読み取れる (SA)



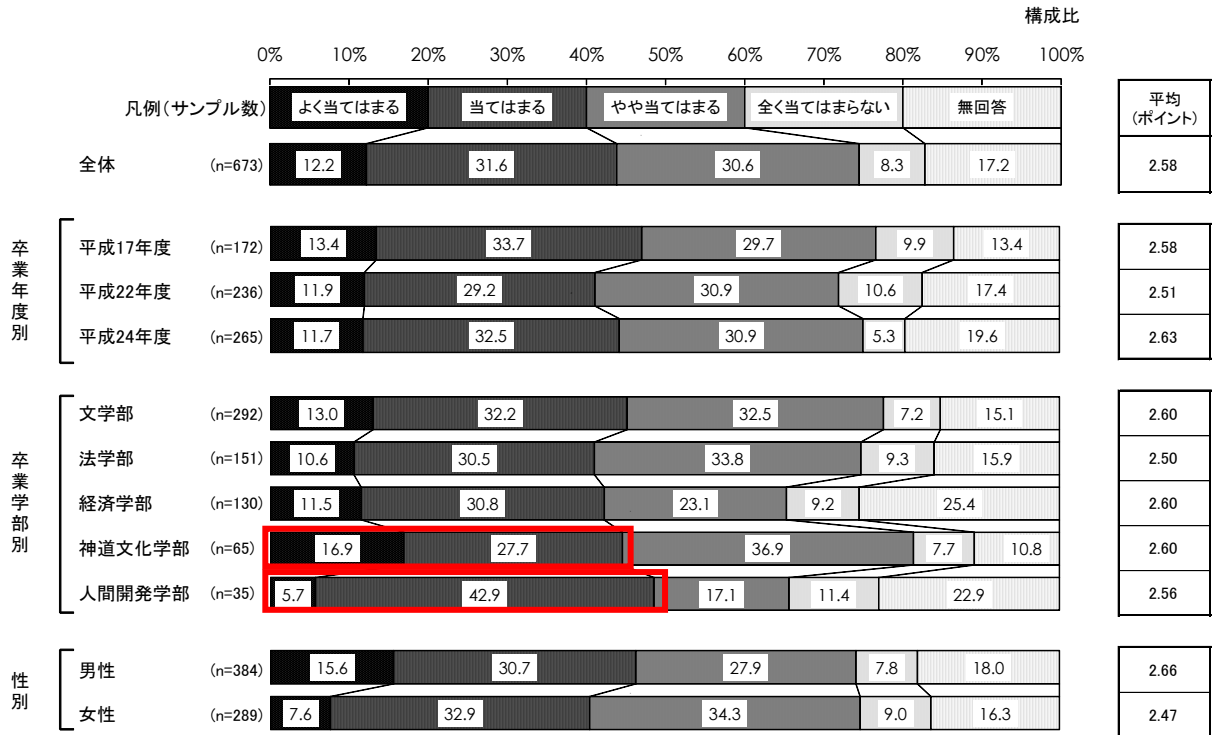
図表 3-81 文章から、的確にその内容を捉えられる (SA)



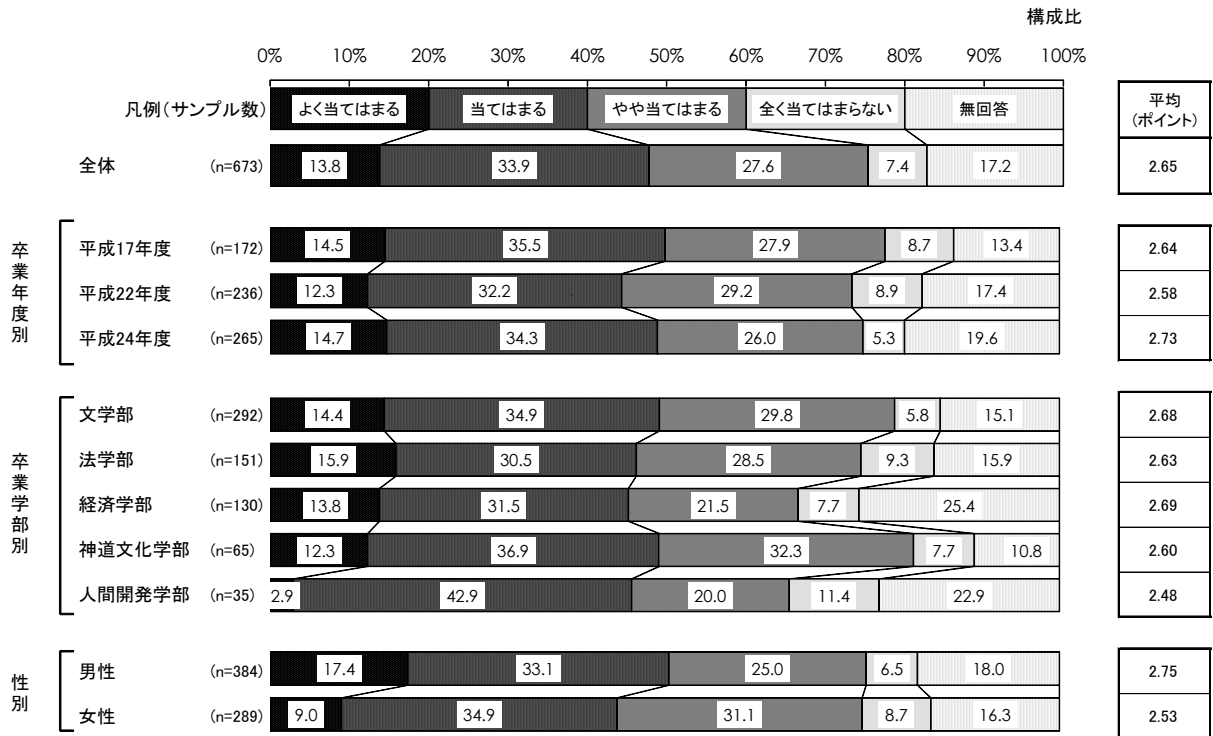
図表 3-82 図表や文章から読み取った内容を、論理的に整理できる (SA)



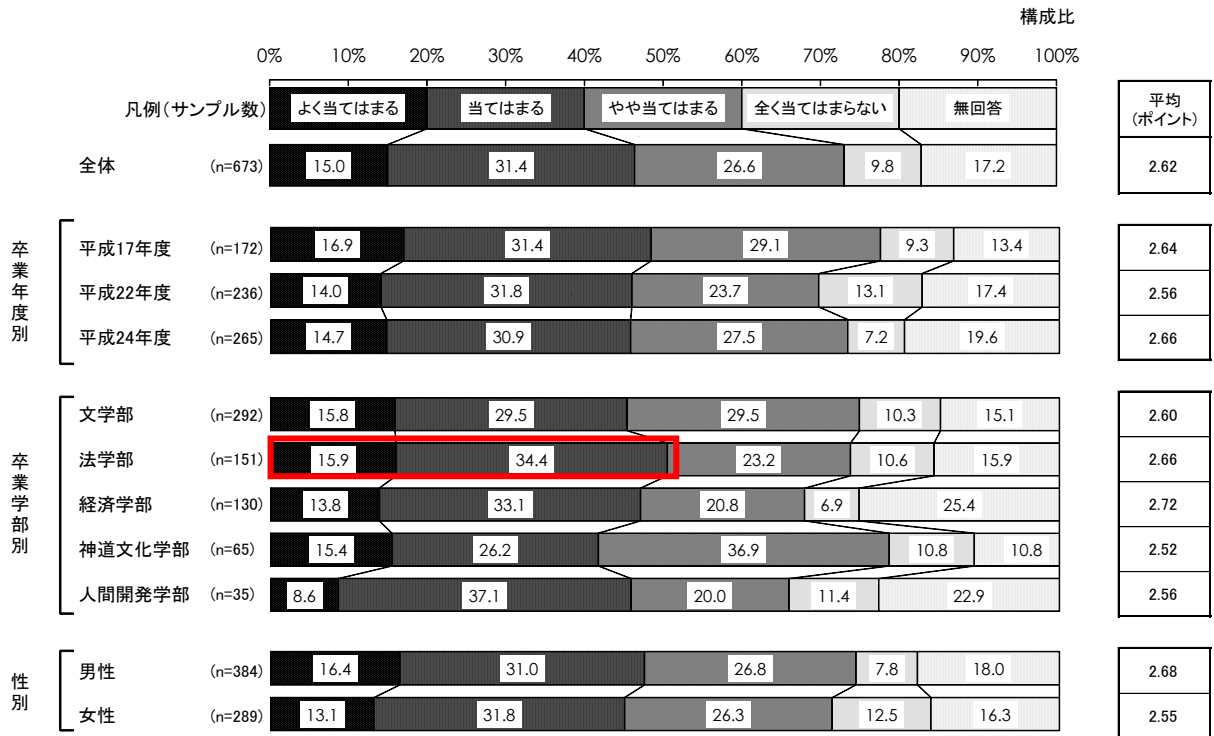
図表 3-83 様々な観点から現状を捉え、問題点を見出せる (SA)



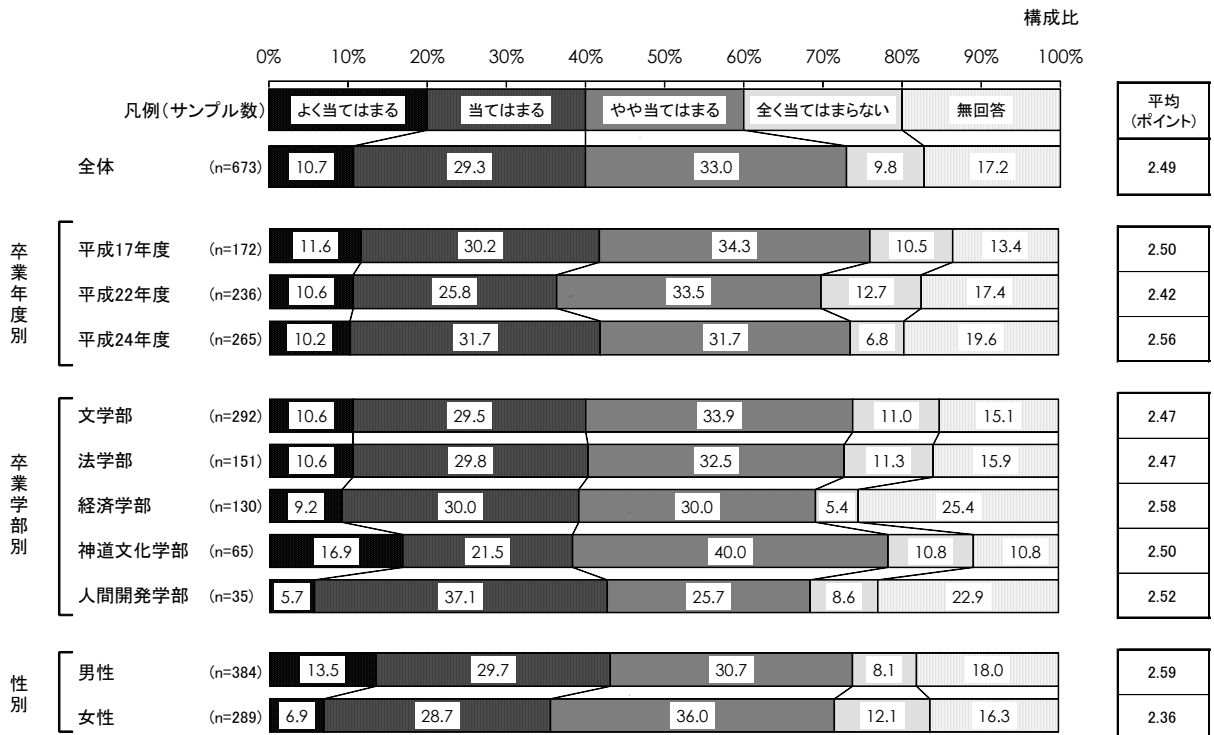
図表 3-84 問題点を客観的に整理できる (SA)



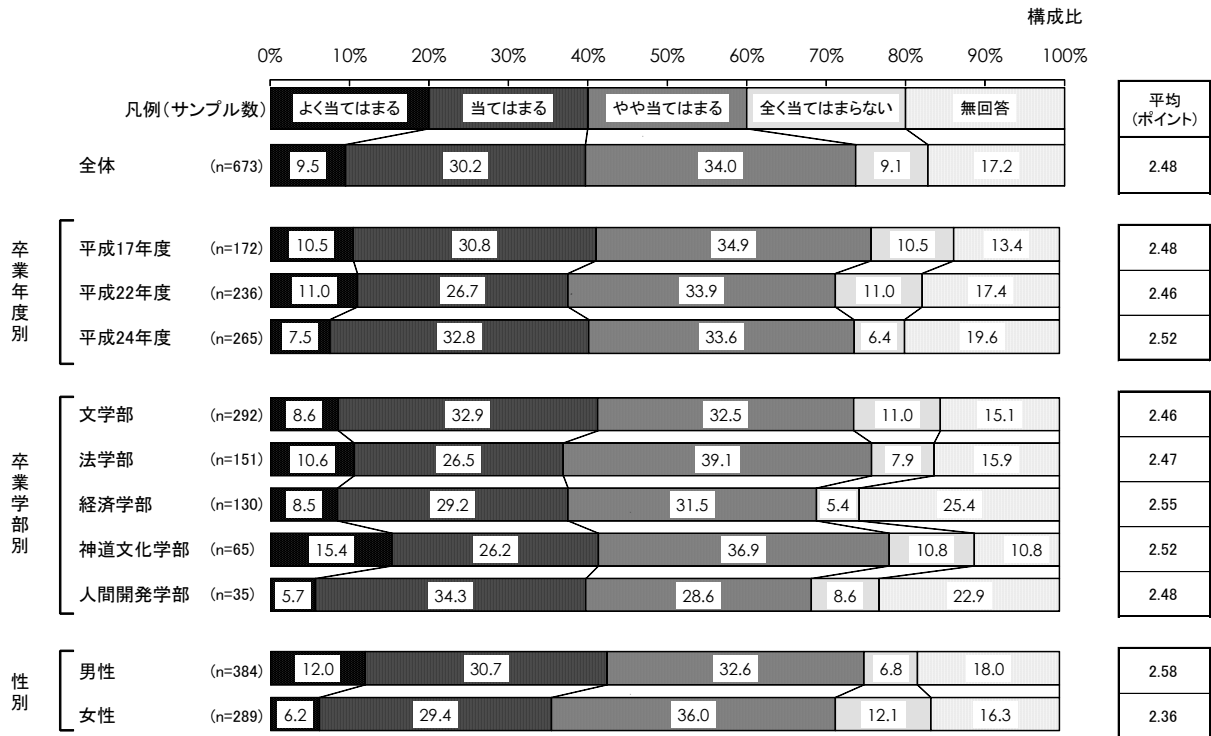
図表 3-85 どの問題から解決すべきか、適切に優先順位をつけられる (SA)



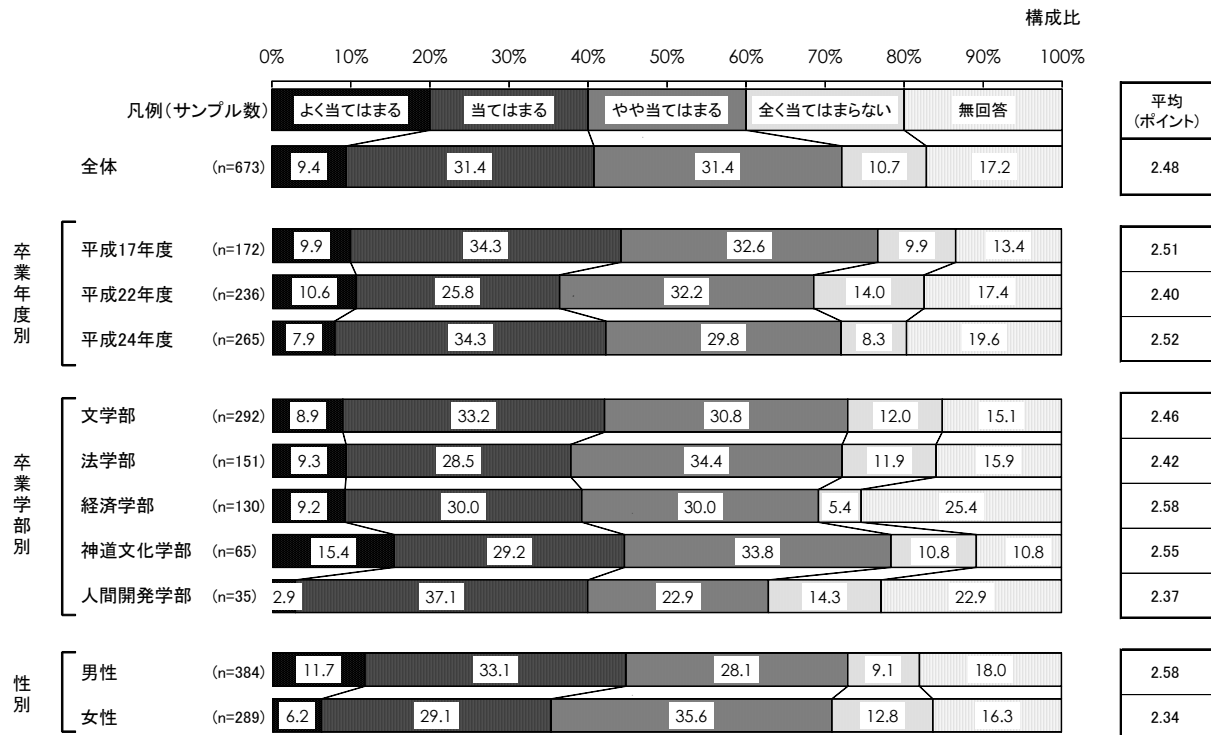
図表 3-86 様々な観点から問題の解決策を考えられる (SA)



図表 3-87 諸々の条件を踏まえ、問題の解決に有効な方策を選択できる (SA)



図表 3-88 問題解決に沿って、具体的な行動計画を立てられる (SA)



25. 学生時代に身についたと思う能力のうち、今役立っているものはどれですか。(答えはいくつでも)

学生時代に身についた能力のうち、今役立っているものは、「課題に応じて、どのような情報を収集すべきか判断できる」が最も多く 33.4%となっており、次いで「文章から、的確にその内容を捉えられる」が31.4%となっており、情報収集力などが身についたと回答した人が多い。

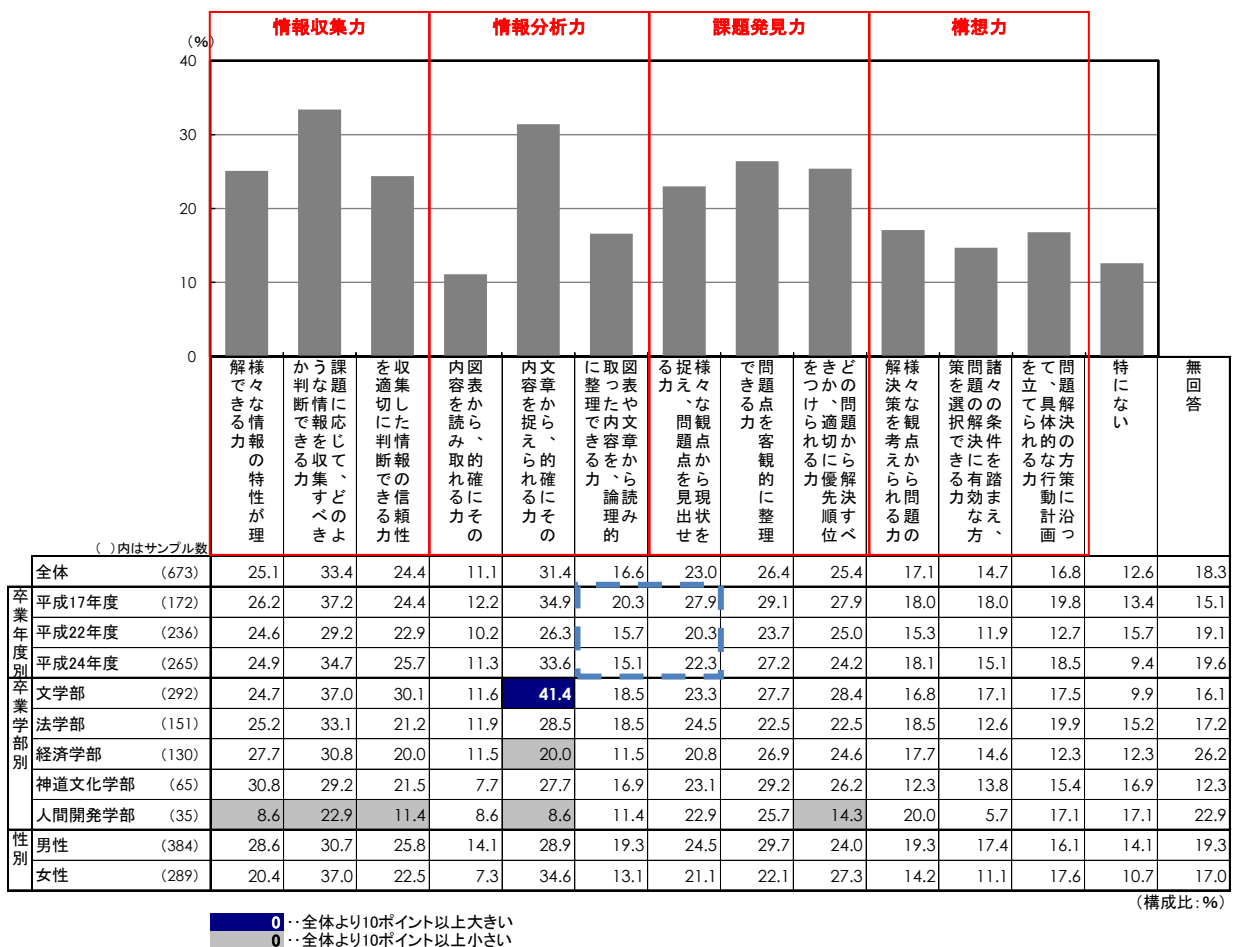
前項の間 24 の回答結果と比較すると、学生時代に身についたと思う能力と、今役立っていると思う能力では、1位と2位の順位は逆転しているものの、上位6つは同じとなっている。

卒業年度別にみると、平成17年度卒業生は、他の年度に比べて、いずれの項目も概ね高くなっている。一方、平成22年度卒業生は、他の年度に比べて、役に立ったと回答した割合が低い傾向がみられる。

卒業学部別にみると、文学部は、「文章から、的確にその内容を捉えられる」が特に高くなっている。

男女別にみると、課題発見力や構想力をはじめ、いずれの項目も概ね男性の方が今役立っているという回答する割合が高くなっている。

図表3-89 学生時代に身についたと思う能力のうち、今役立っているもの(MA)



26. 以下に掲げる力のうち、「学生時代に身につけておけばよかった」と思うものがありますか。(答えはいくつでも)

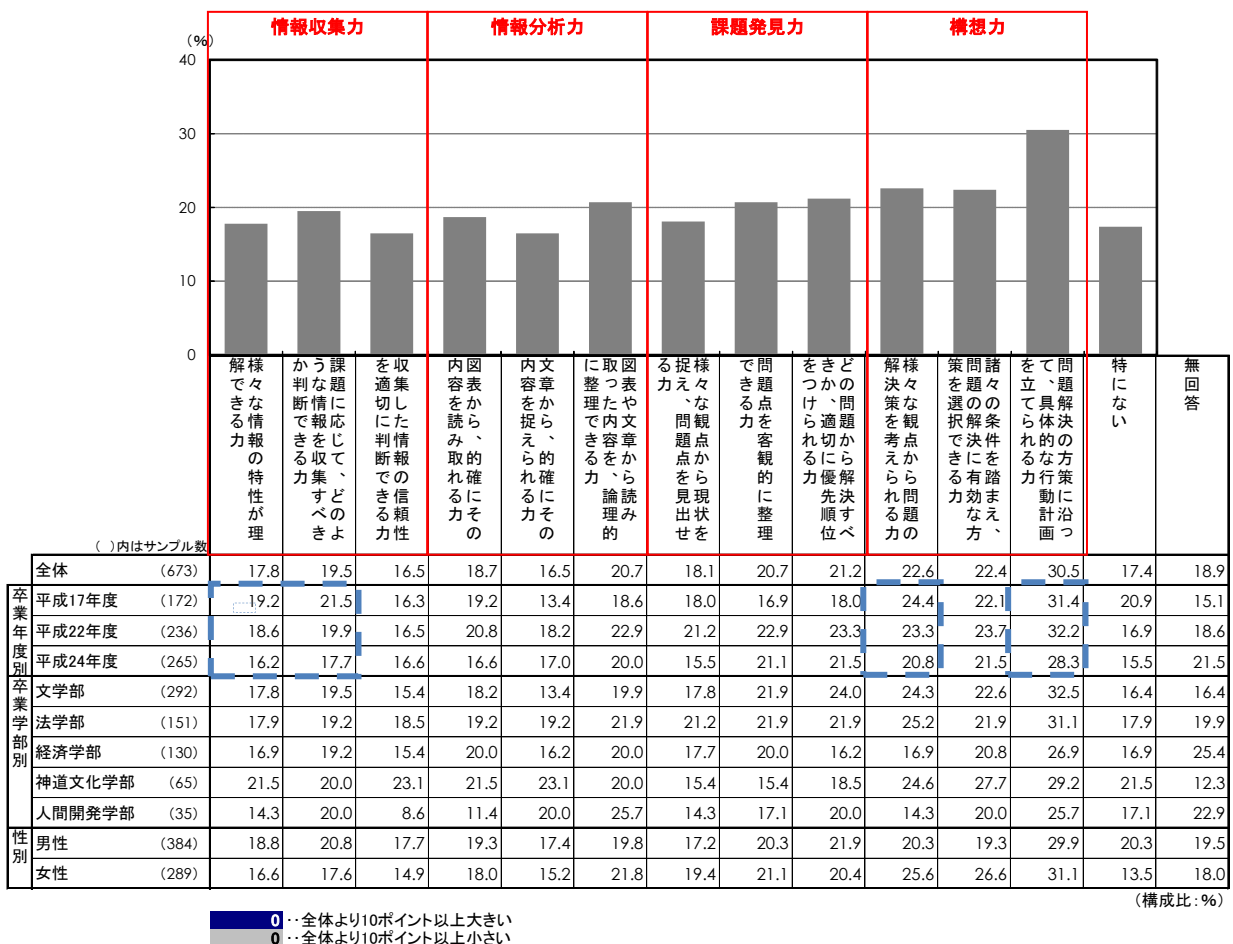
学生時代に身につけておけばよかったと思うものは、「問題解決の方策に沿って、具体的な行動計画を立てられる力」が最も多く、30.5%となっている。次いで、「様々な観点から問題の解決策を考えられる力」が22.6%、「諸々の条件を踏まえ、問題の解決に有効な方策を選択できる力」が22.4%、「どの問題から解決すべきか、適切に優先順位をつけられる力」が21.2%となっており、構想力や課題発見力を望む声が多い。

卒業年度別にみると、平成22年度卒業生は、情報収集力を除き、身につけておけばよかったと回答した割合が、他の年度よりも高くなっており、前設問の今役に立ったと回答した割合と相関があると考えられる。

卒業学部別にみると、神道文化学部は、課題発見力を除き、他の学部よりも、その割合が高くなっている。

男女別にみると、男性は、情報収集力、情報分析力が高く、一方、女性は課題発見力、構想力が高くなっている。

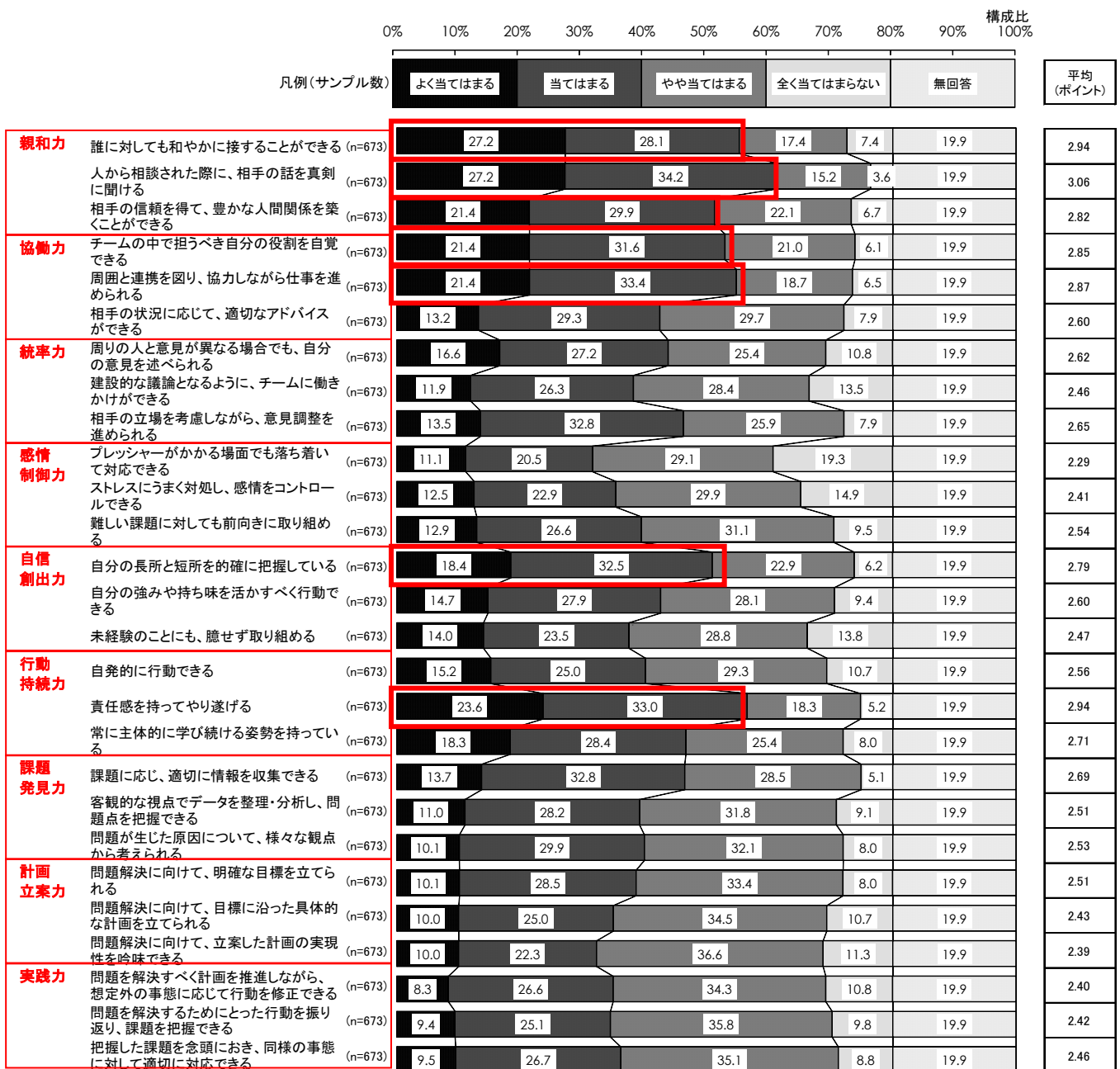
図表3-90 「学生時代に身につけておけばよかった」と思うもの(MA)



27. 学生時代に身についたと思うスキルや能力として、以下の項目はどの程度当てはまりますか。(それぞれ1つ選択)

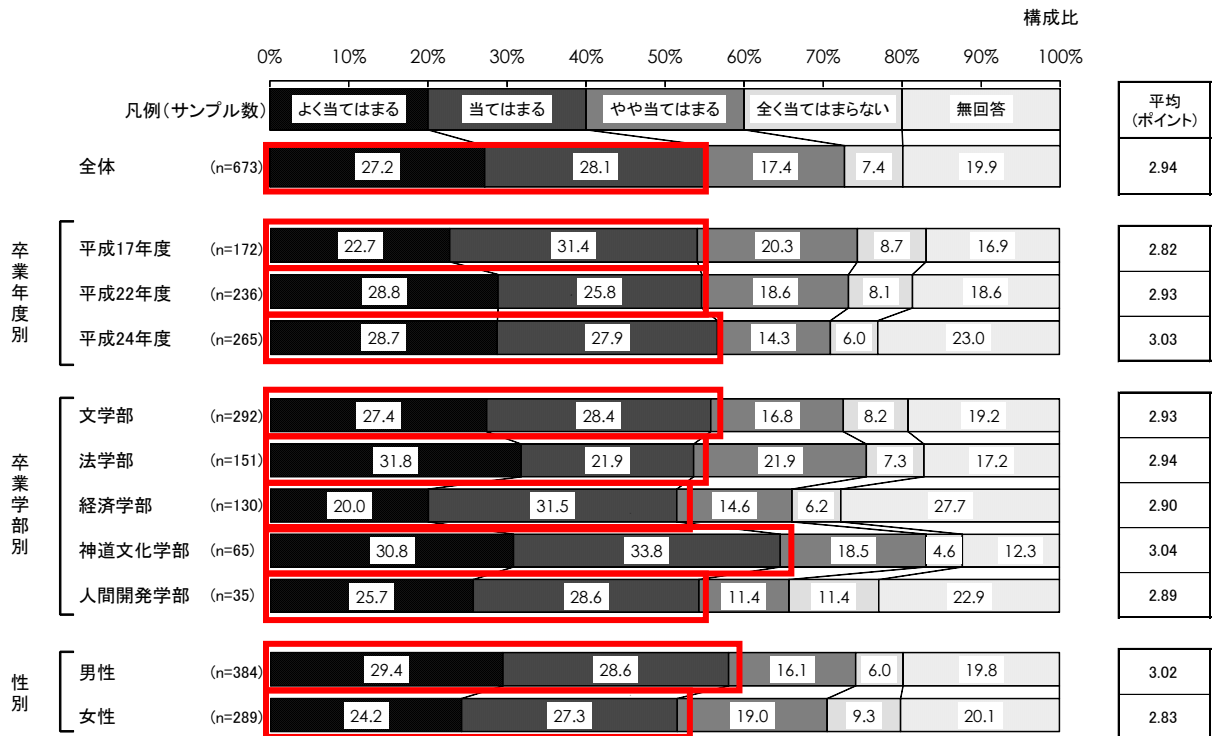
学生時代に身についたと思うスキルや能力は、[人から相談された際に、相手の話を真剣に聞ける]が最も多く、『当てはまる』が61.4%で、3.06ポイントとなっている。次いで、[誰に対しても和やかに接することができる]と[責任感を持ってやり遂げる]がともに2.94ポイント、[周囲と連携を図り、協力しながら仕事を進められる]が2.87ポイント、[チームの中で担うべき自分の役割を自覚できる]が2.85ポイントで、親和力や協働力、行動持続力が高くなっている。

図表3-91 学生時代に身についたと思うスキルや能力 (SA)

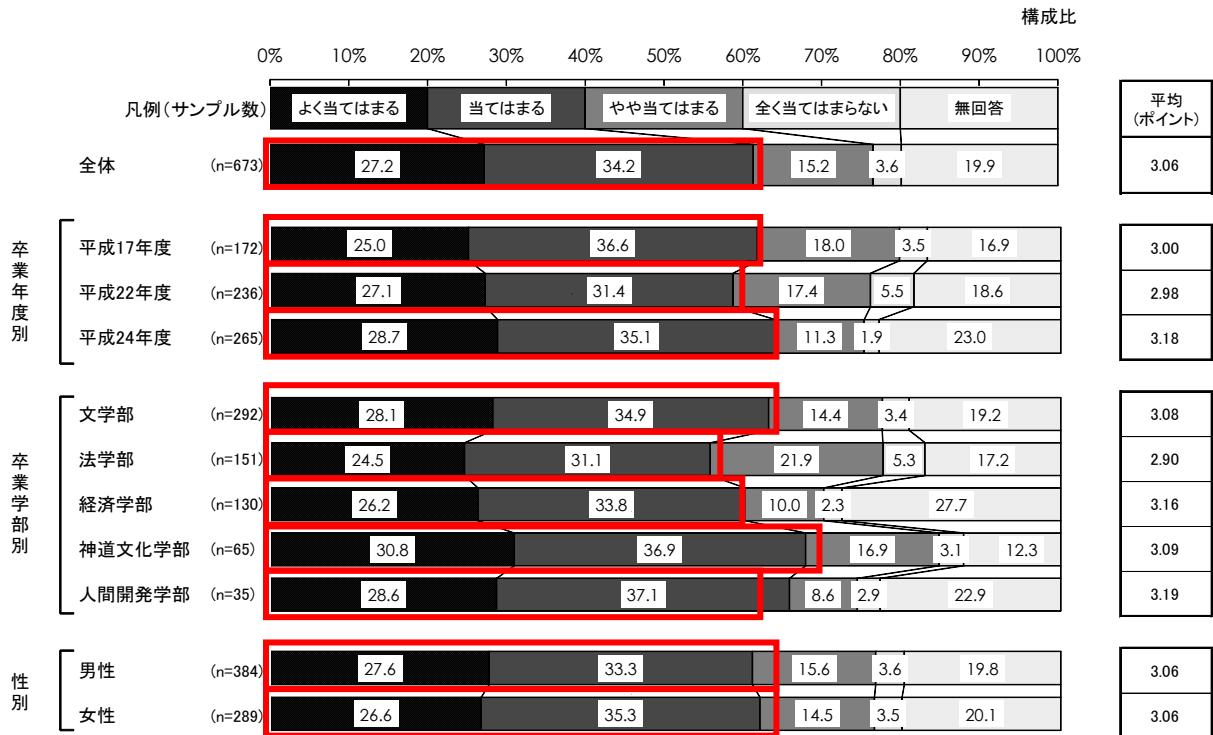


※「よく当てはまる」4ポイント、「当てはまる」3ポイント、「やや当てはまる」2ポイント、「全く当てはまらない」1ポイントで平均を抽出。

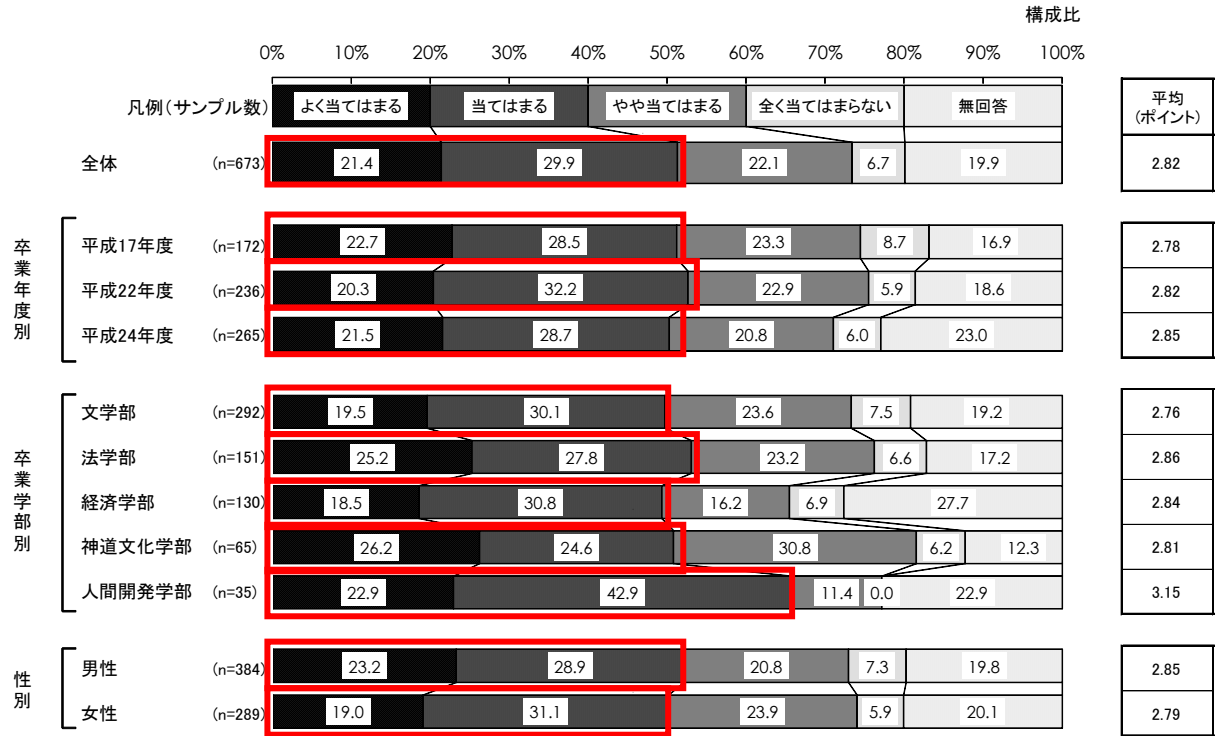
図表3-92 誰に対しても、和やかに接することができる（SA）



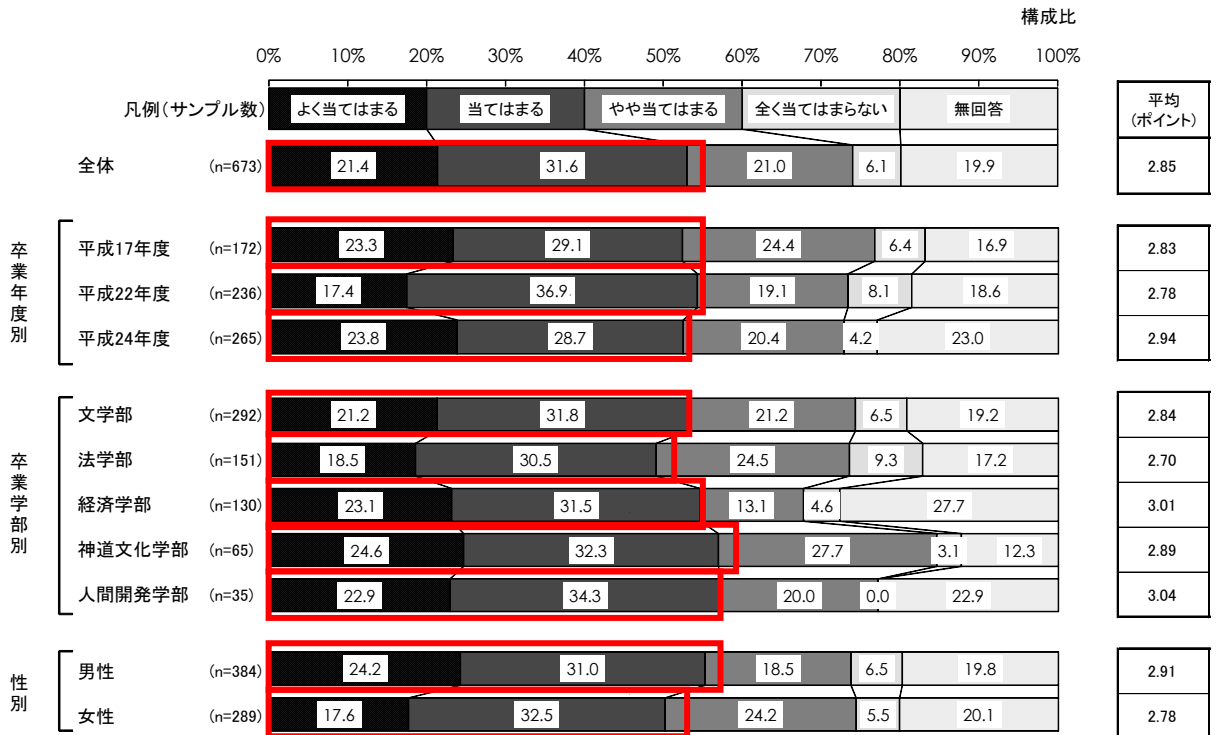
図表3-93 人から相談された際に、相手の話を真剣に聞ける（SA）



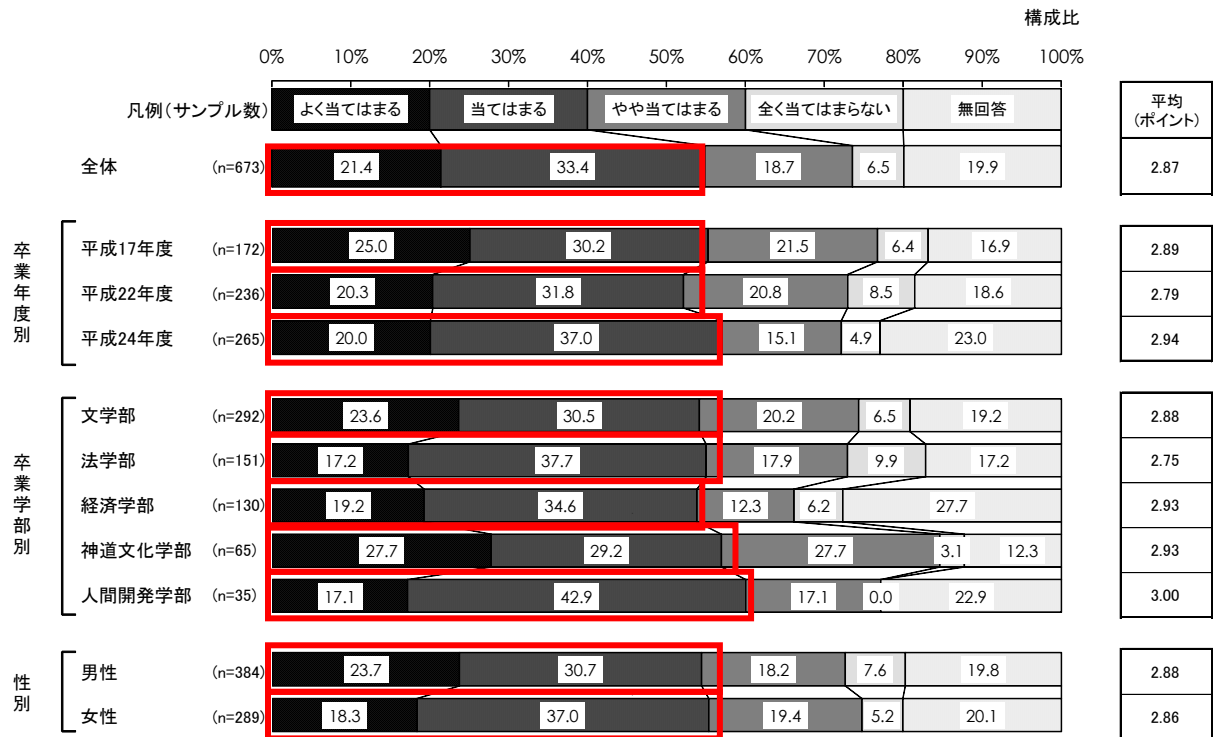
図表 3-94 相手の信頼を得て、豊かな人間関係を築くことができる (SA)



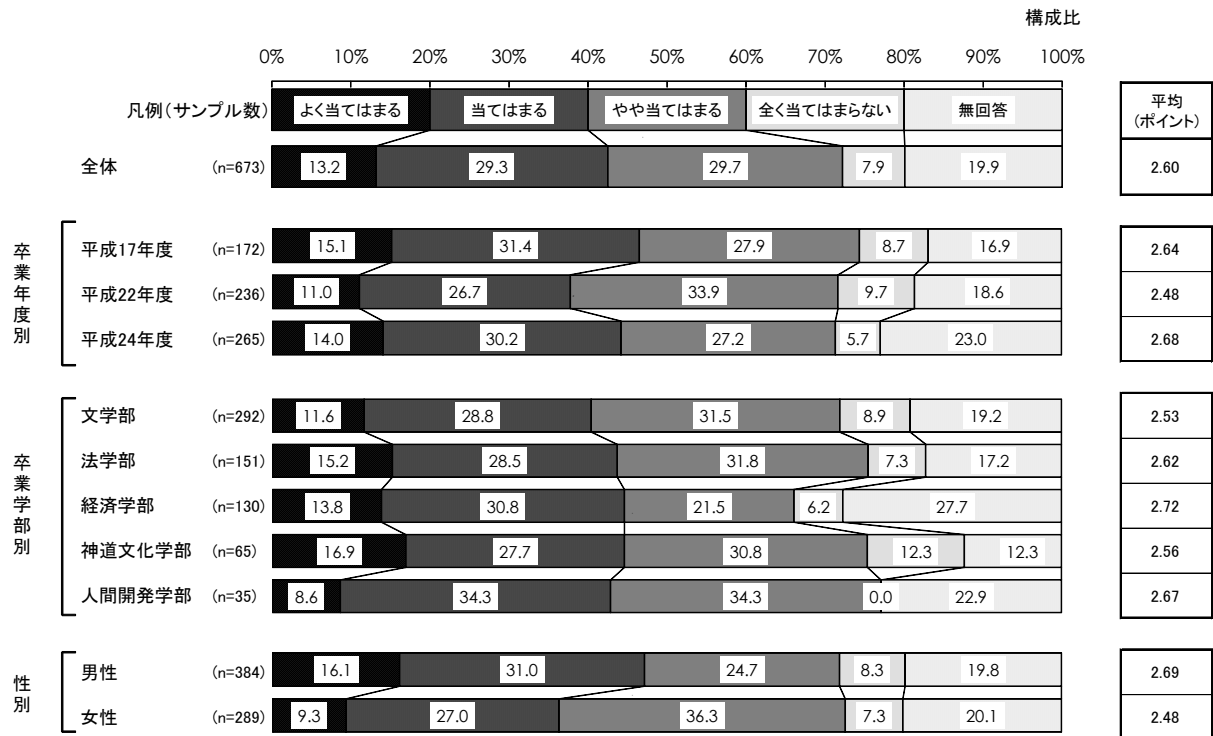
図表 3-95 チームの中で担うべき自分の役割を自覚できる (SA)



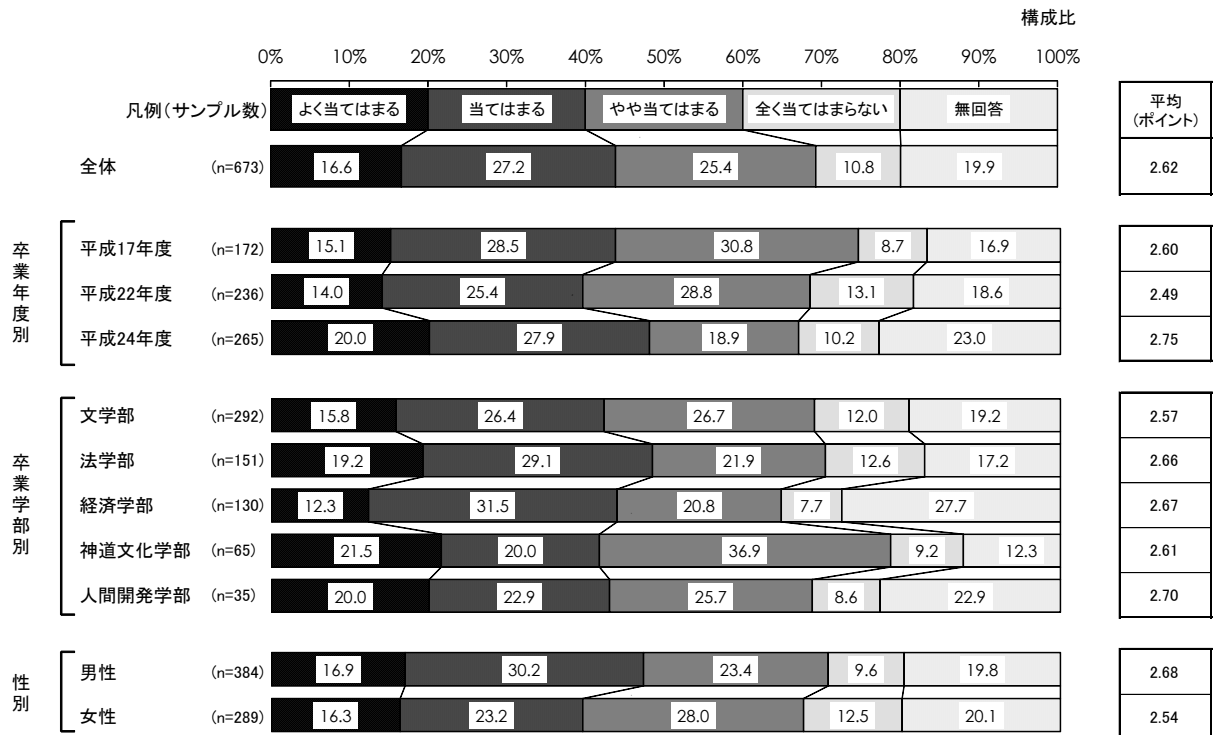
図表3-96 周囲と連携を図り、協力しながら仕事を進められる（SA）



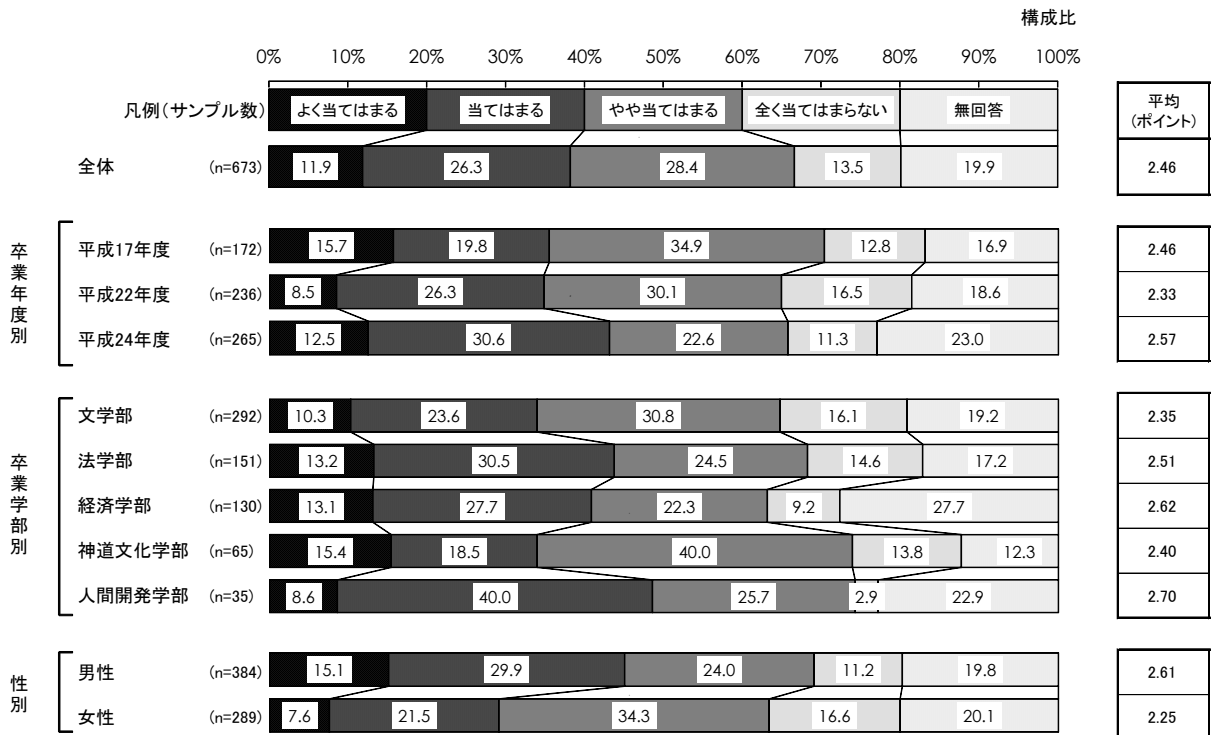
図表3-97 相手の状況に応じて、適切なアドバイスができる（SA）



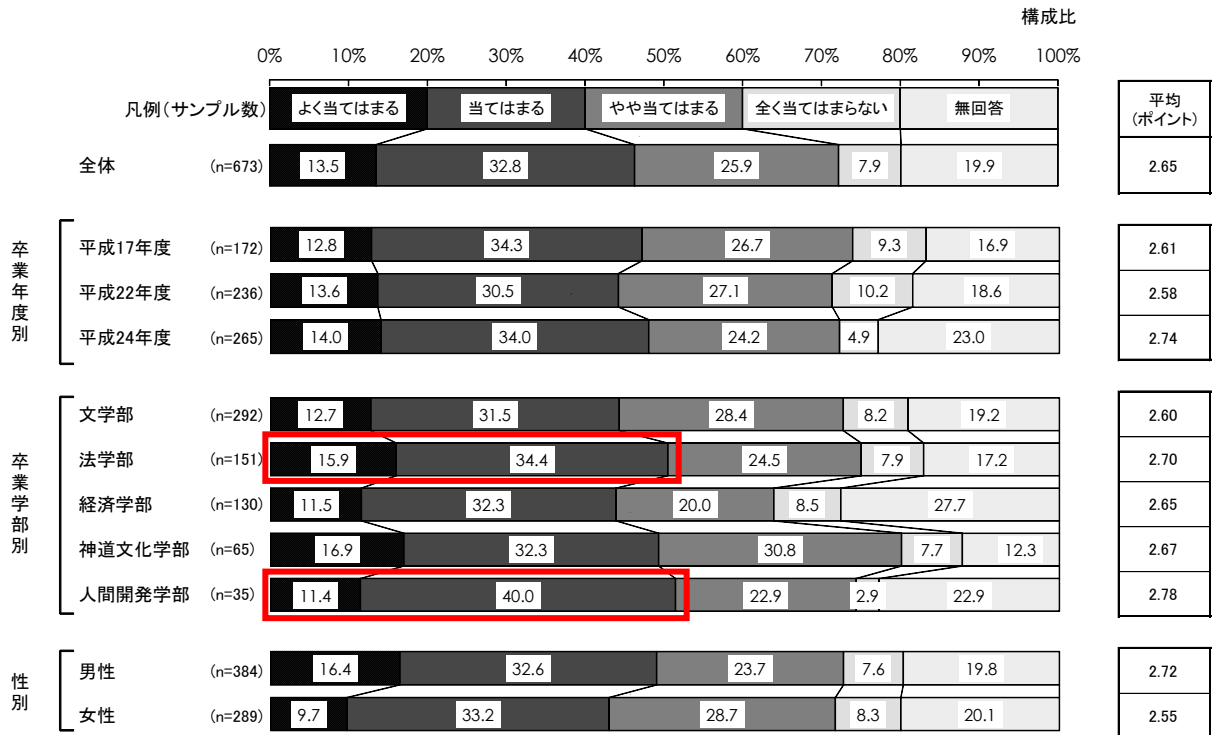
図表3-98 周りの人と意見が異なる場合でも、自分の意見を述べられる (SA)



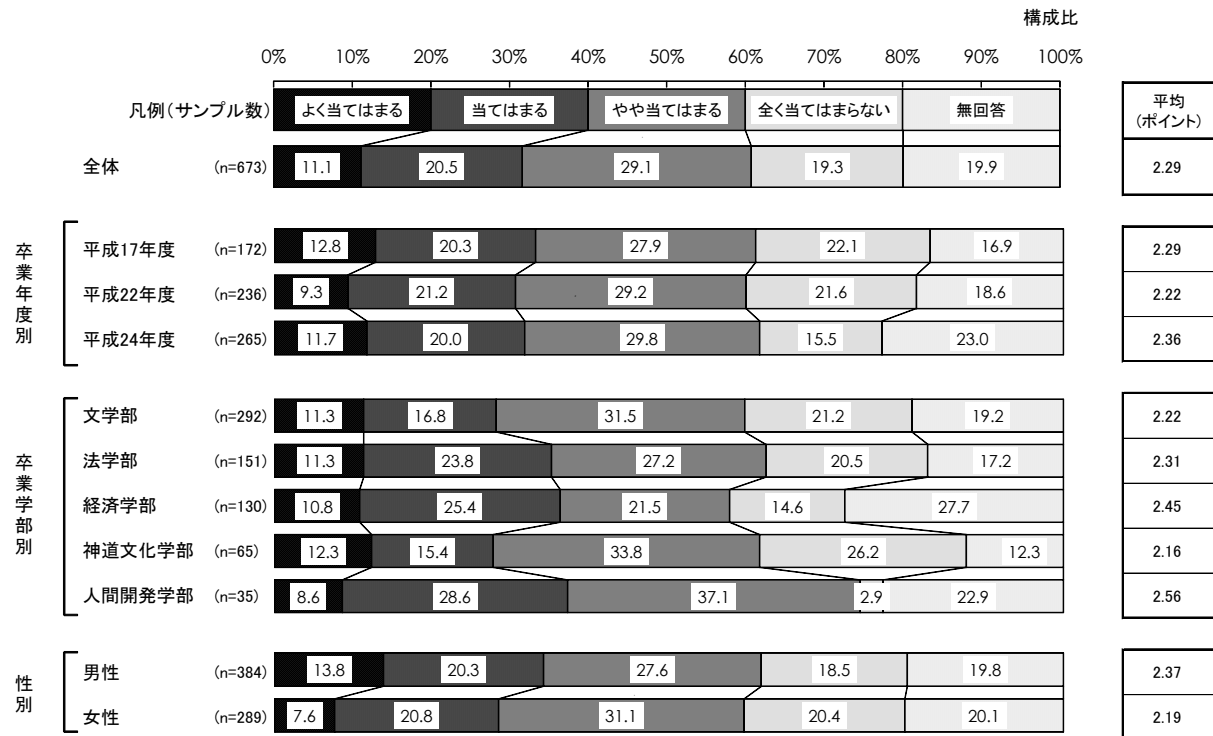
図表3-99 建設的な議論となるように、チームに働きかけができる (SA)



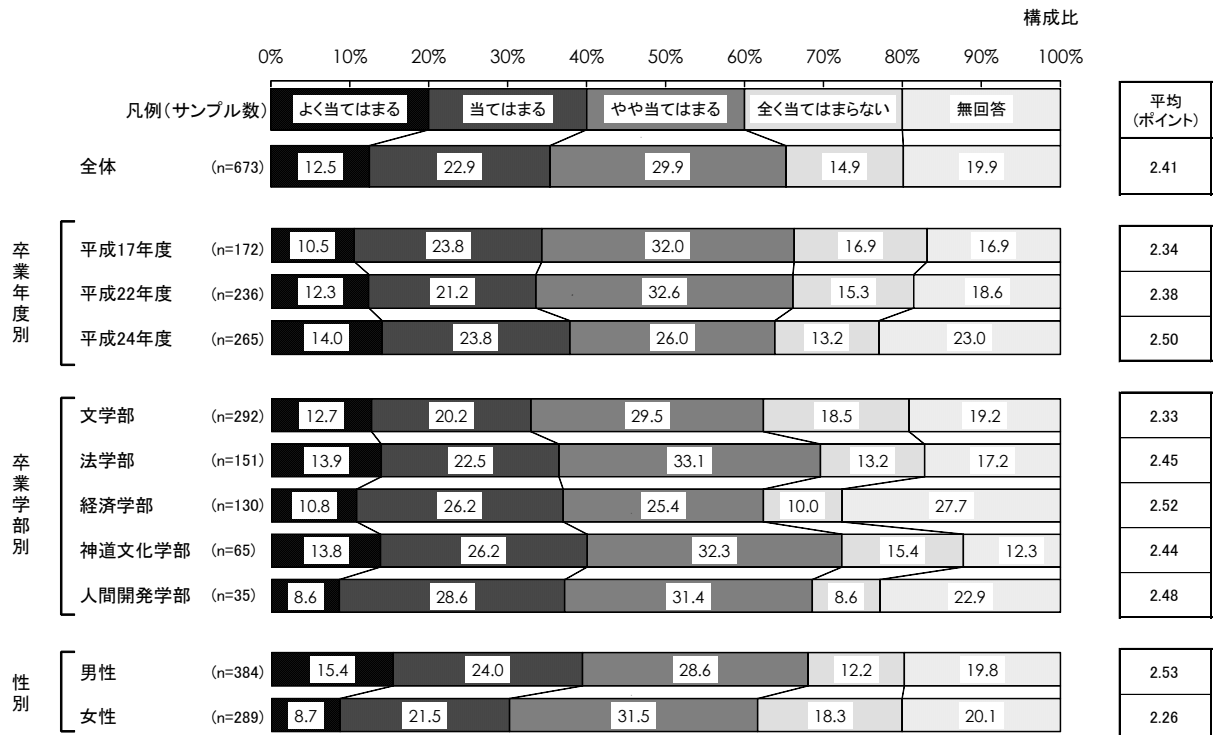
図表3-100 相手の立場を考慮しながら、意見調整を進められる (SA)



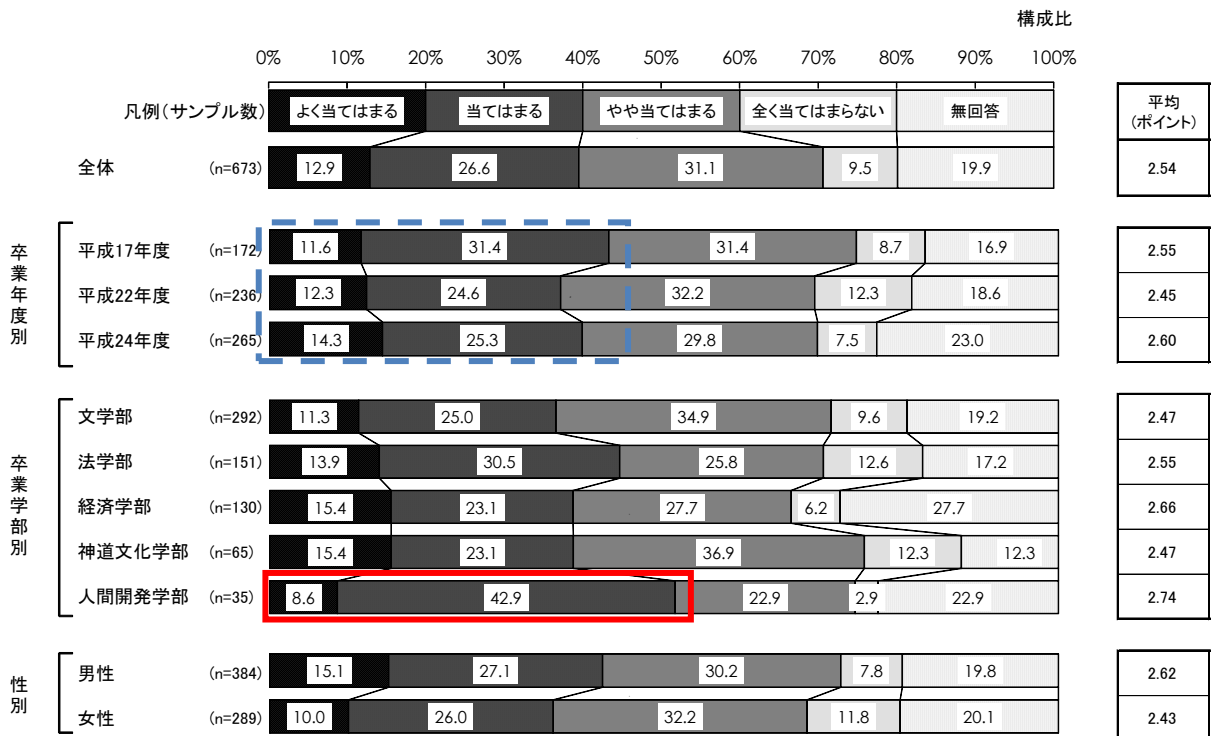
図表3-101 プレッシャーがかかる場面でも、落ち着いて対応できる (SA)



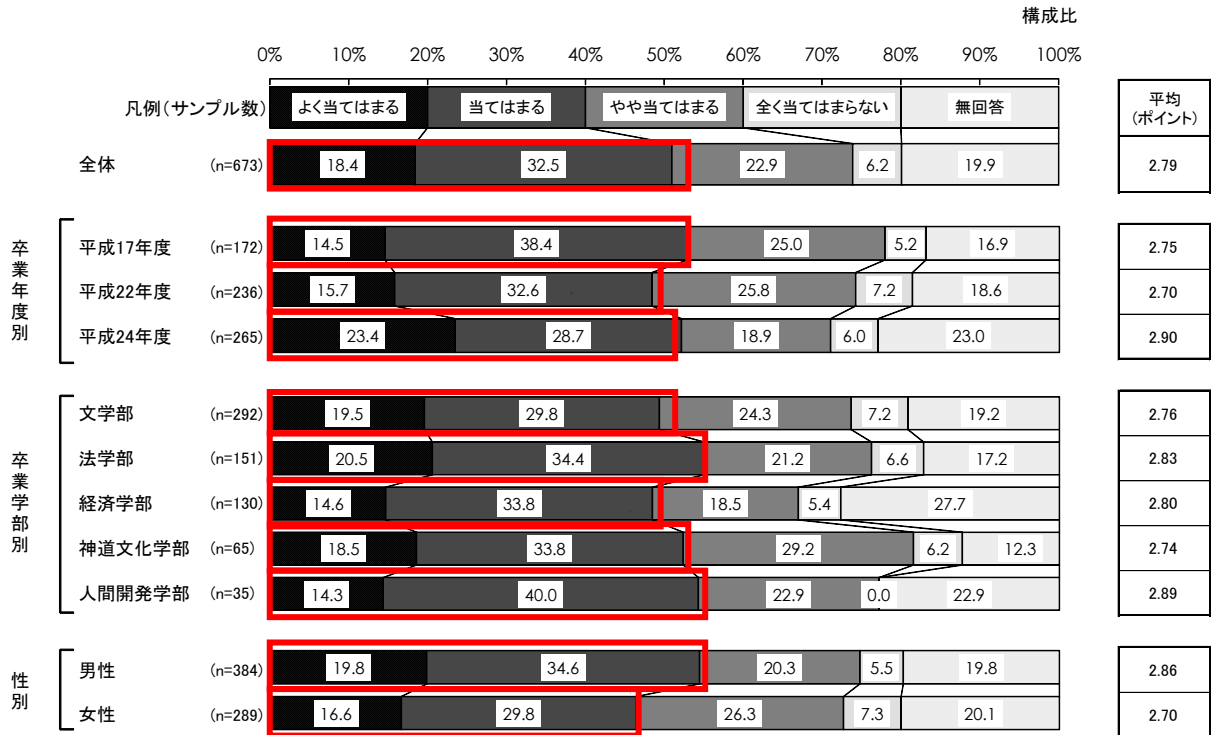
図表3-102 ストレスにうまく対処し、感情をコントロールできる（SA）



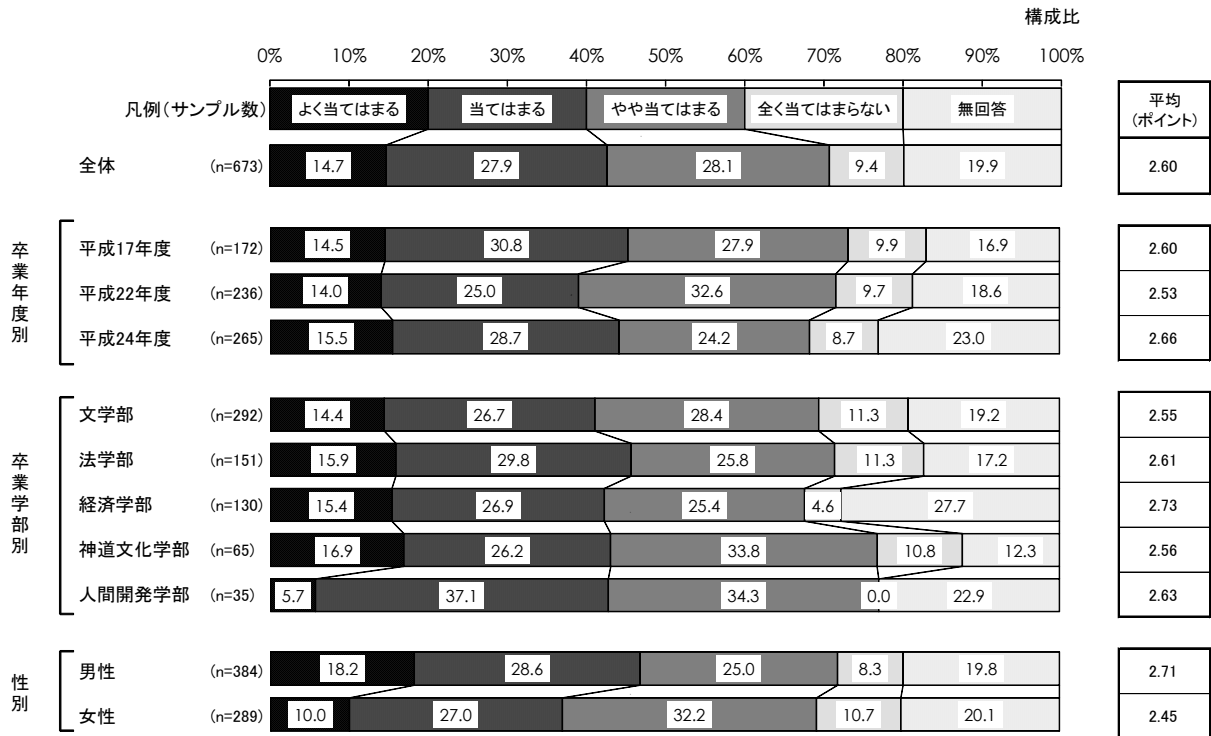
図表3-103 難しい課題に対しても前向きに取り組める（SA）



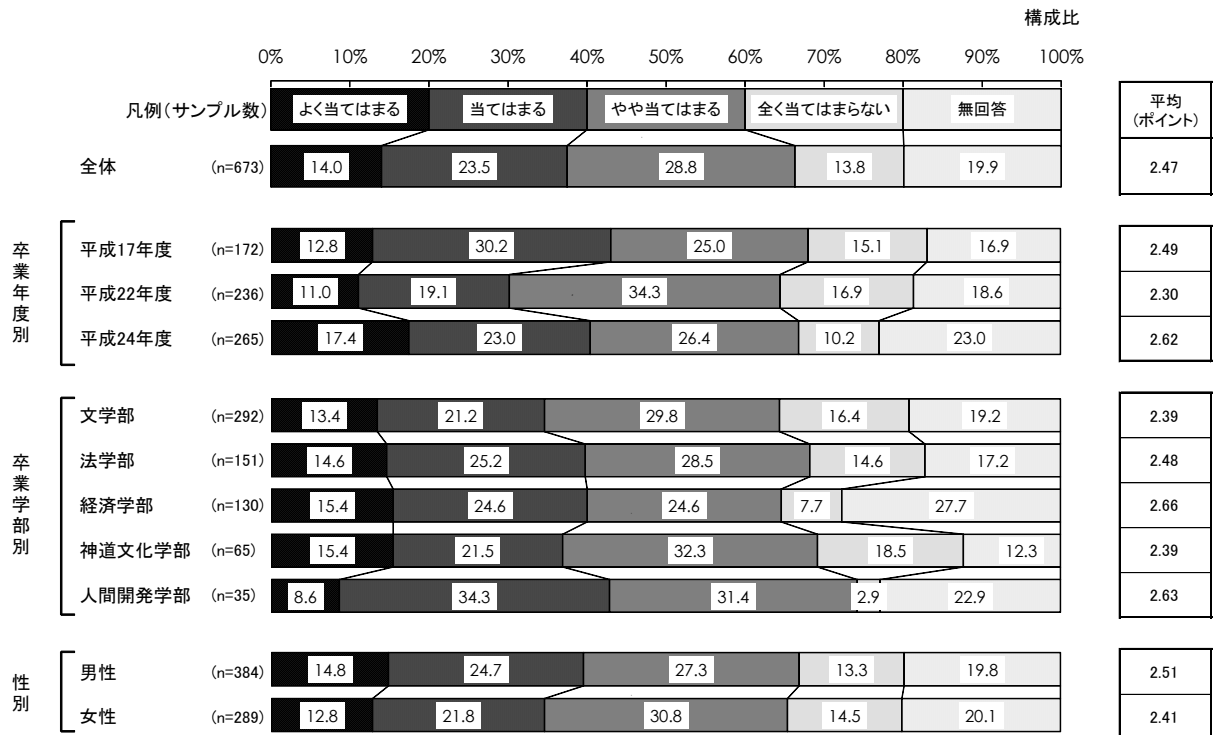
図表 3-104 自分の長所と短所を的確に把握している (SA)



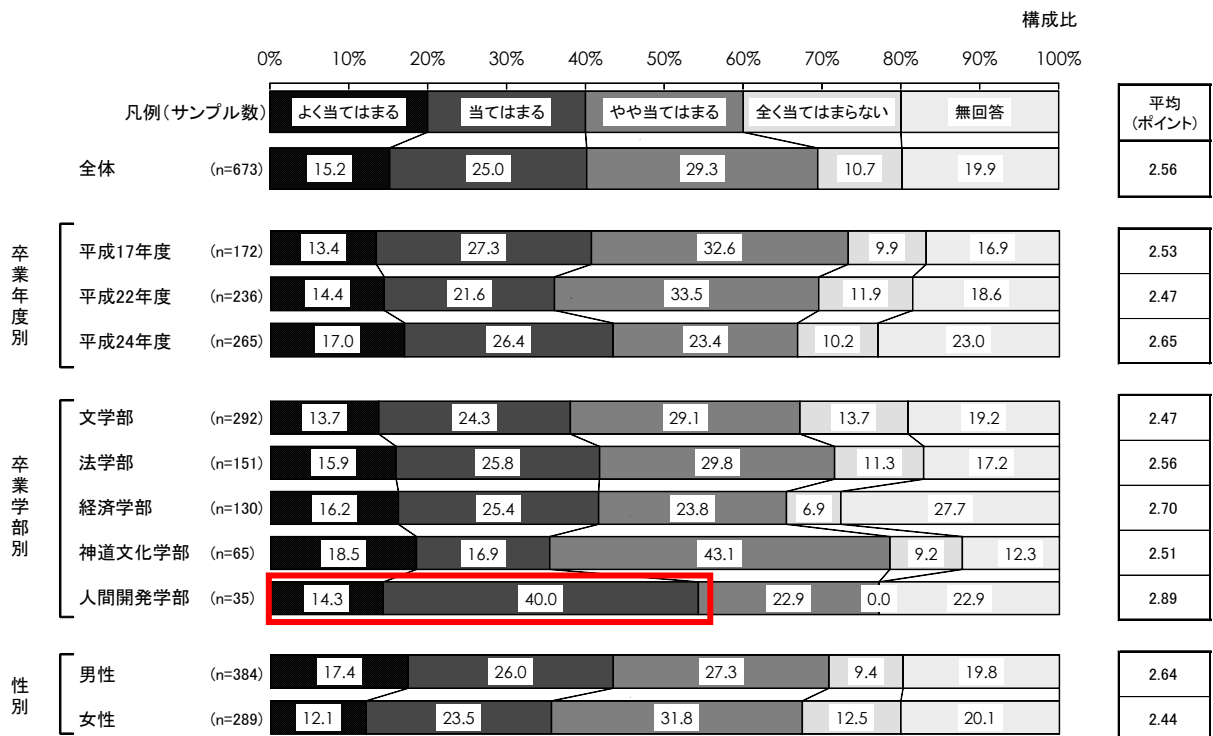
図表 3-105 自分の強みや持ち味を活かすべく行動できる (SA)



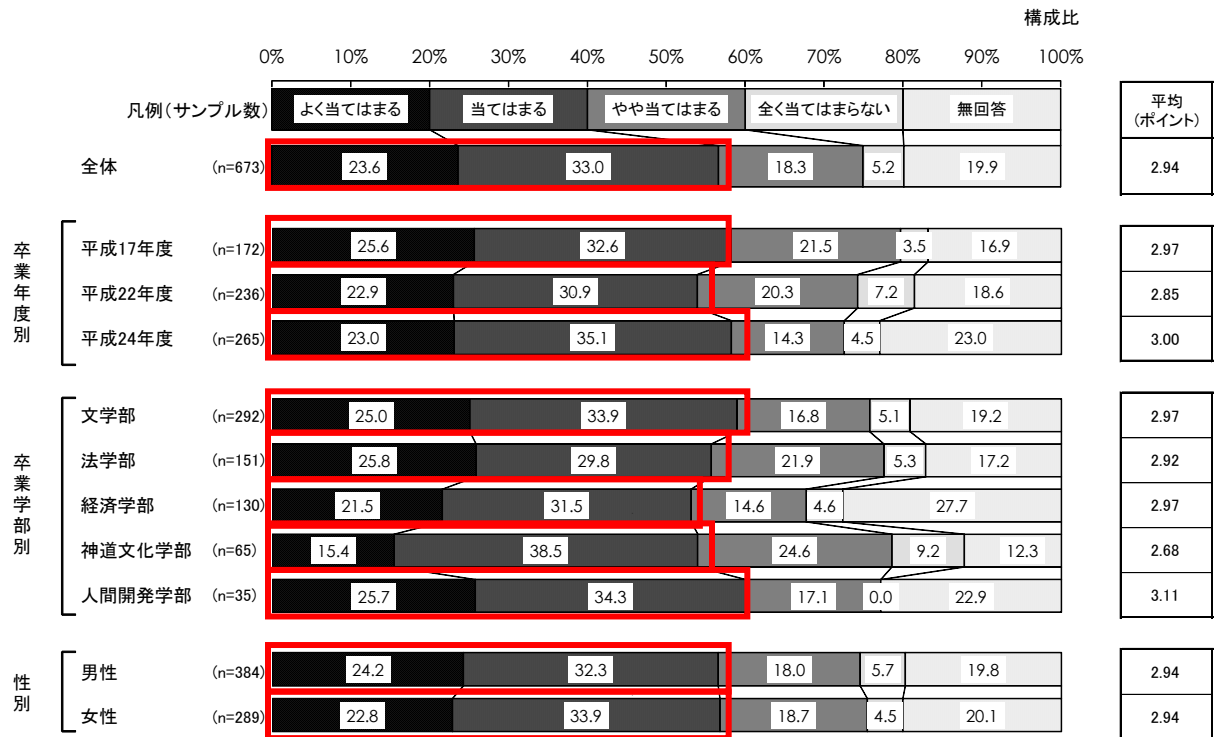
図表3-106 未経験のことにも、臆せず取り組める (SA)



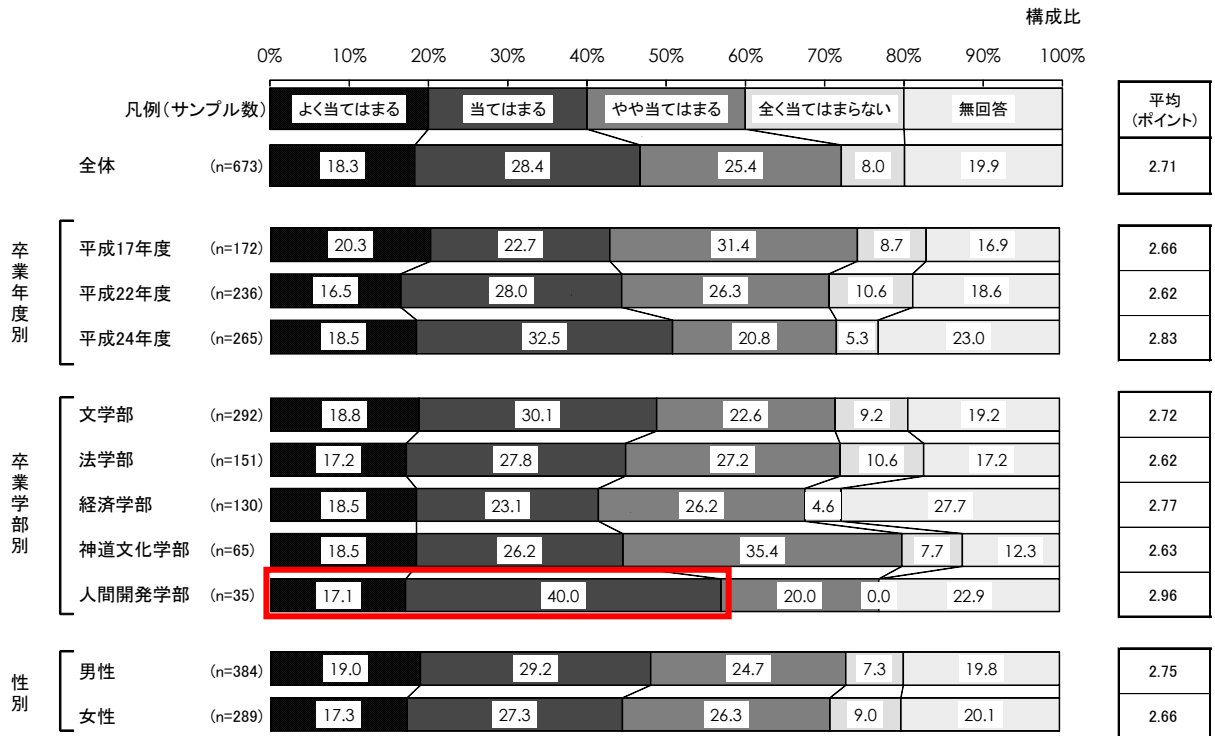
図表3-107 自発的に行動できる (SA)



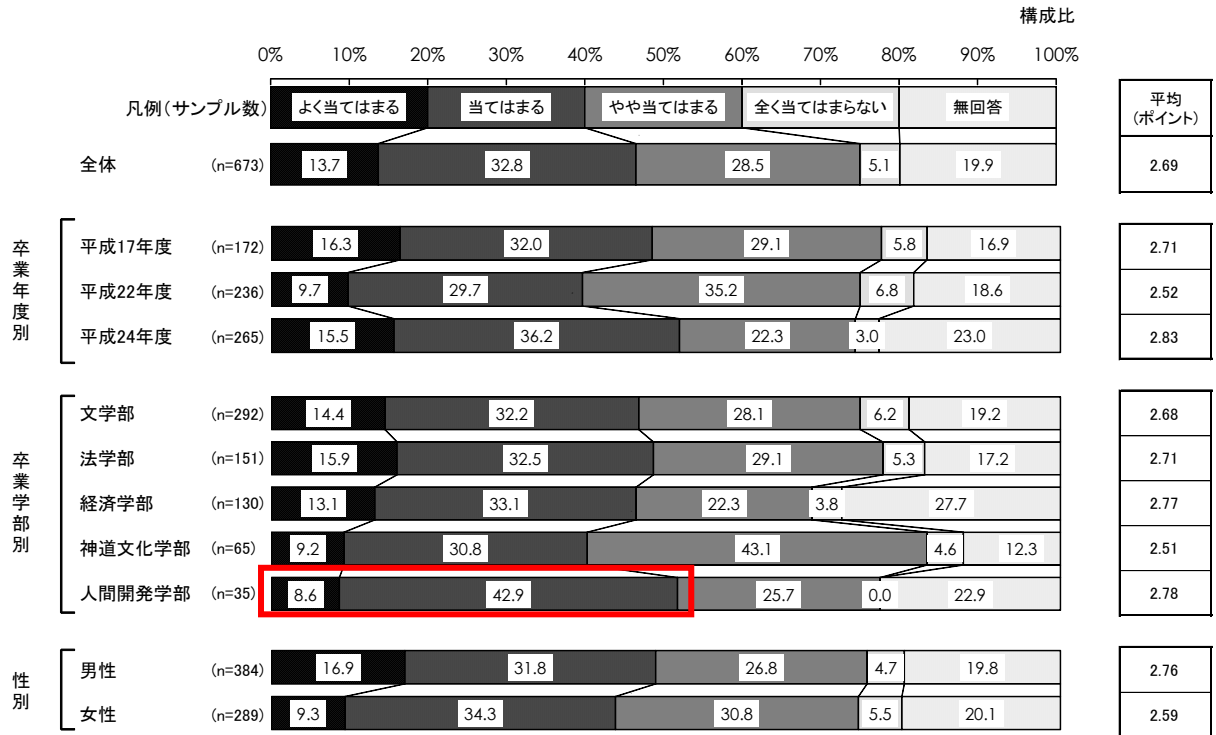
図表3-108 責任感を持ってやりとげる (SA)



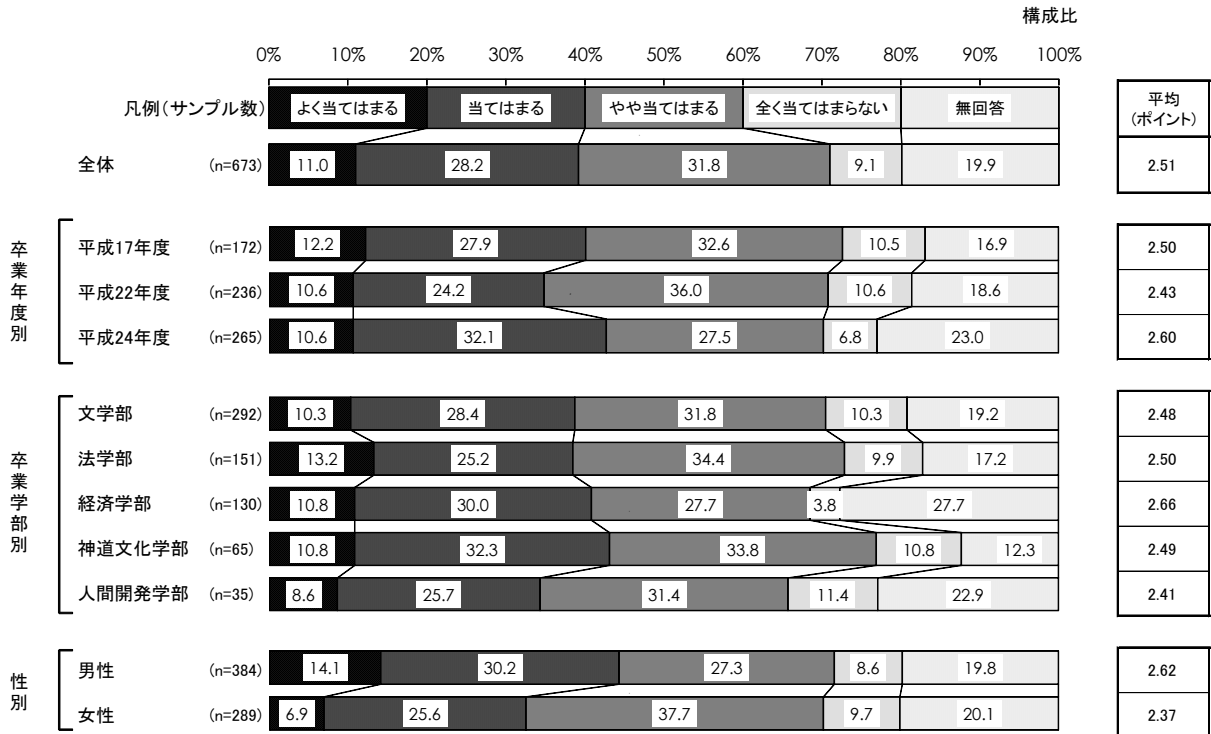
図表3-109 常に主体的に学び続ける姿勢を持っている (SA)



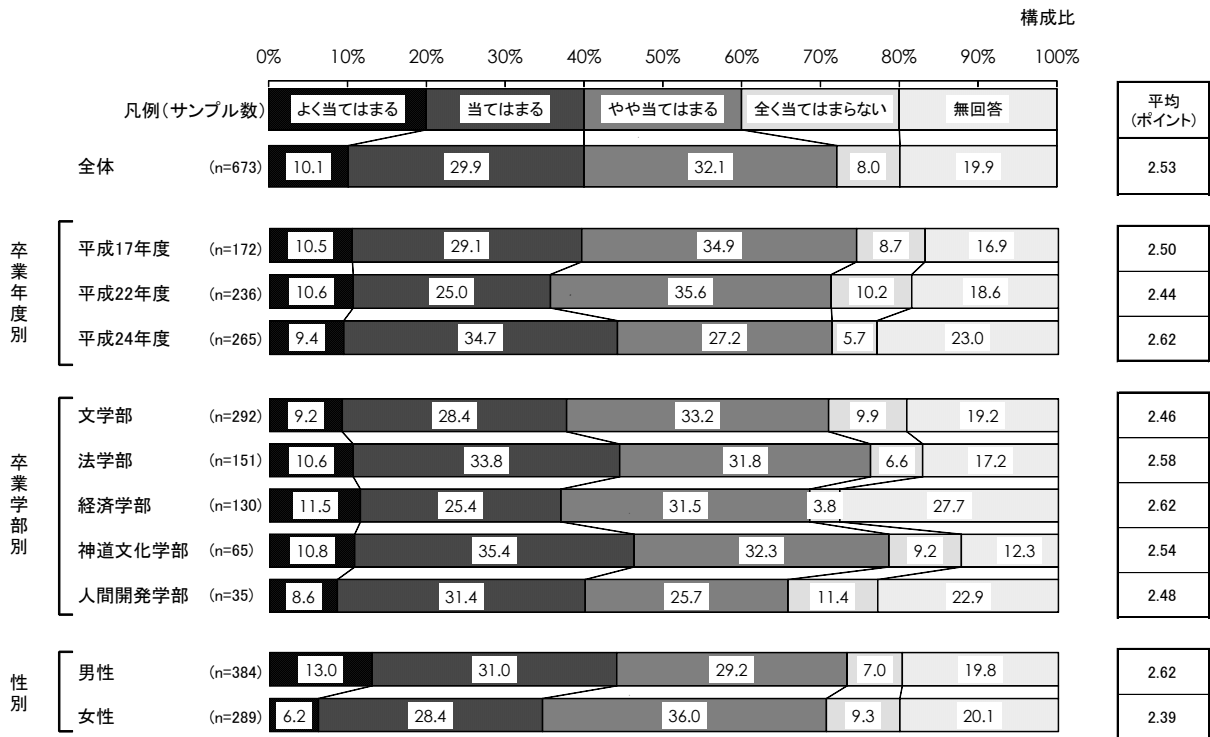
図表 3-110 課題に応じ、適切に情報を収集できる (SA)



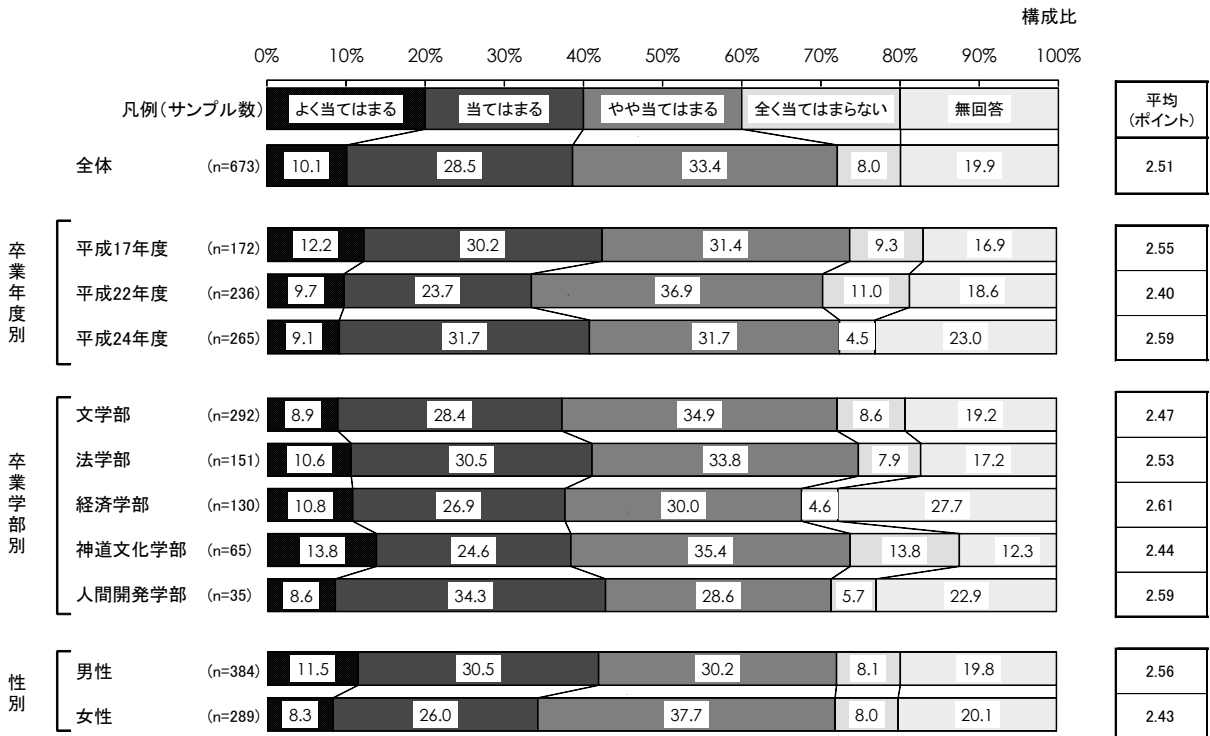
図表 3-111 客観的な視点でデータを整理・分析し、問題点を把握できる (SA)



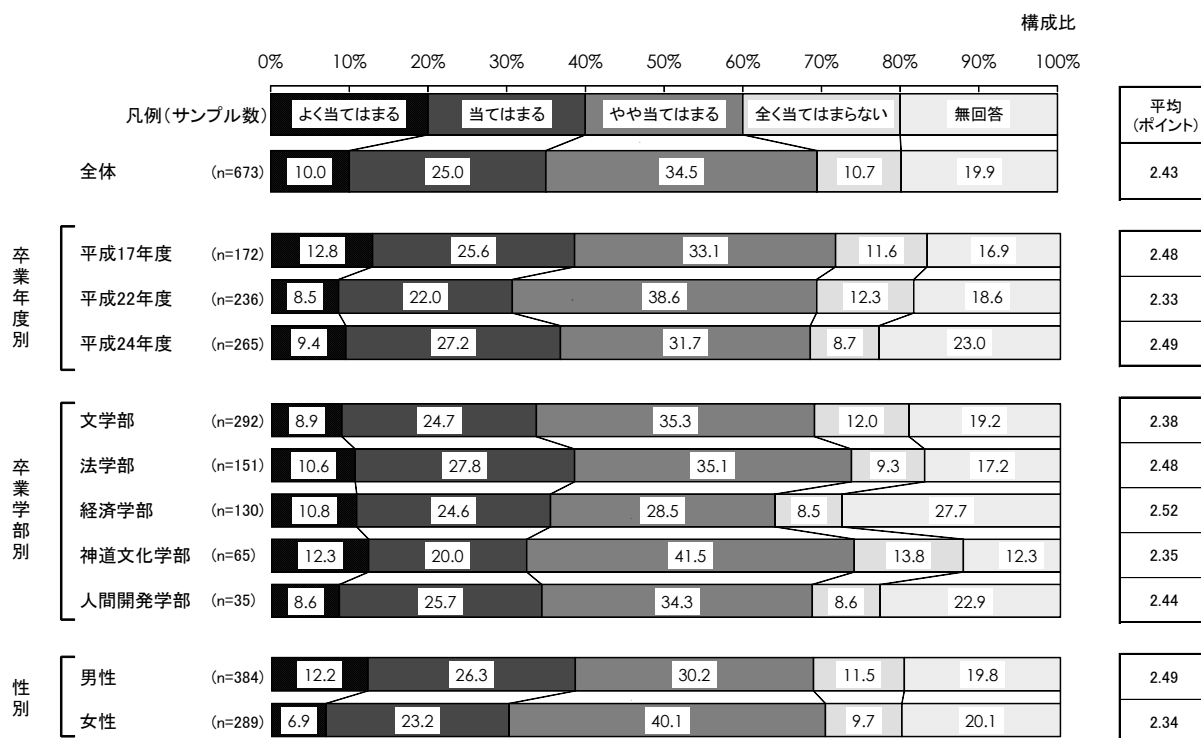
図表 3-112 問題が生じた原因について、様々な観点から考えられる (SA)



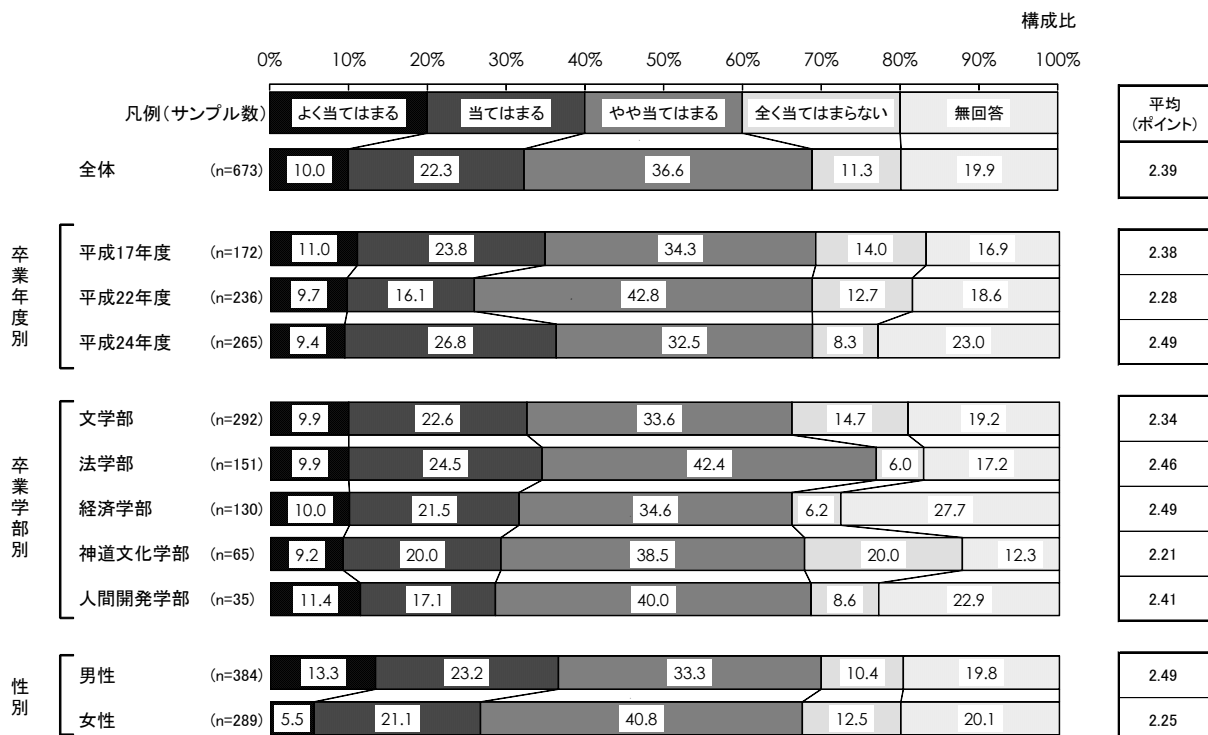
図表 3-113 問題解決に向けて、明確な目標を立てられる (SA)



図表 3-1-1-4 問題解決に向けて、目標に沿った具体的な計画を立てられる (SA)

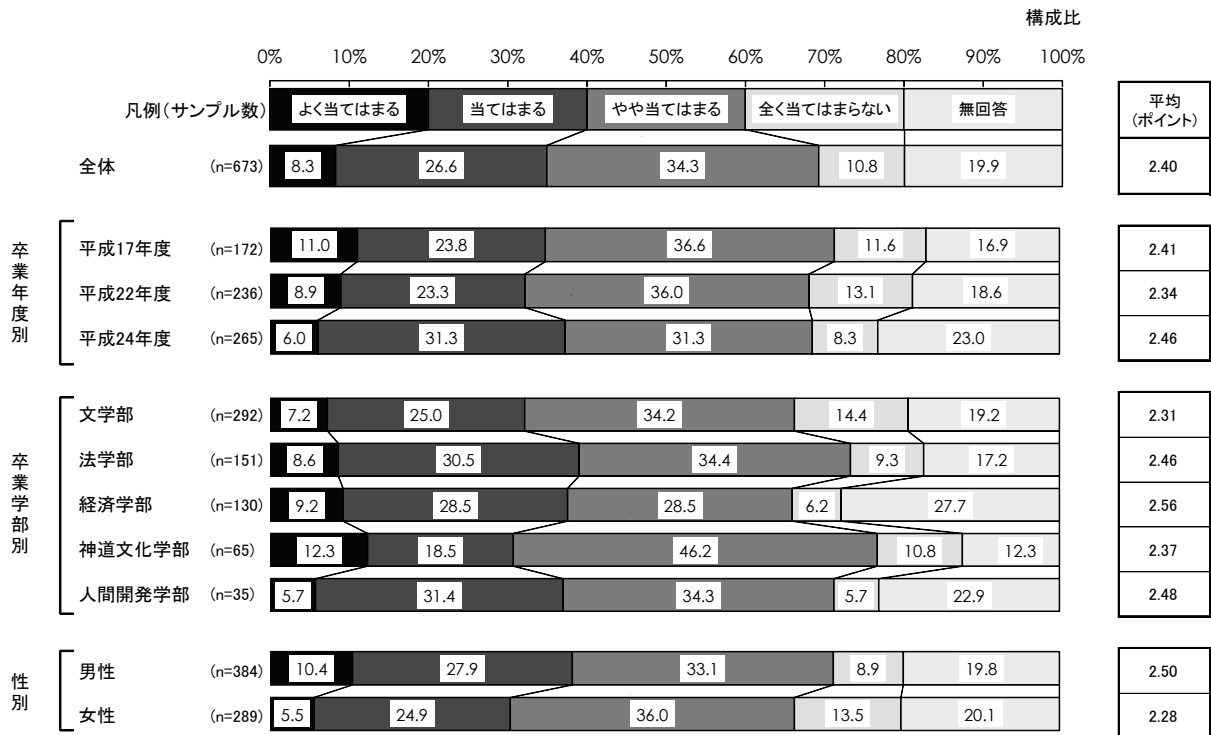


図表 3-1-1-5 問題解決に向けて、立案した計画の実現性を吟味できる (SA)



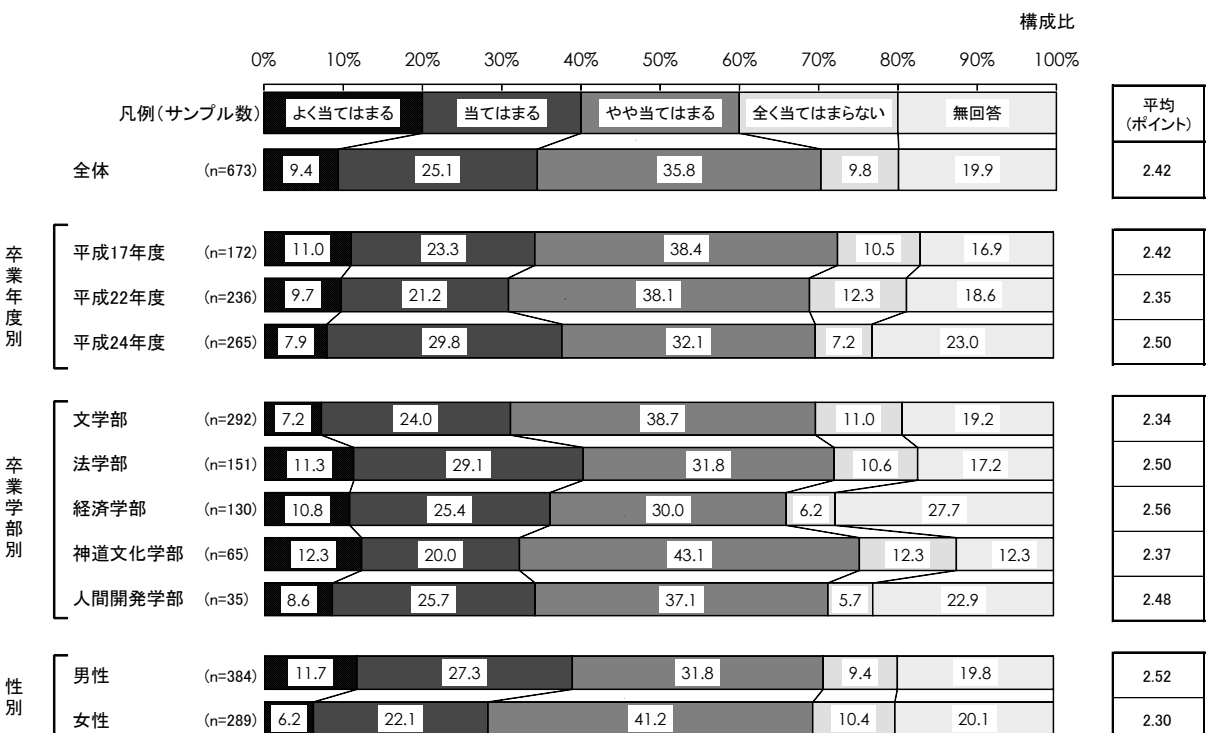
図表 3-116 問題解決すべく計画を推進しながら、

想定外の事態に応じて行動を修正できる (SA)



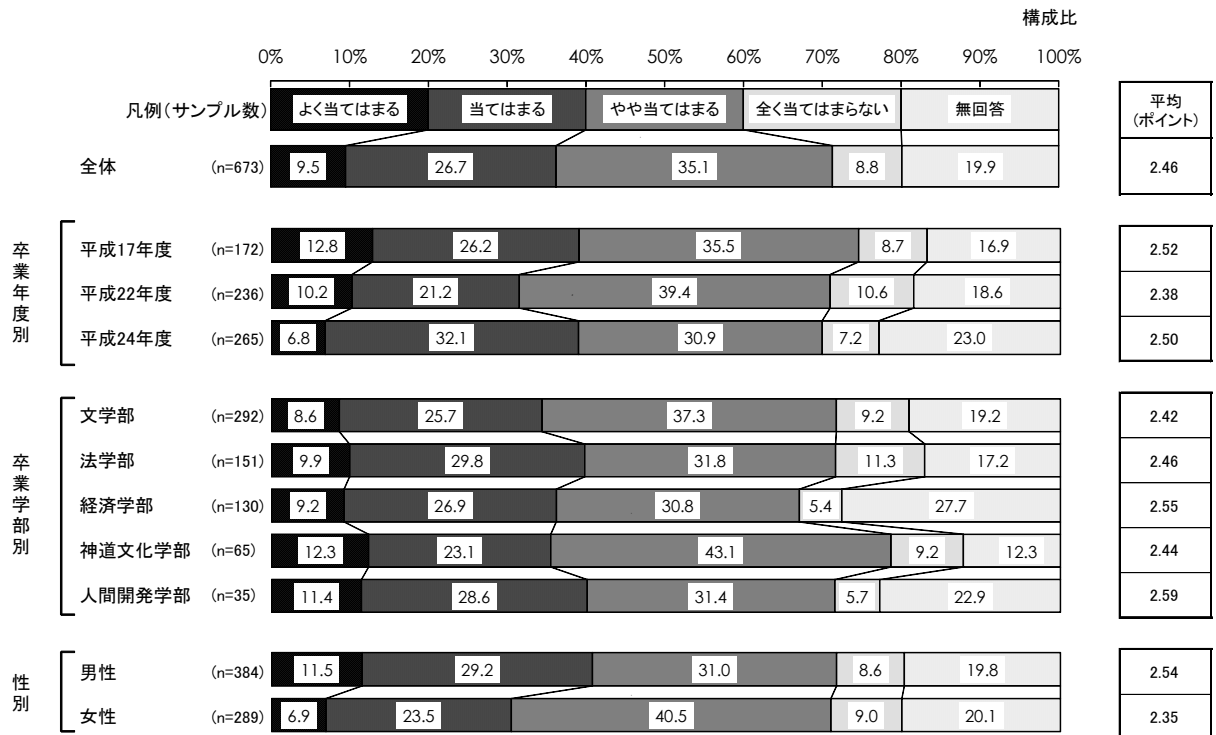
図表 3-117 問題解決するためにとった行動を振り返り、

課題を把握できる (SA)



図表3-118 把握した課題を念頭におき、

同様の事態に対して適切に対応できる(SA)



28. 学生時代に身についたと思うスキルや能力のうち、今役立っているものはどれですか。(答えはいくつでも)

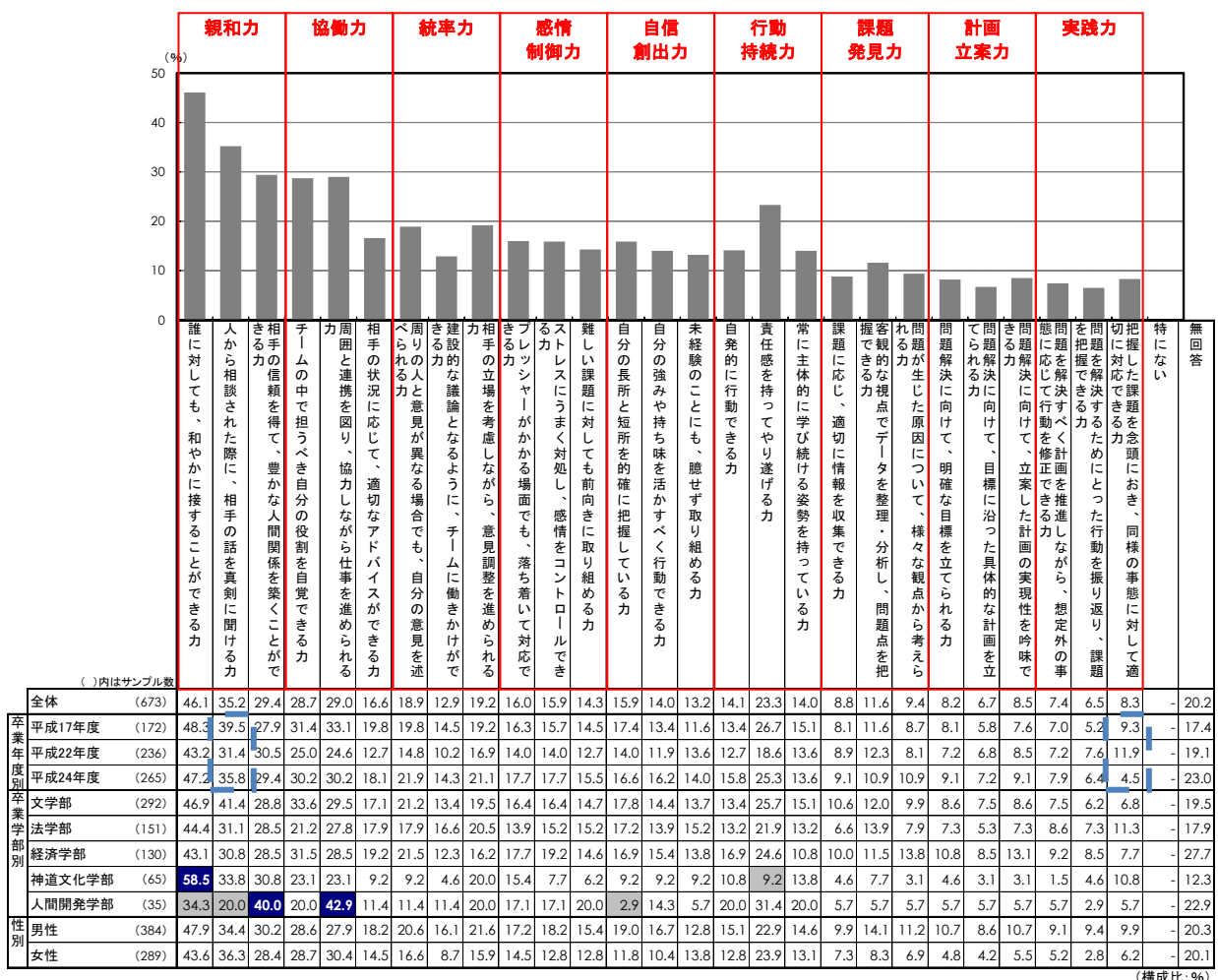
学生時代に身についたと思うスキルや能力のうち、今役立っているものは、「誰に対しても、和やかに接することができる力」が 46.1%で最も多く、次いで「人から相談された際に、相手の話を真剣に聞ける力」が 35.2%、「相手の信頼を得て、豊かな人間関係を築くことができる力」が 29.4%となっている。親和力、協働力は、前項の間 27 で身についたと回答した人の割合も多く、現在も役になっていることがわかる。

卒業年度別にみると、平成 22 年度卒業生は、他の年度に比べて、割合が低くなっている。

卒業学部別にみると、神道文化学部は、「誰に対しても、和やかに接することができる力」が 58.5%と約 6 割を占めている。人間開発学部は、「相手の信頼を得て、豊かな人間関係を築くことができる力」、「周囲と連携を図り、協力しながら仕事を進められる力」がそれぞれ約 4 割と他の学部よりも高くなっている。

性別にみると、男性の方が、概ね割合が高くなっている。

図表 3-119 学生時代に身についたと思うスキルや能力のうち、
今役立っているもの (MA)



0...全体より10ポイント以上大きい
0...全体より10ポイント以上小さい

(構成比:%)

29. 以下に掲げる力のうち、「学生時代に身につけておけばよかった」と思うものはありますか。(答えはいくつでも)

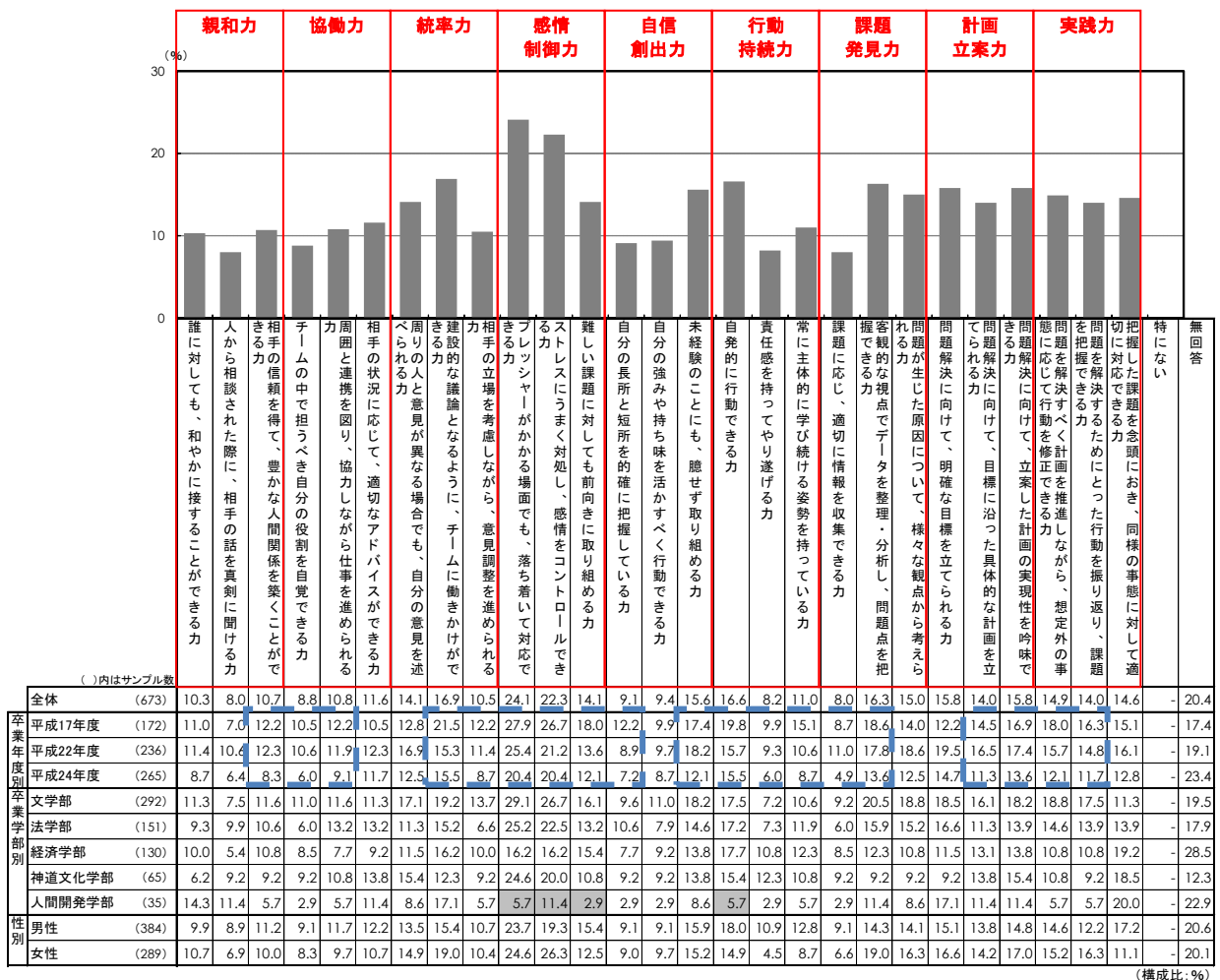
学生時代に身につけておけばよかったと思う能力は、「プレッシャーがかかる場面でも、落ち着いて対応できる力」が 24.1%で最も多く、次いで「ストレスにうまく対処し、感情をコントロールできる力」が 22.3%となっており、感情制御力が望まれている。

卒業年度別にみると、平成 17 年度卒業生は、いずれの項目も概ね割合が高くなっている。

卒業学部別にみると、全体の割合が高い感情制御力について、文学部で特にその割合が高くなっている一方、人間開発部では、他の学部比べて割合が特に低くなっている。

性別にみると、協調力と行動の持続力は男性の割合が高く、計画立案力は女性の割合が高くなっている。

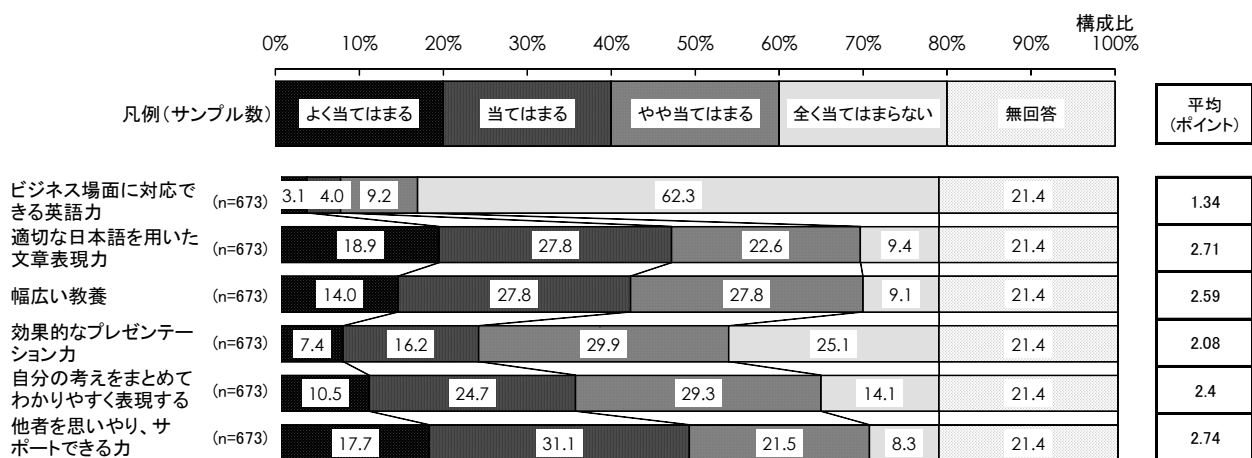
図表 3-120 「学生時代に身につけておけばよかった」と思うもの (MA)



30. 学生時代に身についたと思う能力や姿勢として、以下の項目はどの程度当てはまりますか。(それぞれ1つ選択)

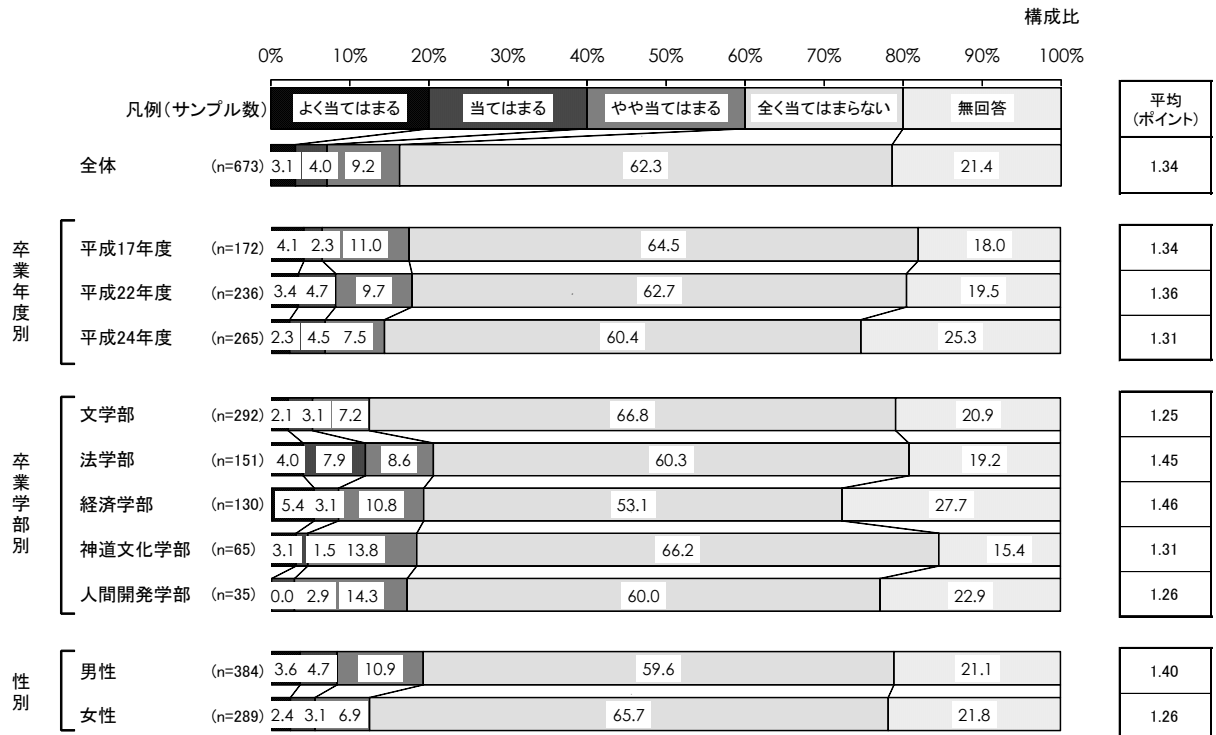
学生時代に身についたと思う能力や姿勢は、[他者を思いやり、サポートできる力]が最も多く、『当てはまる』が48.8%で、加重平均は2.74ポイントとなっている。次いで、『適切な日本語を用いた文章表現力』が2.71ポイントとなっている。一方、『ビジネス場面に対応できる英語力』は、『全く当てはまらない』が62.3%と6割以上を占め、1.34ポイントと他と比較して極端に低くなっている。

図表3-121 学生時代に身についたと思う能力や姿勢（SA）

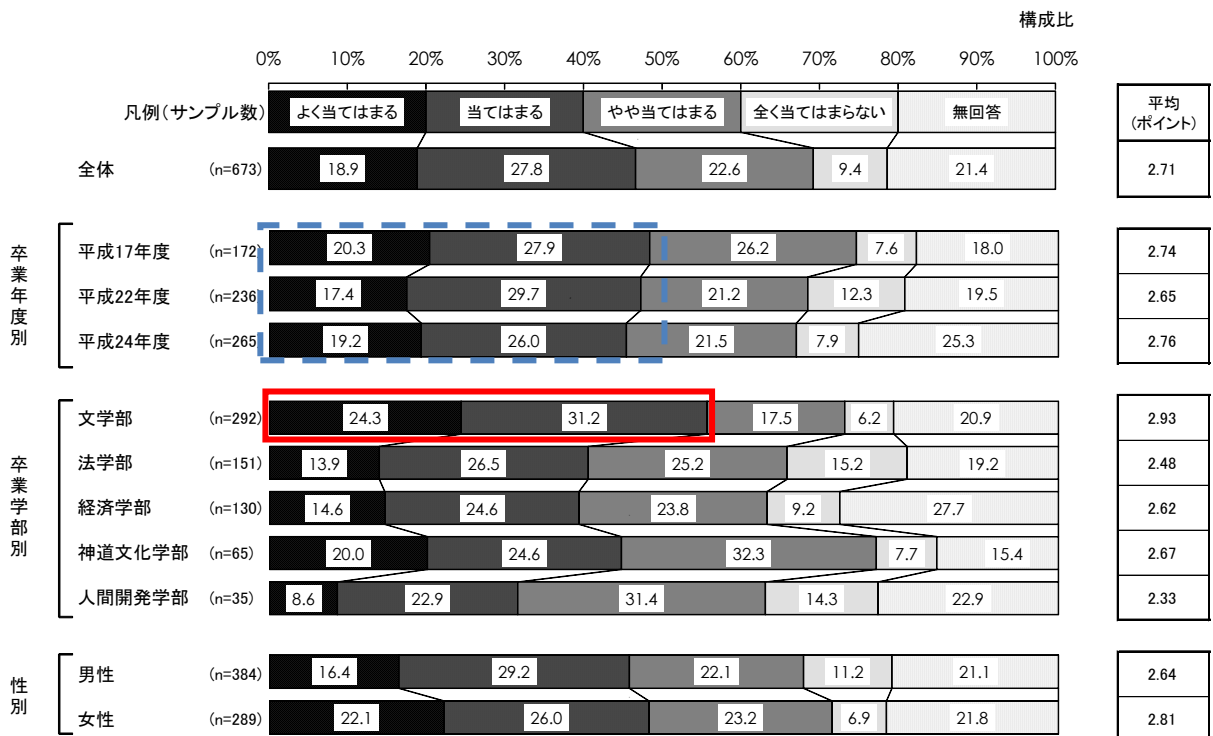


※「よく当てはまる」4ポイント、「当てはまる」3ポイント、「やや当てはまる」2ポイント、「全く当てはまらない」1ポイントで平均を抽出。

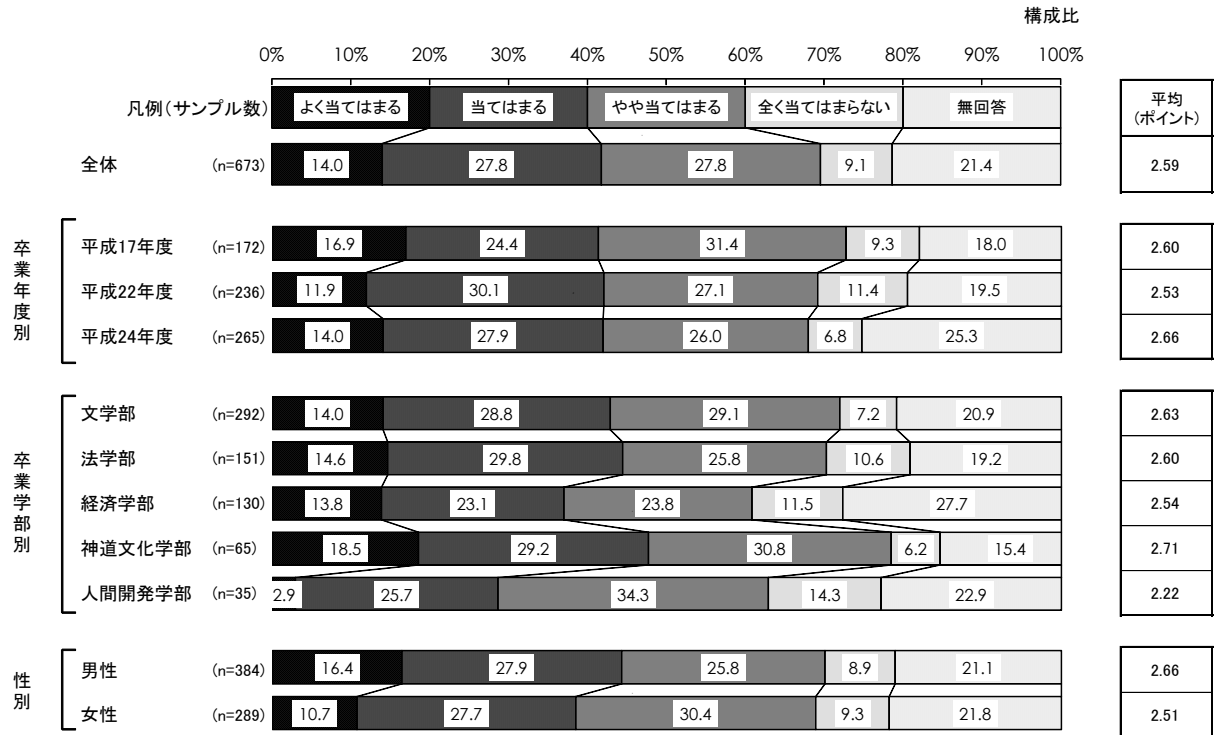
図表3-122 ビジネス場面に対応できる英語力 (SA)



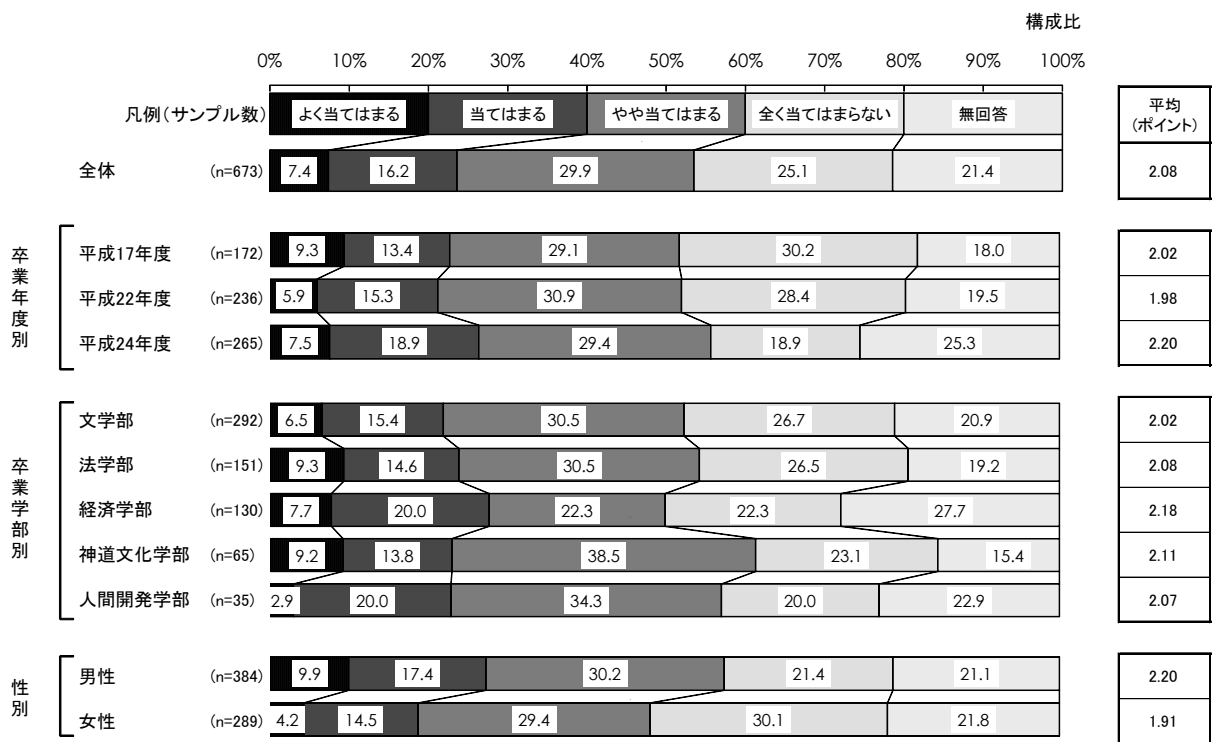
図表3-123 適切な日本語を用いた文章表現力 (SA)



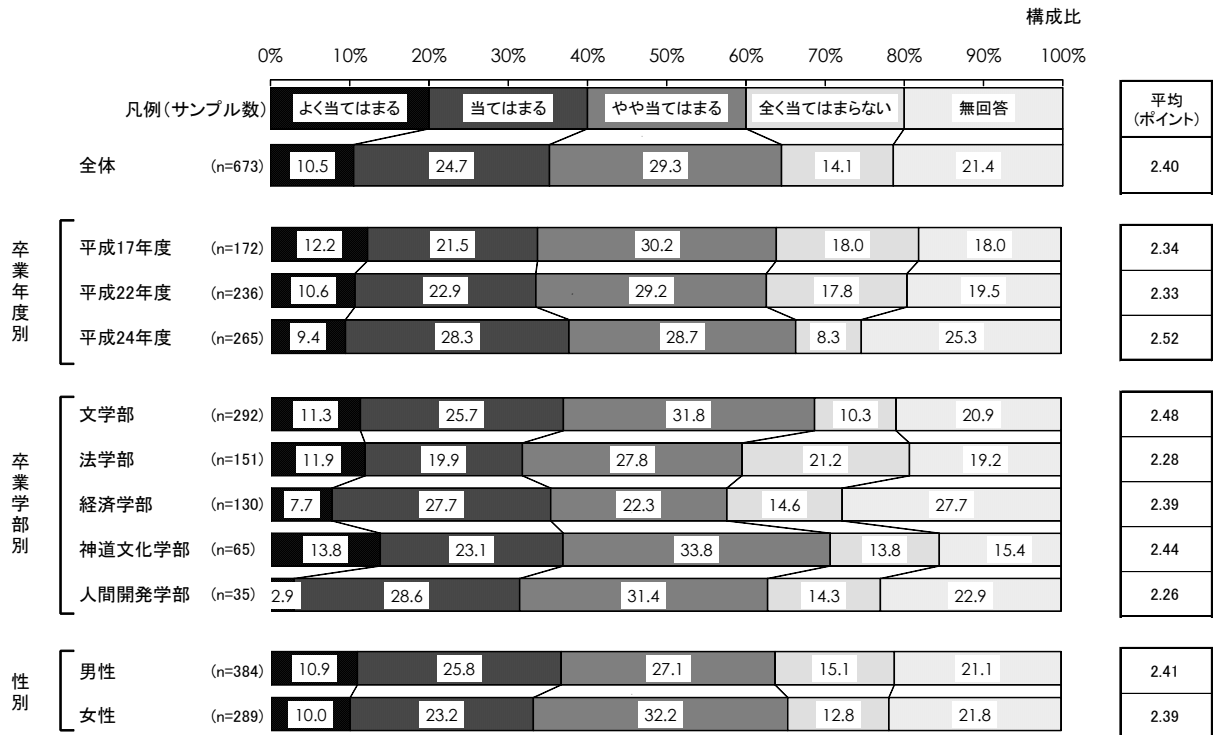
図表 3-124 幅広い教養 (SA)



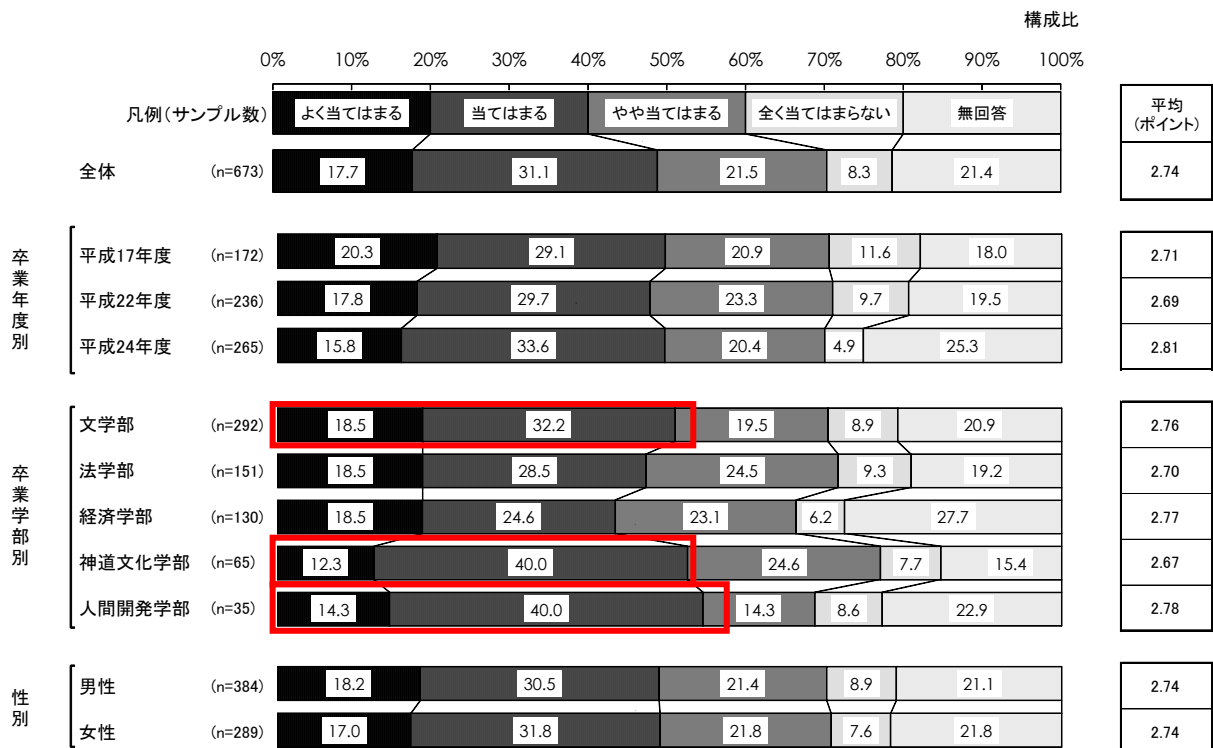
図表 3-125 効果的なプレゼンテーション力 (SA)



図表3-126 自分の考えをまとめてわかりやすく表現できる力 (SA)



図表3-127 他者を思いやり、サポートできる力 (SA)



31. 学生時代に身についたと思う能力や姿勢のうち、今役立っているものはどれですか。
(答えはいくつでも)

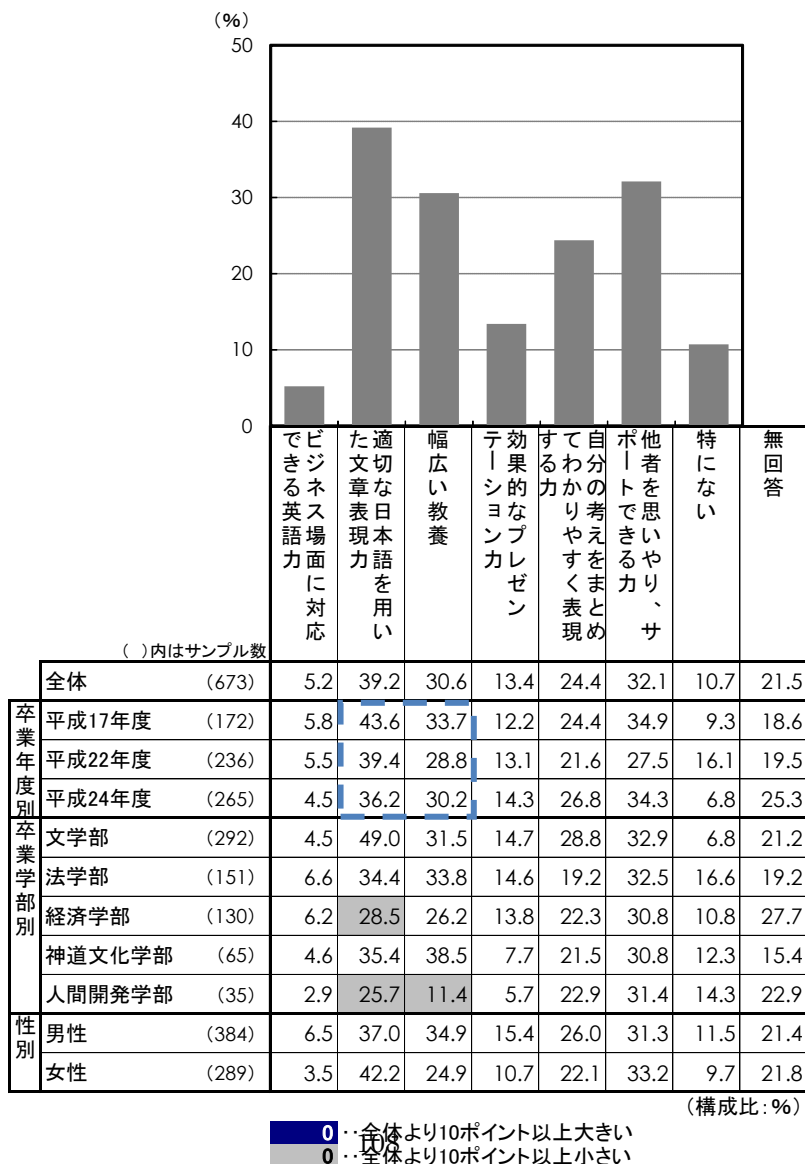
学生時代に身についたと思う能力や姿勢のうち、今役立っているものは、「適切な日本語を用いた文章表現力」が39.2%で最も多く、次いで、「他者を思いやり、サポートできる力」が32.1%、「幅広い教養」が30.6%となっている。

卒業年度別にみると、全体で割合の高い「適切な日本語を用いた文章表現力」「他者を思いやり、サポートできる力」「幅広い教養」について、平成17年度卒業生において、割合が高くなっている。

卒業学部別にみると、文学部は「適切な日本語を用いた文章表現力」、「他者を思いやり、サポートできる力」は文学部において、「幅広い教養」は神道文化学部について、特に割合が高くなっている。

性別にみると、「幅広い教養」は、男性の方が女性よりも10ポイントも高くなっている。

図表3-128 学生時代に身についたと思う能力や姿勢のうち、
今役立っているもの (MA)



32. 以下に掲げる力のうち、「学生時代に身につけておけばよかった」と思うものがありますか。(答えはいくつでも)

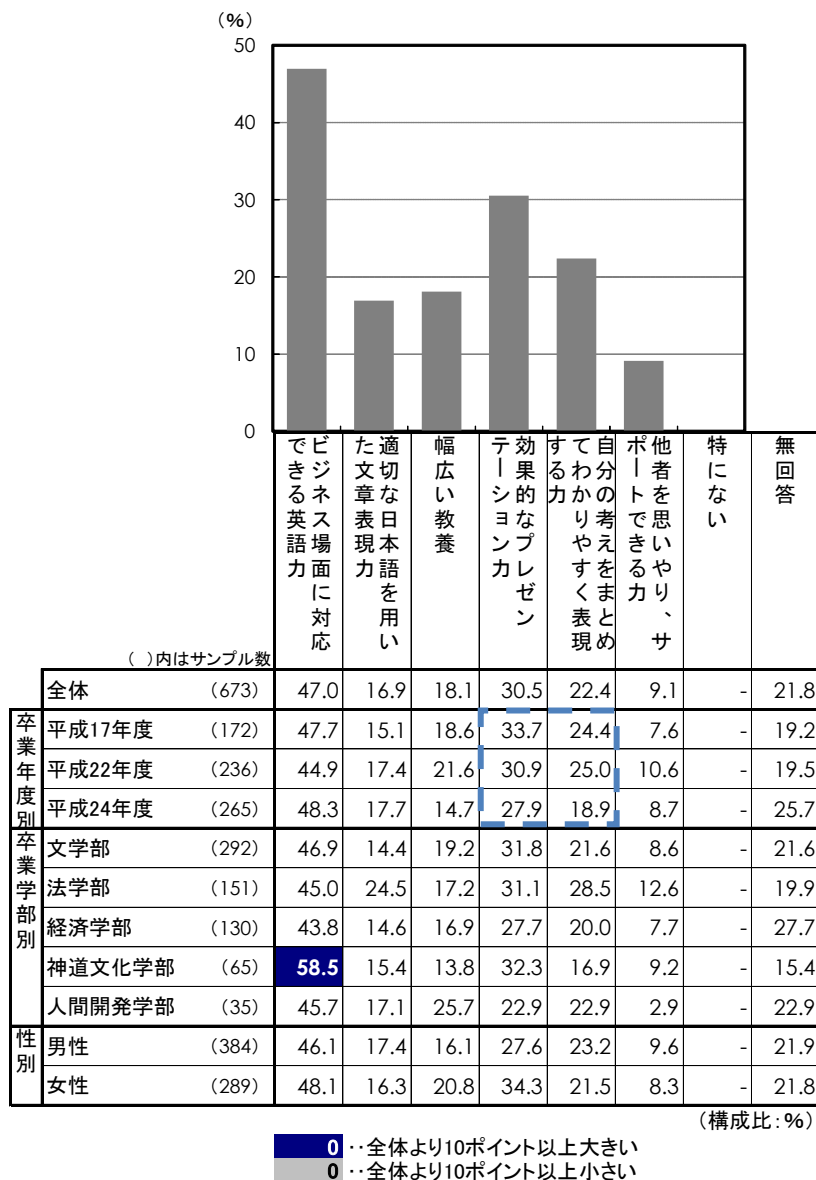
学生時代に身につけておけばよかったと思う能力は、「ビジネス場面に対応できる英語力」が47.0%で約半数を占めている。次いで、「効果的なプレゼンテーション力」が30.5%、「自分で考えをまとめてわかりやすく表現する力」が22.4%などの順となっている。

卒業年度別にみると、「効果的なプレゼンテーション力」、「自分の考えをまとめてわかりやすく表現する力」、「幅広い教養」は、平成24年度卒業生は他の年度よりも割合がやや低くなっている。

卒業学部別にみると、神道文化学部は「ビジネス場面に対応できる英語力」が特に高く、半数近くの人が身につけておけばよかったと回答している。

性別にみると、女性は男性より「効果的なプレゼンテーション力」が6ポイント以上高くなっている。

図表3-129 「学生時代に身につけておけばよかった」と思うもの(MA)



33. 学生時代に読んだ本について、最も印象に残っている作家や作品をお書きください。

学生時代に印象に残った作家や作品について、262人より回答があった。具体的な内容は、日本文学(44件)から現代文学(75件)、海外文学(18件)、哲学・思想(12件)、歴史・時代(16件)など多岐にわたっている。

図表3-130 学生時代に読んだ本について、
最も印象に残っている作家や作品(F A)

人名/題名	ジャンル	学生時代に読んだ本について、最も印象に残っている作家や作品	卒業年度	卒業学部	年齢(2016年4月1日現在)	性別
人名	日本文学	太宰治	平成22年度	文学部	28歳	男性
人名	日本文学	泉鏡花	平成24年度	文学部	26歳	男性
人名	日本文学	芥川龍之介	平成17年度	文学部	33歳	男性
人名	日本文学	上橋菜穂子	平成17年度	文学部	33歳	女性
人名	日本文学	安倍公房	平成17年度	文学部	32歳	男性
人名	日本文学	司馬遼太郎	平成17年度	神道文化学部	32歳	男性
人名	日本文学	柳田國雄	平成24年度	文学部	26歳	女性
人名	日本文学	島崎藤村『夜明け前』	平成22年度	文学部	28歳	女性
人名	日本文学	太宰治	平成24年度	文学部	26歳	女性
人名	日本文学	柳田国男、折口信夫	平成24年度	文学部	25歳	女性
人名	日本文学	三四郎	平成22年度	文学部	27歳	女性
人名	日本文学	北方謙三	平成17年度	文学部	33歳	男性
人名	日本文学	太宰治	平成24年度	文学部	25歳	女性
人名	日本文学	芥川龍之介	平成17年度	文学部	32歳	女性
人名	日本文学	志賀直哉	平成22年度	文学部	27歳	女性
人名	日本文学	三島由紀夫、二一チエ	平成22年度	法学部	27歳	男性
人名	日本文学	藤沢周平	平成17年度	文学部	33歳	男性
人名	日本文学	夏目漱石	平成22年度	文学部	29歳	女性
人名	日本文学	高橋和巳	平成24年度	神道文化学部	33歳	男性
人名	日本文学	赤川次郎	平成24年度	文学部	25歳	女性
人名	日本文学	こころ	平成17年度	文学部	33歳	男性
人名	日本文学	芥川龍之介	平成24年度	文学部	35歳以上	男性
人名	日本文学	壺井栄	平成17年度	文学部	33歳	女性
人名	日本文学	梨木香歩	平成22年度	文学部	27歳	女性
人名	日本文学	上橋菜穂子	平成24年度	法学部	26歳	女性
人名	日本文学	北村薫	平成22年度	文学部	27歳	男性
人名	現代文学	江國香織	平成17年度	法学部	32歳	男性
人名	現代文学	皆川博子 伊坂幸太郎	平成17年度	文学部	32歳	女性
人名	現代文学	有川浩	平成17年度	法学部	33歳	女性
人名	現代文学	東野圭吾	平成24年度	文学部	25歳	女性
人名	現代文学	京極夏彦	平成22年度	文学部	27歳	女性
人名	現代文学	伊坂幸太郎	平成22年度	法学部	27歳	男性
人名	現代文学	あさのあつこ	平成17年度	文学部	33歳	女性
人名	現代文学	吉田修一	平成17年度	文学部	32歳	女性
人名	現代文学	京極夏彦	平成17年度	文学部	32歳	女性
人名	現代文学	村上春樹	平成17年度	経済学部	33歳	男性
人名	現代文学	ゼミの先生が紹介して下さった、江國香織さん。今でもたくさんの作品を読んでいます。また、いいことばかりが起こる 幸せの6ステップ、という本。進路で悩んでいる時に紹介していただきましたが、社会人になった今でもとても参考になっています。	平成24年度	人間開発学部	25歳	女性
人名	現代文学	東野圭吾	平成22年度	神道文化学部	28歳	男性
人名	現代文学	有川浩	平成22年度	文学部	28歳	女性
人名	現代文学	乙一	平成17年度	文学部	32歳	女性
人名	現代文学	村上春樹	平成24年度	法学部	27歳	男性
人名	現代文学	伊坂幸太郎	平成24年度	人間開発学部	25歳	女性
人名	現代文学	有川浩	平成22年度	文学部	27歳	女性
人名	現代文学	東野圭吾	平成24年度	人間開発学部	26歳	女性
人名	現代文学	京極夏彦	平成17年度	経済学部	33歳	男性
人名	現代文学	山田悠介	平成22年度	経済学部	27歳	男性
人名	現代文学	さくらももこ	平成22年度	人間開発学部	26歳	男性
人名	現代文学	村上春樹	平成22年度	法学部	28歳	男性

人名/題名	ジャンル	学生時代に読んだ本について、最も印象に残っている作家や作品	卒業年度	卒業学部	年齢(2016年4月1日現在)	性別
人名	現代文学	森見登美彦	平成22年度	文学部	25歳	女性
人名	現代文学	重松清	平成24年度	文学部	28歳	男性
人名	現代文学	冲方	平成24年度	文学部	25歳	女性
人名	現代文学	村上龍	平成24年度	経済学部	27歳	男性
人名	現代文学	伊坂幸太郎、浅田次郎、百田尚樹	平成24年度	法学部	25歳	男性
人名	現代文学	綾辻行人	平成22年度	文学部	25歳	女性
人名	現代文学	谷崎潤一郎	平成24年度	文学部	26歳	女性
人名	現代文学	西尾維新	平成22年度	経済学部	26歳	男性
人名	現代文学	村上龍	平成17年度	経済学部	33歳	男性
人名	現代文学	重松清	平成17年度	文学部	32歳	男性
人名	現代文学	山崎豊子	平成24年度	法学部	25歳	男性
人名	現代文学	村上春樹	平成24年度	法学部	26歳	男性
人名	現代文学	石田衣良	平成17年度	法学部	33歳	男性
人名	現代文学	赤川次郎	平成17年度	法学部	32歳	女性
人名	現代文学	村上春樹	平成17年度	文学部	33歳	女性
人名	現代文学	東野圭吾	平成24年度	文学部	26歳	男性
人名	現代文学	酒見賢一	平成22年度	文学部	29歳	男性
人名	現代文学	市川拓司	平成22年度	法学部	27歳	男性
人名	現代文学	池井戸潤	平成24年度	法学部	27歳	男性
人名	現代文学	司馬遼太郎	平成22年度	法学部	28歳	女性
人名	現代文学	江國かおり	平成24年度	文学部	25歳	女性
人名	現代文学	谷崎潤一郎	平成24年度	文学部	25歳	男性
人名	現代文学	唯川恵	平成22年度	法学部	28歳	女性
人名	現代文学	重松清	平成17年度	文学部	32歳	女性
人名	現代文学	東野圭吾	平成22年度	法学部	28歳	男性
人名	現代文学	町田康の告白	平成24年度	法学部	26歳	男性
人名	古典文学	本居宣長 玉きしげ	平成24年度	神道文化学部	35歳以上	男性
人名	海外文学	ヘミングウェイ	平成24年度	人間開発学部	25歳	女性
人名	海外文学	ファウスト	平成17年度	文学部	32歳	女性
人名	海外文学	ワイルド	平成24年度	文学部	25歳	女性
人名	哲学・思想	中島義道	平成24年度	経済学部	27歳	男性
人名	哲学・思想	中澤伸弘	平成24年度	文学部	25歳	男性
人名	哲学・思想	カールポパーの一連の著作	平成24年度	神道文化学部	29歳	男性
人名	哲学・思想	ニーチェ	平成22年度	文学部	27歳	女性
人名	哲学・思想	ドラッカー	平成22年度	経済学部	26歳	男性
人名	哲学・思想	オスカー・ワイルド	平成22年度	文学部	27歳	女性
人名	社会・思想	ドナルド キーン	平成24年度	文学部	26歳	女性
人名	社会・思想	池上彰	平成22年度	法学部	29歳	男性
人名	歴史・時代	畑尚子	平成24年度	文学部	26歳	女性
人名	歴史・時代	菅井真澄	平成17年度	文学部	32歳	男性
人名	歴史・時代	網野善彦	平成17年度	文学部	33歳	男性
人名	歴史・時代	吉村昭	平成24年度	神道文化学部	28歳	男性
人名	歴史・時代	塩野七生さん	平成24年度	経済学部	27歳	男性
人名	歴史・時代	竹岡勝也	平成24年度	文学部	25歳	男性
人名	歴史・時代	大石学	平成24年度	文学部	25歳	女性
人名	歴史書	稗田阿礼	平成24年度	神道文化学部	26歳	男性
人名	ビジネス	本田宗一郎	平成24年度	経済学部	25歳	女性
人名	ビジネス	ビル・ゲイツ	平成17年度	文学部	34歳	男性
人名	ビジネス	松下幸之助	平成22年度	法学部	28歳	女性
人名	教養	中谷彰宏	平成24年度	法学部	26歳	男性
人名	教養	里見実先生の働くことについての著書	平成17年度	文学部	35歳以上	男性
人名	エッセイ	吉本ばななの本。	平成22年度	法学部	27歳	女性
人名	経済学	アダム スミス	平成24年度	経済学部	26歳	男性
人名	自己啓発	ピーター・ドラッカーの本	平成17年度	経済学部	35歳以上	女性
人名	社会・政治	根岸茂夫	平成22年度	文学部	35歳以上	男性
人名	社会・政治	「広田弘毅」	平成24年度	文学部	25歳	女性
人名	生物学	ジャレドダイヤモンド	平成24年度	文学部	26歳	男性
人名	地理学	応地利明	平成22年度	神道文化学部	30歳	男性
人名	美術	谷川渥	平成24年度	文学部	26歳	男性
人名	民俗学	折口信夫	平成17年度	文学部	34歳	男性
人名	宗教	ジョゼフ マーフィー	平成24年度	経済学部	25歳	男性
人名	宗教	圓田稔	平成17年度	神道文化学部	33歳	男性
人名		羽生善治	平成22年度	法学部	27歳	男性

人名/題名	ジャンル	学生時代に読んだ本について、最も印象に残っている作家や作品	卒業年度	卒業学部	年齢(2016年4月1日現在)	性別
題名	日本文学	斜陽	平成24年度	神道文化学部	25歳	女性
題名	日本文学	雨月物語	平成17年度	文学部	32歳	女性
題名	日本文学	谷崎潤一郎 細雪	平成17年度	文学部	32歳	男性
題名	日本文学	夢十夜、いきの哲学、スートラ、仏教哲学	平成24年度	文学部	29歳	女性
題名	日本文学	夏目漱石『三四郎』	平成22年度	神道文化学部	27歳	女性
題名	日本文学	十三夜	平成24年度	文学部	25歳	女性
題名	日本文学	源氏物語	平成17年度	文学部	32歳	女性
題名	日本文学	漁父辞	平成22年度	文学部	27歳	女性
題名	日本文学	難読語の由来 中村幸弘	平成17年度	文学部	34歳	男性
題名	日本文学	竹取物語	平成22年度	神道文化学部	27歳	女性
題名	日本文学	棟田博 サイパンから来た列車	平成22年度	法学部	29歳	男性
題名	日本文学	こころ	平成24年度	文学部	25歳	女性
題名	日本文学	源氏物語	平成22年度	文学部	29歳	女性
題名	日本文学	谷崎潤一郎	平成24年度	法学部	25歳	男性
題名	日本文学	夏目漱石	平成24年度	文学部	28歳	女性
題名	日本文学	犬畜談 太宰治、こころ 夏目漱石	平成17年度	法学部	33歳	男性
題名	日本文学	源氏物語 第四帖	平成22年度	文学部	28歳	男性
題名	日本文学	夏目漱石 こころ	平成22年度	文学部	27歳	女性
題名	現代文学	ぼくはうみがみたくなりました	平成24年度	人間開発学部	25歳	女性
題名	現代文学	レイモンド・チャンドラー ザ・ロング・グッバイ	平成24年度	人間開発学部	25歳	男性
題名	現代文学	辻村美月ゼロハチゼロナ	平成24年度	人間開発学部	26歳	女性
題名	現代文学	箱男	平成22年度	文学部	27歳	女性
題名	現代文学	四畳半神話大系	平成24年度	経済学部	25歳	男性
題名	現代文学	東野圭吾『砂漠』	平成22年度	文学部	28歳	男性
題名	現代文学	浅田次郎 ラブ・レター	平成22年度	文学部	27歳	女性
題名	現代文学	深夜特急 沢木耕太郎	平成17年度	経済学部	33歳	男性
題名	現代文学	トーキョークロスロード	平成24年度	法学部	26歳	女性
題名	現代文学	村上春樹、行政法入門(藤田宙靖)	平成17年度	法学部	33歳	女性
題名	現代文学	カンガルーノート	平成22年度	文学部	28歳	女性
題名	現代文学	司馬遼太郎「項羽と劉邦」	平成22年度	神道文化学部	29歳	男性
題名	現代文学	綾辻行人『十角館の殺人』	平成22年度	文学部	28歳	女性
題名	現代文学	イニシエーション・ラブ(乾くるみ)	平成24年度	文学部	26歳	男性
題名	現代文学	安部公房「壁」	平成22年度	文学部	28歳	男性
題名	現代文学	「仏像を得ず」「フェルマーの最終定理」	平成22年度	文学部	27歳	女性
題名	現代文学	1984年(ジョージ・オーウェル)と文学部只野教授(石本先生がお話されていたのをきっかけに読んだ)	平成17年度	文学部	34歳	男性
題名	現代文学	山田詠美 トラッシュ	平成17年度	文学部	33歳	女性
題名	現代文学	有川浩「ストーリーセラー」	平成24年度	文学部	25歳	女性
題名	現代文学	小川洋子の薬指の標本	平成17年度	文学部	32歳	女性
題名	現代文学	宮部みゆき 今夜は眠れない	平成22年度	文学部	27歳	女性
題名	現代文学	宮部みゆきの『火車』	平成24年度	文学部	25歳	女性
題名	現代文学	有川浩『図書館戦争』紫式部『源氏物語』	平成24年度	文学部	26歳	女性
題名	現代文学	ノルウェイの森	平成24年度	法学部	26歳	女性
題名	現代文学	サクリフェイス	平成22年度	文学部	27歳	女性
題名	現代文学	海辺のカフカ	平成17年度	経済学部	34歳	男性
題名	現代文学	バルサの食卓	平成24年度	文学部	26歳	男性
題名	古典文学	源平盛衰記	平成22年度	文学部	27歳	女性
題名	古典文学	狭衣物語	平成24年度	文学部	26歳	女性
題名	海外文学	死者の舞踏	平成17年度	文学部	33歳	女性
題名	海外文学	遊仙窟	平成22年度	文学部	27歳	男性
題名	海外文学	ドストエフスキー『罪と罰』、ドラッカー『マネジメント』	平成17年度	法学部	34歳	男性
題名	海外文学	異邦人	平成22年度	法学部	28歳	男性
題名	海外文学	嵐が丘	平成24年度	文学部	27歳	女性
題名	海外文学	地獄の季節	平成24年度	法学部	27歳	女性
題名	海外文学	ゴトーを待ちながら	平成24年度	経済学部	26歳	男性
題名	海外文学	A Streetcar named desire, Tennessee Williams	平成24年度	経済学部	25歳	男性
題名	海外文学	タイタンの妖女	平成24年度	文学部	25歳	女性
題名	海外文学	罪と罰	平成24年度	文学部	26歳	女性
題名	海外文学	星の王子さま	平成17年度	法学部	33歳	女性
題名	海外文学	八十日間世界一周	平成24年度	文学部	25歳	女性
題名	海外文学	悪霊(ドストエフスキー)	平成22年度	法学部	27歳	男性
題名	海外文学	車輪の下 ヘルマン・ヘッセ 人間失格 太宰治 卒業式まで死にません 女子高生南条あやの日記	平成24年度	法学部	35歳以上	男性
題名	海外文学	P・K・ディック『高い城の男』	平成22年度	神道文化学部	28歳	男性

人名/題名	ジャンル	学生時代に読んだ本について、最も印象に残っている作家や作品	卒業年度	卒業学部	年齢(2016年4月1日現在)	性別
題名	哲学・思想	「超ラブ理論」および「人を動かす」	平成22年度	経済学部	28歳	男性
題名	哲学・思想	鏡と皮膚	平成22年度	文学部	27歳	女性
題名	哲学・思想	マキャヴェリ『君主論』	平成24年度	文学部	28歳	男性
題名	哲学・思想	道徳の系譜	平成17年度	文学部	34歳	男性
題名	哲学・思想	「いき」の構造	平成22年度	法学部	27歳	男性
題名	哲学・思想	鍋とランセット	平成17年度	法学部	35歳以上	女性
題名	社会・思想	フランス革命年代記	平成17年度	法学部	35歳以上	女性
題名	社会・思想	死の壁	平成22年度	法学部	27歳	男性
題名	社会・思想	会社は誰のものか	平成17年度	経済学部	34歳	男性
題名	社会・思想	ものと人間の文化史	平成24年度	文学部	26歳	男性
題名	社会・思想	アメリカ自由の物語	平成24年度	経済学部	26歳	男性
題名	社会・思想	コナン・ドイルの心霊学	平成22年度	文学部	27歳	女性
題名	社会・思想	「教えるということ」	平成24年度	文学部	25歳	女性
題名	社会・思想	ゲッツ板谷 バカの瞬発力	平成17年度	神道文化学部	33歳	男性
題名	社会・思想	稲森和夫の実学	平成24年度	経済学部	26歳	男性
題名	社会・思想	『論語』をいろいろな解説で読み、とてもためになりました。	平成17年度	文学部	33歳	女性
題名	社会・思想	知事の世界	平成22年度	法学部	28歳	男性
題名	社会・思想	論語	平成22年度	文学部	27歳	女性
題名	社会・思想	中国動漫新人類	平成24年度	文学部	25歳	男性
題名	歴史・時代	ミットフォード日本日記	平成17年度	神道文化学部	32歳	男性
題名	歴史・時代	平家物語	平成17年度	文学部	32歳	男性
題名	歴史・時代	畠山健二 本所おけら長屋	平成24年度	文学部	25歳	女性
題名	歴史・時代	武門源氏の血脈	平成24年度	文学部	25歳	男性
題名	歴史・時代	ジョン・ダワー『敗北を抱きしめて』	平成24年度	文学部	25歳	男性
題名	歴史・時代	『倭姫命世紀』	平成24年度	神道文化学部	35歳以上	女性
題名	歴史・時代	折口信夫「死者の書」	平成22年度	文学部	27歳	女性
題名	歴史・時代	「ローマ人の物語」塩野七生	平成22年度	神道文化学部	27歳	男性
題名	歴史・時代	シュガーロード	平成24年度	文学部	25歳	女性
題名	歴史書	古事記	平成24年度	文学部	25歳	女性
題名	歴史書	角川ソフィア文庫『古事記』	平成24年度	文学部	26歳	男性
題名	歴史書	古事記	平成22年度	神道文化学部	27歳	男性
題名	歴史書	古事記	平成17年度	神道文化学部	32歳	女性
題名	歴史書	日本三代実録	平成22年度	文学部	27歳	女性
題名	歴史書	古事記	平成24年度	文学部	35歳以上	男性
題名	歴史書	古事記	平成24年度	神道文化学部	26歳	男性
題名	歴史書	古事記	平成22年度	法学部	27歳	女性
題名	歴史書	史記	平成17年度	文学部	35歳以上	女性
題名	歴史書	古事記	平成24年度	文学部	26歳	男性
題名	歴史書	『古事記』『日本書紀』	平成22年度	神道文化学部	27歳	女性
題名	和歌	万葉集	平成24年度	文学部	25歳	女性
題名	和歌	新古今集	平成22年度	文学部	28歳	女性
題名	和歌	万葉集	平成22年度	文学部	35歳以上	女性
題名	和歌	万葉集	平成17年度	文学部	32歳	女性
題名	ビジネス	山、動く	平成17年度	法学部	33歳	男性
題名	ビジネス	ストーリーとしての経営戦略	平成24年度	経済学部	25歳	男性
題名	ビジネス	プロフェッショナル仕事の流儀	平成24年度	法学部	25歳	女性
題名	教養	レポート・論文の書き方入門	平成22年度	法学部	25歳	男性
題名	教養	祖国とは国語	平成22年度	文学部	27歳	女性
題名	教養	入社1年目の教科書	平成22年度	経済学部	27歳	男性
その他	教養	資格系の書物	平成24年度	経済学部	28歳	男性
題名	自己啓発	7つの習慣	平成24年度	経済学部	26歳	男性
題名	自己啓発	チーズはどこへ消えた？	平成17年度	文学部	32歳	女性
題名	自己啓発	もし高校野球の女子マネージャーがドラッカーのマネジメントを読んだら	平成24年度	法学部	26歳	男性
題名	自己啓発	夢を叶えるソウ	平成22年度	経済学部	28歳	男性
題名	自己啓発	渋谷で働く社長の告白	平成17年度	経済学部	33歳	男性
題名	自己啓発	羽生善治氏著 直感力	平成22年度	法学部	27歳	男性
題名	自己啓発	めんどくさがりやの55の法則 本田直之 著	平成24年度	法学部	26歳	女性
題名	自己啓発	金持ち父さん貧乏父さん	平成24年度	文学部	32歳	男性
題名	自己啓発	人を動かす	平成17年度	経済学部	32歳	男性
題名	自己啓発	金持ち父さん貧乏父さん	平成22年度	経済学部	27歳	女性
題名	自己啓発	マイケルサンデル これからの正義の話をしよう	平成22年度	法学部	28歳	男性
題名	自己啓発	サリンとおはぎ	平成24年度	文学部	26歳	男性

人名/題名	ジャンル	学生時代に読んだ本について、最も印象に残っている作家や作品	卒業年度	卒業学部	年齢(2016年4月1日現在)	性別
題名	社会・政治	知覧からの手紙	平成24年度	人間開発学部	25歳	女性
題名	社会・政治	昭和16年夏の敗戦	平成24年度	文学部	25歳	男性
題名	社会・政治	コラーのマーケティング3.0	平成22年度	文学部	28歳	男性
題名	社会・政治	民事訴訟法 高橋学説	平成24年度	法学部	25歳	女性
題名	社会・政治	上坂冬子 靖国問題	平成22年度	神道文化学部	27歳	男性
題名	社会・政治	内田樹 街場のメディア論	平成22年度	文学部	27歳	男性
題名	アニメ	銃夢	平成17年度	文学部	32歳	男性
題名	アニメ	涼宮ハルヒの憂鬱	平成24年度	法学部	25歳	男性
題名	海外古典	論語	平成22年度	文学部	28歳	女性
題名	海外歴史	蘇軾	平成17年度	文学部	33歳	女性
題名	教育	学級会で子どもを育てる	平成24年度	人間開発学部	25歳	女性
題名	経済学	スタバではグラndeを買え!	平成22年度	経済学部	27歳	女性
題名	語学	サンスクリット語・その形と心 上村勝彦・風間喜代三	平成24年度	文学部	25歳	女性
題名	心理学	ジュリアン・ジェインズ『神々の沈黙』	平成24年度	神道文化学部	35歳以上	女性
題名	随筆	舞城王太郎 種田山頭火	平成24年度	文学部	28歳	女性
題名	政治	『文明の衝突』、新書各種	平成22年度	法学部	31歳	男性
題名	説話	遠野物語	平成17年度	文学部	32歳	女性
題名	説話	今昔物語集	平成22年度	文学部	29歳	男性
題名	その他	皇国の守護者	平成24年度	文学部	28歳	男性
題名	その他	医学書院の精神疾患の書籍	平成17年度	文学部	35歳以上	男性
題名	ノンフィクション	全盲先生	平成24年度	法学部	25歳	女性
題名	宗教	神道の基礎知識と基礎問題	平成17年度	神道文化学部	33歳	男性
題名	宗教	「勸進と破戒の中世史」松尾剛次	平成17年度	文学部	35歳以上	女性
題名	宗教	高橋 邪宗門	平成17年度	神道文化学部	35歳以上	男性
題名		中沢真一『アースダイバー』 太田好信「文化の客体化」	平成22年度	神道文化学部	27歳	男性
その他		庵屋の美学	平成17年度	法学部	33歳	男性
その他		シラバス	平成17年度	文学部	35歳以上	男性

問7 本校および在校生へのメッセージ

34. あなたがこれからの國學院大學に望むことを、ご自由にお書きください。

これからの國學院大學に望むことについて、272人より回答があった。主な要望は、大学のブランディング・校風に関するもの（104件）、学部・講義の内容に関するもの（41件）、学生サポートに関するもの（38件）、学生育成に関するもの（32件）等の順となっている。

図表3-131 國學院大學に望むこと（F A）

カテゴリ	これからの國學院大學に望むこと	卒業年度	卒業学部	年齢(2016年4月1日現在)	性別
ブランディング・校風	時代に合った変化と、変わらないもの。	平成17年度	文学部	32歳	女性
ブランディング・校風	更なる発展をお祈りします	平成17年度	法学部	33歳	女性
ブランディング・校風	大学の強みをわかりやすく学生へ伝えること	平成17年度	文学部	33歳	女性
ブランディング・校風	在学していたときと変わらない学校であって欲しい。(学部名や学科名などが変更され、無くなったりするのは辛い)	平成22年度	文学部	27歳	女性
ブランディング・校風	落ち着いた校風を保ってほしい	平成24年度	文学部	26歳	女性
ブランディング・校風	卒業校として羨ましがられる大学になって欲しいです	平成17年度	文学部	33歳	女性
ブランディング・校風	偏差値の底上げ	平成24年度	法学部	26歳	男性
ブランディング・校風	日本の伝統文化である神道を、これからも幅広い世代に伝えていってほしいです。	平成22年度	経済学部	27歳	男性
ブランディング・校風	もっとブランド力をあげてください。國學院と聞いてわからない人が多かったり、国士館？と言われるのは嫌です。	平成24年度	法学部	26歳	男性
ブランディング・校風	色々と発展し続けてほしい	平成17年度	文学部	32歳	男性
ブランディング・校風	とても良い学校だと思いますので、もっと世にアピールをして欲しいです！	平成22年度	経済学部	27歳	男性
ブランディング・校風	これからも日本について深く学べる大学であってほしい	平成24年度	文学部	25歳	女性
ブランディング・校風	これまで受け継がれてきたような、文化や歴史、習俗諸々を大切にしたいので、國學院だからこそできる教育をしていってほしい。	平成22年度	文学部	27歳	女性
ブランディング・校風	永く愛される大学であってほしい	平成24年度	法学部	25歳	男性
ブランディング・校風	より活躍者を出せる大学になるように、授業でもビジネスの実践的な事を教えたり、ファイナンスの知識はより重点的に教えるといいと思う。卒業生を呼んでより会社のイメージやビジネスの話しを聞く機会を作るのもいいかと。とにかく他の学校にない差別化を図って大学のブランドイメージをより上げていって欲しいです。	平成17年度	経済学部	33歳	男性
ブランディング・校風	温故知新の精神で今後ますますの発展を望みつつ、渋谷のゴキブリの汚名返上を果たしてほしい。	平成22年度	法学部	29歳	女性
ブランディング・校風	もっと日本を。もっと世界へ。のスローガンのように、日本を代表する大学になってください。	平成24年度	人間開発学部	25歳	女性
ブランディング・校風	これからも伝統のある学校としてあってほしい。	平成22年度	文学部	28歳	男性
ブランディング・校風	神道に根差した日本文化を継承するための教育を継続すること	平成17年度	法学部	33歳	男性
ブランディング・校風	とても充実している大学なので広報活動を積極的にしてほしい	平成24年度	文学部	25歳	男性
ブランディング・校風	もっともっとメジャーになってMARCHらしいのポジションに行ってほしい！	平成17年度	経済学部	33歳	男性
ブランディング・校風	知名度をあげてください	平成22年度	文学部	27歳	女性
ブランディング・校風	なんか全てにおいてカタシ地味な感じを払拭したほうが良いと思う。	平成22年度	文学部	27歳	女性
ブランディング・校風	日本の伝統文化が見直されています。國學院はこのまま、日本の伝統を伝える学校であり続けてほしいです。また自分も携われたら、と思います。	平成24年度	人間開発学部	25歳	女性
ブランディング・校風	他の大学に埋没しないように、國學院の特色活かし、存在感を示し続けてほしい	平成17年度	法学部	34歳	男性
ブランディング・校風	とても快適な学生生活を送れました。感謝しています。これからも気品の溢れた穏やかで温かみのある國學院大学でいてください。	平成24年度	経済学部	25歳	女性
ブランディング・校風	同世代では狭いコミュニティで留まる人が多かったのも、もっと部活など活発になってほしい。卒業生としては、大学自体が良いことで有名になり、人気が出てほしい。	平成22年度	文学部	28歳	女性
ブランディング・校風	先生にとって働きやすく、学生がしっかりと学べる場であってほしい	平成17年度	文学部	33歳	女性

カテゴリ	これからの國學院大学に望むこと	卒業年度	卒業学部	年齢(2016年4月1日現在)	性別
ブランディング・校風	周りに流されずに國學院らしくあってほしい。私は滑り止めで國學院に入りましたが、結果としてアットホームな國學院で学べてよかったと思っています。学生時代に塾の講師を4年していましたが、その教え子に現國學院生がいるのも誇りです。マーチには及ばずともそのレベルの偏差値を維持してほしいです。私の会社は商社ですが、正直國學院大學出身、とわかってもらえないこともあります。もっと國學院が世の中に広まってほしいし、そんなふうになることを祈っています。私の在学中は英語の授業のレベルが低すぎたのもっと質とレベルを上げたほうがいいと思います。	平成24年度	法学部	26歳	女性
ブランディング・校風	色々な事に手を広げず専門分野を大切に、「小規模でマイナーだけど実は良い大学」というポジションでいて下さい。	平成17年度	法学部	33歳	女性
ブランディング・校風	伝統を守り続けてほしい	平成24年度	法学部	25歳	男性
ブランディング・校風	新しいものばかりではなく、古いものも残しておいて欲しい。	平成17年度	文学部	32歳	女性
ブランディング・校風	知名度アップ	平成24年度	法学部	27歳	男性
ブランディング・校風	大学の知名度人気度ブランド価値の向上	平成22年度	文学部	27歳	女性
ブランディング・校風	伝統と名前の重さを守って欲しい。僅かばかりでも構わない、誇りが欲しい。卒業生であるという誇りが。生きていくための誇りが。	平成22年度	文学部	28歳	女性
ブランディング・校風	文化や歴史を大切にしたい	平成17年度	法学部	32歳	男性
ブランディング・校風	もっと入学志望者が増える様な魅力ある大学になってほしいです。	平成17年度	法学部	33歳	男性
ブランディング・校風	このままの国大で	平成24年度	文学部	25歳	男性
ブランディング・校風	社会への影響力	平成22年度	文学部	28歳	男性
ブランディング・校風	常に先を見据えた改革を継続する	平成17年度	経済学部	35歳以上	男性
ブランディング・校風	卒業生として誇れる大学であって欲しい	平成24年度	経済学部	28歳	男性
ブランディング・校風	歴史もあり、いい学校だと思うので、もっと知名度が上がってほしいです。	平成22年度	法学部	27歳	女性
ブランディング・校風	3.11の時、大学の教室に避難させてもらって一夜を過ごしました。職員さんに親切な対応をしていただき、大変有難かったです。卒業後数年が経ちましたが、良い思い出ばかりが蘇ります。いつまでも変わらぬ大学であってほしいと思います。	平成22年度	文学部	27歳	女性
ブランディング・校風	大学のブランディング力を高めて欲しい	平成17年度	法学部	33歳	男性
ブランディング・校風	今まで以上に素晴らしい大学になって下さい、、	平成17年度	法学部	35歳以上	男性
ブランディング・校風	このままで良い	平成22年度	文学部	28歳	男性
ブランディング・校風	特徴ある研究をもっと社会に向けてアウトプットしてほしい	平成17年度	文学部	35歳以上	女性
ブランディング・校風	教職の國學院の復活	平成24年度	文学部	25歳	女性
ブランディング・校風	國學院らしく、派手すぎず、誇らしい大学であってほしいです。	平成22年度	文学部	27歳	女性
ブランディング・校風	折角渋谷の立地にあるのだからもっとお洒落さを全面に出していいと思う。無理にキャンパスや建物に神道っぽさを出す必要はない。	平成22年度	法学部	28歳	男性
ブランディング・校風	有名になって欲しい。社会で通用する人材を育てて欲しい。	平成24年度	経済学部	25歳	女性
ブランディング・校風	国際力	平成17年度	神道文化学部	32歳	女性
ブランディング・校風	とても良い先生がいっぱい、その出会いが今でも渡しにとっては宝物なので、これからも意欲のある先生がいる、学校であってください。	平成17年度	経済学部	35歳以上	女性
ブランディング・校風	それぞれの専攻にかかわらず、日本人としての心をしっかりと持ちつつ世界的にも、総合力の身に付けられる大学になってほしい。	平成24年度	法学部	25歳	女性
ブランディング・校風	流行に乗らないでほしい。	平成24年度	文学部	25歳	女性
ブランディング・校風	日本伝統を重んじながらも世界にプレゼンできるグローバルな視点をもつこと。	平成24年度	経済学部	25歳	女性
ブランディング・校風	美学の充実	平成24年度	文学部	26歳	男性
ブランディング・校風	国文学の重要性を発信する能力	平成24年度	文学部	25歳	女性
ブランディング・校風	発信力	平成22年度	文学部	25歳	女性
ブランディング・校風	日本の国柄に拘らず客観的な歴史観に基づいた教育	平成17年度	神道文化学部	32歳	男性
ブランディング・校風	日本の人口が減っていく中で、世界へ日本の広められる人材を輩出してほしい。	平成24年度	文学部	26歳	女性
ブランディング・校風	国の今後の方針として、国公立大は企業の即戦力となる理系に力を入れていき、文学部が消えてしまうかのような言い回しをしているのをニュース番組で目にし、大変寂しい気持ちになりました。私は中学の時から文学部への進学しか頭になかったですし、文学を学んだことに価値がないと思ったことは一度もありません。科学等の発展ばかりが価値があるわけではないと思いますし、文学から得られる心の充実には他に代えがたいものであると思います。文学部なら國學院が良いと、私たちの時代は言われていましたし、今もそれは変わっていないのではと思います。国公立大にはない独自性を持つのが私大の強みであるので、これからも全国の、そして世界の文学少年・少女の目指す憧れの学舎であって欲しいです。	平成17年度	文学部	32歳	女性

カテゴリ	これからの國學院大学に望むこと	卒業年度	卒業学部	年齢(2016年4月1日現在)	性別
ブランディング・校風	社会で活躍する大学	平成17年度	経済学部	33歳	男性
ブランディング・校風	打倒MARCH	平成24年度	法学部	26歳	男性
ブランディング・校風	偏差値の向上	平成17年度	法学部	33歳	男性
ブランディング・校風	さらにグローバルに、そして日本をさらに知れる環境づくり	平成24年度	文学部	26歳	男性
ブランディング・校風	温かく、家族的な校風を失わないでほしい。	平成17年度	法学部	32歳	女性
ブランディング・校風	地味で真面目なままでいて欲しい	平成22年度	経済学部	28歳	女性
ブランディング・校風	國學院大学を卒業したんだよ！と自慢できる大学でいてほしい。	平成22年度	経済学部	27歳	女性
ブランディング・校風	伝統を守りながら新しい時代を創ってほしい	平成17年度	文学部	32歳	男性
ブランディング・校風	もっと大学の知名度を上げて欲しい	平成22年度	文学部	27歳	女性
ブランディング・校風	歴史学の分野では確たる地位があると思うので、教授がメディア出演を積極的にするなど、知名度を越えて向上させてほしい	平成24年度	文学部	25歳	男性
ブランディング・校風	世間に媚びない姿勢であってほしい。	平成24年度	文学部	25歳	女性
ブランディング・校風	これからも伝統を大切にしたいが、それが偏狭な民族主義につながるような寛容さを育てる教育をしてほしい。	平成17年度	文学部	32歳	男性
ブランディング・校風	日本文化の軌跡を深い愛情で後世に残してくれる大学。	平成17年度	文学部	32歳	女性
ブランディング・校風	これからも有意義な生活が送れる大学を！	平成22年度	法学部	28歳	男性
ブランディング・校風	神道とともにある総合大学	平成22年度	法学部	27歳	女性
ブランディング・校風	自由な校風でいて下さい。箱根駅伝応援しています。	平成17年度	神道文化学部	35歳以上	男性
ブランディング・校風	伝統を維持して欲しい	平成17年度	文学部	35歳以上	男性
ブランディング・校風	文系大学として派手ではないが堅実なままでいてほしい。	平成24年度	法学部	26歳	女性
ブランディング・校風	幅広い知識や教養も重要だが、國學院独自の専門性を失わずにいて欲しい	平成17年度	文学部	32歳	女性
ブランディング・校風	時代の最先端であって欲しいです。	平成22年度	文学部	27歳	女性
ブランディング・校風	これからも品位を落とさず存在し続けていること	平成22年度	法学部	28歳	女性
ブランディング・校風	学校として、ソフト面、ハード面共に魅力的であるが、それが表にでていない。知名度が低い。	平成17年度	文学部	32歳	男性
ブランディング・校風	さらなる繁栄	平成17年度	法学部	32歳	男性
ブランディング・校風	フレッシュさ。	平成24年度	文学部	26歳	女性
ブランディング・校風	少子化でも淘汰されないこと	平成17年度	文学部	32歳	男性
ブランディング・校風	今まで同様に、真面目でしっかりと校風を継続	平成17年度	文学部	35歳以上	女性
ブランディング・校風	歴史ある教育機関として存続して欲しい。	平成22年度	文学部	29歳	男性
ブランディング・校風	国を愛する教育をこれからも大切に守って欲しい。	平成17年度	神道文化学部	32歳	男性
ブランディング・校風	卒業後はあまり大学に関わることが少ないですが、箱根駅伝等で自分の大学の名前があがると非常に嬉しいので、これからも良い面でのニュースを待っています。	平成24年度	文学部	25歳	男性
ブランディング・校風	情報発信の強化 知名度の向上	平成24年度	法学部	25歳	男性
ブランディング・校風	知名度。留学制度の充実	平成24年度	文学部	25歳	男性
ブランディング・校風	いい大学なのでどうかそのままに	平成17年度	文学部	35歳以上	男性
ブランディング・校風	日本文学や民俗学についてのよりすばらしい研究者を排出してほしい	平成24年度	文学部	25歳	女性
ブランディング・校風	國學院だけにしかないものをセールスポイントにして、これからも他の大学とは一味違う大学であってください！	平成17年度	文学部	34歳	男性
ブランディング・校風	校風を重んじながら、益々発展していただきたいです。学生からのリクエストにどんどん応えて変えていって良い環境を作っていてもいいと思います。また、ここではないかもしれませんが、アンケートの項目がやや重複していて、もう少し吟味して数を減らしていただきたい。	平成24年度	文学部	25歳	男性
ブランディング・校風	英語力のアップ。ブランディング。高校生が受けたくなる様な就職率のアップなどの取り組み。	平成24年度	経済学部	25歳	男性
ブランディング・校風	専門科目を幅広く学べるようにしてほしい	平成22年度	人間開発学部	25歳	女性
ブランディング・校風	國學院 独自のものをアピールしてほしい。	平成24年度	経済学部	27歳	男性
ブランディング・校風	今のまま変わらないでほしい	平成24年度	法学部	26歳	男性
ブランディング・校風	他大学との差別化や独自路線の特化	平成17年度	神道文化学部	33歳	男性
ブランディング・校風	変えるべきもの、変えてはいけないものを間違えず國學院大学のブランドを守って欲しい	平成22年度	神道文化学部	27歳	男性
ブランディング・校風	伝統的な文化と最先端な文化の融合を維持しててください。	平成24年度	文学部	25歳	女性

カテゴリ	これからの國學院大学に望むこと	卒業年度	卒業学部	年齢(2016年4月1日現在)	性別
学部・講義	理系大学(特に医学部)の買収	平成17年度	文学部	34歳	男性
学部・講義	学生にとって魅力のある授業内容や研究成果を上げて欲しい。	平成24年度	神道文化学部	35歳以上	男性
学部・講義	もっと日本文学の勉学に励んでほしい	平成17年度	文学部	32歳	女性
学部・講義	日本文学と史学の研究は特に頑張してほしい。	平成24年度	経済学部	25歳	男性
学部・講義	学部をもっと活性化させるべき	平成22年度	経済学部	27歳	男性
学部・講義	文系分野に固執せず、学際的に研究できる環境。	平成22年度	文学部	28歳	男性
学部・講義	ほとんどが漫然とした講義だったので、つまらなかった。もっと楽しめる講義や環境がほしい。	平成24年度	文学部	28歳	男性
学部・講義	史学科は嫌いです。でも共に学べた仲間や友人は心の底から愛しています。	平成24年度	文学部	27歳	男性
学部・講義	ぶれずに、高いレベルの教養を身につけさせる場であり続けてください。	平成17年度	文学部	32歳	男性
学部・講義	どの学部も、学科内でも公平に評価してほしい。	平成24年度	人間開発学部	25歳	女性
学部・講義	神道学科以外の学生にでも神道に関する知識を教える。	平成17年度	経済学部	35歳以上	男性
学部・講義	現在、神職をしています。既にあるかもしれませんが、神社に奉職すると悲しい事ですが、境内地や財産、人事について氏子や利害関係のある方との軋轢があります。そういった軋轢に対応できるようなカリキュラムがあると良いと思う。	平成17年度	神道文化学部	33歳	男性
学部・講義	研究の発展	平成22年度	人間開発学部	25歳	女性
学部・講義	文学部の研究環境充実	平成17年度	文学部	33歳	男性
学部・講義	授業のレベルをあげて欲しい。特に語学の授業は内部進学者や推薦入学者のレベルに合わせていたのか、まともに受験勉強してきた人にとってはかなりレベルの低いものだった印象があります。まさか大学に入って三単現のSから復習することになるとは思いませんでした。	平成22年度	文学部	27歳	女性
学部・講義	英語力、全学科の卒業論文	平成24年度	文学部	26歳	女性
学部・講義	ゼミ制度はあったほうが良いと思う	平成22年度	文学部	27歳	女性
学部・講義	今後も講義と図書館の充実を図ってほしい。	平成24年度	文学部	26歳	男性
学部・講義	偏差値をあげる。授業の質向上	平成22年度	法学部	27歳	女性
学部・講義	英会話など。	平成24年度	法学部	27歳	女性
学部・講義	英語を教室内の共通語にした専門科目、教養科目を増やして、欧米からの留学生を受け入れる体制を作って日本人学生にどうしたら日本を世界へ持っていけるかを考えさせる機会を作るべき。英語で学べばアジア欧米中東に関係なく誰とでも会話ができるし、日本を発信する事ができる。そのためには授業そのものを英語で実施する必要がある。日本で最も母国を学べる大学でありながらそれを英語で発信できる能力を身につける事ができれば、國學院大学は一流校になる土台があるはず。	平成24年度	経済学部	25歳	男性
学部・講義	教職の強化、史学研究の充実	平成24年度	文学部	26歳	男性
学部・講義	学生の立場から見た、興味をそそる講座	平成24年度	法学部	25歳	男性
学部・講義	日本の文化・文学を大切に！	平成17年度	文学部	32歳	女性
学部・講義	日本文化を学ぶことができる最重要拠点としてあり続けて欲しい	平成17年度	文学部	33歳	男性
学部・講義	専門的な知識を学べる環境の充実と解放的な学びの場の開拓	平成22年度	文学部	27歳	女性
学部・講義	これからも歴史に裏打ちされた教育に取り組んでいただきたいと思っています。	平成22年度	法学部	27歳	男性
学部・講義	文系科目に特化していますが、コンピュータサイエンス等も取り入れてほしいと思います。人工知能系が文学の研究を飛躍させると信じております。	平成17年度	文学部	34歳	男性
学部・講義	社会学部や心理学部等、学部を増やして欲しい。	平成24年度	文学部	25歳	女性
学部・講義	文系学問にとって逆境下にあるが、粘り強くその存在を保ち続けて欲しい。	平成22年度	神道文化学部	27歳	男性
学部・講義	これからも神道や宗教に関する研究を学術的かつ冷静に分析して世に広めていって欲しい。	平成24年度	神道文化学部	35歳以上	女性
学部・講義	日本のことをより深く知ることができたのは、國學院大学のおかげです。大学で先生方から、日本の文学は、こんなに楽しいものだったんだと知ることができました。周りの方も「高校のとき、国語の先生の授業が面白かったんだけど、その人國學院出身だったからこの大学を選んだ」という人もいたことが思いです。一方で、私の地方の高校では、国語、文学に対する面白い授業をしてくれる先生は、あまりいませんでした。私の地方の周囲に文学科がないせいもあるかもしれません。もし機会があれば、地方の高校で、面白い国語の講座などを開いたりすると、地方の高校生も、国語の面白さが分かるのではないかなと思います。一意見ですが、参考にして頂ければ幸いです。	平成22年度	文学部	27歳	女性
学部・講義	授業において、幅広い視点から語学や外国文化を学ぶ機会を増やしてほしい。課外で活躍できる場所の情報をもっとわかりやすく発信してほしい。	平成22年度	文学部	27歳	女性
学部・講義	英語学習に力を入れて欲しい	平成24年度	法学部	26歳	女性

カテゴリ	これからの國學院大学に望むこと	卒業年度	卒業学部	年齢(2016年4月1日現在)	性別
学部・講義	英語でのコミュニケーション能力を育むこと、西洋史の史料(資料)がもっと欲しいです。	平成24年度	文学部	25歳	女性
学部・講義	就職予備校のような学校とならずに、引き続き専門性の高い講義を受けられ、研究ができる学校であり続けてほしい。	平成22年度	文学部	27歳	女性
学部・講義	IT関係の講義が少なかった記憶があるので、こちらの拡大も必要と思います。	平成17年度	文学部	33歳	男性
学部・講義	一般的教養科目の充実、PCに関する講義の必須	平成24年度	文学部	25歳	女性
学部・講義	早い段階から専門性の高い科目の選択と、経済学部に関しては、今以上にどの科目を習得しても卒業評価になるようにしてほしい。	平成24年度	経済学部	28歳	男性
学部・講義	これからも神道を柱とした学びの姿勢を続けていってほしいです。	平成22年度	神道文化学部	27歳	女性
学部・講義	就業後の現場で生かせる語学力に重点をおいた外国語教育	平成22年度	神道文化学部	28歳	男性
学生サポート	教員を目指す学生へのサポート	平成17年度	文学部	33歳	男性
学生サポート	就職課の充実、広報の強化をお願いします	平成17年度	文学部	32歳	女性
学生サポート	就職活動のより良いサポート	平成17年度	文学部	33歳	男性
学生サポート	学生が楽しく学べる、卒業生も気軽に寄れるような大学	平成24年度	文学部	26歳	男性
学生サポート	生徒が学業に専念できるようにしてあげてほしい。進路について学生ができるだけ効率的に考えをまとめて行動できるようにサポートしてあげてほしい。	平成22年度	文学部	29歳	女性
学生サポート	積極的に海外に触れるチャンスを増やして頂けたらと思います。	平成17年度	文学部	33歳	女性
学生サポート	生徒3人位に対し、1人の専属就職サポート、支援をして下さる職員又は教師の方がいると良いと思います。	平成24年度	文学部	25歳	女性
学生サポート	大手上場会社への卒業生輩出をお願いします!!まわりに卒業生が少ないのが寂しいです!!	平成22年度	経済学部	28歳	男性
学生サポート	学生の就職活動のサポートを強化してほしい	平成17年度	経済学部	32歳	男性
学生サポート	学生の「こんなことを勉強したい」という気持ちに応え続けて下さい。	平成22年度	文学部	27歳	女性
学生サポート	学生の個性を伸ばす環境づくり	平成17年度	文学部	35歳以上	男性
学生サポート	「日本らしさ」を様々な視点から学べる場を作ってあげてほしいです。日本人としての誇りが持てる場となれば嬉しい。	平成17年度	神道文化学部	33歳	男性
学生サポート	教職の國學院と呼ばれるほど、各都道府県、市町村に教員を送り込むこと。	平成24年度	人間開発学部	26歳	男性
学生サポート	就職活動の際のサポートをもっと積極的にしていただきたいです。	平成22年度	法学部	27歳	女性
学生サポート	編入生へのフォロー	平成22年度	文学部	27歳	女性
学生サポート	急なキャンパスの移動などがないように、生徒に負担がないようお願いします。	平成24年度	経済学部	27歳	男性
学生サポート	奨学金の充実、地方出張の援助、各種活動助成の充実	平成24年度	文学部	26歳	男性
学生サポート	学生の立場にたった教育をしていただきたいです。	平成17年度	文学部	32歳	男性
学生サポート	学力を上げ、就職に強くなって欲しい	平成22年度	法学部	28歳	男性
学生サポート	留学経験者の増加、他大学サークルとの交流	平成24年度	文学部	29歳	女性
学生サポート	ますます充実した学習環境を備え、未永く続いていってください。	平成17年度	法学部	33歳	女性
学生サポート	就職力	平成17年度	文学部	33歳	女性
学生サポート	生徒の身になって、月謝泥棒にならない大学になってください	平成22年度	法学部	31歳	女性
学生サポート	学生がのびのびと勉学に励めるよう引き続きいい環境を作ってくれたら嬉しいです。	平成24年度	文学部	25歳	女性
学生サポート	学生が有意義に過ごせる環境や校風	平成22年度	法学部	28歳	男性
学生サポート	今よりも更に気持ちよく学べる環境	平成24年度	神道文化学部	26歳	男性
学生サポート	時代に合わせて進化し、学生にとってより良い大学であることを望みます。	平成22年度	法学部	27歳	女性
学生サポート	学生同士の交友関係を広げる機会を増やして欲しい	平成22年度	神道文化学部	27歳	男性
学生サポート	現役学生の学生生活の手厚いサポート	平成17年度	経済学部	32歳	男性
学生サポート	様々な価値観がある事を経験してほしい	平成24年度	神道文化学部	28歳	男性
学生サポート	就職活動において数的処理が大きな壁だったので、その対策が十分でなかった	平成22年度	法学部	28歳	男性
学生サポート	留学制度の充実	平成24年度	法学部	25歳	女性
学生サポート	これから卒業していく学生の将来や未来、適正を考慮した上での就職活動のサポートやアドバイス、提案	平成24年度	経済学部	26歳	男性
学生サポート	学業を優先させる学生への就職活動援助	平成22年度	文学部	27歳	女性
学生サポート	進路指導の強化	平成22年度	法学部	28歳	女性
学生サポート	編入生に対するフォローが少なすぎて、卒業するだけで大変だったまとも就職できたのは一握りの優秀な人だけだった 編入生に対するフォローをしてほしい	平成22年度	神道文化学部	27歳	女性
学生サポート	不幸な学生を増やさないこと	平成22年度	法学部	27歳	男性
学生サポート	学習意欲のある学生への経済的援助および留学を希望する学生への経済的援助	平成22年度	経済学部	27歳	男性

カテゴリ	これからの國學院大学に望むこと	卒業年度	卒業学部	年齢(2016年4月1日現在)	性別
学生育成	社会に出ても一人の社会人として、成長し続けられる学生を輩出してほしいです。	平成22年度	経済学部	28歳	男性
学生育成	社会で活躍出来る人材の育成	平成22年度	法学部	27歳	男性
学生育成	就職活動の支援を強化して頂きたいと思っております。	平成22年度	経済学部	28歳	男性
学生育成	法学部でしたが、学校の特色として神道の勉強ができ、参考になりました。専門の学問だけでなく幅広い教養が身につけられたことが現在活かしていますので、今後もそうした学びの機会を提供できる場所であってほしいと思っています。	平成22年度	法学部	25歳	男性
学生育成	学生が好きなことを見つけてそれを伸ばせること。先輩後輩の交流が盛んになること。	平成24年度	文学部	25歳	女性
学生育成	幅広い知識が入れられるようにしてほしい。	平成24年度	法学部	26歳	男性
学生育成	幅広い分野で活躍できる人材育成	平成24年度	法学部	26歳	男性
学生育成	優秀な人材輩出と地方に活気を与えてくれる人物の育成	平成22年度	文学部	27歳	男性
学生育成	卒業時には、社会人基礎力の理解と実践ができるような人材輩出	平成17年度	経済学部	34歳	男性
学生育成	日本について学び、発信していける人材を育てること。公開講座の継続的な開催及び種類の充実	平成22年度	文学部	27歳	女性
学生育成	社会で即戦力となれる人材を育ててください。	平成24年度	経済学部	25歳	男性
学生育成	教育の質の向上、自発的な意見を述べることのできる学生を増やす	平成22年度	経済学部	27歳	男性
学生育成	堅実な学生を育てること	平成22年度	文学部	27歳	女性
学生育成	建学の精神を持ち、社会で活躍できる学生の育成	平成22年度	神道文化学部	27歳	男性
学生育成	一生懸命課題を解決する姿勢を持った人を育ててほしい。	平成22年度	経済学部	26歳	男性
学生育成	何を学ぶにしても生徒のやる気次第。目的を持って学ぶ事が重要だったと反省することが多いので、そう言った意欲や目標を持たせることが重要。ゼミでの勉強は楽しかったので、早いうちからゼミを開始するべき。	平成24年度	経済学部	26歳	男性
学生育成	学生時代は遊びに夢中になってしまうことも多いので、課題などをもう少し多くすると学生も気が緩まないのでは？ないですかね。	平成22年度	人間開発学部	25歳	女性
学生育成	ビジネスにいかせる教育や、学生がビジネスについて考え、触れ、イメージがもてる教育環境の整備をお願いします。	平成17年度	経済学部	32歳	男性
学生育成	社会に出るために何が必要であるかを考えて、必要なものを学生に教えること。ただの教授の座額はいらぬ。	平成22年度	経済学部	29歳	男性
学生育成	学生や保護者からの圧力に負けないこと。無駄に学生を擁護して甘やかさないこと。	平成17年度	文学部	34歳	男性
学生育成	社会的通念に則った善悪の判断を下せる人材の教育	平成24年度	法学部	25歳	男性
学生育成	質の悪い学生を作らないためにも、社会ルールや礼儀はしっかり教えたほうがいい	平成22年度	文学部	29歳	男性
学生育成	これからの時代に生きていける能力を付けさせるような授業	平成17年度	文学部	33歳	女性
学生育成	実生活に即した知識、幅広い教養、そして学生のうちにしかできない深い研究(それが生活と直結しなくても、思考する力をつけるために)を経験させてあげてください。	平成17年度	文学部	33歳	女性
学生育成	いろんな分野で活躍するような人材を輩出してほしい	平成24年度	法学部	27歳	男性
学生育成	創造的なスキルを身につけられるような教育をお願いします	平成17年度	文学部	33歳	女性
学生育成	ディベートなどの自分で考えて発言する場を増やすと、社会人になったときに役に立つと思います。	平成22年度	法学部	28歳	女性
学生育成	自ら考え、学ぼうとする意思をもった学生を育てる	平成24年度	文学部	26歳	女性
学生育成	考える力の醸成	平成24年度	経済学部	25歳	男性
学生育成	自分の専門を活かし、強みにできる力を養うこと	平成24年度	文学部	25歳	女性
学生育成	専攻に加えビジネスに強くあって欲しい。私達の時代とは大分変化を感じ、羨ましく思います。	平成17年度	法学部	34歳	女性
学生育成	自発性	平成17年度	文学部	35歳以上	男性
スポーツ・部活動	駅伝強化	平成17年度	経済学部	33歳	男性
スポーツ・部活動	大学ランク現状維持！スポーツ大活躍！	平成24年度	人間開発学部	26歳	女性
スポーツ・部活動	箱根駅伝に毎年参加できる様に頑張ってください	平成22年度	法学部	27歳	男性
スポーツ・部活動	スポーツにも力を入れてもらいたい	平成24年度	文学部	35歳以上	男性
スポーツ・部活動	スポーツ等で有名になって欲しい	平成17年度	経済学部	33歳	男性
スポーツ・部活動	箱根駅伝優勝	平成22年度	経済学部	27歳	男性
スポーツ・部活動	スポーツ分野での活躍	平成24年度	経済学部	26歳	男性
スポーツ・部活動	駅伝や野球など、スポーツ場面で、母校の名前が取り上げられることを嬉しく思います。	平成17年度	法学部	32歳	男性
スポーツ・部活動	勉強面だけでなく、部活動の活躍も期待します。	平成22年度	文学部	28歳	女性
スポーツ・部活動	駅伝で優勝してほしい、もっと有名になってほしい。	平成17年度	経済学部	34歳	男性
スポーツ・部活動	スポーツ面で名前を見かけると嬉しいです。頑張ってください。	平成24年度	文学部	25歳	女性
スポーツ・部活動	野球や駅伝などのスポーツでそこそこの成績でなく上位の結果を出して欲しい	平成22年度	経済学部	27歳	男性

カテゴリ	これからの國學院大学に望むこと	卒業年度	卒業学部	年齢(2016年4月1日現在)	性別
卒業後のサポート	卒業生に対する講義等を実施し、広く社会で活躍する卒業生との連携を強化すべきである。また、教育の面では、語学教育の強化に努めるべきである。	平成22年度	法学部	27歳	男性
卒業後のサポート	卒業生へのサポート	平成24年度	文学部	25歳	女性
卒業後のサポート	奉職先の神社で身体・精神的に暴力を振るわれたり不当な扱いを受けるなど、ブラック神社だった場合、卒業生がその悩みを相談・解決策を講じられるような場所作らなければならないと思います。	平成17年度	神道文化学部	33歳	男性
卒業後のサポート	一般社会でOBと会うことが少ないので、もっと多くのOBと出会うようにしてほしい	平成22年度	文学部	27歳	男性
卒業後のサポート	講義を聴講したい	平成22年度	文学部	27歳	女性
卒業後のサポート	研究機関としての充実と教育関係に勤めている卒業生の交流	平成17年度	文学部	34歳	男性
卒業後のサポート	卒業生の状況把握と支援(教務と言うよりこういったアンケートを通じて院友の状況把握と事務的なフィードバック)	平成17年度	文学部	34歳	男性
卒業後のサポート	卒業後の集まりの場がほしい	平成17年度	経済学部	32歳	男性
卒業後のサポート	社会人への門戸を広げていただきたいと思います。	平成17年度	法学部	35歳以上	女性
卒業後のサポート	①日本文学科の学生の意識が下がっていて残念。意欲的に取り組む学生でいてほしい。②科目等履修生など、母校に帰って再び学べる環境がもっと多く機会を設けてほしい。制限があって学びたいことができない。③偏差値をあげてほしい。下がってくると社会からの信用を失う。卒業生として大変辛い。	平成17年度	文学部	32歳	女性
卒業後のサポート	院友による国語教育の実践や教職現場での苦勞を語り合う場所が欲しい。	平成17年度	文学部	34歳	男性
卒業後のサポート	OBOGとのネットワーク、日本文化の大切さを発信できる大学	平成24年度	法学部	25歳	女性
その他	滝井先生が辞める状況になってしまったのが残念です。学生のことを真摯に考える先生方でいてほしいと思います。	平成24年度	人間開発学部	25歳	女性
その他	革マルの排除	平成17年度	神道文化学部	32歳	男性
その他	アンケートをもう少し短くまとめること	平成22年度	経済学部	28歳	男性
その他	自治会や核マル派の駆除。切に願う	平成22年度	神道文化学部	29歳	男性
その他	アンケートの初めのページ、日本文学科が本文学科になっていました。	平成24年度	文学部	25歳	女性
その他	学報でいろんなサークル活動を紹介してほしい	平成24年度	文学部	26歳	男性
その他	アンケートが長い	平成22年度	経済学部	27歳	男性
その他	国の基を究めて下さい	平成22年度	神道文化学部	29歳	男性
その他	廃校	平成17年度	文学部	35歳以上	男性
その他	学祭の活性化	平成24年度	文学部	26歳	男性
その他	現在がどのような状況か理解していませんが、私が本学にて就学していた当時はすごく教員並びに事務員の方がかたいというイメージがありました。中には異なる方もいらっしゃいましたが。個人的に大学生というのは勉学に励むことが最大の目的とされますが、社会人になってから勉学ではなく仕事や社会と接してみても役立つことのほうが大きいと感じています。どんな高学歴の方も同様の意見の方が私の周りでは多いです。仕事や社会と学生のタッチポイントをより提供することを仮に学生に戻るとしたら望むかもしれません。	平成24年度	法学部	26歳	女性
その他	職員給与改革 寄付を募る前に給与を下げるべき 特に賞与 学生に対する上からの態度を職員は変えるべき	平成24年度	文学部	32歳	男性
その他	学部は法科大学院の教員の質が良くない。もっと、学部と同じく学生に親身になれる教員を増やすべき。	平成24年度	法学部	26歳	男性
その他	神社の助勤で男子を外から丸見えの場所を着替えさせるのはやめてください	平成17年度	文学部	32歳	男性
その他	留学システムの改善で休学時の料金の改善	平成22年度	法学部	26歳	男性
その他	自国伝統文化に興味を持たせるような取り組み	平成17年度	経済学部	32歳	男性
その他	アンケートも含めて顧客思考の経営	平成22年度	法学部	29歳	男性
その他	日本語は英語より大事だと、仕事をしていて思います	平成24年度	法学部	26歳	男性
その他	革マル派の追放	平成24年度	文学部	28歳	男性
その他	子供がもう少し大きくなったら観月祭に行くのを楽しみにしています。	平成22年度	神道文化学部	27歳	女性
その他	こくびよんがかわいいので、ふだんの生活で使えるグッズをもっと作ってほしい。	平成22年度	神道文化学部	27歳	女性
その他	各種手続きに関する横柄な事務職員について、教育するべきであると思う。相手は学生であり、未熟な部分も多々あるため、ストレスのかかる業務であると思うが、大学にとって学生は顧客であることを再認識するべきである。年齢に関わらず、不親切で笑顔のない対応、タメ口で話しかけてくる等、横柄な職員が多かった。学生にとっては大学側と接する数少ない機会であったが、ことごとく嫌な思いをしたことが思い出される。大学における教育の質を論ずる前に自分の子供はもちろん、人に勤めたくない大学である。	平成22年度	法学部	28歳	男性

カテゴリ	これからの國學院大学に望むこと	卒業年度	卒業学部	年齢(2016年4月1日現在)	性別
その他	学生時代を自分なりにおうかして欲しいです。	平成24年度	神道文化学部	35歳以上	女性
その他	学祭がつまらなかったのもっと他大学のような感じになってほしい。	平成17年度	文学部	32歳	女性
その他	もっと学費を低くして、明朗な会計を常に学生側に提示してほしい。北海道短大からの学生を怠け者と公然と言う上山教授のような人を少なくしてほしい。人として尊敬できる人が教授でなければ、熱意をもって研究できない。	平成24年度	文学部	25歳	女性
その他	プールを造って頂きたい	平成24年度	文学部	35歳以上	男性
その他	國學院栃木高校から上がってくる学生のレベルを上げて欲しい。	平成24年度	経済学部	25歳	女性
その他	自治会の活動をしっかり管理して下さい。	平成24年度	文学部	28歳	男性
その他	高校教諭をやっているが、学力・人間性ともに評価しにくい生徒がAO入試にて本学に入学している。低倍率の学科は特にAO入試を廃止してほしい。	平成22年度	文学部	35歳以上	男性
その他	悪いニュースに國學院大学の名前が出ることは、卒業生として残念な気持ちになるので、そうならないことを祈ります。そして、國學院大学には派手さはありませんが、落ち着いて勉強に没頭する空気感があるので、十分に勉強または研究や好きなことに没頭する4年間になることを願います。	平成22年度	文学部	27歳	女性
その他	寄付金に関する文書を送ってこないでください。	平成22年度	経済学部	27歳	男性
その他	校歌が歌えない卒業生が多い。どんな学生生活を送ろうが、母校の校歌も知らない卒業生が居るのは、神道文化以前の問題である。	平成22年度	神道文化学部	27歳	男性
その他	2つあります。1.東京大学のように、懲戒処分が付された学生であっても、希望すれば再入学できるよう機会を与えるべき。そして、2.教職員が刑事事件で身柄を拘束されても刑事裁判で有罪判決が出るまでは、懲戒処分にしないこと。	平成24年度	法学部	35歳以上	男性

35. 充実した学生生活を送るために、どうすればよいか、現役の学生に対するメッセージがあればご自由にお書きください。

現役の学生に対するメッセージについて、292人より回答があった。主な内容は、学生時代の興味関心を高めたり経験・挑戦を促すもの（125件）、学生生活の充実化（48件）、学業の方向性（40件）、仲間や人間関係の重要性（31件）、部活・サークル・アルバイト・ボランティアの重要性（23件）等の順となっている。

図表3-132 現役の学生に対するメッセージ（F A）

カテゴリ	現役の学生に対するメッセージ	卒業年度	卒業学部	年齢(2016年4月1日現在)	性別
興味関心・経験・挑戦	好きな分野を第一線の先生方から教われるのは大学生だからこそ。色々疑問をもって、もっと知りたいという探求の気持ちを持って欲しい。	平成22年度	文学部	27歳	女性
興味関心・経験・挑戦	今しかできないこと、今だからできることに挑戦、実行すること。	平成22年度	文学部	27歳	女性
興味関心・経験・挑戦	目標を明確にして取り組む事が大切だと思います。	平成22年度	経済学部	28歳	男性
興味関心・経験・挑戦	自分の専門はもちろん、それ以外のことも幅広く興味を持ち積極的かつ真剣に学ぶことが大切かと。	平成24年度	文学部	25歳	女性
興味関心・経験・挑戦	明確な目的意識がないのであれば、勉強、就業、遊びのバランスをとるともよく考えて行動して下さい。また、将来の夢を決して諦めないで下さい。社会人になったとき、何か1つでも学生時代に夢になったことを語れるようになると良いと思います。	平成22年度	法学部	27歳	男性
興味関心・経験・挑戦	やりたいと思ったことは思いっきりやる。悩んだら抱え込まず相談する。	平成24年度	文学部	25歳	女性
興味関心・経験・挑戦	目標を明確かつ具体的に持って、自分を信じて進んでください。	平成24年度	法学部	26歳	男性
興味関心・経験・挑戦	1,2年は枠にとらわれず何でも経験する。3年は最初から就活を諦めないこと。本学の学生は最初からモチベーションが低すぎる	平成24年度	法学部	26歳	男性
興味関心・経験・挑戦	たくさん考えてたくさん討論してほしい	平成17年度	文学部	32歳	女性
興味関心・経験・挑戦	何事も一番挑戦出来る時期です。主体的に物事に取り組んでください。	平成22年度	経済学部	27歳	男性
興味関心・経験・挑戦	知的的好奇心と愛国心を磨く事	平成17年度	神道文化学部	32歳	男性
興味関心・経験・挑戦	やってみたい事や挑戦したいことは幅広く取り組んだ方がいいと思います。	平成17年度	経済学部	33歳	男性
興味関心・経験・挑戦	何事にも主体性を持ち、日々を全力で生きてください。本気の人にはみんな手を差し伸べてくれます。あと、無理に大学を卒業しなければならぬってことはないの、気負いすぎないでほしいです。	平成22年度	法学部	29歳	女性
興味関心・経験・挑戦	失敗を恐れず、自分を信じて多くのことに挑戦してほしい	平成24年度	文学部	25歳	女性
興味関心・経験・挑戦	やるべきことをよく考えること。	平成24年度	経済学部	25歳	男性
興味関心・経験・挑戦	一つでもよいので熱中できることをしたほうがいい	平成24年度	経済学部	27歳	男性
興味関心・経験・挑戦	1年生のうちから、長期的戦略を立てる。	平成22年度	文学部	28歳	男性
興味関心・経験・挑戦	4年間自分が何をしたいか、どうなりたいか、と明確な目標・目的を持って下さい。きっと、充実した学生生活を送れると思います	平成17年度	神道文化学部	33歳	男性
興味関心・経験・挑戦	色々なことに興味を持ってやってみてください	平成22年度	文学部	27歳	女性
興味関心・経験・挑戦	時間は作ればたくさんあるはず。少しでも興味があることにはどんどんチャレンジしてほしい！どんどん色々な所へ行ってみてほしい！わからないことはWikipediaでなく、どなたか人に聞いてほしい！とにかく、魂でぶつかってみてほしい！	平成24年度	人間開発学部	25歳	女性
興味関心・経験・挑戦	在学中にしかできないことを自分で探して、やり遂げることが充実に繋がると思う。	平成24年度	法学部	26歳	女性
興味関心・経験・挑戦	時間は有限です！自分の時間を自分のために使ってみてください。学生時代に得た思い出は一生の宝物になります。全ては自分次第！	平成24年度	経済学部	25歳	女性
興味関心・経験・挑戦	自分で決めた、といえることを何か一つでもやり遂げる。社会に出たらできないことのほうが多くなるので、やりたいことは全部やったほうが良いと思います！	平成24年度	法学部	26歳	女性
興味関心・経験・挑戦	自主的にいろいろなことに取り組んでほしい。	平成22年度	文学部	27歳	女性
興味関心・経験・挑戦	今思うと学生にしかできないことが、いっぱいあります。後悔ない学生生活を送ってください。	平成17年度	法学部	32歳	男性
興味関心・経験・挑戦	何でもチャレンジ！まとまった自由な時間をとるのは今だけです。興味のあることにはとことん追究していきましょう。直接就職等には直結しなくても、その経験は必ず糧になります。	平成22年度	文学部	27歳	女性

カテゴリ	現役の学生に対するメッセージ	卒業年度	卒業学部	年齢(2016年4月1日現在)	性別
興味関心・経験・挑戦	やりたいと思った事は何でも臆さずやってみて下さい。	平成22年度	神道文化学部	29歳	男性
興味関心・経験・挑戦	下らないことでも色んなことを経験した方がいいます	平成22年度	神道文化学部	27歳	男性
興味関心・経験・挑戦	自分の目標と過程を明確に細分化してみてください。	平成22年度	経済学部	27歳	男性
興味関心・経験・挑戦	自分がやりたいことをやればいい	平成17年度	経済学部	32歳	男性
興味関心・経験・挑戦	多少お金がかかってもやりたいことをやる	平成22年度	文学部	27歳	女性
興味関心・経験・挑戦	やりたいことを徹底的に究めること	平成17年度	文学部	33歳	男性
興味関心・経験・挑戦	何事にも積極的かつ計画的に取り組み、失敗を恐れずに行動する。	平成17年度	経済学部	35歳以上	男性
興味関心・経験・挑戦	正直なところ、学生時代に努力した事が社会人生活で活かされることは滅多にないのではと思います。将来のことを心配して「将来のために、これはやっておかないと」などとやりたくないことをやらないで、その時好きなことやしたいことをしてください。	平成22年度	文学部	27歳	女性
興味関心・経験・挑戦	やりたいことをみつけること。ないならなんでもやってみること。4年間はあっという間なので、自分がどう生きたいか暮らしていきたいかを本気で考えて、学生の間にそれを芽吹かせる努力と時間をかけて欲しいと思います。本気になったものが1つでもあれば仮に失敗しようが、本気でやった自分に自信を持って社会と接することができると思います。そんな経験をどんな些細なことでもよいので体験して欲しいですね。	平成24年度	法学部	26歳	女性
興味関心・経験・挑戦	経験は財産になります。何に対しても興味を持ち、経験してみる。また、これまで築いてきた自己の価値観も勿論大事ですが、その価値観に囚われ過ぎないこと。様々な経験を通して、充実した学生生活を送ってください。	平成24年度	法学部	27歳	男性
興味関心・経験・挑戦	目標を持ってやりたいことをやることを心がけてください	平成17年度	文学部	35歳以上	男性
興味関心・経験・挑戦	海外にもっと目を向けること。英語は必要です	平成22年度	法学部	26歳	男性
興味関心・経験・挑戦	何か一つでも積極的に行動すれば人生の糧になると思います	平成17年度	経済学部	32歳	男性
興味関心・経験・挑戦	何事にも失敗を恐れず果敢に挑戦してほしいです。	平成17年度	神道文化学部	33歳	男性
興味関心・経験・挑戦	集中して学べる最後の時間を大切にほしい。また、たくさんさんの経験をしてほしい。	平成24年度	文学部	26歳	男性
興味関心・経験・挑戦	自発的に自信を持って行動すること。	平成24年度	法学部	27歳	女性
興味関心・経験・挑戦	学生時代の失敗はリカバリー出来る。無謀だと思うことにも挑戦し、多くの経験を欲しい。その経験が必ず武器になる。	平成22年度	神道文化学部	27歳	男性
興味関心・経験・挑戦	今しか出来ないことを精一杯やってみて下さい	平成17年度	法学部	35歳以上	男性
興味関心・経験・挑戦	やりたいと思ったことは、とりあえずやってみるべきだと思います。	平成22年度	法学部	27歳	女性
興味関心・経験・挑戦	何か一つでも興味を持って打ち込めるものを見つけて今を本気で楽しみ、知らない世界の知らない人との出会いを大事にしてください。学生時代の出会いは一生の財産になります。	平成17年度	文学部	35歳以上	女性
興味関心・経験・挑戦	一つ一つの行動を怠らず、真面目に取り組んでいれば必ず報われる	平成24年度	経済学部	32歳	男性
興味関心・経験・挑戦	ジャンル問わず、色んなことに挑戦してほしい	平成24年度	文学部	26歳	男性
興味関心・経験・挑戦	とにかく動くこと。色々な誘惑のある大学生活ですが、四年後の自分が後悔しないような学生生活を送ってください。	平成24年度	法学部	26歳	男性
興味関心・経験・挑戦	心惹かれるもの、そして今を大事に進んでください。無駄にはなりません。	平成24年度	人間開発学部	26歳	女性
興味関心・経験・挑戦	学生時代にしか出来ないことはいっぱいあるから、好きなことをすればいいと思う。ただ、無駄に過ごすことはしないでほしい。たくさん遊ぶのもよし、学ぶのもよし、楽しんでほしい。	平成24年度	神道文化学部	25歳	女性
興味関心・経験・挑戦	何をしている時が一番いきてる実感が湧くか、を人生の中心におけたらいいと思う。仕事にすることもプライベートで挑戦するにしても、目的があって目標を持つことは大切	平成24年度	文学部	25歳	女性
興味関心・経験・挑戦	時間は、有限です。少しでも、興味が出たことには、借金してでもチャレンジするべきです。	平成24年度	経済学部	27歳	男性
興味関心・経験・挑戦	自分の興味がある知識、教養を身につける	平成17年度	文学部	34歳	男性
興味関心・経験・挑戦	何事にも積極的に取り組むこと。	平成24年度	文学部	25歳	女性
興味関心・経験・挑戦	まずは、理由はなくても「なんかいいな」と感じることを見つけて欲しいです	平成17年度	文学部	32歳	女性
興味関心・経験・挑戦	主体性を持って行動すること、物事に対する優先順位の付け方を学ぶこと	平成22年度	文学部	25歳	女性
興味関心・経験・挑戦	社会の様々な経験を積極的に行って欲しい	平成17年度	神道文化学部	32歳	男性
興味関心・経験・挑戦	予め、具体的な目的と漠然とした目的を個別にリストアップしてから物事を始めた方がいいと思う	平成17年度	文学部	33歳	男性
興味関心・経験・挑戦	興味のあることにどんどんチャレンジ、勉強を、すること。先生の言うことをよく聞き、守ること。	平成24年度	文学部	26歳	女性
興味関心・経験・挑戦	一番自由に、何でも挑戦できる4年間です。長いようであっという間。私はやろうと思っていたことのほとんどを挑戦すらしないうちに終わってしまい、時間の使い方を間違えた後悔しています。多少の無理をしても、勉強なり遊びなり恋愛なり今しかできないことを精一杯やって欲しいと思います！	平成17年度	文学部	32歳	女性

カテゴリ	現役の学生に対するメッセージ	卒業年度	卒業学部	年齢(2016年4月1日現在)	性別
興味関心・経験・挑戦	初めから諦めず、まずは取り組む姿勢を見せる。若いうちに色々なことにチャレンジしようとする行動力を養うこと。	平成24年度	経済学部	26歳	男性
興味関心・経験・挑戦	主体性を持って行動を	平成17年度	経済学部	33歳	男性
興味関心・経験・挑戦	視野の拡大と世界観の増大	平成17年度	法学部	33歳	男性
興味関心・経験・挑戦	自分から行動を起こし、なんにでも挑戦すること。	平成17年度	法学部	32歳	女性
興味関心・経験・挑戦	やりたいことをやる。	平成22年度	法学部	28歳	男性
興味関心・経験・挑戦	周りの目をあまり気にしすぎず、自分の思ったことをやる。	平成24年度	文学部	26歳	男性
興味関心・経験・挑戦	いろんなことにチャレンジして、経験を重ねてください。ボランティア活動に参加してみてください。好きなことをとことんやりこんでみてください。	平成24年度	人間開発学部	25歳	女性
興味関心・経験・挑戦	学生生活ではいくら失敗してもよいと思います。自分で目標を立てて、それに取り組むことが非常に重要だと思います。もちろん、学習面での取り組みでもよいと思うのですが、いろいろな方とコミュニケーションをとる機会を多く設けて、問題解決に取り組むことが非常に重要だと思います。	平成22年度	法学部	27歳	男性
興味関心・経験・挑戦	後悔しないように考えて行動すること。後悔したとしてもそれを次に活かすこと。人のために行動すること。	平成22年度	文学部	29歳	男性
興味関心・経験・挑戦	逃げずになんでもやる！	平成22年度	法学部	28歳	男性
興味関心・経験・挑戦	規定枠にとらわれない、多様性のなかから自分流を見出すことを恐れない姿勢	平成22年度	法学部	27歳	女性
興味関心・経験・挑戦	色々経験してください	平成17年度	文学部	35歳以上	男性
興味関心・経験・挑戦	自分の好きなことを見つけて没頭してください。きっと何かの役に立つときが来ます。	平成24年度	法学部	26歳	女性
興味関心・経験・挑戦	大学で何を学ぶのか、というのも大事ですが、新たな出会いの機会もまた大事にして下さい。	平成17年度	法学部	35歳以上	女性
興味関心・経験・挑戦	興味があることを全力で勉強し、学業以外にも様々な経験を積んだ方がよい。	平成17年度	文学部	32歳	女性
興味関心・経験・挑戦	少しでも興味が湧いたものには積極的に取り組んでください。思わぬところで役に立つはずですよ。	平成17年度	法学部	33歳	女性
興味関心・経験・挑戦	勉強だけでなく休みを活用して色々なことをしてください。	平成17年度	文学部	33歳	女性
興味関心・経験・挑戦	社会に出ると、したくても出来ない事が増えるので、やりたいことは1つでも多く経験しておくこと、メリハリしっかりつけて思いっきり遊ぶことが大事です	平成22年度	法学部	28歳	女性
興味関心・経験・挑戦	何事にも臆せず、少しでも興味があるものにはまずはチャレンジしてみても如何でしょうか。いざ仕事に就いてしまうとなかなか時間を作るのも難しい場合があります。様々な経験から知識を蓄え、次に活かせるよう頑張ってください。	平成24年度	文学部	25歳	女性
興味関心・経験・挑戦	すぐ先に目標をおいて一つ一つクリアして行って下さい	平成24年度	神道文化学部	35歳以上	女性
興味関心・経験・挑戦	時間は有限であることを自覚し、何事も全力で取り組んで欲しいです。何事もやらなくて後悔するよりも、やって反省した方が社会人になって、自分の経験として活かせると思います。	平成22年度	法学部	27歳	男性
興味関心・経験・挑戦	何か1つでいい。やりきってください。	平成22年度	法学部	31歳	女性
興味関心・経験・挑戦	自分の頭で考え、解決する習慣をつけてください。社会に出ると、それがとても重要です。	平成24年度	文学部	25歳	女性
興味関心・経験・挑戦	とにかくなんでも自分でやってみて感じてみると思いいます。うまくいかなくても大したことはないです。世間の懐はあんがい深いです。	平成24年度	法学部	30歳	男性
興味関心・経験・挑戦	やりたいことをやれる範囲で思いっきりやってください！	平成24年度	文学部	25歳	女性
興味関心・経験・挑戦	自由奔放であれ	平成24年度	文学部	35歳以上	男性
興味関心・経験・挑戦	やるべきことはやりながら、自分がしたいことは全て挑戦する。	平成24年度	文学部	26歳	女性
興味関心・経験・挑戦	やりたい事を明確にし、ひたすらやっていく	平成22年度	法学部	28歳	男性
興味関心・経験・挑戦	内定0だった私がアドバイスする立場ではないかもしれませんが、卒業後、どうしたいか、どのように生活していくかを考えておくことをおすすめします。考えるのは、面倒かもしれませんが。私もそうでした。しかし、なんとなく就職、なんとなく公務員試験を受けるなど、なんとなくで卒業してしまっただけは、恥ずかしながら内定1つ取れませんでした。地方に帰りましたが、運悪く、東日本大震災の影響により、1年間アルバイトをしてからの就職という人生でした。学生生活は、大いに楽しんでください。たくさん楽しんで学んでください。でも、その卒業後どうするのか、東京で就職するのか、違うところで就職するのか、考えは少しでも固めていた方がいいと思います。親御さんがいらしゃれば、相談してみるのもいいでしょう。きっと迷う方もいると思います。でも、迷って選択して、失敗しても大丈夫です。無駄な経験なんてありません。	平成22年度	文学部	27歳	女性
興味関心・経験・挑戦	金銭面で苦しくても、多少なら無理をしてでもその時しかできないことはやっておくべきです。卒業して5年経ちますが、今になって当時お金がなくてチャレンジしなかったことについて後悔ばかりです。あと、少しでも興味がある授業はどんどん履修すべきです。思わぬ場面で、知識が活きてきます。内容を深く理解していなくても、知識があるのとならないのでは、引き出しの数が全然ちがいます。いろんな場面で、会話の幅が広がりますよ。	平成22年度	文学部	27歳	女性

カテゴリ	現役の学生に対するメッセージ	卒業年度	卒業学部	年齢(2016年4月1日現在)	性別
興味関心・経験・挑戦	一つでも自分のやりたい事を見つける	平成24年度	神道文化学部	26歳	男性
興味関心・経験・挑戦	目の前のことに真剣に取り組むことが大切だと思います。	平成22年度	法学部	27歳	女性
興味関心・経験・挑戦	やりたい事を迷惑かけずにやる	平成17年度	文学部	32歳	男性
興味関心・経験・挑戦	おしつけることなく、様々な機会を与えて欲しい	平成17年度	文学部	35歳以上	女性
興味関心・経験・挑戦	目の前にある実行できる事に何であれ全力で取り組む事。	平成22年度	文学部	29歳	男性
興味関心・経験・挑戦	周囲に頼るのではなく、自分がどうなりたいかを考え自発的に活動してください	平成24年度	文学部	28歳	男性
興味関心・経験・挑戦	自分が気になることにはとことん時間を割いて自分の物にして欲しい。	平成24年度	法学部	26歳	女性
興味関心・経験・挑戦	・動機は何でもいので、まず行動すること。・大学のときに苦労したほうが社会人になつたら役に立つ	平成24年度	法学部	27歳	男性
興味関心・経験・挑戦	なんでも吸収しようとする心、柔軟な心を待つことが社会に出てとでも必要になります。何にでも興味を持って取り組んでください。	平成17年度	文学部	33歳	女性
興味関心・経験・挑戦	優先順位を間違えない。何をしたいのかよく考える。	平成22年度	文学部	27歳	男性
興味関心・経験・挑戦	積極的に知識を求めていくこと 興味のあることにどんどん食いついていくこと	平成24年度	法学部	25歳	男性
興味関心・経験・挑戦	お金をためて、海外旅行に最低一回は行って下さい。授業は休んでもついでにいきます。	平成22年度	経済学部	27歳	男性
興味関心・経験・挑戦	大学のゼミには積極的に参加すること。語学留学すること。	平成24年度	文学部	25歳	男性
興味関心・経験・挑戦	とにかく自分から動け	平成17年度	文学部	35歳以上	男性
興味関心・経験・挑戦	日頃から能動的に考えて行動することを心掛けることが大切だと思います。	平成22年度	法学部	28歳	女性
興味関心・経験・挑戦	自分の興味のあることをとことん勉強してください。また、関心あることはとことんやってみて、多くの人と友人になってください。絶対、視野が広がるはずですよ。	平成24年度	文学部	25歳	女性
興味関心・経験・挑戦	好奇心と探究心はいつでも持ってほしい	平成24年度	神道文化学部	28歳	男性
興味関心・経験・挑戦	何事に対しても自分の考えを持ち、色々なことにチャレンジしてほしい。	平成24年度	文学部	26歳	女性
興味関心・経験・挑戦	何らかの目標を持って学生生活を送ると、卒業後に達成感を感じ後悔が無いです	平成22年度	法学部	28歳	男性
興味関心・経験・挑戦	時間がたくさんある。適切にバイトして、自分の力で今までに知らなかった世界をのぞきにいってほしい。それが、社会に出て辛くなった時の支えになる。	平成22年度	文学部	27歳	女性
興味関心・経験・挑戦	大学は砂漠です。オアシスを求めて自分自身が動かなければ満足は得られないでしょう。ぜひ多くのことに興味を持って、勉強に励んでください。	平成24年度	文学部	25歳	男性
興味関心・経験・挑戦	なんでもしいから、熱心に取り組む経験をする	平成22年度	人間開発学部	25歳	女性
興味関心・経験・挑戦	今を全力で楽しむ	平成24年度	経済学部	25歳	男性
興味関心・経験・挑戦	今じゃなきやできないことは何なのか常に考え後悔のない学生生活を送ってほしい。	平成17年度	経済学部	34歳	男性
興味関心・経験・挑戦	勉強だけでなく、どんな小さなことでもやってきたこと一つの積み重ねが自信につながると思っています	平成24年度	文学部	25歳	女性
興味関心・経験・挑戦	自分の今やれること、やりたいことをよく考えて、今しか出来ないことを全力で取り組んでほしい。	平成22年度	文学部	27歳	女性
興味関心・経験・挑戦	価値観の違う多くの人と接してください。興味のない分野に対して、食わず嫌いを起こさず、まずは触れてみてください。	平成17年度	文学部	33歳	男性
興味関心・経験・挑戦	あつという間に四年経つ。積極的に。	平成24年度	経済学部	27歳	男性
興味関心・経験・挑戦	一つでも多く、とことん頑張ることを見付けて、学生生活を楽しんでください。	平成22年度	法学部	28歳	女性
興味関心・経験・挑戦	お金がないと諦めるより、お金をかき集めて色々な事にチャレンジしてみるべき 大体の失敗はなんとかなるがチャレンジする機会は学生時代が有利	平成22年度	神道文化学部	27歳	女性
興味関心・経験・挑戦	大学を当てにせず、自ら努力を継続すべき	平成22年度	法学部	27歳	男性
興味関心・経験・挑戦	やろうかどうか迷った時はととあえずやってみる	平成24年度	法学部	26歳	男性
興味関心・経験・挑戦	少しでも興味があったり思うことがあったのなら足を踏み入れてみてください。(法に触れない範囲で)	平成17年度	神道文化学部	33歳	男性
仲間・人間関係	気の合う仲間をつくれれば自ずと充実した学生生活が送れると思います。	平成22年度	経済学部	28歳	男性
仲間・人間関係	先輩、同級生、後輩と楽しく過ごす。遠慮なく相談する。	平成17年度	文学部	33歳	男性
仲間・人間関係	友人を大事にする、教員と仲良くなる。職員を便利に使う。	平成24年度	文学部	26歳	男性
仲間・人間関係	様々なタイプや世代の方々と触れ合えるような生活を送って下さい。	平成17年度	経済学部	32歳	男性
仲間・人間関係	特に地方出身の学生は色々なタイプの友人を沢山作って欲しい	平成22年度	経済学部	28歳	男性
仲間・人間関係	たくさんの人と関わり、いろいろな経験をしてください。	平成24年度	人間開発学部	25歳	女性
仲間・人間関係	話しかけられるのを待てるのではなく、自分から話しかけ交友関係を築く。多くなくても良い。信頼できる友達を作る。	平成22年度	文学部	28歳	男性
仲間・人間関係	友人を多く作り情報を共有してください	平成24年度	法学部	26歳	男性
仲間・人間関係	多くの人とたくさん話してください。	平成24年度	文学部	26歳	男性
仲間・人間関係	人脈づくり。色々な事をやってみる。旅行。	平成24年度	経済学部	25歳	男性
仲間・人間関係	良い友達を作ってください。心の支えになります。	平成22年度	経済学部	28歳	男性

カテゴリ	現役の学生に対するメッセージ	卒業年度	卒業学部	年齢(2016年4月1日現在)	性別
仲間・人間関係	自分の殻に閉じ込められないで、いろんな人に襟を開いて接すると新しい発見がありますよ	平成17年度	神道文化学部	33歳	男性
仲間・人間関係	友人をたくさん作り、常に将来のことを考えて過ごしてください。	平成22年度	文学部	25歳	男性
仲間・人間関係	隠せず多種多様な人と交流し、課外活動にも意欲的に参加する。	平成22年度	文学部	27歳	男性
仲間・人間関係	人間関係を大切に	平成24年度	経済学部	28歳	男性
仲間・人間関係	大学で出来た友達は一生ものだと思います。たくさん友達を作って、興味があることにたくさんチャレンジして下さい。社会人になった時に必ず良かったと思えるはずです。	平成22年度	法学部	27歳	女性
仲間・人間関係	友達を多く作ってください	平成17年度	法学部	33歳	男性
仲間・人間関係	人との出会いが人を変える 良き出会いを。良き出会いでなかったとしても、いつか自分のためになる。と、思っています。	平成22年度	文学部	27歳	女性
仲間・人間関係	仲間を多く作ること	平成22年度	法学部	27歳	男性
仲間・人間関係	何よりも、周囲の人達との関わり、結び付きを大切にしたいです。	平成17年度	法学部	32歳	男性
仲間・人間関係	いろいろな人と関わる	平成24年度	文学部	26歳	女性
仲間・人間関係	一人でも色々な議論を交わせる友人を見つけて、疑問に思ったことを話し合う時間を見つければ、楽しい学生生活を送れます	平成24年度	法学部	25歳	男性
仲間・人間関係	長期的な関係を持てる彼女を作る。	平成24年度	法学部	26歳	男性
仲間・人間関係	遊ぶことより、研究をしてください。遊んだ友人とは一生友人でいてください。友達を作るチャンスは年々減っていきますよ！	平成17年度	文学部	32歳	女性
仲間・人間関係	友達を作って下さい。	平成17年度	神道文化学部	35歳以上	男性
仲間・人間関係	幅広い友達を作る。何事も全力で取り組む	平成17年度	文学部	33歳	女性
仲間・人間関係	友人との絆を大切に、助けあうことの意味を理解する	平成17年度	文学部	35歳以上	男性
仲間・人間関係	一部のひとだけ話すのではなく、色々な人とどんだん話するのが良いと思う。國學院は社会人経験のある学生も多いので、勉強になる。	平成17年度	神道文化学部	32歳	男性
仲間・人間関係	良き師、良き友を見つけてください	平成17年度	経済学部	32歳	男性
仲間・人間関係	勉強だけが大学生ではない。これから日本を担う人間として、良き仲間を得ること。	平成22年度	神道文化学部	27歳	男性
仲間・人間関係	いつまでも仲間を大切に	平成22年度	経済学部	27歳	男性
学生生活の充実	1日、1時間を大切に過ごす気持ちをお忘れください。	平成24年度	人間開発学部	25歳	女性
学生生活の充実	将来(卒業後)のことを考えるのも大切ですが、何よりも大学生としての今を大切にしてください。若いうちに素晴らしい、二度とない今を大切に過ごしてほしい。	平成17年度	文学部	32歳	女性
学生生活の充実	将来どうなりたいか、目的意識が大事だったと今更感じます。どうなりたいか、そのためには何をすればいいのか。その時間を十分取れるのは学生のうちだけです。	平成17年度	文学部	32歳	女性
学生生活の充実	時間はあっという間です、後悔ないようにやりたい事をする！	平成17年度	法学部	33歳	女性
学生生活の充実	一生懸命に学び、一生懸命に楽しむ	平成24年度	人間開発学部	25歳	男性
学生生活の充実	一度しかない学生生活を謳歌してもらいたい	平成22年度	法学部	27歳	男性
学生生活の充実	勉強も遊びも充実させてください	平成17年度	文学部	33歳	女性
学生生活の充実	就活等大変なこともあります、学生の時でしかできないことをおもいきり楽しんでください。	平成22年度	神道文化学部	27歳	女性
学生生活の充実	自由に	平成17年度	文学部	32歳	男性
学生生活の充実	限られた四年間を有効に使ってください！	平成24年度	文学部	25歳	女性
学生生活の充実	毎日を笑顔で送れる自分かどうか、定期的にチェックしてみてください。誰かを蔑むような昏い笑いではなく、楽しくてたまらないような笑い方、ちゃんとできていますか。もし今日笑えていなかったなら、明日こそお腹がよじれる位笑う為に、今夜はゆっくり休んで下さいね。たらふく食べて、ひと息ついて。そうしたらまた、自分をときめかせてくれる世界を見渡して下さい。「今」はいつか思い出に変わってしまいますが、その思い出は永遠に、貴方方に無限の力を与えてくれます。未来の自分に笑顔をプレゼントする気持ちで、沢山笑って、楽しんで毎日を歩んで下さい。	平成22年度	文学部	27歳	女性
学生生活の充実	サボらず毎日大学に行くこと	平成24年度	法学部	25歳	男性
学生生活の充実	今を大切に	平成17年度	文学部	33歳	男性
学生生活の充実	勉強・アルバイト・プライベートを思いっきり楽しんで下さい	平成22年度	法学部	27歳	男性
学生生活の充実	サークルやバイト、ゼミ等の集団の中で過ごすこと。その中で責任をもって何かをやり遂げること。遊べるだけ遊ぶこと。	平成17年度	経済学部	33歳	男性
学生生活の充実	時間を無駄にしないように。	平成22年度	文学部	27歳	女性
学生生活の充実	とにかく今を楽しむこと！	平成17年度	経済学部	33歳	男性
学生生活の充実	適度にいい加減に。	平成24年度	文学部	27歳	男性
学生生活の充実	計画的に	平成24年度	文学部	25歳	女性
学生生活の充実	価値観を明確にするために大学の資産を使い倒すこと	平成17年度	経済学部	34歳	男性
学生生活の充実	好きに過ごすべき	平成22年度	経済学部	27歳	男性
学生生活の充実	研究して、恋愛して、遊べ!!	平成24年度	文学部	25歳	男性
学生生活の充実	様々な講義を受ける・アルバイトをする・サークルに入る	平成24年度	文学部	26歳	男性

カテゴリ	現役の学生に対するメッセージ	卒業年度	卒業学部	年齢(2016年4月1日現在)	性別
学生生活の充実	自分で自分の時間を管理できるのは、人生において大学生の間だけ。この貴重な時間を無駄にしないように、海外旅行に行き見聞を広めたり、生涯にわたる趣味を作ったり、友人との時間を楽しむべき！勉強も、社会に出てからもっとしておけばよかったと後悔する場合の方が多い。先が見えない、即効性のないものだから、やる気はなかなか出ないかもしれないが、どれだけしても十分なことはない。	平成24年度	人間開発学部	26歳	男性
学生生活の充実	大学生活ほど自由な時はないので後悔がないように精一杯楽しみましょう！	平成22年度	文学部	28歳	男性
学生生活の充実	①4年間の学びを通して、どのような人物になりたいかを明確にすること。②授業やサークル活動を通して切磋琢磨できる仲間を作ること。③与えられた環境を最大限に生かすこと。	平成24年度	文学部	25歳	女性
学生生活の充実	勉強するのも、遊ぶのも、必死になってやるべき！せっかくの立地なので渋谷で遊び倒すのもいいです。どんな経験も、社会人になってから役立ちます。	平成24年度	経済学部	25歳	女性
学生生活の充実	多くの本を読み、多くの人とふれ合い、多くの場所へ出掛け、多くのことを感じ、考えてほしい。	平成22年度	法学部	31歳	男性
学生生活の充実	とにかく楽しんでください。勉強も遊びもたまにサボるのも。オタクはその道を極めてください。	平成24年度	文学部	25歳	女性
学生生活の充実	大学は利用するところです。立派な図書館は私たちの学費により建てられました。高い学費を払って、ぼろい図書館を利用せざる得なかった私たちの労苦を忍んでほしいなと思います。それは冗談として、大学生活は授業ではなく自分の通過点ですから、自分の通過点のために必要なものを意識して授業に臨んだり、授業以外の活動にいそしんだりしてください。	平成17年度	文学部	34歳	男性
学生生活の充実	よく学び、よく遊ぶ。学生時代は一度きり！	平成17年度	文学部	33歳	女性
学生生活の充実	大学生での生活が社会人生活に大きく影響が出ると思います。勉強も遊びも全力で取り組んでください。	平成24年度	文学部	26歳	男性
学生生活の充実	目の前のことを一生懸命にやる。当たり前のことを当たり前にする。(遅刻をしないとか提出物は期限内に出すとか挨拶をするとか…)	平成22年度	経済学部	27歳	女性
学生生活の充実	何かに熱中して、よく学びよく遊んでください	平成22年度	文学部	27歳	女性
学生生活の充実	大学で学ぶこと以上に社会で学ぶことは多い。白黒つけることのできないグレーの中で、いかに自己を守りつつ周りとうまくやっていくかが一番大事。知識があっても、コミュニケーション能力がなければ社会では相手にされない。また、ネットの世界を含め様々な環境にいる人がいることを踏まえて発言すべき。強い主張をするなら反感を買うこともあることを念頭に置いて発言しなければならない。大学では以上のことも含めた、当たり前のことを当たり前にする(例えば締め切りを守るなど)姿勢を身につけておくといい。	平成17年度	文学部	32歳	女性
学生生活の充実	社会人になると自由な時間が限られてしまうのでたくさん学んで、たくさん学んで良い友人を作っていたきたい。	平成22年度	法学部	28歳	男性
学生生活の充実	長いようで短い四年間を、悔いのないよう精一杯楽しんでください！	平成22年度	文学部	27歳	女性
学生生活の充実	良い友人を持ち、しかし周りに流されないように、自分をしっかり持って学業に励んでください。	平成17年度	文学部	33歳	女性
学生生活の充実	勉強や研究はもちろん、それ以外のことで全力で取り組み充実したかけがえのない大学生活を送り、卒業後も一生付き合える友人をつくってほしいです。	平成22年度	文学部	27歳	女性
学生生活の充実	諦めずに教職に着く為の夢を持ち続けながら、仲間を増やす。そして、渋谷で飲み歩く！	平成17年度	文学部	34歳	男性
学生生活の充実	校舎にいる時間が長ければ長いほど充実した大学生活になりますよ。	平成22年度	神道文化学部	27歳	男性
学生生活の充実	将来の目標(職業)をしっかり決めて、目標に向かって勉強、部活動などに力を入れて頑張ってください。や	平成22年度	文学部	28歳	女性
学生生活の充実	命は時間でできています。無駄な時間で命を粗末にしないでください！	平成17年度	文学部	34歳	男性
学生生活の充実	よく学び、よく遊び、就職活動対策は早めに始めて自分が将来どうなりたいかよく考えましょう。人生は1度きりです！！楽しいキャンパスライフを！！	平成24年度	経済学部	26歳	男性
学生生活の充実	きちんと単位を取り、サークルやバイトも行なってコミュニティを広げた方がよいと思います。また、就職は一部上場企業の大手を目指して損はないです。	平成24年度	経済学部	25歳	男性
学生生活の充実	大学を出たら勉強したいと思っても学生時代のようにたくさん時間は中々取れません。なので勉強もちゃんと！あとは友人関係、サークルなど楽しんでください。	平成22年度	文学部	28歳	女性
学生生活の充実	人生でこんなにも自由な時間を持つ四年間はもうないのかもしれない。思いっきり勉強に励むことも、旅をしたり、アルバイトなどで将来の仕事につながる世界を見極めるのもよい。ぼーっとしていても四年間。そうならないために、今できること、今やりたいことを考えながら生きること。1日を愛おしみ、大学生活を謳歌してもらいたい。	平成17年度	法学部	31歳	女性
学生生活の充実	人生で一番使える時間がある四年間だから、時間を有効に使ってほしい。	平成17年度	神道文化学部	32歳	男性

カテゴリ	現役の学生に対するメッセージ	卒業年度	卒業学部	年齢(2016年4月1日現在)	性別
学業	納めた授業料に対して自分が習得した事柄がペイしているかを常に検証して授業料以上のものが得られるように努力するとより充実した学生生活になると思う。自分は常にそのように考えて授業に参画してきた積みりである。	平成24年度	神道文化学部	35歳以上	男性
学業	レベルの高い学び、行動をする	平成24年度	法学部	26歳	男性
学業	自分は大学の専攻と関わりのない職業について、読書や研究に没頭できた学生時代は非常に貴重に思っています。3年生くらいから進路で忙しくなるので、1年生のうちから自分の専門分野について自主的に学んでいってほしいと思います。就職活動が始まる前に知識の下地ができていると忙しいながら卒業論文なども楽しくできると思います。	平成22年度	文学部	29歳	女性
学業	少しでも興味がある資格(例えば司書、学芸員、教職など)は、学生のうちに取っておいたほうが良いと思います。卒業後取ろうと思ったら大変です。	平成24年度	文学部	25歳	女性
学業	教養はとても重要だと思います。	平成24年度	神道文化学部	33歳	男性
学業	専門をもっとちゃんとやっておけばと、後悔します。	平成24年度	人間開発学部	26歳	女性
学業	好きこそ物の得意なれ。教養科目や他学部の教科でもいいので好きな教務を見つけ調べていけば、社会人で役に立ちます。単位を取るための学生生活を過ごせば何も得られないのは確かです。	平成17年度	法学部	33歳	男性
学業	大学は勉強よりも友達との生活がメインでした。すごく楽しかったのですが、もっと勉強しておけばよかったです、、すてきな大学生生活を！	平成24年度	文学部	25歳	女性
学業	自分で何を学びたいのか、目標を明確にする。	平成24年度	文学部	35歳以上	男性
学業	先生や図書館など大いに活用して、色々な事を吸収してください。	平成17年度	文学部	33歳	女性
学業	大学そのものに期待は持ってはいけない。大学のシステムやカリキュラムは学生に有益なシステムではない。ただ、先生方は個々にとても尊敬できる方が揃っているのので、たくさん先生の先生に憧れて、たくさん先生のよいところを学んでください。	平成24年度	文学部	28歳	男性
学業	逃げずに演習に取り組むこと。自分の力で調べること、それを発表し、議論し合うことは、必ず将来に活かされます。	平成17年度	文学部	32歳	男性
学業	学部の専門科目をしっかりと学んで下さい。	平成17年度	法学部	33歳	女性
学業	授業や演習、卒論で分からないところはすぐに先生に聞きましよう。	平成22年度	文学部	28歳	女性
学業	幅広い知識を身につけること	平成17年度	経済学部	35歳以上	男性
学業	大学で与えられたものは、後々自分の中に残るのは自分から得たもの。学ぶも学ばざるも、選ぶのはご自身です。	平成22年度	人間開発学部	25歳	女性
学業	目的意識を持ち、課題に対して臆することなく誠実に取り組むことを意識すること	平成24年度	文学部	26歳	女性
学業	とにかく、学べ。大学で学べることは社会を通して役に立ちます。また、國學院の学生ということに誇りをもって、大学を大好きになってほしい。	平成24年度	法学部	26歳	男性
学業	興味のある講義をたくさん受けるとよいと思います。	平成22年度	文学部	27歳	女性
学業	ただ学生生活を過ごすのと、意識的に学生生活を過ごすのとは卒業後に大分差がつく。目的、目標を持って学ぶことが大切	平成24年度	経済学部	26歳	男性
学業	日本の文化に触れる良い機会として下さい。	平成17年度	文学部	32歳	女性
学業	すべての講義に興味がある。すべての講義が自分を育てる。大学はただひたすらに勉強をするところ。勉強をしていくうちに自分が何をしたいかが見えて来るはず。あとはそれを目指して努力すること。	平成24年度	経済学部	25歳	男性
学業	授業より独学で知識を深め、授業終わりに先生に質問をする	平成24年度	経済学部	25歳	男性
学業	資格は取れるだけ取った方が良いです	平成17年度	神道文化学部	32歳	女性
学業	やりたい勉強をするために選んだ大学だと思います。ぜひたくさん学んでください。	平成22年度	文学部	25歳	女性
学業	私は、昼間働きながらの社会人学生だったのですが、社会人からみても、國學院の授業はどれも得るものが多かったと思います。今は社会に出て役立つのか？？と思うような教養科目でも、人生の重要な局面で役に立ったりするものです。日々を大切に！	平成17年度	経済学部	35歳以上	女性
学業	遊ぶことも大切ですが、学ぶことを好きなだけできるのは学生時代だけです。社会人になってからのの方が学びたい人も多くはいます。今のうちにイヤってほど何でも学んでください。	平成24年度	法学部	25歳	女性
学業	貪欲に学ぶこと。	平成24年度	文学部	26歳	男性
学業	自分一人の世界だけでなく、発信・受信する感性を身につける。授業で学ぶことは内容ばかりが意味を持つのではなく、議論やレジュメの作り方、考察の仕方など社会で必要なスキルも学んでいきたいと思います。	平成22年度	文学部	27歳	女性
学業	授業に懸命にとりくむこと	平成24年度	文学部	25歳	男性

カテゴリ	現役の学生に対するメッセージ	卒業年度	卒業学部	年齢(2016年4月1日現在)	性別
学業	高校生のころの私は、学校をさぼってばかり、授業も古典と歴史以外聞いてない、家で寝るのが本業…といった人間でした。申し訳ないが大学も適当に入った。でも、大学に入ってできた友人がみな立派なので驚いた。学業面、将来の野望、真面目さひたむきさ…友人たちに置いていかれないよう、心を入れ替えて勉学に励んだ。4年間で、私はおおいに変われたと思う。ともだちえらびはたいせつです。	平成24年度	文学部	25歳	女性
学業	遊ぶ時間より勉強している時間の方が将来役に立つのは間違いないです。遊ぶかのように勉強するという方法に労力を費やしてください。	平成17年度	文学部	34歳	男性
学業	授業はきちんと聞きましょう。授業で習ったことが、社会にでて意外と話のタネになることがあります。	平成22年度	神道文化学部	27歳	女性
学業	とにかく、学ぶことに熱心になって欲しいです。今やらないと、後悔します。	平成22年度	文学部	27歳	女性
学業	真面目に授業を受けること	平成17年度	法学部	32歳	男性
学業	卒業するために自分にかかる学費は約一千万円。自分がその額に見合った価値のある学生なのかどうかをよく考え、また、ここには日本人として歴史的な宝が沢山あることを自覚して勉学に励んで欲しい。	平成24年度	神道文化学部	35歳以上	女性
学業	学生にしかできない有意義な時間の過ごし方をする、ゼミ、専門知識取得等	平成24年度	法学部	25歳	女性
学業	今勉強していることを全力で取り組んでほしい。	平成24年度	文学部	25歳	男性
学業	とりたい授業は確実にとらないと後悔するので気を付けてよい先生がたくさんいらっしゃる、真剣に勉強してください。恵比寿の風堂で騙されたと思って白丸頼んでみてください。友だちや恋人を勉強より大切にしないでください。朝は4時から起きて勉強してください。	平成24年度	文学部	25歳	女性
学業	部活やゼミなど主軸になる活動に打ち込むこと	平成24年度	文学部	25歳	女性
学業	サークルや部活には入った方が友人が増え、コミュニケーション能力も上がると思います。私は入らなかったの後悔しています…	平成17年度	文学部	33歳	女性
学業	サークルやアルバイトにも取り組んだ方が良いと思います。そして、就活は計画的に。	平成24年度	文学部	26歳	女性
学業	サークルに入って、様々な友人、仲間と出会うこと。単位を早めに取り終えて、残り少ない学生生活を自分でどう使うか、有意義に過ごしてください。國學院の一卒業生として、皆さんを応援しています。	平成24年度	文学部	26歳	女性
学業	アルバイト	平成22年度	法学部	29歳	男性
学業	サークル、部活なんでもよいので何かのコミュニティに入る。	平成24年度	文学部	25歳	男性
学業	やるべき事をやりつつ、遊びもバイトもなんでも経験を積むべき。	平成17年度	文学部	34歳	男性
学業	アルバイト、サークル活動を積極的にするのが一番良い経験になるかと思えます！	平成24年度	文学部	25歳	女性
学業	サークルには絶対入る。アルバイト中心の生活にはしてはいけない。	平成17年度	文学部	33歳	男性
学業	サークルに入り友達を大切にすること	平成24年度	文学部	25歳	男性
学業	単位習得だけで終わらないこと。人と接する履修、サークルを積極的に取ること。	平成24年度	文学部	27歳	男性
学業	研究会に入るべきだと思います。	平成22年度	文学部	27歳	女性
学業	サークル必須とすればいい。もし合わなかったらやめていいから一年の四月のうちにはいったほうがよい。	平成22年度	文学部	28歳	男性
学業	サークル入ろう。私は入らなかったことをずっと後悔している。	平成24年度	文学部	28歳	男性
学業	部活でなにかに一生懸命取り組むこと、一つのことに集中して取り組むこと	平成24年度	文学部	25歳	男性
学業	適当でもいいからサークルに入らないとぼっちになります(・ω・)	平成22年度	文学部	28歳	女性
学業	他大学サークルとの交流が増えるように	平成24年度	文学部	29歳	女性
学業	友達をたくさん作る。サークルや部活に入ること。	平成22年度	文学部	27歳	女性
学業	サークル、部活に入るべきです。	平成22年度	文学部	27歳	男性
学業	サークルには入った方が良い	平成22年度	文学部	29歳	男性
学業	時間を有効に使って、様々なことを吸収してください。ボランティアや留学など、卒業してからできないことに挑戦してください。	平成24年度	文学部	26歳	女性
学業	将来を見据えたボランティア活動とアルバイトを経験すると良いと思います。百聞は一見にしかずとも言っているので、勉強よりも現場実習のほうが大切ですね。	平成22年度	文学部	27歳	男性
学業	学業だけでなくサークルや部活やアルバイトなども行ったほうが後役に立つと思います。	平成22年度	文学部	27歳	女性

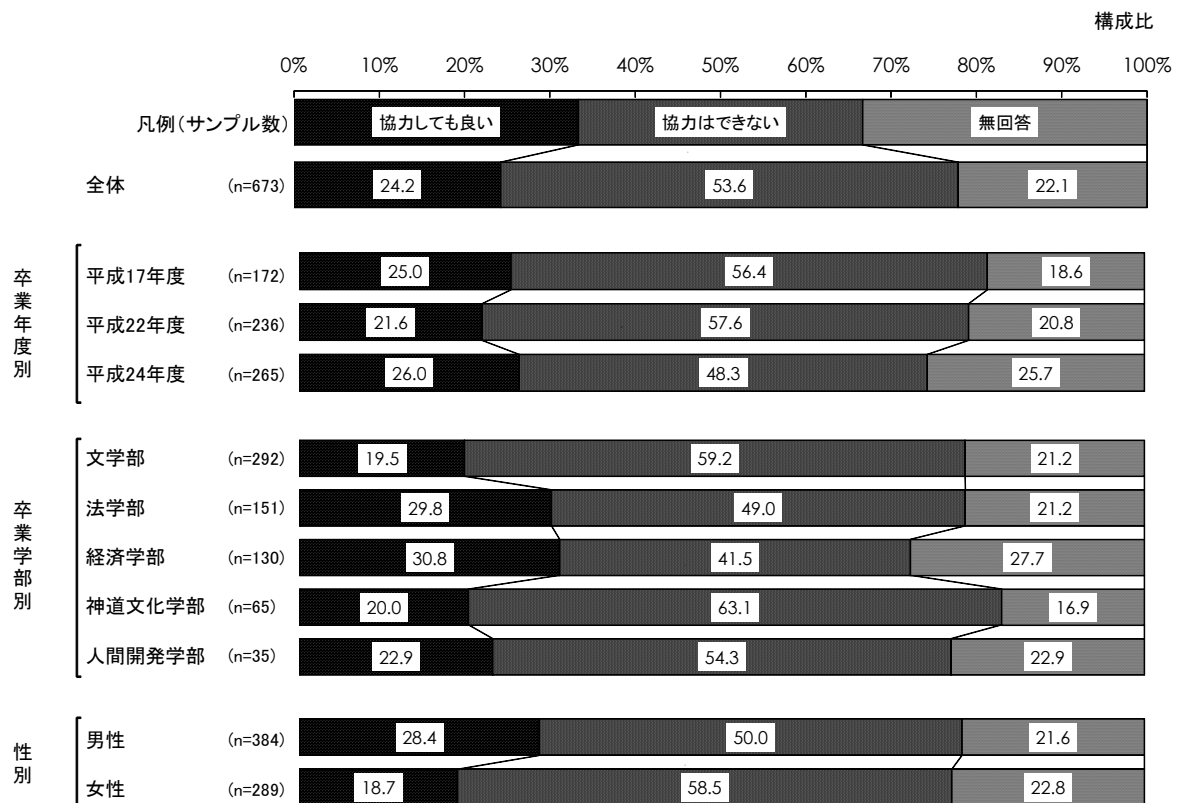
カテゴリ	現役の学生に対するメッセージ	卒業年度	卒業学部	年齢(2016年4月1日現在)	性別
就職・将来	就活をする上で、どの会社にも勤めるかではなく、その会社に入って自分に何が出来るかという視点を持って就活すると失敗しないと思います。	平成22年度	経済学部	28歳	男性
就職・将来	学生生活がいくら楽しくても、就職できなければ学生生活の楽しい記憶も薄れてしまうから。将来のこともきちんと考えて。	平成22年度	文学部	28歳	女性
就職・将来	就活は早めに業界の未来も考える	平成24年度	文学部	32歳	男性
就職・将来	将来の自分のために大学を利用するとよい	平成22年度	文学部	35歳以上	女性
就職・将来	社会人に話を聞くなどして、働くイメージをしっかりと作り、そのために今何をすべきか考えると良いと思います	平成22年度	法学部	27歳	女性
就職・将来	自分の将来を早く描く事	平成17年度	経済学部	32歳	男性
就職・将来	学問と同時に、資格試験等のキャリア形成も念頭に。	平成22年度	神道文化学部	27歳	男性
就職・将来	我流ではない就活の基礎を学ぶこと	平成24年度	文学部	26歳	男性
就職・将来	キャリアサポート課(若者ハローワークの利用)を早いうちから沢山利用していれば確実に就職には困らないと思います。	平成24年度	文学部	25歳	女性
就職・将来	何だかんだ言っても資格が物を言うと言うことが今になって実感しているので、早いうちから行動してほしい。	平成24年度	経済学部	28歳	男性
就職・将来	知識がないことを恥じて見栄ばかりはって、卒論の相談を全く教授にしていなかったことを後悔しています。やる事が明確に決まっていなかった方こそ、その事をできれば一年か二年のうちに、早々に相談してみたいかがでしょうか。悩んでいることを打ち明ければ、先生方も優しく対応していただけるはずです。就活もそうです。悩んでいることは解決するしないにかかわらず、どんどん色々な機関の方を巻き込むつもりで相談していきましょう。	平成24年度	文学部	25歳	女性
就職・将来	卒業後、色んな山が待ってます。人間関係も広がります。バツと社会に出て、新卒だからとあしらわれる存在ではなく、新卒だけどやるな！と一目置かれるように、学生時代からビジネススキルは沢山得る機会を設けて欲しいです。英会話、手話、貿易実務、通関士…目標に応じたスキルを早くから身につける姿勢を大事に。	平成17年度	法学部	34歳	女性
精神面の成長	自分の殻を破っていく、破られてゆく事	平成17年度	文学部	34歳	男性
精神面の成長	他人の話をよく聞いて利己主義にならないようにする	平成22年度	文学部	27歳	男性
精神面の成長	なんでも自分で解決できる人間になってください	平成22年度	法学部	27歳	女性
精神面の成長	自分を見つめ直す	平成22年度	経済学部	27歳	男性
精神面の成長	いかに強い意識を持つかが重要	平成22年度	文学部	28歳	男性
精神面の成長	環境は自分で決める。外的要因にしないこと	平成22年度	法学部	29歳	男性
その他	自治会の解体	平成22年度	神道文化学部	29歳	男性
その他	頑張ったかどうかは他人が決める。	平成17年度	文学部	32歳	女性
その他	他の大学などへの入り直し	平成17年度	文学部	35歳以上	男性
その他	自分はあの時少し不良というか、グレている部分がありました。振り返れば元の自分はそういうキャラではないと思うので、変に背伸びはしないほうがよいと思います。	平成17年度	文学部	32歳	男性
その他	一般の学生が誰一人参加していない自治生徒会を解体し、革マル派を大学から追い出すことが、一般の学生が充実した学生生活を送るために必要なことであり、これを実行してこなかったのは、大学当局の怠慢であると思います。反社会勢力が学内でのさばっているのは恐怖です。大学当局は警察や公安と連携して革マル派を大学から追放することに努力することを強く望みます。	平成24年度	文学部	28歳	男性
その他	渋谷を楽しんでください	平成17年度	神道文化学部	33歳	男性
その他	お金が社会のなかで、どのように動くか。社会人は思っているよりも、理不尽なお金がおおい。	平成22年度	文学部	27歳	女性

問8 インタビューへのご協力依頼

36. 後日、卒業生を対象としたグループインタビューを予定しています。対象者はご協力いただける方の中から抽選で選定します。あなたは協力しても良いですか。
(1つ選択)

卒業生グループインタビューへの協力意向は、「協力しても良い」と回答した人が24.2%で、約4分の1となっている。

図表3-133 卒業生グループインタビューの協力有無（SA）



第4章 調査票

第4章 調査票

問1 属性

【個人情報の取り扱いについて】

- (1) 本調査では個人情報に関する質問を含みます。
- (2) お預かりした個人情報は、データ管理とグループインタビューに関する連絡に使用し、本人の承諾なしに第三者（本事業の委託先を除く）に提供することはありません。（ただし、法令等により提供を求められた場合を除きます。）
- (3) 本学の個人情報保護方針は、下記ホームページをご覧ください。
<http://www.kokugakuin.ac.jp/privacy/i-system0500040.html>

【回答の注意】

回答を途中で中止すると、それまでの入力結果が失われる場合がありますので、最後までご回答ください。

- * 1. 卒業された年度をお答えください。

- * 2. 卒業された学部・学科をお答えください。

- * 3. 年齢をお答えください。（2016年4月1日現在でお答えください。）

- * 4. 性別をお答えください。（1つ選択）

男性

女性

- * 5. 現在の居住地をお答えください。

問2 学修方法

* 6. 学生時代の学修等への取組状況をお答えください。(それぞれ1つ選択)

	熱心に取り組んだ	どちらかといえば熱心に取り組んだ	どちらともいえな い	どちらかといえば熱心に取り組ま なかった	熱心に取り組まな かった・行ってい ない
神道科目	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
外国語科目	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
教養科目(神道科目/外 国語を除く)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
専門教育科目	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
演習・実習	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
卒業論文・ゼミ活動 (ゼミ論等)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
インターンシップ	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
教職・資格関係科目	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
留学	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
サークル・部活動	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
アルバイト	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
社会活動(ボランティア 等)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

*7. 学生時代に学修したことや取り組んだことは、現在の社会人生活でどの程度活かされていますか。
(それぞれ1つ選択)

	とてもよく活かされている	どちらかといえば活かされている	どちらともいえな い	どちらかといえば 活かされていない	活かされていない
神道科目	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
外国語科目	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
教養科目（神道科目・ 外国語を除く）	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
専門教育科目	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
演習・実習	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
卒業論文・ゼミ活動 (ゼミ論等)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
インターンシップ	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
教職・資格関係科目	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
留学	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
サークル・部活動	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
アルバイト	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
社会活動（ボランティア等）	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

問3 学修の成果

* 8. 学生時代に身についたことをお答えください。(それぞれ1つ選択)

	大いに身についた	どちらかという 身についた	どちらともいえ ない	どちらかという 身につかなかった	身につかなかった
基礎的な教養・知識	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
幅広い教養・知識	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
マナーについての教 養・知識	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
専門的な知識	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
最新の知識	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
調査・実験能力	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
分析・研究能力	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
討議・議論能力	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
プレゼンテーション能 力	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
課題解決能力	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
多様な人々・考え方に 対する理解力	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
諸外国の異文化に対す る理解力	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
英語能力	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
英語以外の語学能力	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

* 9. 学生時代に修得したと思われる知識や能力のうち、現在に活かされているものをお答えください。
(それぞれ1つ選択)

	とてもよく活かされている	どちらかといえば活かされている	どちらともいえな い	どちらかといえば 活かされていない	活かされていない
基礎的な教養・知識	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
幅広い教養・知識	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
マナーや礼儀についての 教養・知識	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
専門的な知識	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
最新の知識	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
調査・実験能力	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
分析・研究能力	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
討議・議論能力	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
プレゼンテーション能 力	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
課題解決能力	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
多様な人々・考え方に 対する理解力	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
諸外国の異文化に対す る理解力	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
英語能力	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
英語以外の語学能力	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

* 10. 「在学当時に身につけておけばよかった」と思う知識や能力はありますか。(答えはいくつでも)

- 基礎的な教養・知識
- 幅広い教養・知識
- マナーについての教養・知識
- 専門的な知識
- 最新の知識
- 調査・実験能力
- 分析・研究能力
- 討議・議論能力
- プレゼンテーション能力
- 課題解決能力
- 多様な人々・考え方に対する理解力
- 諸外国の異文化に対する理解力
- 英語能力
- 英語以外の語学能力
- 特にない
- その他 (50字以内で具体的に)

問4 大学の満足度

* 11. あなたは、國學院大学の校歌を覚えていますか。(1つ選択)

- よく覚えている
- ほぼ覚えている
- 少し覚えている
- ほとんど覚えていない
- まったく覚えていない/そもそも知らない

* 12. あなたは國學院大学が好きですか。(1つ選択)

- 好き
- やや好き
- どちらともいえない
- やや嫌い
- 嫌い

* 13. あなたの学生時代は、充実していましたか。(1つ選択)

- とても充実していた
- やや充実していた
- どちらともいえない
- あまり充実していなかった
- 充実していなかった

* 14. 本学に対する総合的な満足度をお答えください。(1つ選択)

- とても満足している
- 満足している
- どちらともいえない
- あまり満足していない
- 満足していない

* 15. (「とても満足している」、「満足している」と回答された方にうかがいます。) あなたが國學院大學に満足している理由をお選びください。(答えはいくつでも)

- 友人ができた
- 先生との出会いがあった
- 授業がおもしろかった
- サークル・部活動が充実していた
- 職員の対応がよかった
- 図書館が充実していた
- 教室などの修学環境が充実していた
- 課外活動施設(体育館・グラウンド・若木会館・若木21)が充実していた
- IT環境が充実していた
- 学生食堂が充実していた
- その他(50字以内で具体的に)

* 16. (「あまり満足していない」、「満足していない」と回答された方にうかがいます。) あなたが國學院大學に不満な理由をお選びください。(答えはいくつでも)

- 友人ができなかった
- 先生との出会いがなかった
- 授業がつまらなかった
- サークル・部活動が充実していなかった
- 職員の対応が不親切であった
- 図書館に不満があった
- 教室などの修学環境に不満があった
- 課外活動施設(体育館・グラウンド・若木会館・若木21)に不満があった
- IT環境に不満があった
- 学生食堂に不満があった
- その他(50字以内で具体的に)

問5 就業状況

* 17. 大学卒業後の就業経験をお答えください。(1つ選択)

- 就業したことがある
- 就業したことはない

* 18. 現在の就業状況をお答えください。(1つ選択)

- 就業している
- 就業していない

* 19. (就業中の方にお聞きします。)現在の就業形態をお答えください。(1つ選択)

- 正規社員・正規職員
- 非正規社員・非正規職員
- 経営者
- 個人事業主

* 20. (就業中の方にお聞きします。)現在の就業先規模は次のうちどれですか。(1つ選択)

- 4人以下
- 5人~9人以下
- 10~29人以下
- 30~49人以下
- 50~99人以下
- 100~299人以下
- 300人以上

* 21. (就業中の方にお聞きします。)あなたは現在の進路や就業状況に満足されていますか。(1つ選択)

- とても満足している
- 満足している
- どちらともいえない
- あまり満足していない
- 満足していない

* 22. 転職の経験をお答えください。(1つ選択)

- 転職経験がある
- 転職したことはない

* 23. 転職経験がある方は転職回数をお答えください。(1つ選択)

- 1回転職を経験
- 2回転職を経験
- 3回転職を経験
- 4回以上転職を経験

問6 学生時代に身についたと思う能力

* 24. 学生時代に身についたと思う能力として、以下の項目はどの程度当てはまりますか。（それぞれ1つ選択）

	よく当てはまる	当てはまる	やや当てはまる	全く当てはまらない
様々な情報の特性が理解できる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
課題に応じて、どのような情報を収集すべきか判断できる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
収集した情報の信頼性を適切に判断できる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
図表から、的確にその内容を読み取れる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
文章から、的確にその内容を捉えられる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
図表や文章から読み取った内容を、論理的に整理できる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
様々な観点から現状を捉え、問題点を見出せる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
問題点を客観的に整理できる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
どの問題から解決すべきか、適切に優先順位をつけられる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
様々な観点から問題の解決策を考えられる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
諸々の条件を踏まえ、問題の解決に有効な方策を選択できる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
問題解決の方策に沿って、具体的な行動計画を立てられる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

* 25. 学生時代に身についたと思う能力のうち、今役立っているものはどれですか。(答えはいくつでも)

- 様々な情報の特性が理解できる力
- 課題に応じて、どのような情報を収集すべきか判断できる力
- 収集した情報の信頼性を適切に判断できる力
- 図表から、的確にその内容を読み取れる力
- 文章から、的確にその内容を捉えられる力
- 図表や文章から読み取った内容を、論理的に整理できる力
- 様々な観点から現状を捉え、問題点を見出せる力
- 問題点を客観的に整理できる力
- どの問題から解決すべきか、適切に優先順位をつけられる力
- 様々な観点から問題の解決策を考えられる力
- 諸々の条件を踏まえ、問題の解決に有効な方策を選択できる力
- 問題解決の方策に沿って、具体的な行動計画を立てられる力
- 特にない
- その他 (50字以内で具体的に)

* 26. 以下に掲げる力のうち、「学生時代に身につけておけばよかった」と思うものはありますか。(答えはいくつでも)

- 様々な情報の特性が理解できる力
- 課題に応じて、どのような情報を収集すべきか判断できる力
- 収集した情報の信頼性を適切に判断できる力
- 図表から、的確にその内容を読み取れる力
- 文章から、的確にその内容を捉えられる力
- 図表や文章から読み取った内容を、論理的に整理できる力
- 様々な観点から現状を捉え、問題点を見出せる力
- 問題点を客観的に整理できる力
- どの問題から解決すべきか、適切に優先順位をつけられる力
- 様々な観点から問題の解決策を考えられる力
- 諸々の条件を踏まえ、問題の解決に有効な方策を選択できる力
- 問題解決の方策に沿って、具体的な行動計画を立てられる力
- 特にない
- その他 (50字以内で具体的に)

* 27. 学生時代に身についたと思うスキルや能力として、以下の項目はどの程度当てはまりますか。（それぞれ1つ選択）

	よく当てはまる	当てはまる	やや当てはまる	全く当てはまらない
誰に対しても、和やかに接することができる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
人から相談された際に、相手の話を真剣に聞ける	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
相手の信頼を得て、豊かな人間関係を築くことができる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
チームの中で担うべき自分の役割を自覚できる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
周囲と連携を図り、協力しながら仕事を進められる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
相手の状況に応じて、適切なアドバイスができる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
周りの人と意見が異なる場合でも、自分の意見を述べられる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
建設的な議論となるように、チームに働きかけができる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
相手の立場を考慮しながら、意見調整を進められる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
プレッシャーがかかる場面でも、落ち着いて対応できる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
ストレスにうまく対処し、感情をコントロールできる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
難しい課題に対しても前向きに取り組める	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
自分の長所と短所を的確に把握している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
自分の強みや持ち味を活かすべく行動できる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
未経験のことにも、臆せず取り組める	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
自発的に行動できる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

	よく当てはまる	当てはまる	やや当てはまる	全く当てはまらない
責任感を持ってやり遂げる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
常に主体的に学び続ける姿勢を持っている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
課題に応じ、適切に情報を収集できる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
客観的な視点でデータを整理・分析し、問題点を把握できる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
問題が生じた原因について、様々な観点から考えられる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
問題解決に向けて、明確な目標を立てられる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
問題解決に向けて、目標に沿った具体的な計画を立てられる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
問題解決に向けて、立案した計画の実現性を吟味できる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
問題を解決すべく計画を推進しながら、想定外の事態に応じて行動を修正できる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
問題を解決するためにとった行動を振り返り、課題を把握できる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
把握した課題を念頭におき、同様の事態に対して適切に対応できる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

* 28. 学生時代に身についたと思うスキルや能力のうち、今役立っているものはどれですか。（答えはいくつでも）

- 誰に対しても、和やかに接することができる力
- 人から相談された際に、相手の話を真剣に聞ける力
- 相手の信頼を得て、豊かな人間関係を築くことができる力
- チームの中で担うべき自分の役割を自覚できる力
- 周囲と連携を図り、協力しながら仕事を進められる力
- 相手の状況に応じて、適切なアドバイスができる力
- 周りの人と意見が異なる場合でも、自分の意見を述べられる力
- 建設的な議論となるように、チームに働きかけができる力
- 相手の立場を考慮しながら、意見調整を進められる力
- プレッシャーがかかる場面でも、落ち着いて対応できる力
- ストレスにうまく対処し、感情をコントロールできる力
- 難しい課題に対しても前向きに取り組める力
- 自分の長所と短所を的確に把握している力
- 自分の強みや持ち味を活かすべく行動できる力
- 未経験のことにも、臆せず取り組める力
- 自発的に行動できる力
- 責任感を持ってやり遂げる力
- 常に主体的に学び続ける姿勢を持っている力
- 課題に応じ、適切に情報を収集できる力
- 客観的な視点でデータを整理・分析し、問題点を把握できる力
- 問題が生じた原因について、様々な観点から考えられる力
- 問題解決に向けて、明確な目標を立てられる力
- 問題解決に向けて、目標に沿った具体的な計画を立てられる力
- 問題解決に向けて、立案した計画の実現性を吟味できる力
- 問題を解決すべく計画を推進しながら、想定外の事態に応じて行動を修正できる力
- 問題を解決するためにとった行動を振り返り、課題を把握できる力
- 把握した課題を念頭におき、同様の事態に対して適切に対応できる力
- 特にない
- その他 (50字以内で具体的に)

* 29. 以下に掲げる力のうち、「学生時代に身につけておけばよかった」と思うものはありますか。(答えはいくつでも)

- 誰に対しても、和やかに接することができる力
- 人から相談された際に、相手の話を真剣に聞ける力
- 相手の信頼を得て、豊かな人間関係を築くことができる力
- チームの中で担うべき自分の役割を自覚できる力
- 周囲と連携を図り、協力しながら仕事を進められる力
- 相手の状況に応じて、適切なアドバイスができる力
- 周りの人と意見が異なる場合でも、自分の意見を述べられる力
- 建設的な議論となるように、チームに働きかけができる力
- 相手の立場を考慮しながら、意見調整を進められる力
- プレッシャーがかかる場面でも、落ち着いて対応できる力
- ストレスにうまく対処し、感情をコントロールできる力
- 難しい課題に対しても前向きに取り組める力
- 自分の長所と短所を的確に把握している力
- 自分の強みや持ち味を活かすべく行動できる力
- 未経験のことにも、臆せず取り組める力
- 自発的に行動できる力
- 責任感を持ってやり遂げる力
- 常に主体的に学び続ける姿勢を持っている力
- 課題に応じ、適切に情報を収集できる力
- 客観的な視点でデータを整理・分析し、問題点を把握できる力
- 問題が生じた原因について、様々な観点から考えられる力
- 問題解決に向けて、明確な目標を立てられる力
- 問題解決に向けて、目標に沿った具体的な計画を立てられる力
- 問題解決に向けて、立案した計画の実現性を吟味できる力
- 問題を解決すべく計画を推進しながら、想定外の事態に応じて行動を修正できる力
- 問題を解決するためにとった行動を振り返り、課題を把握できる力
- 把握した課題を念頭におき、同様の事態に対して適切に対応できる力
- 特にない
- その他 (50字以内で具体的に)

* 30. 学生時代に身についたと思う能力や姿勢として、以下の項目はどの程度当てはまりますか。（それぞれ1つ選択）

	よく当てはまる	当てはまる	やや当てはまる	全く当てはまらない
ビジネス場面に対応できる英語力	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
適切な日本語を用いた文章表現力	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
幅広い教養	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
効果的なプレゼンテーション力	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
自分の考えをまとめてわかりやすく表現する力	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
他者を思いやり、サポートできる力	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

* 31. 学生時代に身についたと思う能力や姿勢のうち、今役立ってものはどれですか。（答えはいくつでも）

- ビジネス場面に対応できる英語力
- 適切な日本語を用いた文章表現力
- 幅広い教養
- 効果的なプレゼンテーション力
- 自分の考えをまとめてわかりやすく表現する力
- 他者を思いやり、サポートできる力
- 特にない
- その他 (50字以内で具体的に)

* 32. 以下に掲げる力のうち、「学生時代に身につけておけばよかった」と思うものはありますか。(答えはいくつでも)

- ビジネス場面に対応できる英語力
- 適切な日本語を用いた文章表現力
- 幅広い教養
- 効果的なプレゼンテーション力
- 自分の考えをまとめてわかりやすく表現する力
- 他者を思いやり、サポートできる力
- コンピュータの操作スキル
- 数的処理力
- 特にない
- その他 (50字以内で具体的に)

33. 学生時代に読んだ本について、最も印象に残っている作家や作品をお書きください。

問7 本校および在校生へのメッセージ

34. あなたがこれからの國學院大学に望むことを、ご自由にお書きください。

35. 充実した学生生活を送るために、どうすればよいか、現役の学生に対するメッセージがあればご自由にお書きください。

問8 インタビューへのご協力依頼

* 36. 後日、卒業生を対象としたグループインタビューを予定しています。対象者は、ご協力いただける方の中から抽選で選定します。あなたは協力しても良いですか。（1つ選択）

- 協力しても良い
 協力できない

* 37. グループインタビューにご協力が可能な方は、氏名とEメールアドレス、日中ご連絡がとれる電話番号をご記入願います。抽選のうえ、ご連絡させていただきます。

(氏名)

(Eメールアドレス)

(電話番号)

